

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

現代中国語の余剰否定現象の研究

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-03-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/2285

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



神戸市外国語大学博士論文

現代中国語の余剰否定現象の研究

2016 年 11 月

神戸市外国語大学大学院
外国語学研究科
文化交流専攻言語コース

姚 碧玉

目 次

第1章 序章	1
1.1 本研究の目的	1
1.2 余剰性の概念や余剰否定現象	1
1.2.1 言語の余剰性	1
1.2.2 否定	3
1.2.2.1 語否定と文否定	3
1.2.2.2 二重否定表現の形式と意味の関係	5
1.2.3 余剰否定	7
1.3 現代中国語における余剰否定の研究現状	10
1.4 本研究の課題と方法	11
1.5 本研究の構成	12
第2章 「差点没 VP」について	14
2.1 はじめに	14
2.1.1 研究対象—余剰否定「差点没 VP」	15
2.2 先行研究及びその問題点	16
2.2.1 語彙意味論から	16
2.2.2 音声形式（ストレス・ポーズ）から	17
2.2.3 認知言語学から	18
2.2.4 語構成から	18
2.3 「没差点」及び分析	19
2.3.1 「没差点」の存在	19
2.3.2 「没差点 VP」に対する分析	23
2.3.2.1 江藍生（2008）の分析	23
2.3.2.2 朱德熙（1959）の分析	24
2.4 語用論的要因の可能性	25
2.4.1 文脈	25
2.4.2 話者の意図	27
2.5 「差点没 VP」への分析	29

2.5.1	望ましさの定義	29
2.5.2	望ましさが指定されない VP について	31
2.5.2.1	デフォルトとノンデフォルト	32
2.5.2.2	発話者の期待	34
2.6	語否定や文否定による再検証	35
2.7	本章のまとめ	37
第3章	「险些没有 VP」について	39
3.1	はじめに	39
3.2	研究対象	39
3.3	先行研究と問題の所在	40
3.4	「险些没有 VP」	41
3.4.1	VP が望ましい場合	41
3.4.2	VP が望ましくない場合	43
3.4.3	VP の望ましさが指定されない場合	44
3.5	本章のまとめ	45
第4章	「几乎没有 X」について	46
4.1	はじめに	46
4.2	研究対象	46
4.3	先行研究と問題の所在	47
4.4	「几乎没有 X」について	49
4.4.1	「几乎没有 VP」	49
4.4.1.1	VP が望ましい場合	49
4.4.1.2	VP が望ましくない場合	51
4.4.1.3	VP が望ましさに指定されない場合	52
4.4.2	「几乎没有 NP」	56
4.4.2.1	NP が望ましい場合	56
4.4.2.2	NP が望ましくない場合	56
4.4.2.3	NP の望ましさが指定されない場合	57
4.5	「几乎没有 X」の余剰否定用法があるか	58
4.6	本章のまとめ	59

第5章「难免+否定辞+X」について	60
5.1 はじめに	60
5.2 研究対象	60
5.3 先行研究と問題の所在	61
5.4 「难免+否定辞+X」について	62
5.4.1 「难免不+X」(X=VP, AP)	63
5.4.1.1 Xが望ましい場合	63
5.4.1.2 Xが望ましくない場合	64
5.4.1.3 望ましさが指定されないXの場合	65
5.4.2 「难免没X」(X=VP)	67
5.5 本章のまとめ	68
第6章「好不X」について	70
6.1 はじめに	70
6.2 先行研究	70
6.3 「好不X」は余剰否定用法がある	72
6.4 コーパスから見た「好不X」の使用の実態	74
6.5 「好不+X」と「好+不X」	78
6.6 「好不+X」と「好+不X」のいずれとも解釈されうるタイプ	80
6.7 本章のまとめ	83
第7章 結語	85
7.1 本論文のまとめ	85
7.2 今後の課題	88
参考文献	90
例文出典	93

第 1 章 序論

1.1 本研究の目的

現代中国語では、否定辞の生起にも関わらず、否定の意味を表さない現象があり、「余剰否定現象」（中国語では“羨余否定”）と呼ばれている。この現象は日本語では存在しないが、いくつかの言語で見られるものである。

本論文では、中国語の副詞「差点」、「险些」、「几乎」、「难免」、「好不」を中心に、余剰否定用法を記述・分析する。それぞれの副詞とそれに続く動詞句などの述語が文内で結合した際に、結果として事態の実現がどのように解釈されるのかを考察する。従来の研究の多くは語用論的分析が強かったが、本論文はこれから示すデータの記述・分析を通して、述語の内部に見られる語彙的特性が結果事態の解釈に大きく影響を及ぼすと主張する。

本章ではまず本論文の基盤となる余剰性の概念や余剰否定現象を概観し、本研究で取り上げる課題、先行研究、研究方法及び研究の構成を述べる。

1.2 余剰性の概念や余剰否定現象

1.2.1 言語の余剰性

言語は情報や知識を伝えるものであり、情報伝達もまたコミュニケーションの最終目的である。情報伝達は常に経済的に行われる傾向がある。会話する時や文章を書く時、普通できるだけ重複をさけ、最小限の言語記号を使い、伝達したい情報を伝えるはずである。しかし、実際にそう単純ではないことも多い。そして、社会の発展に伴い、人々は考え方をより豊かに、情報をより正確に伝えようと言語表現に要求する。また同時に、主要情報を伝える際、また多かれ少なかれ過剰な情報を伝えている。このように言葉に含まれる情報量が実際に必要とする情報量を超えたものを「余剰情報」と呼ぶ。このような余剰情報を伝える言語現象を言語の「余剰現象」と呼ぶ。1948 年、C.E.Shannon が「情報」の量の扱いを数学的に考え、情報理論を生み出した。そして、翌年 1949 年に Shannon&Weaver がコミュニケーションの伝達モデルの標準的モデル¹を発表

¹コミュニケーションの伝達モデルは次のようなものである。

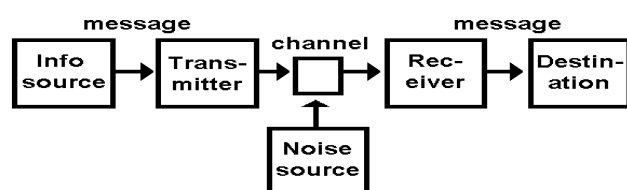
し、情報理論と人工頭脳工学の基礎を確立した。余剰情報（Redundancy）がこの理論の重要概念として初めて学界に登場した。また、アメリカの言語学者 Charles Hockett(1953)はその理論のレビューをかき、情報理論の考え方を言語学へ応用する可能性について論じた。

言語の余剰現象は、根本的には言語形式と意味内容とのミスマッチングを反映したものである。具体的に言えば、言語形式と意味内容は一対一の関係でなくなり、言語構造の形式が意図の需要を超えてしまう。言語の中でもし余剰情報が多すぎると、往々して主要情報の伝えを妨げ、冗長な表現となり、文のつながりを悪くし、反復や無駄を生じる。しかし、言語形式は広く多種多様なものである。意味内容から見れば余剰となるものは、他方コミュニケーションにおいては独特な機能を果たすのである。

余剰現象は世界の言語に普遍的に存在する。例えば、日本語では「馬から落馬する」における「馬」と「落馬」の「馬」との重なりは会話では頻出する。「必ず必要である」での「必ず」と「必要」の重複や、他にも、「あらかじめ予約する」「いまだに未解決である」などがある。

英語では「I had a blue , blue Christmas」のように、同じ語彙（blue）が繰り返しに用いられ、重複である。また、「I love salty sea」²の「salty sea」は、一方（sea）が他方（salty）を前提としており、反復となる。そして、質問を答える際によく使われる「well」。この「well」が特に意味がなく、文法上からみれば完全の無駄である。

中国言語学で最初に余剰現象を記述したのは、趙元任（2000）の『中国話文法』である。例えば、「虽然如此」の「然」が元々「如此」と同じ意味である。



Shannon&Weaver の本来のモデルは、5つの要素で構成されている。図の左から右へ：情報発信者、送信器、チャネル、受信器、情報受信者となる。6番目のノイズは機能障害を起こす要因である：それは、送信された信号と受信された信号の間に差異をもたらすことになる、メッセージ伝達経路上の障害である。我々会話の場合、私の口が送信器、音波が信号、あなたの耳が受話器になる。ノイズには、私が話している時に経験するあなたの気をそらすようなものも含まれる。

² Wit&Gillette(1999)では、記述的立場から、言語の余剰性を Grammatical redundancy（文法的余剰）と Contextual redundancy（文脈的余剰）の二種に分類した。Grammatical redundancy では、文法に関わる義務的なものとして、英語の三人称単数-s、疑問に使われる do、ロマンス諸語での性数一致現象など7項目に分けた。そして、Contextual redundancy では同じ語彙また同義語の重複、孤立的繰り返し、対比文の余剰など4項目に分けた。

現在では語尾として使われ、「虽然如此」がそのまま残っている。余剰現象であるとは言え、現在では違和感なく用いられ、「虽然然」と解釈する人はいないだろう。また複合語では構成性の原理が機能しない場合も多く見られるが、そのまま使われたり、類似語彙を合成するものもあれば、同一形態素を完全反復するものもある。例えば、前者は「已经过了」「知道说」、後者は「月亮亮」「棉花的花儿」がある。

余剰現象は言語の音声、語彙、文法及び文の各レベルに存在する。とりわけ、語彙レベルと文法レベルの現象がより多く注目され研究されている。本論文で考察する余剰否定も余剰現象のひとつである。

1.2.2 否定

1.2.2.1 語否定と文否定

ここでは語否定と文否定の現象を概観する。否定現象をめぐって、各言語ではさまざまな優れた研究がなされている。欧米では、Jespersen(1917)は英語の否定表現を特殊否定とネクサス否定の二種に分類した。そして、塚原(1990)³、近藤(1997)⁴、工藤(2000)などが日本語にも同じように語否定と文否定があると指摘した。なかでも、工藤(2000)では、次の2つの文を例として挙げ、否定を二分類している。

(1-1) 彼女は幸せではない。

(1-2) 彼女は不幸せだ。

例(1-2)の「不幸せだ」が派生による語彙的否定形式であり、単一概念を否定する語否定である。「彼女は幸せでも不幸せでもない」と言えるように、肯定の「幸せだ」とは反対関係にある。一方、例(1-1)は文法的否定であり、肯定とは矛盾関係にあって、主語と述語との結び付きを否定する文否定である。

まず、語彙的否定形式について、日本語について、工藤(2000)では次のように「不-」「否-」「非-」「無-」などの否定接頭辞や「-外」などの否定接尾辞、「-

³ 塚原(1990)は否定表現を「文法的否定表現」と「語彙的否定表現」の二種があり、前者は「否定形式の構文で表現する否定表現」、後者は「否定語彙-否定判断で表現する語彙による否定表現」と定義している。

⁴ 近藤(1997)は、日本語の否定表現には「文法的否定」と「語彙的否定」とがあると指摘している。「語彙的否定」については、「不可能、不明、だめ」などの語を例に挙げながら、「文法的には肯定表現であっても、語彙自体に否定の意味を含む一群の語がある」と、説明している。

かねる」「-がたい」「-そびれる」「-そこなう」などの複合語や、語彙自体が否定の意味を含まれるものにより構成される。例えば、

接頭辞	不幸せだ（不器用だ）、無関心だ（無愛想だ）、非常識だ、未婚だ
接尾辞	予想外
複合語	言いかねる、言いがたい／言いそびれる、言いそこなう
否定の意味を含む語彙	無理だ、無駄だ、否定的だ／欠けている、欠席する／否定する、打ち消す、否認する

英語では、語否定を構成する形式として、日本語のように、接頭辞（「un-」「in-」「dis-」「non-」など）だけではなく、接尾辞「-less」や複合語「-free」も存在する。

接頭辞				接尾辞	複合語
un-	in-	dis-	non-	-less	-free
unhappy	incomplete	dishonest	nonsmoker	limitless	tax-free
unfair	incapable	discover	nonsense	endless	smoke-free

中国語では接頭辞による語彙否定表現も存在する。形式的には、「不-」「非-」「没-」「未-」「莫-」などの否定接頭辞や語彙自体が否定の意味を含む語がある。

否定接頭辞					語彙自体が否定の意味を含む語
不-	非-	没-	未-	莫-	否定，否认，缺席，取消，白费，白搭，瞎闹
不必	非法	没缘	未曾	莫如	
不用	非为	没事	未知	莫测	

ただし、注意されたいのは、形式的に否定辞があるから否定的な意味になるとは限らない。例えば、日本語の「無数」、英語の「numberless」中国語の「无数」。または英語の「invaluable」、中国語の「无价」などがある。それぞれ否定接頭辞「無」、「in」、「无」、否定接尾辞「less」がついている。しかし、これらは意味としては否定どころか、より強い肯定になっている。

そして、文法的否定表現については、日本語の場合は否定辞「ない」⁵、英語

⁵ 「語彙的否定表現」には、非存在を表す形容詞「ない」、対応する肯定形式が存在せず、否定の意味がな

の場合は否定辞「not」「no」を文の述語に加えることにより構成される。これに対して、中国語の場合、形式的に否定辞「不」「没(有)」を文の述語の直前に置くことにより作られている。また、日本語や英語と対照すると、中国語はアスペクトと密に関係している。例えば、

(1-3)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| a 我看这本书。
「私はこの本を読む。」 | a' 我 <u>不</u> 看这本书。
「私はこの本を読まない。」 |
| b (昨天) 我看了这本书。
「(昨日)私はこの本を読んだ」 | b' (昨天) 我 <u>没有</u> 看这本书。
「(昨日)私はこの本を読まなかった。」 |
| | c' 我 <u>没有</u> (在) 看这本书。
「私はこの本を読んでいない」 |

a'の「この本を読まなかった」は、中国語の“不看这本书”に対応するが、ほかの場合は、基本的に中国語の“没(有)看这本书”と対応する。テンスから見れば、a と a'は未来であり、そのほかは過去である。そして、中国語の「了」はテンス・アスペクトの両方の特性を持っているため、b の否定文は b' と c'になる。これを識別するには、発話の場面や文脈に頼らなければならない。

1. 2. 2. 2 二重否定表現の形式と意味の関係

一般的に、否定の表現形式を二重に用いて、肯定の意味を表すことを二重否定という。俞稔生(2000)によると、中国語の二重否定文をおおまかに、「没有」と「不」の連用(例 1-4)、「不-(助) 動詞-不」の組み合わせ(例 1-5)、「非-動詞-不可」(例 1-6)などの組み合わせのパターンがある。例えば、

(1-4) 我没说不想参加

「私は参加したくないとは言っていない。」

(1-5) 今天的会议我不能不参加，明天再去吧。

「今日の会議には参加しなければならないので、明日行くことにしましょう。」

(1-6) 这是难得的机会，她非去不可。

い派生形容詞と見なすべき述語を含む語がある。例えば、「くだらない、つまらない」。詳しくは工藤(2000)を参照していただきたい。

「これはめったにないチャンスだから、彼女はぜひとも行かなくてはならない。」
(俞稔生 (2000))

そして、固定されたパターンがないため、二重否定文は無限に作ることが可能である。例えば、

(1-7) 我讲的话，他不会听不懂。(可能補語文)

「私が話したことを、彼は聞いてわからないわけがない。」

(1-8) 你不把话说清楚，我今天就跟你没完。(“把”構文)

「洗いざらい話さなければ、決して許しませんからね。」 (俞稔生 (2000))

しかし、形式は二重否定表現をとっていても、意味は肯定ではなく単なる否定であるものもある。林楽常(2005)では、現代日本語の二重否定表現を対象に、近現代の代表的な作家の作品から用例を抽出し分類整理し、二重否定表現の形式と意味の相関性を論じた。その中には、二重否定表現形式は、原則、「肯定」になるものであるが、否定的意味を残している表現形式も見出された。さらに、その上に、「強調」とか「曖昧」などの副次的な意味をも担っていると指摘されている。例えば

(1-9) 彼の眼も亦天保銭と同じく、大きな割合に通用しないに違いない。

(『吾輩は猫である』)

(1-10) 空気の切売ができず、空の縄張が不当なら地面の私有も不合理ではないか。

(同上)

例(1-9)の「通用しないに違いない」は「通用しない」という否定的意味、強調を表す表現となる。そして、例 (1-10) の「不合理ではないか」も「不合理である」という否定的意味を表し、非難を表している。

中国語も日本語と同じく、否定を2度することが必ずしも完全な肯定とはならないことも多い。例えば、上の例 (1-4) 「没说不想去」は「没～不～」という二重否定となるが、「行きたくないでもないし、行きたいでもない」という曖昧な意味になる。そして、本論文で考察しようとする余剰否定表現も形式上、二重否定となっている。しかし、単に林楽常(2005)で指摘した否定的意味を残し

ている二重否定表現ではなく、意味上完全に否定となるものである。

1.2.3 余剰否定

余剰否定とは否定辞と共起する構造をしているが、その真理値条件や意味内容が真の否定を表さない言語現象である。世界的に見れば、このような現象は中国語に特有する現象ではなく、他の言語にも存在する。例えば、英語、フランス語などがある。具体的な例としては、以下のようになる。

まず、フランス語では、王助(2006)によると、フランス語では剰余否定が存在し、現代中国語よりも形式が多種多様である。否定辞「ne」がよく他の否定辞と共起して、単一の否定を構成する。例えば、「ne...pas/jamais/plus」などが挙げられる。話し言葉ではneを省略することができる。

(1-11) Je ne suis pas grand.

私 NEG コピュラ NEG 大きい

「私は大きくない。」

(1-12) Il n'a jamais fait de ski.

彼 NEG 決して 行為 の スキー

「彼は一度もスキーをしたことがない」

(1-13) Elle ne fume plus.

彼女 NEG タバコを吸う もはや

「彼女はもうタバコを吸っていない。」（クラウン仏和辞典第6版）

また、否定辞「ne」はいくつかの特定した文に出現し、余剰否定を構成する。これらの文はほとんど接続詞「que」または「que」を含む接続詞フレーズによる複文である。例えば

(1-14) Cette forme de protection évite que le brevet ne soit dévalué.

この 形 の 保護 避ける 接続詞 特許 NEG コピュラ 値下げ

「このような保護メカニズムが特許の値下げを避ける。」（王助 2006）

(1-15) Il s'en est fallu de peu qu'il ne tombe.

彼 もう少しで 接続詞 NEG 転ぶ

「彼はもう少しで転ぶところだった。」（沈家煊 1999）

(1-16) Il s'en est fallu de peu qu'il ne gagne le prix.

彼 もう少しで 接続詞 NEG 得る 賞金
「彼はもう少しで大当たりするところだった。」 (沈家煊 1999)

上記の例は否定辞「ne」を取っても文の意味が変わらない。言い換えれば、フランス語での余剰否定現象は、接続法により指定されることが分かる。そして、結論を先取りになるが、本論文では中国語での「もう少しで～ところだった」を表す構文を中心に、VP の語彙的望ましさにより、文の意味解釈の肯定・否定を決定すると主張する。しかし、フランス語ではこのような現象がないようである。なぜなら、例(1-15)での VP (tombe 転ぶ) が望ましくない VP となり、転んでいないという否定的意味になる。この点については、中国語と同じく説明できる。そして、例(1-16)での VP (gagne le prix 賞金をえる) が望ましい VP となり、賞金を得たという肯定的意味になるはずだが、フランス語では依然として、賞金を得ていないという否定的意味となっている。つまり、フランス語では、「もう少しで～ところだった」という余剰否定構文では、VP の語彙的望ましさとは無関係であることが分かる。

次に、英語では、以下のような表現が存在する。いずれも否定辞「not」があるにも関わらず、文の意味は肯定的である。

(1-17) I wouldn't be surprised if it didn't rain.

「雨降ってもおかしくない。」

(1-18) Let's go to town and see if we can't buy some new T-shirts.

「町に行って、何か新しいティーシャツを買いましょう。」

(1-19) You ought to see if you can't get a job with you uncle.

「おじさんのところに何かの仕事をもたらるのではないかを確認してみてください。」
(BBC)

よく見てみると、上記の例文はぜんぶ条件節「if」による複文である。一見、形式上否定辞が存在するながら、意味上否定の意味を表していないため、余剰否定になるはずである。しかし、否定を論じる際に、Otto Jespersen (1971)では、“I am a villain ” (私は悪党だ)のような表現を主節にして、条件節「if」に否定しようとするものを入れる間接否定があると指摘している。例えば、

(1-20) I am a rogue if I drunk today.

「ほんとだ、今日はまだただの一杯も飲んじやいねえんだ」

(1-21) It does you honour. I'm blest if it don't.

「それはあなたの名誉になります。絶対になりますよ。」

そして、主節を省略され、条件節だけ残る表現もある。

(1-22) If I haven't lose my watch!

「ちえっ！時計をなくして困ったなあ！」

つまり、条件節「if」による複文は間接否定表現であり、複文に否定辞が入ると、文の意味が肯定になる。ここでの否定辞が紛れなく否定の役割を果たしているため、本論文で考察しようとする余剰否定とは異なるものとなる。

以上、フランス語や英語では意味と形式とのずれからみると、余剰否定表現が存在するといえよう。しかし、中国語のように、VPの語彙的な望ましさにより文の意味が変わるのではなく、フランス語では接続法「que」、英語では仮定法「if」による指定で文の意味に影響している。

また、黒人英語⁶にも多重否定が存在する。東照二（1997）によると、複文の場合、全部否定形にすると、全体の意味は肯定になり、1つだけ肯定形であとは否定形にすると否定の意味になるのである。例えば、

(1-23) It ain nobody I can trust.

(1-24) It ain nobody I can't trust.

ここでの「It ain」は英語の「There isn't」の意味と考えてよい。(1-23)は1つだけ肯定形であとは否定形になっているのに対し、(1-24)は全部、否定形になっている。従って、それぞれの文は次の文の意味になる。

(1-25) I can trust no one. (だれも信用できない)

⁶ 黒人英語とは、米国の黒人下層社会（特に大都市の黒人居住区）で用いられる非標準的な英語変種を指す。黒人英語の中にも、教育程度、内集団意識、年齢、性別、地域などによる差があり、標準英語との混交の度合いも様々である。場面によって両変種を使い分けることができる者も多い。文法上の特徴としては、動詞における相（aspect）の重視がある。例として She sick. と She is sick. とではことなり、前者は一時的、後者は常習的。三人称単数現在の-sの欠如。過去形の否定に ain't をよく使用する。従属節にまで多重否定を持ち込むことがあるなど挙げられる。

(1-26) I can trust everyone. (みんな信用できる)

つまり、ここでの「ain(=isn't)」が否定辞として機能を果たさず、余剰的である。

1.3 現代中国語における余剰否定の研究の現状

現代中国語における余剰否定研究は、朱德熙が1959年に雑誌『中国語文』で「说“差一点”」を発表したのが最初である。これを契機に、余剰否定現象が重視されるようになり、様々な研究が行われてきた。余剰否定現象の形式は多種多様である。曹婧一(2007)では余剰否定構造を7種類に分け、計48の形式も紹介されている。

王助(2006)のように、フランス語と中国語との比較研究もあるが、余剰否定の形式が多いため、全体的に論じることが難しく、先行研究では個別形式を取り上げて論じるのがより一般的である。例えば、「差点儿没」については、朱德熙(1959)、沈家煊(1987)、石毓智(1993)、渡辺立玲(1994)、董为光(2001)、江蓝生(2008)などがある。「好不」については、袁宾(1984, 1987)、沈家煊(1994)、周明强(1998)、邹立志(2006)などがある。「非 A 不 B」については、邵敬敏(1988)があり、「难免不」については、张谊生(1999)がある。「没 VP 之前」については、周一民(2003)、王灿龙(2004)があり、「小心别 VP」については、戴耀晶(2004)、候金国(2008)などがある。

そして、文法構造、主観認識、文法化や類型論などの様々な角度から余剰否定現象を論じられている。研究角度や方法が多様である。

例えば、余剰否定を文法化した結果と見なし、歴史的視点からその経緯をたどる研究がある。袁宾(1984)の「好不」についての論述がその代表である。

また、語彙意味論から、朱德熙(1959)の「差点儿没」についての論述では、話者にとっての望ましさから VP を「望ましい VP」「望ましくない VP」に分けて分析を行った。その結果、「話者にとって望ましい VP の場合、肯定形式が否定的意味を表し、否定形式が肯定的意味を表す。話者にとって望ましくない VP の場合、肯定形式も否定形式も否定的意味を表す。」という規則を導き出した。この規則は他の形式にも応用でき、現在は定説となり、辞書でもそのまま採用されている。この他に朱德熙(1959)の結論に疑問を感じ、別の角度から試みる研究もある。例えば、渡辺立玲(1994)の「意図的・非意図的」などはその一例である。

そして、主観性から論じる研究もある。江藍生(2008)では、「差点没 VP」が主観的、「差点 VP」が客観的であると主張している。刘长征(2006)では、「不一会儿」は主観的に時間が短いものであり、「一会儿」が客観的描写であると述べられている。

まとめれば、余剰否定の研究はますます重要視されている。研究範囲が広くなり、いままで発見されなかった余剰否定表現も次々と発表されている。従来余剰否定表現の多義性を中心にした論述も、余剰否定の生起理由、特徴や機能の方面へと発展しつつある。

1.4 本研究の課題と方法

本研究では副詞の余剰否定現象を考察対象とする。つまり、「差点」、「险些」、「几乎」、「难免」、「好不」という六つの副詞である。

まず、先行研究が十分に尽くされているとは言えない。副詞「差点」、「难免」のような余剰否定現象はすでに個別形式として数多く論じられている。これに対して、副詞「险些」、「几乎」はほとんど論じられてこなかった。現代中国語においては、主な研究対象になれず、補足的に論じたものが2、3篇あるだけで、主な研究対象として扱うものはひとつもない。そして、各副詞の間にもどのような違いがあるのかは先行研究では詳しく言及されていない。実際にどのような実態になっているのかは記述する必要がある。

そして、研究分析をそのまま他の副詞に用いることが問題である。すでに述べたように、現代中国語における余剰否定研究は朱德熙が1959年に雑誌『中国語文』で「说“差一点”」を発表したのがスタートである。それにより、副詞「差点」への研究が盛んであり、数多くある。この中、朱德熙(1959)での話者にとっての望ましきによる分析が広く認められた。その後、朱德熙(1959)の分析に従い、副詞「难免」、「险些」、「几乎」に応用する研究も増え、偏った結論を導いている。例えば、副詞「险些」に後続するVPが望ましくないVPしかない。しかし、本研究では望ましいVPや望ましきに指定されないVPも見出している。よって、研究分析方法をそのまま他の副詞に用いるのは適切ではなく、検討する必要がある。

さらに、朱德熙(1959)の分析には問題がある。朱德熙(1959)の規則で説明できない用例が存在する。よって、朱德熙(1959)の分析を修正する必要がある。

(1-27) 你，在朝鲜战场是个怕死鬼！ 我差点没有枪毙你！

「お前、朝鮮戦争では臆病者だったよ。私はもう少しで君を撃つところだった」

石毓智(1993)

例(1-27)の述語動詞が表す事態「枪毙（銃で撃ち殺す）」は話者がその実現を望んでいる事態である。朱徳熙(1959)の予測から見ると、文の全体の意味が肯定的意味を表すはずであるが、実際の解釈としては、否定的意味を表している。これは朱徳熙(1959)での主張と矛盾する。

これらの問題に対して、本研究では副詞「差点」、「难免」、「险些」、「几乎」、「好不」の余剰否定現象を章ごとに分けて論じることにした。データベースを利用して、各副詞の余剰否定表現のデータを洗い直し、実態を提示する。これと同時に、データを公開し、透明性をはかる。

1.5 本研究の構成

本研究の構成は以下のとおりである。

序論である本章は、本研究の基盤となる余剰否定現象の定義、研究現状を紹介し、本研究の目的、研究課題、研究方法及び本研究の構成を述べた。続く第2章から第6章では、副詞「差点」、「险些」、「几乎」、「难免」、「好不」を対象として考察を行う。

第2章では、本論文の柱となる副詞「差点」を取り扱う。まず、副詞「差点」に関する先行研究の問題点を指摘する。そして、朱徳熙(1959)の分析で説明が不可能な用例が存在することから、朱徳熙(1959)が導き出した規則を新たに分析し直す。さらに語彙的にVPの望ましさにより、VPを三分類し、種類ごとの分析を行う。その中で、これまであまり分析されていなかった語彙的な望ましさが指定されていないVPについては、新たにVPにおける動詞と名詞との組み合わせ、つまり、デフォルトとノンデフォルトという概念を導入し、説明を試みる。

第3章では、副詞「险些」に剰余否定用法が存在することを確認する。VPの語彙的解釈を用いて考察を行う。

第4章では、「几乎没X」を対象として、その余剰否定用法を考察する。まず、「几乎没X」では「几乎没VP」と「几乎没NP」に分けられる。それぞれの形式に剰余否定用法があることを確認する。VP/NPの語彙的解釈を用いて考察を行う。そして、副詞「几乎没有VP」が剰余否定用法は僅か確認されたが、デ

データベースでの用例はほとんど真性否定であることを指摘し、ずれを生じる理由を述べる。

第 5 章では、副詞「难免」に余剰否定用法があることを確認する。新たに書き直した規則「VP の語彙的解釈」で分析を行う。

第 6 章では、副詞「好不」のデータを洗い直し、VP の語彙的解釈を用いて考察を行う。「好不 X」の 9 割が余剰否定であることを確認し、余剰否定「好不 X」の結果意味解釈には「X」の語彙の望ましさが原則として関与しないことを指摘する。

第 7 章では、本論文のまとめである。

最後に本研究の例文の研究及び用例に使用する記号について説明しておく。

本論文では、主に実例を収集して考察を行う。主に北京大学中国言語学研究センター（略して CCL）や人民日報のデータベースから収集したものである。このほか、辞書や先行研究から引用した例もある。データベースのアドレスは以下のようになる。

CCL : http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp?dir=xiandai

人民日報 : <http://search.people.com.cn/rmw/GB/bkzzsearch/index.jsp>

また、用例の前に用いた記号の意味は以下の通りである。

*は非文法的と判断された例で、？は非文法的までは言えないものの、許容度が低い例であることを示す。

第2章 「差点⁷没⁸VP」について

2.1 はじめに

現代中国語の余剰否定現象の代表格は本章の研究対象となる「差点没 VP」である。「差点」自体はすでに様々な研究がなされている。その中では、朱德熙(1959)が導き出した規則が広く認められ、辞書の記載があるほど定説となっている。しかしながら、朱德熙(1959)の規則により説明できない用例も存在しており、再検証の余地があると思われる。

「差点没 VP」での VP は、本論文では動詞句だけを指すものとはしない。杨红梅(2010)は、「差点没」に後接する構造を細かく分類している。詳しくは動詞句構造(裸動詞・動目構造・動補構造・連動構造・兼語文)や「把」構文、「被」構文、「得」構文などである。本論文では、主に「差点没 VP」の形式と結果意味との差が生じる原因を探ることを目的としている。「差点没」に後接する構造が上のいずれの構造であれ、結果解釈は動詞にかかっているため、本論文では「差点没 VP」と示すことにする。

本章では、「差点没 VP」を対象に、余剰否定現象を記述・考察していきたい。まず、先行研究の問題点を指摘し、筆者が新たに発見した余剰否定「没差点 VP」に朱德熙(1959)の分析が応用できることから、他の認知言語学的視点や語構成による説明より適切だと判断する。そして、話者にとって事態の望ましさと語彙的に VP の望ましさの区別を明確にした上、朱德熙(1959)が導き出した規則を新

⁷ 「差点」は「差一点」「差点儿」という言い方があるが、便宜を図るため、本論文では「差点」に統一させる。そして、「差点」は上の余剰否定用法以外には次の2つの使い方がある。例(i)は「動詞(差)+目的語(点)」という構造で、「足りない」という動詞の意味になる。例(ii)は「形容詞(差)+程度補語(点)」という構造で、「(質が)やや劣る」という意味になる。

(i) 这种布比那种布差点。「この布はあの布より少し落ちる。」

(ii) 买这种电脑, 我的 钱还差点。「このようなパソコンを買うには、お金がまだ足りない。」

⁸ 「差点没」の「没」は、否定辞用法以外に動詞の用法もある。例えば、(iii)では「没命」(命を失う)、そして、(iiii)では「没了眉毛」(眉毛を失う/なくす)という動詞用法の「没」が使われている。本論文ではこのような動詞用法の「没」を対象外とする。

(iii) 差点没命。「もう少しで命を失うところだった。」

(iv) 等烧得连眉毛也差点没了的时迁一身碳黑地从翠云楼上跑下来时

「眉毛でさえも燃えなくそうになった时迁さん(人名)が、真っ黒になって翠雲楼から走って降りた時」

そして、「差点」に後接する否定辞として「没」のほかに、「不」もある。「差点不」という言い方が存在する。ただし、余剰否定用法がないため、本論文では対象外とする。例

(v) 一年前我因为心脏问题差点不能继续足球生涯, 现在我却进入了德国国家队, 这简直是一场梦。

「一年前、私は心臓のことでもう少しでサッカーを続けられなくなった。今はドイツ国家チームに入ることができて、本当に夢のようである。」

たに書き直す。また、語彙的に VP の望ましさにより、「差点没 VP」の分析を行う。

2.1.1 研究対象—余剰否定「差点没 VP」

「差点没 VP」の分析に入る前に、まず、「差点」の例文を見てみよう。

(2-1a) 差点 就 考上 大学 了。

もう少しで 副詞 受かる 大学 le

「もう少しで大学に受かるところだった」

「差点」は述語の事態（大学に受かること）に極めて接近しているが、結果としてその事態にならなかったという意味である。つまり、「差点」自体がすでに否定の意味が含まれていて、否定極性的である。例(2-1a)は「差点」の効果で結果としては「大学に受からなかった」という意味を表している。

現代中国語において、典型的な否定表現としては、否定辞「不」あるいは「没」を用いる。例えば、「他没去学校」（彼は学校に行かなかった）は「他去学校了」（彼は学校に行った）に対する否定である。文の肯定形式と否定形式は構造上も意味上も対立関係をなしている。しかし、言語形式とそれが表出する意味との間に直接的な対応関係がいつも必ず存在するわけではない。現代中国語では否定辞の生起にも関わらず、否定の意味を表さない現象がある。「差点」はその典型の一つである。例(2-1b)を見られたい。

(2-1b) 差点 没 考上 大学。⁹

もう少しで NEG 受かる 大学

「もう少しで大学に受からない落ちるところだった。」

すでに例 (2-1a) から分かったように、「差点」は否定極性的である。そのため、例(2-1b)の意味は結果的に大学に受かったということで、「否定+否定=肯定」の二重否定で説明できるようである。ただし、「差点没」の解釈がすべて同様に説明できるとは限らない。

⁹ 出典が示されていない例文は、教科書、参考書類からの引用か、筆者による作例である。

(2-2) 差点 没 摔倒。

もう少しで NEG 転ぶ

「もう少しで転ぶところだった。」

例(2-2)を二重否定として解釈すると、転んだという意味になるはずである。しかし、実際には結果的に転んでいない。ここでの否定辞「没」は否定の機能を有していない。この現象は「余剰否定」と見なせる。「余剰否定」と区別するため、否定辞が否定の役割を果たしている場合、以下では「真性否定」¹⁰と呼ぶことにする。

2.2 先行研究及びその問題点

上述のとおり、余剰否定現象に関する研究は、朱德熙(1959)をはじめ、様々な議論が続いている。ここではその代表的な研究を紹介し、それぞれの問題点を指摘したい。

2.2.1 語彙意味論から

朱德熙(1959)では「差一点」について以下のように分析されている。「差一点 VP」内の VP の種類により、A 類と B 類に分けられる。

A 類 肯定形式「差一点 打破 了」「もう少しで割るところだった。」

もう少しで 割る le

否定形式「差一点 没 打破」「もう少しで割るところだった。」

もう少しで NEG 割る

肯定形式と否定形式は同じ意味で、結果としては両方とも割れていない意味である。

B 類 肯定形式「差一点 及格 了」「もう少しで合格するところだった。」

もう少しで 合格 le

否定形式「差一点 没 及格」「ぎりぎり合格した。」

もう少しで NEG 合格

¹⁰ 「真性否定」という言い方は袁毓林(2013)を参照したものである。

B 類では肯定形式と否定形式との意味が同じではない。肯定形式は否定の意味を表し、否定形式は肯定の意味を表している。そして、VP の意味の分析をすれば、「差一点 VP」内の VP の種類により、A 類と B 類に分けられる。A 類の VP は話者にとって望ましくない事態で、B 類の VP は話者にとって望ましい事態を表している。

朱德熙(1959)は語彙の意味論から、「差点」に後接する動詞句が表す望ましさにより、結果の肯定・否定が決定されると述べている。「話者が事態の実現を望んでいる場合、肯定形式は否定の意味を表し、否定形式は肯定的意味を表す。一方、話者が事態の実現を望んでいない場合、肯定形式も否定形式も、否定的意味を表す」という規則を導き出した。しかし、本論文で後に言及する「没差点」については記述していない。そして、話者にとっての事態の望ましさと VP の望ましさを混同にしている、上の規則で説明できない用例が存在する。この点に関しては、2.4 節で詳細を述べることにする。

2.2.2 音声形式（ストレス・ポーズ）から

李小玲(1986)は、ポーズや軽声などの音声形式から、「差点没 VP」の意味の多義性の解明を試みた。

真性否定：「差点儿没 VP」（差点儿 v 没咽下去[=咽下去了]）

余剰否定：「差点儿没 VP」（差点儿・没 v 咽下去[=没咽下去了]）

（v はポーズを入れるマーカである。そして、「・没」は「没」を軽く発音することを表し、「・」は軽声のマーカである）。

つまり、サッカー試合場で、「差点儿・没 v 踢进去」と発話すれば、ボールが入らなかったことが分かり、「差点儿 v 没踢进去」と発話すれば、ボールが入ったことが分かる。このような音声形式の違いにより、文の意味だけではなく、発話者の態度まで知ることができると述べた。

そして、王还(1990)では、ストレスや軽声により、「差点（没）VP」の意味を区別できると指摘した。真性否定については、差点儿没踢进去[=踢进去了(入った)]、VP の後の「去」にストレスを置き、強く発音する。一方、余剰否定である差点儿没踢进去[=没踢进去（入ってない）]については、VP の前の「踢」にストレスに置き、強く発音する。そして、後の「进去」が軽声で、

軽く発音する。ここでの「没」がなくても、発音方法が変わらないと述べた。

しかし、朱德熙（1982）では「方向補語は常に軽く発音する」と指摘した。そして、呂叔湘（1980）も「動方構造(動詞＋方向補語)では動詞が軽く発音する」と述べている。以上より、音声形式に対する意見が大きく異なることが分かる。また、地域差という要因も考えられる。それに、コミュニケーションの環境の複雑さや雑音なども考慮すれば、音声形式だけで意味解釈を区別するにはまだ不十分であると思われる。

2.2.3 認知言語学から

任鷹（2007）¹¹は動詞と文の構造、その他の関連成分に、意味的なインタラクション関係が存在すると主張した。いくつかの動詞は VO 構造に入る際、「意味の指定が不完全」の状態であり、最終的に文構造により意味が指定されるとする。このような過程は「意味的インタラクション」及び「意味的合成」が機能した結果である。ただし、「意味的インタラクション」は一部の動詞の意味指定にのみ関与しており、「差点」はその一例である。

任鷹（2007）は認知言語学的観点から、「差点」「没」と結び付けられた事態のイメージの 2 種のプロトタイプを話者において合成し、全体の結果事態のイメージが浮かび上がると主張した。例えば、任鷹（2007）が挙げた例「差点没来晚了。」（もう少しで遅刻するところだった。）では、「差点」（もう少しで）はある状態の出現に極めて近いイメージであり、「没来晚」（遅刻しなかった）は事態の結果である。この二つのイメージが合成され、全体の事態に反映したという。しかし、その合成方法は不透明の点が多く、さらに深い分析が必要であると言えよう。

2.2.4 語構成から

江藍生（2008）は語構成から、近似した意味を持つフレーズや要素を取り除き、残った部分を合成して、一語となると考えた。すなわち、「差点没」は「差点 VP」＋「没 VP」→（差点＋没）VP→差点没 VP という合成過程を経て得たものだと説明した。合成する前の「差点 VP」は主にある事態の客観的な描写が行われるとする。一方、「差点没 VP」は話し手のその事態に対する事態や見方を表し、ある主観的評価が付加されていると主張する。「差点没 VP」に関して

¹¹任鷹（2007）は認知言語学的観点から、「差点没」を主な対象として論じた論文ではない。余談のところに言及したものである。

は、2.3.2.1 節で考察するため、ここでは詳しく述べない。

以上、「差点没 VP」に対して、語彙意味論、音声形式、認知言語学、語構成など様々な説明があるが、どれが最適な分析であるかはまだ検証の余地があると言えよう。

2.3 「没差点」及び分析

2.3.1 「没差点」の存在

筆者によるデータベース調査の結果、先行研究で取り上げられてきた「差点 VP」、「差点没 VP」以外に新たに「没差点 VP」も存在することが分かった。以下の例を見られたい。

(2-3) 她 没 差点 雇 个 保镖 , 每天 扛 把
NEG もう少しで 雇う 量詞 ボディーガード 毎日 背負う 量詞
机关枪 跟 在 我 后面。
マシンガン 付く 介詞 私 後ろ

「彼女はもう少しでボディーガードを雇い、毎日マシンガンを背負って私の後ろに付いてくるところだった。」

(<http://www.xici.net/d26234922.htm> 強調下線は筆者による。以下同様)

(2-4) 乐乐听了这样的回答没 差点 把 头 撞 桌 上¹²。
NEG もう少しで 処置文マーカー 頭 ぶつける 机 上

「乐乐はこのような返事を聞いて、(びっくりして) もう少しで頭を机の上につけるところだった。」

(<http://www.qdmm.com/BookReader/vol,27224,484800.aspx>)

例(2-3)、(2-4)では「もう少しで…するところだった」のところに「没差点」が用いられている。前述したように、「差点」は述語の事態¹³にきわめて接近している。しかし、結果としてその事態にならなかったという意味であるため、結果から否定を含意している。ここでは「差点」の前に否定辞「没」が生起しており、論理的には「否定+否定=肯定」の二重否定で肯定的意味になるはずで

¹² 本論文でのグロスについて、例文が長くなる場合、問題となる箇所だけグロスをつけることにする。

¹³ ここで具体的にいうと、例(2-3)はボディーガードを雇い、毎日マシンガンを背負って私の後ろにつくことである。そして、例(2-4)は頭を机にぶつけることである。

ある。しかし、例 ((2-3)、(2-4)の文の意味を見ると、依然として否定的意味を表している。よって、「没差点 VP」も「差点没 VP」と同じように、余剰否定の一つであると判断できる。

「差点 VP」、「差点没 VP」、「没差点 VP」は余剰否定現象を考察にあたって欠かせない構文である。ただし、それぞれの使用頻度としては異なっている。筆者が調べたデータによると、「差点 VP」の用例が一番多く、その次に「差点没 VP」が多い。「没差点 VP」は最も少ない。「没差点 VP」の用例数は比較的に少ないが、確かに存在する。上述した例(2-3)、(2-4)以外に、次のような例文もある。

(2-5) 等这个小不点等了好久，终于见芽了，

去年 没 差点 把 这 苗草 冻死，今年还算争了口气。

去年 NEG もう少しで 処置文マーカー この 苗草 凍死する

「この苗が出てくるのを待ちくたびれたところ、やっと芽がでた。去年の寒さで苗をだめにするところだったが、今年よく頑張ってくれた。」

(<http://forum.hmlan.com/showtopic-114-216184-0-3-1.htm>)

待ちに待った苗はなかなか姿を現さない。去年植えた種が冬の寒さで、もしかしたらもうダメになり、死んだのではないかと心配する話者の発言である。このような状況の中、苗が奇跡的に出てきたことに対して、話者がよく頑張ってくれたことに感謝し、(2-5)のように「去年没差点把这苗草冻死」と感慨する。ここで「没」＋「差点」を使って、ぎりぎり死ぬところだったが、死ななかったことをリアルに表現している。「差点」の否定極性効果で、文が否定の意味になっている。ここでの否定辞「没」は否定の役割を果たしていない。

(2-6)看着 AMD 那个不成器的 APU，

英特尔 没 差点 把 腰 给 笑 折 了。

インテル NEG もう少しで 処置文マーカー 腰 させる 笑う 折る le

「AMD のそのものにならない APU を見て、インテルはもう少しで笑いすぎて、腰を折るところだった。」

(<http://tech.sina.com.cn/h/2011-09-14/07126058896.shtml>)

「Intel（インテル）」会社と「AMD」会社は同じくパソコン会社であるが、それぞれ独自の CPU を作り上げている。取り付け部の形状や、必要となる機能が異なるため、インテル社の CPU を使うパソコンに AMD 社の CPU を取り付けすることはできない。逆もできない。そして、APU とは、簡単に言えばパソコンの心臓である CPU とグラフィックス処理をつかさどる CPU の機能を一つのチップに統合させたものであり、パソコンにとって非常に重要である。

(2-6) はこのような背景の中、ある編集者がパソコン市場での両社各部品の価格変動に対して行った発言である。インテルがライバルである AMD のものにならない APU をみて、非常に喜んでる様子を「没差点把腰给笑折了」と表現した。笑いすぎて、腰を折れる事態に極めて近い状態を「没差点」構文でリアルに表現した。文全体の意味から見れば、実際に腰は折れていないため、ここでの否定辞「没」も否定の役割を果たしていない。

(2-7)而现在大冬天跑到东北来拍《闯关东 2》，

冒着零下 30 多度的酷寒又 没 差点 把 我 冻死。

NEG もう少しで 処置文マーカー 私 凍死する

「冬の最中で東北に来て『闯关东 2』を撮影する今。氷点下 30 度の寒さでもう少しで死ぬところだった。」

(http://cjmp.cnhan.com/whwb/html/2009-01/12/content_937461.html)

女優苗圃がドラマ『走西口』『闯关东 2』に連続出演することで人気を呼んでいる。(2-7) は女優苗圃がインタビューを受ける時の発言である。ドラマ『走西口』夏 7, 8, 9 月に撮影されたから、とても暑い経験をした後に、冬の最中で『闯关东 2』を撮影し、氷点下 30 度の寒さで厳しかったと語っていた。(2-7) は「没差点」構文を使って、寒くてもう少し死ぬところだったという事態を表現した。映画の撮影が終わってから、インタビューを受けていた苗圃であるから、当然死んではない。(2-7) の文は否定の意味となっていて、余剰否定の構文となる。

(2-8)许强这次送了参赛选手一棵大葱，颇为得意，一直躺在床上呵呵的傻笑，

几次 笑 得 没 差点 从 床 上 滚下来。

何回 笑う 助詞 NEG もう少しで から ベッド 上 転び落ちる

「許強は今回選手にネギを送ったことで、得意満面だ。ずっとベッドでへらへらと笑って、何回もベッドから落ちそうになった。」

(<http://www.qidian.com/BookReader/1130072,23163669.aspx>)

選手に花やぬいぐるみなどを送るのは普通であるに対して、許強は予想もつかぬネギを送って、人目を集めた。寮に戻った許強はまさか自分が本当に送ってしまったことを思い出し、あまり可笑しくて、笑いが止まらない様子を作者が「没差点」構文を使って描写している。(2-8)は何回も笑いすぎて、ベッドから落ちそうになったが、実際には落ちていないため、文の全体の意味は否定である。よって、ここの否定辞「没」も否定の役割を果たしていない。

(2-9)回去我还是一只接一只的抽着，看着他俩不停的抹眼泪，

我 几次 没 差点 笑出来。

私 何回 NEG もう少しで 笑い出す

「戻ったら私はまた煙草を吸い続けた。彼らの涙が止まらないのをみて、何回も笑い出しそうになった。」

(<http://txt.nokiacn.net/thread-196527-1-1.html>)

困難な局面になってしまったところ、発話者が煙草を吸い続けて悩んでいる。一方、彼らは絶えずに涙を流している。何とかなるだろうと思っている発話者にとっては、泣くことがあまり可笑しくて、笑いそうになったがこらえたことが、(2-9)では「我几次没差点笑出来」と表現されている。笑いそうになったけど、笑わなかったという意味である。もしこの文を肯定的な意味（つまり、本当に笑い出した）で解釈したとしたら、きっと彼らに怒られるし、発話者と彼らとの関係も疎遠になるに違いない。

(2-10)让弟弟帮我背着行李去车站，妈妈站在月台上和我一起等火车的时候，

我突然间发现妈妈不知道什么时候有了白头发，心里一紧，

眼泪 没 差点 掉出来，迎着初秋的凉风，抬起头，

涙 NEG もう少しで 落ちる

使劲地睁了睁眼，看着远处红瓦黄门的家，我心潮澎湃。

「弟に荷物を駅まで背負ってもらって、私と母はプラットホームで電車がくる

のを待つところ、母が今までなかった白髪を不意に見つけて、心がギュウと締め付けられ、もう少しで涙が出そうになった。初秋の涼しい風に吹かれて、頭を挙げ、力いっぱい目を見開き、遠く赤い瓦と黄色いドアのわが家を見渡し、私の胸はいっぱいだった。」

(<http://topic.csdn.net/t/20031226/17/2607209.html>)

(2-10) は故郷離れになった「私」を見送るシーンである。電車を待っている時、母が今までなかった白髪を不意に見つけた「私」は心が締め付けられ、もう少しで涙が出そうになった。涙を母に見せないように、必死にこらえた「私」を描いているところに、「眼泪没差点掉出来」と表現されている。涙が出ていないから、これも同じく余剰否定構文であることが分かる。

以上挙げた各例の解釈のように、「没差点 VP」は「差点没 VP」と同じように余剰否定であることは明らかである。「没差点 VP」は余剰否定現象のひとつとして存在する以上、どのように説明すべきか、今までの分析方法で解釈できるのかを探究する必要がある。次の 2.3.2 節ではこの問題を中心に、議論を展開していきたい。

2.3.2 「没差点 VP」に対する分析

本節では「差点没 VP」に対する分析方法を、新たに発見した余剰否定構造である「没差点 VP」に照応して、応用できるかどうかを検討する。

2.3.2.1 江藍生 (2008) の分析

江藍生(2008) は複合語の意味構成のプロセスを以下のように考えている。それは複合語を形成する際、各要素間の近似した意味を持つフレーズや要素を合成前に取り除き、残った部分を合成して、一語となると考えた。タイプとしては次のような 2 種類を挙げている。

A 類 2 音節の類義語同士から 3 音節を合成するタイプ。

AB+CB→ACB 瞎混+胡混→瞎胡混 (いい加減に過ごす)

AB+AC→ABC 自己+自个儿→自己个儿 (自分)

AB+CD→ACD 回头+待会儿→回待会儿 (しばらくしてから、後で)

B 類 類義語同士を組合せて合成するタイプ

①果然+不出所料→果不然 (予想どおり、果たして)

②难道+不成→难不成 （まさか…ではあるまい）

江藍生（2008）は以上のような語構成の合成理論をさらに文法レベルに発展させ、「差点没 VP」構文も複合語の場合と同じ合成ステップを経て形成されたと述べている。つまり、「差点」はある事態に接近し、まだ到達していない状態を指しているため、構文で表せば「差点 VP」「没 VP」となる。「差点没」は構文レベルの合成が行われたと考え、「差点 VP」＋「没 VP」→（差点＋没）VP →「差点没 VP」という合成過程を経て得たものだと説明した。

しかし、たとえ江藍生（2008）による「差点没 VP」の合成方法を適切だとしても、新たに発見した「没差点 VP」の合成には応用できない。上に挙げた江藍生（2008）の A 類/B 類のタイプと「没差点 VP」のタイプが一致しない。もちろん、上のタイプ以外に、新しいタイプが存在するかもしれないが、現段階では「没差点 VP」はいずれのタイプとも一致しないとは言えるだろう。

また、江藍生（2008）は「差点 VP」と「差点没 VP」が同じ意味を表せるのであれば、言語の経済性に違反すると考えた。そこで、「差点 VP」は主に事態を描写するための客観的な表現、「差点没 VP」は事態を描写する上、話者が事態に対する態度または意見も述べるための主観的な表現だと主張した。しかし、「差点」自体がそもそも話し手の主観的判断である。よって、江藍生（2008）の言う客観・主観の決定はどこに置かれるのかは問題である。

2.3.2.2 朱德熙（1959）の分析

朱德熙（1959）では VP が話者にとって望ましくない事態である場合、「差点没 VP」が否定の意味を表し、事態が実現されていないと述べている。ここで 3.1 節での例をもう一度見てもらいたい。2.3.1 節での VP がそれぞれ「雇保镖，头撞到桌上，冻死，从床上滚下来」（ボディーガードを雇う、頭が机にぶつかる、寒さで死ぬ、ベッドから転び落ちる）となっている。これらは全て望ましくない事態である。これらの VP を「没差点 VP」構文に入れると、構文全体の意味としては否定の意味となっている。すなわち、構文が表す事態が実現されていない。よって、「没差点 VP」に朱德熙（1959）の分析が応用できる。

さて、望ましい事態の場合はどうなるだろうか。漢語母語話者にインタビュー調査を行った。その結果、「没差点 VP」は語彙レベルにおける望ましい VP での出現が見つからず、望ましくない VP に偏ることが分かった。例えば、(2-13)、

(2-14)は容認されるが、(2-11)(2-12)は容認されない。

(2-11)* 没 差点 赶上 末班车。

NEG もう少しで 間に合う 終電

「もう少しで終電に間に合うところだった。」

(2-12)* 没 差点 考上 大学。

NEG もう少しで 受かる 大学

「もう少しで大学に受かるところだった。」

(2-13) 没 差点 摔倒。

NEG もう少しで 転ぶ

「もう少しで転ぶところだった。」

(2-14) 没 差点 把 头 撞 桌 上。

NEG もう少しで 処置文マーカー 頭 ぶつかる テーブル 上

「もう少しで頭を机にぶつかるところだった。」

語彙レベルにおける VP の望ましさによる「没差点 VP」の偏った分布の原因については、より詳しく検討しなければならないが、ここでは朱德熙（1959）の分析が応用できると判断できる。

以上、「没差点 VP」は「差点没 VP」と同じく余剰否定であることを述べた。その上で、先行研究に取り上げられた「差点没 VP」への分析方法を、「没差点 VP」に応用可能か否かを考察した。その結果、江藍生（2008）の語構成は応用できず、朱德熙（1959）の語彙意味論のほうが応用できることが実証された。以上により、「没差点 VP」と「差点没 VP」はともに朱德熙(1959)の語彙意味論による分析がより適切に応用されうることが分かった。

2.4 語用論的要因の可能性

構造と意味とのずれの原因として、述語の持つ語彙上の意味以外に、場面による文脈の違いや発話者の意図が考えられる。述語の持つ語彙上の意味に関してはすでに第 2.3 節で述べていた。本節では残り二つを考察していきたい。

2.4.1 文脈

話者の発話は具体的な場面に応じて、異なる意味をもつ可能性がある。本節では場面による文脈の違いがその要因になっているかどうかを検討する。筆者は、

「差点没 VP」を VP の望ましい、望ましくないによって 2 種に分け、文脈を調整し、20 代の漢語母語話者 25 人（男性 7 人、女性 18 人）にアンケート調査を行った。表 2-1 を参照されたい。

表 2-1 「差点没 VP」文脈調整調査（筆者の調査による）

VP	構文の意味	事態の結果	文の成立判断	人数
望ましい	肯定的	実現	○	20
			△	5
	否定的	非実現	×	25
望ましくない	肯定的	実現	×	25
	否定的	非実現	○	18
			△	4
			×	3

表 2-1 を見てみよう。望ましい VP の場合、構文全体の意味が肯定的で、事態は実現されたと解釈される。一方、望ましくない VP の場合、構文全体の意味が否定的で、事態が実現されていないと解釈される。この結果から分かるように、文脈を調整しても、朱德熙（1959）と異なる結果が出なかった。すなわち、場面による文脈の違いで、構文の意味が変わるという可能性が排除された。

具体的な例としては以下のようなものがある。

望ましい例

(2-15) 那本书 我 差点 没 买着， 我 去 的 时候

その本 私 もう少しで NEG 手に入れる 私 行く の 時

就 剩 一本 了。

副詞 残る 一冊 le

「その本もう少しで手に入らないところだった。買いに行ったとき、一冊しか残らなかった。」

(2-16)* 那本书 我 差点 没 买着， 可惜 呀，

その本 私 もう少しで NEG 手に入れる 残念 感嘆詞

到 我 前面 一个人 正好 没 了。

前置詞 私 前 一人 ちょうど なくなる le

「その本もう少しで手に入らないところだった。残念ながら、私の番になる前に売り切れてしまった。」

望ましくない例

(2-17) 这 杯子 差点 没 打碎, 还好 让 我 给 接住 了。

この コップ もう少しで NEG 割る 幸い 使役マーカー 私 前置詞 受け取る le

「このコップはもう少しで割るところだった。幸いに私に受け取った。」

(2-18)* 这 杯子 差点 没 打碎, 我 都 接住 了

この コップ もう少しで NEG 割る 私 副詞 受け取る le

可 又 掉 地上 了。

しかし また 落ちる 地面 le

「このコップはもう少しで割らないところだった。受け取ったのに、また落ちてしまった。」

漢語母語話者にアンケート調査をした結果、(2-15)、(2-17)は容認されるが、(2-16)、(2-18)は容認されない。さらに、多くの漢語母語話者は「差点没」の後ろの語彙をみてすぐ判断をした。VP で文の意味を決定するから、後ろの文脈も容易に予測される。予測に反する場合、非文であると指摘された。(2-16) は「差点没买着」は「手に入れた」という意味で、後ろの文脈での「手に入れなかった」とは矛盾していて、非文である。(2-18) も同じく、「差点没打碎」は「割っていない」という意味で、後ろの文脈での「割った」とは矛盾しており、非文である。

この調査から、「差点儿没 VP」は前後の文脈により意味が決定される可能性が否定された。その上、語彙レベルの VP の望ましさにより、結果の肯定・否定が決定されることが裏付けられた。

2.4.2 話者の意図

「差点儿没摔倒」は「もう少しで転ぶところだった」と解釈されるのが一般的である。なぜなら、「摔倒」という動詞は望ましくないことを表すからである。ここで、「もう少しで転ばないところだった。」のような解釈はできないだろうか。これは誤った解釈と認識される。なぜなら誰もが「転ぶ」ことを望まないからだ。しかし、もし誰か特別な状況や場面を設定すれば、「転ぶ」ことを望ん

でいる時、「差点儿没 VP」を用いて、「もう少しで転ばないところだった」という意味の文を作れないだろうか。

(2-19) 「フィギュアスケート試合中、浅田真央選手の滑りに対しての反応」

A 浅田真央選手のファン：「転ぶことを望まない」

今天真是太惊险了。三周转落地时稍有些不稳，差点没摔倒。不愧是浅田真央，很快控制住了重心，顺利的完成了动作。真是有惊无险啊。

(浅田真央選手のファンたち：

今日の試合本当にハラハラした。三回転の時、着地が一瞬不安定になり、もう少しで転ぶところだった。さすが浅田真央選手だ、うまくコントロールして、スムーズにできた。本当によかった。)

B 金妍儿選手のファン：「転ぶことを望む」

本想着浅田要是摔倒了的话，冠军就是我们金妍儿的了。

①*哎，差点没摔倒，可惜呀，没摔成。

②哎，差点就摔倒了，可惜没摔成。

(キムヨナ選手のファンたち：

浅田選手が失敗したら、チャンピオンはヨナのものになったのに。

① 残念、もう少しで転ぶところだったのに、転ばなかった。

② 残念、もう少しで転ぶところだったのに、転ばなかった。)

(2-19A) は浅田真央選手のファンの発話であるとする。浅田真央選手のファンたちは浅田真央をチャンピオンになってほしいから、転んでほしくないのは当たり前である。望ましくない VP「摔倒」が「差点没 VP」構文に入ると、「転んでいない」という結果を得る。

しかし、一方、(2-19B) はキムヨナ選手のファンの反応である。同じ試合のチャンピオンは一人しかいない。自分が応援しているキムヨナ選手が勝ってほしいため、ライバルである浅田真央選手がもし転んだら、勝利はキムヨナ選手のものに違いない。「摔倒」は語彙レベルにおいては望ましくない VP であるが、キムヨナ選手のファンたちの角度から見れば、「摔倒」が望んでいる事態である。この場合は (2-19A) は容認され、(2-19B①) は容認されない。転ぶことについて

で発言しようとする、(2-19B②) のようにしかできない。つまり、たとえ特別な状況や場面を設定して、「転ぶ」ことを望んでいる時でも、「差点没 VP」を用いて、「もう少しで転ばないところだった。」という意味の文が作れない。「転ぶ」ことを心の中から望もうとしても、言語レベル(この場合は「差点儿没 VP」)で表現することができない。

以上の考察を通して分かるように、話者の意図によって構文が表す事態の望ましさが変わってしまう場合、「差点没 VP」を使用することは不可能である。すなわち、話者の意図で「差点没 VP」構文の意味が替わる可能性が排除された。

2.5 「差点没 VP」への分析

2.5.1 望ましさの定義

これまで、現代中国語の余剰否定の典型である「差点没 VP」をめぐって、筆者の調査により新たに得た「没差点 VP」のデータを踏まえて、語彙意味論、認知言語学や語構成などの分析を再考察した。余剰否定「差点没 VP」の構造と意味の問題は任鷹(2007)や江藍生(2008)のような話者の主観性や文脈レベルに帰すべきではなく、むしろ、朱德熙(1959)のように述語動詞の語彙レベルの意味が大きく結果事態の予測に影響していると主張した。

そして、構造と意味のずれの原因としては、述語の持つ語彙上の意味以外に、語用論的要因(場面による文脈の違いや話者の意図)が考えられる。そのため、筆者はアンケート調査及び用例テストによる考察を行った。その結果、「差点没 VP」は語用論的要因により意味が決定される可能性を否定した上、VP の語彙レベルにおける事態の望ましさが結果事態の予測に影響することが裏付けられた。

しかし、朱德熙(1959)の研究には問題がないわけではない。これまでの先行研究では、「差点 VP」を分析する際に、話者にとっての望ましい事態及び望ましい VP については、筆者と読者との間に暗黙の了解を得たものとして捉えられ、誰も明確に定義してこなかった。それでは、「望ましさ」とは一体何だろうか。

(2-20) 这下子 差一点 没有 把 张维 气死¹⁴,

¹⁴ 「V 死」の「死」は程度副詞としても、動詞としても使われる。程度副詞の場合はよく「V 死了」という形で出現する。そして、動詞の場合は、前の動詞と組み合わせて、複合動詞を構成する。侯瑞芬(2005)では、「動詞・形容詞+死」という構造を次のような三種類に分けた。

これで もう少しで NEG 処置文マーカー 張緯 死ぬほど怒らせる
 气得 他 直瞪 着 眼, 大 张 着 嘴,
 怒る 助詞 彼 見開く ている 目 大きく 開ける ている 口
 足有 一分钟 没有 说上话来。
 十分に 一分間 NEG 声を出す

「これで張緯さんを死ぬほど怒らせた。彼は怒りで目を見開き、口を大きく開けたまま、一分ほど声を出せなかった。」

石毓智(1993)

(2-21)你, 在 朝鲜战场 是 个 怕死鬼! 我 差点 没有 枪毙 你!

君 前置詞 朝鮮戦場 コピュラ 量詞 臆病もの 私 もう少しで NEG 銃で撃ち殺す 君
 「お前、朝鮮戦争では臆病者だったよ。私はもう少しで君を撃つところだった。」

石毓智(1993)

この二つの例の述語動詞が表す事態「气死（死ぬほど怒らせる）」「枪毙（銃で撃ち殺す）」は全て話者がその実現を望んでいる事態である。先行研究の予測から見ると、文の全体の意味が肯定的意味を表すはずであるが、実際の解釈としては、両方とも否定的意味を表している。これは先行研究での主張と矛盾する。よって、話者が実現を望んでいる事態と語彙レベルでの望ましさととは平行するものではなく、検討すべきだと考える。

以上を踏まえれば、VP の望ましさに対して、より厳密な定義が必要と考える。本論文では次のような定義を行いたい。まず、望ましさの判断は語彙レベルでなされとする。そして、語彙レベルにおける VP の望ましさととは社会や文化で共有された知識から連想され、漢語母語話者であれば、誰でも同じ判断を下せるものとする。語彙レベルにおける VP の望ましさは公共社会の約束や慣例化した文化の約束を受け、一定的なものとなっているとする。そのため、2.4.2 節で述べてきたように、話者個人の価値観や意図で一般的な VP の望ましさを変えることができないという点はかえってその証明になるのではないかとと思われる。

①は「破壊させる、消滅させる」の意味を持つ類。例えば：咬死、烧死；

②「固定する、約束する、閉じさせる」の意味を持つ類。例えば：堵死、说死；

③人・ものの属性を表す一般形容詞や、味覚など身体状態や心理感覚を表す形容詞、心理活動を表す動詞。例えば：累死、气死。

また、①と③の意味を両方を持つ動詞が存在する。ここでの「气死」は「怒って死ぬ」という①の意味にもなれるし、「死ぬほど怒る」という③の意味にもなれる。ここでの「气死」は後ろの「死ぬほど怒る」の意味になる。

この定義に従うと、上の例も説明可能となる。(2-20) (2-21) で使われている VP (「气死」、「枪毙」) はいずれも話者が望んでいる事態であるにもかかわらず、語彙的に依然として望ましくない VP である。よって、否定的意味となる。つまり、語彙レベルでの望ましさが関与していることが分かる。

余剰否定の結果事態に関する解釈条件を具体的に書き直せば、以下のようになるとまとめられる。

表 2-2 「差点没 VP」の語彙的な解釈①

語彙的に望ましい VP の場合、肯定形式が否定的意味を表し、否定形式が肯定的意味を表す。 語彙的に望ましくない VP の場合、肯定形式も否定形式も否定的意味を表す。
--

2.5.2 望ましさが指定されない VP について

これまで、語彙的な VP の望ましさにより、VP を 2 種類(望ましい VP、望ましくない VP)に分けて分析してきた。しかし実際には、データを調査した結果、望ましさが指定されない VP も存在することが分かった。

(2-22) 朱同学：我 今年 被 无锡 一所大学 录取， 差点 没 去¹⁵

私 今年 受け身マーカー 無錫 ある大学 採用 もう少しで NEG 行く

我在省重点高中读书，平时成绩不错，可高考成绩仅比“二本线”高 8 分。去查试卷才发现，“语文”和“综合”两科答卷上选择题的顺序弄错了，一下子少了 90 多分。开始我很痛苦，发誓要再补习一年，考上名牌大学。后来征求了亲友意见，大部分人认为考上了就应当去读。我也想通了，这样稳一些，将来考一个名牌大学的研究生，不是一样的吗？

(人民日报・华东新闻 2001.09.20 第 2 版)

「朱さん：私は今年無錫のある大学に入学を許可されたが、もう少しで行かないところだった。(略)」

¹⁵ ここでの「差点没去」は、中国語ネイティブにとっては文脈がなくても意味が一定している。つまり「行った」という肯定的意味になる。別の例を挙げると、

(i) 蒋雯丽：没有，拿奖这种东西是可遇不可求的，金鹰节颁奖我都差点没去，因为已经开始进组前准备很紧张，我还说我不去了，因为也没想过自己会拿那么多奖。

「蒋雯丽：いいえ、賞を取ることが求めればもらえるものではないから、金鷹節授賞式でさえもう少しで行かないところだった。(略)」→余剰否定 肯定的意味

(2-23) 他拿到钱后吹着口哨像小鸟似地离开了，维克多和我忍俊不禁，

差点儿 没 在画廊中央 跳起舞来。

もう少しで NEG 画廊の中央で 踊りだす

「彼がお金を取った後、口笛しながら鳥のように出て行くのを見て、ビクトと私は笑いをこらえきれず、もう少しで画廊の中央で踊りだすところだった。」

(阿尔芒・哈默《亿万富翁搜遍世界》)

(2-24) 当时 我 高兴 得 像 个 孩子， 差点 没 跳起来。

当時 私 嬉しい 助詞 ようだ 量詞 子供 もう少しで NEG 跳び上がる

「当時、私が子供のように嬉しくて、もう少しで飛び上がりそうになった。」

(文定楷《红旗下的光辉》)

語彙レベルから見れば、(2-22)、(2-23)、(2-24)の VP「去」「在画廊中央跳起舞来」「跳起来」はいずれも望ましが指定されない VP である。しかし、結果事態から見ると、(2-22)は肯定的意味となる一方、(2-23)、(2-24)は否定的意味となる。つまり、(2-22)の VP は望ましい VP と、(2-23)、(2-24)の VP は望ましくない VP と同様の振る舞いを見せている。これらはどのようなメカニズムで分けられているだろうか。ここで「デフォルト」と「ノンデフォルト」の概念を以下で導入したい。

2.5.2.1 デフォルトとノンデフォルト

刑福义(1991)の用いる「デフォルト」では、動作と出来事との間に築き上げたデフォルト関係である。この種のデフォルト関係は中国語話者に共有されていると指摘している。

また、儲泽祥 (2000) も次のように述べている。名詞と動詞との組み合わせは、デフォルトとノンデフォルトに分けられる。デフォルトタイプとは通常的、安定的、知識として共有されている、予測可能、活性化されやすいタイプである。ノンデフォルトタイプは非日常的で、不安定であり、知識として共有されていず、予測しがたい、活性化されにくいタイプである。ノンデフォルトタイプは往々にしてメタファーや一般化によって形成されるものが多い。このように形成されたものは長い間使用されると、安定してデフォルトタイプになって

しまうこともある。さらにデフォルトの組み合わせとノンデフォルトの組み合わせとの境目は明確ではないが、連続していると指摘している。この概念を図式化すると、図 2-1 のようになる。

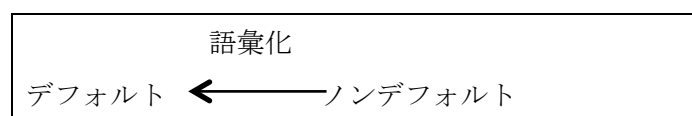


図 2-1 デフォルトとノンデフォルトとの関係図

具体例としては図 2-2 を見よう。

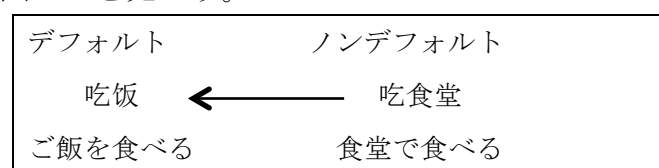


図 2-2 デフォルトとノンデフォルトとの関係図

たとえば、「吃(食べる)」はよく「飯(ご飯)」と組み合わせたり、「吃饭(ご飯を食べる)」になる。このタイプはデフォルトタイプである。しかし、「吃食堂」のような表現も存在する。これは「吃(食べる)」と場所名詞「食堂(食堂)」が組み合わせたものである。ただし、ここでの意味は「食堂を食べる」ではなく、「食堂で食べる」という意味になる。このタイプはノンデフォルトタイプである。元来「吃食堂」が一部分の人の間に使われた言い方であるが、長い間使用されることにより、現在は使用頻度が高い表現となった。ノンデフォルトタイプの「吃食堂」は現在デフォルトになりつつある。

この考え方にに基づき、例 (2-22)、(2-23)、(2-24)を分析していく。

(2-22) 「去」というと、「去超市」(スーパーに行く)「去上班」(出勤する)「去上学」(学校に行く)と連想するのは一般的である。よって、ここでの「去上大学」はデフォルトタイプになり、肯定的意味である。これは望ましい VP と同じ振る舞いをしている。

(2-23) 普通、ダンスするというと、ダンスホールか披露する舞台かと連想する。画廊でダンスするとはある種異質である。ここでの「在画廊中央跳起舞来」はノンデフォルトタイプになり、否定的意味である。これは望ましくない VP と同じ振る舞いをしている。

(2-24) 人の状態としては、普通歩く、座るなどと連想するが、「飛び上がる」

こと事態は普通ではない。ここではノンデフォルトタイプになり、否定的意味である。これは望ましくない VP と同じ振る舞いをしている。

以上の例を通して、デフォルトタイプが望ましい VP と、ノンデフォルトタイプが望ましくない VP と同じ振る舞いをしていることが示された。

望ましさに関わない VP		VP		「差点没 VP」の結果状態の解釈	
デフォルト	→	望ましい VP	→	肯定的意味	
ノンデフォルト	→	望ましくない VP	→	否定的意味	

図 2-3 「差点没 VP」の語彙的な解釈②

2.5.2.2 発話者の期待

他方、次のような例も存在する。

(2-25) 差点儿 没 踢进去。(朱德熙 1980)

もう少しで NEG 入る

「もう少しでボールが入るところだった。」

試合を見る観客は応援するチームが特になかったら、どのチームがどのチームを攻めて点数を取ったかとは関係なく、誰でもゴールインを見たいわけだから、「踢进去」は一般的にデフォルトとして解釈され、望ましい VP と同じ振る舞いをする。

しかし、明らかに応援するチームがある場合はどうなるだろうか。

(2-26)[甲乙両チームが試合中。ボールが甲方のゴールに向かって飛んでいたが、バーにあたってゴールインできなかった]

a 甲の発言：差点没踢进去。[没踢进去]「ボールが入っていない」

b 乙の発言：*差点没踢进去/ 差点就踢进去了。[没踢进去]「ボールが入っていない」

(2-27)[甲乙両チームが試合中。ボールが甲方のゲートに向かって飛んでいたが、ゲートにあたり弾きでたところ、乙チームのメンバーがチャンスを捉え、シュートしてゴールインした]

乙の発言：差点没踢进去。[踢进去了]「ボールが入った」

例(2-26)、(2-27)を見ると、発話者の期待が結果解釈に影響していることが分かる。期待している場合、肯定的意味となり、期待していない場合、否定的意味となる。(2-27)はボールが入るのを期待している例で、(2-26a)は期待していない例である。具体的に、例(2-26a)を見てみると、試合中、ボールが応援するチーム甲のゲートに向かってきている時、「入らないでほしい」と祈る。つまり、ボールが入るのを期待していない。(2-26a)の発言の結果事態が「入っていない」という否定的意味になっている。

よって、語彙的な望ましさが VP で指定されない場合については、結果解釈として、「発話者の期待」の解釈は語彙的なデフォルト解釈より優先されると結論づけたい。以上を図式化すると、次のようになる。

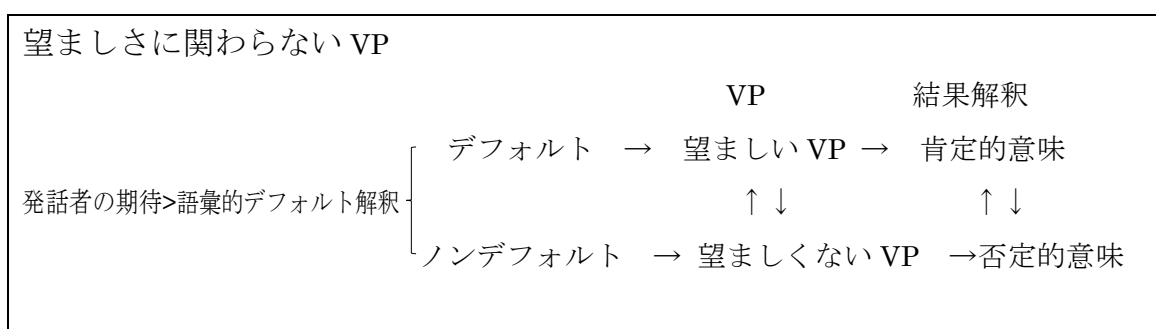


図 2-4 「差点没 VP」の語彙的な解釈③

2.6 語否定や文否定による再検証

序章ですでに紹介したように、否定表現には「文法的否定表現」(または文否定)と「語彙的否定表現」(または語否定)の二種がある。工藤(2000)では、文法的否定形式は「基本的に<述語否定=文否定>であって、主語と述語のむすびつき(ネクサス)を否定するもの」とし、語彙的否定形式については、「主語と述語との結びつきを否定するものではない<語否定>」と、述べている。

中国語も同じように二種に分けることができる。その中、「文法的否定表現」は、否定辞「不」「没(有)」+動詞、形容詞、名詞という形式で示される。「語彙的否定表現」は「不-」「非-」「没-」「未-」「莫-」などの否定接頭辞や語彙自体が否定の意味を含む語で示される。

余剰否定表現「差点没 VP」について、上記図 2-4 で示されるように、VP の語彙的な望ましさにより、「差点没 VP」の結果事態に大きく影響していると主張

した。しかし、上のように、「文法的否定形式」と「語彙的否定形式」で余剰否定表現「差点没 VP」を説明することができないかという疑問がわき上がる。本節では、この疑問を解決するため、再検証を行う。

(名詞句)

(2-28)他是已毕业的学生。 「彼は卒業生である。」

文 否定：他不是已毕业的学生。 「彼は卒業生ではない。」

語 否定：他是未毕业的学生。 「彼は未卒業生である。」

二重否定：他不是未毕业的学生。 「彼は未卒業生ではない。」

(動詞句)

(2-29) 他考上了大学。 「彼は大学に受かった。」

文 否定：他没有考上大学。 「彼は大学に受からなかった。」

語 否定：他考不上大学。 「彼は大学に受からない」

二重否定：他没有考不上大学。 「彼は大学に受からないのではない」

名詞句(2-28)や動詞句(2-29)の文に対して、それぞれ文否定、語否定、二重否定が作られる。「差点 VP」「差点没 VP」にも同じように操作が行える。

「差点 VP」:

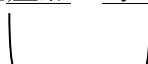
「彼はもう少しで大学に受かるところだった」

「受からなかった」

(2-30)他差点 考上了大学。

→

結果解釈：没有考上



文否定

「差点」は「もう少しで～するところだった」という意味で、否定を含意しているため、否定極性的である。ここでは「差点」の効果で文の意味は否定となっている。

「*彼はもう少しで大学に受からないところだった」

「受かった」

(2-31)他差点 考不上大学。

→

結果解釈：考上了

語否定



文否定

そして、余剰否定「差点没 VP」について、VP が語彙的望ましくない場合、

ここでは否定極性語「差点」と否定辞「没」が共起しているが、結果解釈は否定となっている。言い換えれば、文否定が二回あっても、一回だけカウントされることが分かる。

先の例(2-32)で分かったように、文否定二回出ても、結果解釈には一回だけカウントされるのみである。例(2-33)ではこのルールに従うと、結果解釈は「没录用」(採用されなかった)という否定的意味になるはずである。しかし、例(2-33)の結果解釈は肯定となっているため、例(2-32)で得たルールと矛盾する。つまり、余剰否定「差点没 VP」について、「文法的否定」や「語彙的否定」で説明することができないことは判明された。

37

の調査により新たに得た「没差点 VP」のデータを踏まえて、語彙意味論、認知言語学や語構成などの分析を再考察した。余剰否定「差点没 VP」の構造と意味の問題は任鷹(2007)や江藍生(2008)のような話者の主観性や文脈レベルに帰すべきではなく、むしろ、朱德熙(1959)のように述語動詞の語彙レベルの意味が大きく結果事態の予測に影響していると主張した。

そして、構造と意味のずれの原因として、述語の持つ語彙上の意味以外に、語用論的要因（場面による文脈の違いや話者の意志）が考えられるため、筆者はアンケート調査及び用例テストによる考察を行った。その結果、「差点没 VP」は語用的要因により意味が決定される可能性を否定した上、VP の語彙レベルにおける事態の望ましさが結果事態の予測に影響することが裏付けられた。

また、朱德熙(1959)には、話者にとっての望ましい事態と望ましい VP について、明確な定義がなく、混同しているところがある。この事実を受け、筆者が新たに望ましさを定義した上に、朱德熙(1959)が導きだした規則を書き直した。今まであまり分析してこなかった語彙的に望ましさが指定されていない VP については、新たに VP における動詞と名詞との組み合わせ、つまり、デフォルトとノンデフォルトという概念を導入し、説明を試みた。しかし、語彙的デフォルト解釈で説明できない用例もあるため、発話者からの期待の有無により結果事態が変わることが分かった。

以上をまとめた図は次のようになる。

VP の望ましさ		結果解釈	判定
望ましい VP	→	肯定的意味	真性否定
望ましくない VP	→	否定的意味	余剰否定
望ましさが指 定されない VP	発話者の期待>語彙的デフォルト解釈 デフォルト → ↓↑ ノンデフォルト→	肯定的意味	真性否定
		↓↑	
		否定的意味	余剰否定

図 2-5 「差点没 VP」の VP の語彙的望ましさによる解釈

第 3 章 「险些¹⁶没有¹⁷VP」について

3.1 はじめに

「险些」は 2 種の語彙素「险+些」で構成されたものである。陈霞(2010)によると、近代中国語においては、「险些」を中心に、「险些个」「险些的」「险些些」「险些儿」「不险些儿」「险不」といった 6 つの類似表現も存在した。これら表現の最初の用例が確認されたのは、宋の時代である。つまり、次の王安石の『开元行』という詞の中での「险不」である。「茫茫孤行西万里，逼仄归来竟忧死。子孙险不失故物，社稷陵夷从此始。」ここでの「子孙险不失故物」の「险不」が現代中国語「险些」と同じ意味で、望ましくない語彙が後続される。文全体の意味は「危うく形見を失うところだった」となる。そして、「险些」の用例が元の時代から確認された。また、形式としては「险些+肯定式」だけではなく、「险些+否定式」も確認された。

本来「険しい」という意味で使われる「险」から基本義「危険」を派生し、そこで数量詞「些」に修飾され、「险些」という言葉を誕生させた。現代中国語では「险些」が「危うく…するところだった」という意味で使われている。後続する語彙のほとんどがよくないものであると言われている。

3.2 研究対象

「险些 VP」について、『现代汉语词典』では次のような例をあげている。

(3-1) 马 从 旁边 一闪， 险些 把 我 摔下来。

馬 から 側 体を傾ける 危うく 処置文マーカー 私 落とす

「馬が急に体を傾けたから、私は危うく落とされるところだった」

¹⁶ 「险些」のほかに「险些儿」という言い方も存在する。本論文では「险些」に統一して記述する。

¹⁷ 「险些没」の「没」は、否定辞以外には動詞としての用法もある。本論文では対象外となる。例：

(i) 险些没命。「危うく死ぬところだった。」

(ii) 险些没了留学资格。「危うく留学の資格を失うところだった。」

そして、「险些」に後接する否定辞は「没」のほかに、「不」も存在する（データベース CCL では計 10 例がある）。しかし、「险些不」には余剰否定用法がないため、本論文では対象外とする。例えば：

(iii) 贝肯鲍尔也被一把小刀所累，险些不能登机。

「ベッケンバウアーさんも小さいナイフのせいで、危うく搭乗できなくなった。」

「险些」は「差点」と同じ用法があり、「述語の事態（落とされる）に極めて接近し、結果としてはその事態にならなかった」という意味である。例(3-1)では、「险些」の効果で結果としては「落とされなかった」という否定的意味を表している。よって、ここでの「险些」が否定極性的である。しかし、次のような例もある。

(3-2) 马 从 旁边 一闪, 险些 没 把 我 摔下来。

馬 から 側 体を傾ける 危うく NEG 処置文マーカー 私 落とす

「馬が急に体を傾けたから、私は危うく落とされるところだった」

例(3-2)は(3-1)に否定辞を加えたものである。否定極性的である「险些」が否定辞「没」を後続されると、「否定+否定=肯定」という二重否定で文全体の意味が「落とされた」という肯定的意味になるはずである。ところが、例(3-2)は否定辞があるにも関わらず、結果として依然として否定的意味を表している。よって、ここでの否定辞「没」が否定の役割を果たせず、「险些没 VP」が余剰否定であることが分かる。本章ではこのような「险些没 VP」の余剰否定現象を考察していきたいと思う。

3.3 先行研究と問題の所在

余剰否定現象「险些没 VP」を対象にした先行研究がほとんどなく、見つかったのは陈霞(2009、2010)が発表した2本の論文や陈荣华(2004)だけである。

陈霞(2009、2010)では、近代中国語における「险些」を対象に通時的に考察を行った。「险些」は単一形式ではなく、6つの類似形式（「险些个」「险些的」「险些些」「险些儿」「不险些儿」「险不」）を持ちながら、時代とともに発展してきた。現代中国語では「险些」と「险些儿」だけ残った。そして、「险些」は肯定形式と否定形式があり、また後続する VP が望ましい VP と望ましくない VP と分けられると述べられた。

そして、その他の余剰否定現象(主に「差点」)を考察する際に、ついでに現象だけを取り扱う論文もある(例えば、张谊生(2005)など)。しかし、主な対象としてではないため、データ確認や分析などが不十分である。その上、「差点」などのその他の余剰否定現象の分析方法をそのまま用いる傾向がある。

3.4 「险些没有 VP」

これまで、余剰否定「险些没有 VP」を説明する際に、そのまま余剰否定「差点没 VP」の説明を用いることがほとんどである。ただし、「差点没 VP」とは違い、「险些没有 VP」の VP が望ましくない VP だけが存在すると言われている。このような朱德熙(1959)の語彙意味論の説明は定説となり、辞書でもそのまま用いられている。『現代汉语词典』がその一例である。すでに、第 2 章で述べてきたように、朱德熙(1959)の語彙意味論では語彙 VP の望ましさと話者にとっての望ましい事態と混同している。その点を踏まえ、新たに望ましさを定義し直し、VP を語彙的に望ましいか否かで判断することにした。

例(3-2)の VP が「把我摔下去」が語彙的に望ましくない VP となっていて、文が余剰否定である。多くの先行研究では、「险些没有 VP」の VP が望ましくない VP だけが存在すると主張しているが、語彙的に望ましい VP は本当に後接できないのか。そして、「差点没 VP」と同じ方法で解釈することが適切であるかはまだ検証する余地があると思う

データベース CCL で「险些」を検索した結果、「险些」は 1362 例がある。その中に「险些没」は 14 例しかなかった。そして、人民日報のウェブデータベースで検索した結果、「险些」は 3327 例がある。その中に「险些没」は 9 例がある。これから、VP の望ましきから、それぞれの用例を確認していきたい。

3.4.1 VP が望ましい場合

「险些没有 VP」の VP が望ましい場合の例は、以下のようなものがあげられる。

(3-3) 即便如此，曼联还是 险些 没 拿下 对手，

危うく NEG 勝つ 相手

如果不是维季奇补时阶段补射入网，曼联就要吞下一场无比郁闷的平局了。

「それにしても、マンチェスターが危うく負けるところだった。Marko Verkić がインジュリー・タイムにゴールインで一点を取らなかったら、マンチェスターがこの憂鬱な引き分けに終わるところだった。」

(3-4) 考进中国人民大学中文系时，因为看他眉清目秀不像苦孩子，

险些 没 给 助学金。

危うく NEG 与える 奨学金

中国人民大学中国語科に進学してきた時、彼は眉目秀麗で、苦勞をした子に見えなかったため、危うく奨学金を与えないところだった。

例(3-3)、(3-4)の VP が「拿下对手」(相手を勝つ)「给助学金」(奨学金を与える)となり、いずれも望ましい VP である。そして、文全体の意味結果は「相手を勝った」「奨学金を与えた」という肯定的意味となっているため、例(3-3)、(3-4)が真性否定である。

(3-5) 那天上午，她像往常一样到楼下的报摊点买报，可能大家从前一天的预告中已经知道报中“藏”宝，因此当天的《江南时报》相当抢手，

她 再 迟一步 就 险些 没 买着。

彼女 もっと 遅い 前置詞 危うく NEG 手に入れる

「その日の午前中、彼女はいつも通りにマンション下の新聞売り場で新聞を買った。その前の日の予告では、宝が新聞の内容に隠されていることがみんなには分かっているようで、その日の『江南時報』が相当人気だった。彼女ももう少し遅ければ、手に入れられないところだった。」

(3-6) 姐姐没搭理我这茬儿，而是递给我 46 元钱，说：“这是你的找零，下次让我洗衣服时，千万别在口袋里再放百元钞票了，

这回 我 就 险些 没 找开。”

今回 私 前置詞 危うく NEG お釣りを用意できる

「お婆さんは私を相手にせず、46 元を渡してくれた。“これはあなたの釣りです。今度洗濯させる時、ポケットに額面 100 元の紙幣を入れないでください。今回は危うくお釣りを用意できないところだった。”と言った。」

そして、例(3-5)、(3-6)の VP は「买着」(手に入れる)「找开」(お釣りを用意できる)となり、両方とも望ましい VP である。文全体の意味は「手に入れた」「釣りを用意できた」という肯定的意味となっているため、例(3-5)、(3-6)も真性否定である。

まとめてみると、次の表のようになる。

表 3-1 語彙的解釈①

VP が望ましい場合	結果解釈	判定
	肯定的意味	真性否定

3.4.2 VP が望ましくない場合

「险些没有 VP」の VP が望ましくない場合、以下のような例があげられる。

(3-7) 赵雯走过去一听是魏刚的声音, 先是露出惊喜, 但很快脸色骤变, 身子晃了晃
险些 没 跌倒, 泪水也马上涌出了眼眶。

危うく NEG 転ぶ

「趙雯は歩いて行って、魏剛の声を聞こえると、最初は嬉しい顔をしたが、すぐ顔色が変わって、体も左右に揺れ動き、転びそうになり、涙もすぐ流れ出た。」

(3-8) 豆儿和田平都是首次受此厚待, 自是豪兴大发、痛快淋漓地喝了个尽醉,
险些 没 在 回家 的 路上 撞到 电线杆。

危うく NEG に 帰宅 の 道路 ぶつける 電信柱

「豆ちゃんと田平はこんな接待をしてくれたのは初めてだったので、酔っ払うまで思い切りに飲んだ。帰り道に電信柱にぶつかる場所だった。」

例(3-7)、(3-8)の VP が「跌倒」(転ける)、「在回家的路上撞到电线杆」(帰り道に電信柱にぶつける)となり、いずれも望ましくない VP である。文全体の意味結果としては、「転ばなかった」「帰り道に電信柱にぶつかなかった」という否定的意味になる。よって、例(3-7)、(3-8)は余剰否定である。

(3-9) 己少了一个包, 而且恰恰是装照像机和胶卷的包。

李玉祥如雷轰顶, 险些 没 晕倒!

危うく NEG 気絶して倒れる

「もう鞆ひとつがなくなり、それもちょうどカメラやフィルムを入れた鞆である。李玉祥さんはびっくりして、気絶して倒れそうだった。」

(3-10) 侯玉成逃婚, 险些 没 把 他老娘 气得 发了疯,

危うく NEG 処置文マーカー 彼の母 怒る 補語 狂う

派出各路兵马，满天津卫搜寻，一点踪影也没。

「侯玉成さんが結婚を逃げたことで、彼の母を怒らせ、気を狂わせかねなかった。いろんな人を出して、天津であちこちをさがしたが、侯玉成さんの姿も見えなかった。」

そして、例(3-9)、(3-10)の VP が「暈倒」(気絶して倒れる)「把他老娘气得发了疯」(彼の母を狂うほど怒らせる)であり、両方とも望ましくない VP となっている。文全体の意味結果は「倒れなかった」「怒らせて狂わせなかった」という否定的意味となっている。よって、例(3-9)、(3-10)も余剰否定である。

まとめてみると、次の表のようになる。

表 3-2 語彙的解釈②

VP が望ましくない場合	結果解釈	判定
	否定的意味	余剰否定

3.4.3 VP の望ましさが指定されない場合

「险些没有 VP」の VP の望ましさが指定されない場合、以下のような例があげられる。ただし、データベースでの実例が非常に少なく、ノンデフォルトと解釈される実例が見つけれなかった。

(3-11) 我今年被无锡一所大学录取， 险些 没 去。

危うく NEG 行く

「私は今年無錫の大学に採用されて、もう少しで行かないところだった。」

例(3-11)の VP は「去」(行く)であり、語彙的の望ましさが指定されない VP となる。ここでの VP「去(大学)」は一般的行いであるため、デフォルトになる。よって、例(3-11)の文全体の意味結果としては、「(大学に) 行った」という肯定的意味となり、真性否定である。

以上をまとめてみると、次の表のようになる。

表 3-3 語彙的デフォルト解釈

VP の望ましさが指定されない場合	語彙的デフォルト解釈	結果解釈	判定
	デフォルト	肯定的意味	真性否定
	ノンデフォルト	－	－

3.5 本章のまとめ

本章では「险些没有 VP」を対象として、その余剰否定用法を考察してみた。

まず、「险些没有 VP」に関する先行研究が通時的研究以外、主な研究対象としての研究がほとんどない。この事実を受けて、本章ではデータベースで用例を集め、「险些没有 VP」の実態を明らかにした。

そして、新たに修正した語彙的望ましさにより、VP を 3 種類に大別して考察してきた。VP の語彙的な望ましさが指定されない場合、語彙的デフォルト解釈を導入し、説明を図った。

以上を整理してみると、次のような表になる。

表 3-4 「险些没有 VP」の VP の語彙的望ましさによる解釈

VP の望ましさ	語彙的デフォルト解釈	結果解釈	判定
望ましい場合	－	肯定的意味	真性否定
望ましくない場合	－	否定的意味	余剰否定
望ましさが指定されない場合	デフォルト	肯定的意味	真性否定
	ノンデフォルト	－	－

第4章 「几乎没有X」について

4.1 はじめに

現代中国語において、「几乎」はよく使われる副詞である。太田(1987)によると、近代中国語では「几」だけで「ほとんど同じだ」という意味を現せる。その上に、さらに「乎」を加え、「几乎」を構成する。この「乎」は意味がなく、接尾辞と言える。例として、太田(1987)では全部5例挙がっている。その中に、最も早い例としては、「传其常情，无传其溢言，则几乎全。」(庄子・人世间)である。先秦時代から「几乎」が副詞として使われていることが伺える。

「几乎」の意味について、『現代汉语八百词』では、「①表示非常接近;差不多。②表示眼看就要发生而结果并未发生;差点儿。」と述べられている。そして、『現代汉语词典』では、「①表示十分接近;差不多。②表示某种事情接近发生(多用于说话人不希望的事情);差点儿。」と述べられている。このように辞書の説明から見ると、「几乎」の意味がほぼ一致している。つまり、①ある状況に非常に近いことを示し、「差不多」と同じだということ、②今にも起こりそうで結局は起こらなかったことを示し、「差点儿」と同じだということ、の2点になる。本章ではこの「差点儿」と同じ②の用法を取り扱うことにする。

4.2 研究対象

吕叔湘(1994)編『現代汉语八百词』から、次のような例がある。

(4-1a)事情 几乎 办成 了。

事 もう少しで うまく行く 完了

「事はもう少しでうまくいくところだった。」

「几乎」は「差点」と同じ用法があり、「述語の事態(事がうまく行く)に極めて接近しているが、結果としてその事態にならなかった」という意味である。つまり、この例では、「几乎」の効果で結果としては「うまく行かなかった」という否定的意味を表している。よって、「几乎」は否定極性的であるとみなせる。

(4-1b)事情 几乎 没有¹⁸ 办成。

事 もう少しで NEG うまく行く

「事は危うく失敗するところだった」

(4-1b)は(4-1a)に否定辞「没有」を挿入してできた文である。構造から見ると、否定極性的「几乎」＋否定辞「没有」、言い換えれば、「否定＋否定」となっていて、結果は二重否定として説明すると肯定的意味となる。(4-1b)はその通り「うまくいった」という肯定的意味となっている。

(4-2) 几乎 没 摔倒¹⁹。

もう少しで NEG 転ぶ

「もう少しで転ばないところだった」

しかし、上の例のように、否定辞があるにも関わらず、結果として肯定的意味になれず、依然として否定的意味を表している。構造から見ると、否定極性的「几乎」＋否定辞「没有」、言い換えれば、「否定＋否定」となっている。二重否定として説明すると、肯定的意味が期待される。しかし、文全体の意味として、「うまく行かなかった」という否定的意味となっている。つまり、ここでの否定辞「没有」が否定の役割を果たせず、文全体が余剰否定となっている。本章ではこのような「几乎没有 VP」の余剰否定現象を考察していきたい。

4.3 先行研究と問題の所在

「几乎」に関する先行研究は数が少ない。その主たる内容は次の2つがあげられる。

¹⁸ 「几乎」に後続する否定辞が「没有」だけではなく、否定辞「不」や「可能補語の否定」などもある。ただし、これらの使い方には余剰否定用法がなく、本文では言及しないことにする。

例えば、

(i) 他崇尚美国的生活方式，像大多数美国人一样几乎不看纯文学作品。

「彼はアメリカ生活スタイルに憧れ、大部分のアメリカ人みたいに、純文学作品をほとんど見ない。」

(ii) 我对着镜子看，不仔细观察几乎看不出刀口，仅仅疤口的颜色比周围皮肤的颜色稍红一点。

「鏡で見ると、注意深く見ないと、手術の切り口がほとんど分からない。傷口の色が周りの皮膚より少し赤いだけである。」

¹⁹ 本章 4.5 節でも論じるように、「几乎没摔倒」をデータベースで検索しても例文が見つからない。その同義語である「几乎没跌倒」「几乎没滑倒」も同様である。これは「差点没」の影響で作られていた可能性があり、日常に使われている「几乎没」に逸するのである。

まず、近代中国語を対象に、通時的に「几乎」の文法化を述べたものである。その代表は麻爱民(2010)、张慧颖(2014)がある。これらの説明によると、「几」は最初に形容詞か動詞かの差を除けば、「几乎」の文法化の過程はほぼ一致している。先秦時代、「几乎」はまだ一語ではなく、「几「乎+NP/VP」」という形であったとする。「乎+NP/VP」は「几」の接尾辞であった。宋の時代になってから、「几乎」が一語として使われ、頻度も高くなったとされる。この時の「几乎」がさらに文法化し、「差点儿」と同じ用法が現れた。語形としても「几几乎」「几几几乎」のようなものが出始めた。本論文では歴史的研究を主たる対象としていないため、これ以上さらに深く述べることはしない。

そしてこのほかの先行研究として、「几乎」の文法的な意味を修正するものがある。その代表は王凤兰(2006)、岳中奇(2007)がある。二者とも前述した文法的意味①②で説明できない作例をあげ、今までの説明が不十分であり、修正を行った。結論を概括すれば、王凤兰(2006)では、「几乎」の文法的意味①を「ある数量が多い、または程度が深い状況に近いことを示す」と、②を「尋常ではない状況に近いことを示す」と新しくまとめ直した。しかし、「尋常ではない状況」はどのように判断するのかは問題となる。

そして、岳中奇(2007)では、「几乎」の文法的意味②に反する用例を挙げ、これまでの説明では不十分だと論じた後、「几乎」が「不完全飽和」という意味を表すと主張している。その反例としては次のようなものである。

(4-5) 他 刚要 出门, 电话 骤然 响了起来。

彼 しよう 出かける 電話 突然 鳴り出す

「彼は出かけようとする時、電話が突然鳴り出した。」

(4-6) 再 过 两分钟 飞机 就要 起飞 了。

これ以上 たつ 二分 飛行機 すぐに 飛び立つ 1e

「後二分をたつと、飛行機がすぐに飛び立つ。」

例(4-5)(4-6)はいずれも「これから起こりそうで結局起こらなかった」ことを表している。しかし、「几乎」を加えた例(4-5')(4-6')がいずれも非文になる。

(4-5') *他几乎刚要出门, 电话骤然响了起来。

(4-6') *再过两分钟飞机几乎就要起飞了。

非文になる理由としては、「几乎」に後続する VP は次のような条件を満たさないとはいけない。まず、VP が表す事態に結果義を含まないといけない。そして、結果の実現は「几乎」の選択に委ねる。最後に、VP の述語動詞自身が結果義を含むと述べた。筆者もこの点については賛成であり、本論文の他の章にも同様であると言えよう。しかし、岳中奇（2007）でいう「飽和」概念は、数量が予想基準または一定の範囲内の全量基準、または普遍性基準に達することを指し、行為動作の結果が完全実現を含まれることをも指す。上記の説明では、概念自体が広すぎて、かえって全体的な把握が難しくなる危険性がある。

4.4 「几乎没有 X」

CCL データを分析した結果、「几乎没有 X」は「几乎没有+ VP」と「几乎没有+NP」の二種類のタイプがあることが分かる。これから、それぞれ例を見ながら分析していこう。

4.4.1 「几乎没有+VP²⁰」

CCL データで「几乎没有 X」は 4249 例が検索された。その中に、「几乎没有+VP」は 922 例がある。VP については、語彙的な望ましさから、「差点没 VP」と同じく、三種類のタイプが存在することが判明した。

4.4.1.1 VP が望ましい場合

「几乎没有 VP」の VP が望ましい場合、以下のような例があげられる。

(4-7) 中等收入阶层，尽管其名义收入增加了，若扣除通膨及税收的影响，
其 实际收入 却 几乎 没有 增加，购买车辆的投资也没有变化；
その 实际收入 しかし ほとんど NEG 増える

²⁰ 「几乎没有 VP」の VP は動詞句以外に、「几乎没有 VP 什么 NP」という構造よく見られる。CCL で検索した結果、140 例が見つかった。例えば：

(i) 对这个女人他几乎没有留下什么记忆。

「この女に対して、彼はほとんど何の記憶も残っていない。」

(ii) 我赶到医院的时候，她的情况并不很坏，她几乎没有受什么外伤。

「私が病院に急いだ時、彼女の状況はそれほど悪くなかった。彼女はほとんど何の外傷も受けなかった。」

「中等収入階層は、名目で収入は増えたが、デフレや税収の影響を除けば、実際収入がほとんど増えず、車購入への投資も変化が見られなかった。」

(4-8) 可以说, 在这个项目上, 中国选手 几乎 没有 胜 过 日本。

中国選手 ほとんど NEG 勝つ 経験を表す 日本

「このカテゴリーにおいて、中国選手はほとんど日本に勝った事がないとも言える。」

例 (4-7)、(4-8)での VP が「増加」(増える)、「胜过日本」(日本に勝つ)であり、語彙的望ましい VP となっている。文全体の意味解釈は「数が少ないが、増えたかもしれない」、「数が少ないが、日本に勝ったことがあるかもしれない」という肯定的意味となっている。よって、余剰否定ではないことが分かる。

(4-9) 由于历史的原因, 欧美、南韩、日本市场是闽旅十分薄弱的环节,

过去 几乎 没 得到 开发。

過去 ほとんど NEG 得る 開発

「歴史的な原因で、欧米、韓国、日本市場は福建旅行のとても弱い部分であり、ほとんど開発されていない。」

(4-10) 目前, 吉普公司年产已超过 6 万辆, 是合资前的 4 倍,

但 工具分厂 的 规模 却 几乎 没 扩大。

しかし 道具工場 の 規模 却って ほとんど NEG 拡大

「現在、ジープ会社は年産が6万両を超え、合資の前に4倍にもなったが、道具工場の規模がそのまま、ほとんど拡大されなかった。」

例(4-9)、(4-10)での VP がそれぞれ「得到开发」(開発される)、「扩大」(拡大される)であり、語彙的望ましい VP となっている。文全体の意味解釈としては、「言うほどではないが、少しは開発されたかもしれない」、「比べればそれほどではないが、前より規模が拡大されたかもしれない」という肯定的意味になっている。よって、(4-7)、(4-8)と同じく、余剰否定ではない。

整理してみると、次のような表になる。

表 4-1 語彙的な解釈①

VP が語彙的に望ましい場合	結果解釈	判定
	肯定的意味	真性否定

4.4.1.2 VP が望ましくない場合

「几乎没有 VP」の VP が望ましくない場合、以下のような例があげられる。VP がそれぞれ「叫你们吓死」「闹过贼」「出差错」「摆脱庸品的困扰」となっている。いずれも語彙的に望ましくない VP である。

(4-11) 早听说山东的刘铁成常来这一带骚扰，还以为是响马，

几乎 没 叫 你们 吓死。

ほとんど NEG させる あなたたち 死ぬほどびっくりする

「山東省の劉鉄がよくここら辺に来て騒がすのを前から聞いたから、強盗かと思って、死ぬほどびっくりされた。」

(4-12) 因为祁家在这里住过了几十年，几乎 没有 闹过贼。

ほとんど NEG 泥棒が来た事がある

「祁家がここで十数年を過ごしたから、泥棒なんてほとんど来たことがない。」

例(4-11)、(4-12)での VP が「叫你们吓死」(死ぬほどびっくりされた)、「闹过贼」(泥棒が来た事がある)となり、望ましくない VP となる。文全体の意味結果としては、「びっくりされた」、「極めて少ないが、泥棒が来た事があるかもしれない」という肯定的な意味になる。

(4-13) 王景不笨，王景说你的一招一式 几乎 没 出 一点 差错，

ほとんど NEG 出る 少し ミス

功夫真是臻于化境。

「王景さんは頭が悪くない。王景さんはあなたの一挙手一投足がちっともミスがなく、ほぼ完璧にできている。あなたのゴンフーは本当に神業のようだった。」

(4-14) 法国名牌企业主们，

几乎 没有 一家 能 摆脱 赝品 的 困扰。

ほとんど NEG 一社 助動詞 逃れる 偽物 の 悩ませる

「フランスのブランド企業らがほとんど偽物に悩まされている。」

そして、例(4-13)、(4-14)の VP が「出差错」(ミスが出る)、「能摆脱赝品的困扰」(偽物に悩まれる)という語彙的に望ましくない VP となっている。文全体の意味結果としては、「全体に影響しない程度または分からないぐらいに留まるが、ミスがしたかもしれない」、「偽物に悩まされている」という肯定的意味となっている。

まとめると、次のような表になる

表 4-2 語彙的な解釈②

VP が語彙的に望ましくない場合	意味解釈	判定
	肯定的意味	真性否定

4.4.1.3 VP の望ましさが指定されない場合

「几乎没有 VP」の VP において望ましさが指定されない場合、以下のような例があげられる。

(4-15) 尹冰 回 军区 几乎 没 休息

尹冰 戻る 军区 ほとんど NEG 休む

就 被 电话 叫 去 了 机关。

副詞 受け身マーカー 電話 呼ぶ 行く le 機関

「尹冰が军区に戻り、ほとんど休めず、すぐ電話で機関に呼ばれた。」

(4-16) 除此之外，几乎 没 尝 过 其他 味道。

ほとんど NEG 食べる 経験を表すマーカー その他 味

「これ以外に、その他の味はほとんど食べた事がない」

例 (4-15)、(4-16) の VP はそれぞれ「休息」(休憩する)「尝过其他味道」(そ

の他の味を食べた事がある) であり、いずれも語彙的の望ましさが指定されない VP となっている。文全体の意味解釈は、「休憩というほどではないが、少し休んだかもしれない」、「それほどではないが、その他の味を食べた事があるかもしれない」という肯定的意味となっている。よって、余剰否定ではない。

(4-17) 这一夜 我 几乎 没有 睡着, 她也没有睡。

この一晚 私 ほとんど NEG 寝付く

「この一晚、私がほとんど寝付けず、彼女も寝なかった。」

(4-18) 其实, 从 1991 年患病后, 黄宗英就被医生严格禁止再从事写作,

但 她 几乎 没有 停下 过 手中 的 笔,

しかし 彼女 ほとんど NEG 止める 経験を表すマーケ 手の中 の ペン

细心的读者仍可以在《新民晚报》、《文汇报》上看到时有她的作品发表。

「実は、1991 年病気になってから、黄宗英が先生に執筆活動を禁じられた。しかし、彼女は手の中のペンを止めた事がない。気がきく読者は『新民晚报』『文汇报』の上に、時々彼女が発表した作品を見られる。」

例 (4-17)、(4-18) の VP が「睡着」(寝付く)、「停下过手中的笔」(手の中のペンを休む) であり、いずれも語彙的の望ましさが指定されない VP となっている。文全体の意味解釈は「よく寝付いてないが、全然寝てないではない」、「執筆活動が中断した事がないが、手の中のペンを置いたことがある」という肯定的意味となっている。よって、余剰否定ではないことが分かる。

以上をまとめると、次のような表になる

表 4-3 語彙的な解釈③

VP の語彙的望ましさが指定 されない場合	結果解釈	判定
	肯定的意味	真性否定

前述したように、「几乎没有 VP」の VP を語彙的望ましさにより、三種類に分けて述べて来た。全部をまとめると、次の表のようになる。

表 4-4 「几乎没有 VP」の語彙的解釈

VP の望ましさ	結果解釈	判定
望ましい場合	肯定的意味	真性否定
望ましくない場合	肯定的意味	真性否定
望ましさが指定されない場合	肯定的意味	真性否定

「几乎」の文法的意味は①②の 2 つがある。つまり、①はある状況に非常に近いことを示す。②ある事が起こりそうで結局起こらなかったことを示す。しかし、4.4.1 から 4.4.3 までの考察を見ると、②の文法意味が出現する「几乎没有 VP」はすべて②ではなく、①のある状況に非常に近いと同じ意味になる。こうなると、2 つに分類する必要がなくなる。よって、「几乎」の文法意味は「ある状態または事態に非常に近いことを示す」だけで十分である。

しかし、前述 4.2 節のところに、例 (4-2) のように「几乎没有 VP」が余剰否定用法はあると述べた。そして、CCL データベースで検索した結果、数の少ない余剰否定の実例も見つかった。

(4-19) 韩国队 在 最后阶段 几乎 没 得分, 生生

韓国チーム に 最後段階 ほとんど NEG 点を取る むざと

被 对方 将 比分 拉平。

受け身マーカー 相手 前置詞 スコア 同点にする

「韓国チームは最後の段階で点を取りそうになったが、相手に取り戻され、同点にした。」

(4-20) 猛龙队 不但 在篮板争夺 中 占 尽 优势,

ドラゴンチーム だけでなく ダンクシュート争奪戦に 中 占める 切る 優勢

几乎 没 让 尼克斯 二次 进攻 得分。而且失误也比对手少 7 次。

ほとんど NEG させる ニックス 二度目 攻撃 点を取る

「ドラゴンチームがダンクシュート争奪戦に優勢を保ち、ニックスチームの二度目の攻撃にほとんど点を取らせなかった。それだけではなく、ミスの回数も相手より 7 回少ない。」

(4-21) 南柴 2000 多职工, 连续一年 几乎 没 拿 奖金,

ほとんど NEG もらう ボーナス

职工住房停建，全厂职工还集资 200 多万，艰苦奋斗，一年完成的技改工作量就相当于一个五年计划。

「南柴の 2000 余りの職員は、連続一年間ほとんどボーナスをもらわず、職員住居建設が停止された。しかし、全工場職員は 200 万余りの資金を集め、苦しみに耐えて頑張った結果、一年間完成した技術改革仕事量はほぼ五年分に相当する。」

(4-19)、(4-20)、(4-21)の VP はそれぞれ「得分(点をとる)」「让尼克斯二次进攻得分(ニックスチームに二次攻撃に点を取らせる)」「拿奖金(ボーナスをもらう)」となっている。VP の語彙的望ましさから分析すると、全部望ましい VP となっている。しかし、これらの例文の意味は肯定的ではなく、依然として否定的である。よって、真性否定となれず、余剰否定と考えられる。

(4-22) 贾母年轻时曾在那里落入河中，“几乎 没 淹死”。

もう少しで NEG 溺れ死ぬ

「贾母が若いときあそこの河に落ちた事があり、溺れて死ぬところだった。」

(4-23) 高城的窗户一下打开了，几乎 没 撞着 史今，

もう少しで NEG ぶつかる 史今(人名)

高城瞧史今一眼，目光的焦点立刻转向单杠。

「高城さんの窓が一気にあけられたから、史今さんにぶつかりそうになった。高城さんは史今さんに一目を見て、すぐ視線を鉄棒に向けた」

そして、(4-22)、(4-23)の VP は「淹死(溺れ死ぬ)」「撞着史今(史今さんにぶつかる)」となっている。VP の語彙的望ましさから分析すると、全部望ましくない VP である。上記の分析に従うと、いずれ結果解釈は肯定的意味になるはずである。しかし、2つの例文はいずれも否定的意味となっているため、余剰否定だと判断できる。

以上論じてきたように、CCL データベースでは、「几乎没(有) VP」は 922 例がある。その中に、余剰否定になる例は上記示したように 5 例だけあり、残りの 99.9%は真性否定である。よって、先行研究では、「几乎没(有) VP」が余

剰否定用法を過大に評価されていることが分かった。「几乎没(有) VP」の文法意味は「ある状態または事態に非常に近いことを示す」だけで十分である。

4.4.2 「几乎没有 NP」

CCL データで「几乎没有 X」4249 例が検索された。その中に、「几乎没有 NP」は 3056 例がある。これから、NP の語彙的な望ましさから分析していく。

4.4.2.1 NP が望ましい場合

例 (4-24)、(4-25) の NP がそれぞれ「有一件像样的家具(様になる家具がある)」「有获胜的希望(優勝の望みがある)」となり、望ましい NP になる。文の意味は「それほど立派な家具がないが、家具があるかもしれない」、「優勝する望みがほとんどないが、あるかもしれない」という肯定的意味になり、真性否定である。

(4-24) 书房 里 除了 堆积如山 的 书 和 杂志 之外,
書齋 中 除く 山のように積みあげられる の 本 と 雑誌 以外
几乎 没 有 一件 像样 的 家具。
ほとんど NEG ある 1つ さまになる の 家具

「書齋では山のように積み上げられた本と雑誌以外に、さまになる家具はほとんどない。」

(4-25) 当 埃弗森 的 命中率 只有 30 投 12 中 时,
前置詞 アイバーソン の 命中率 ただ 30 投げ 12 イン 時
76 人队 几乎 没 有 获胜 的 希望。
76 人チーム ほとんど NEG ある 優勝 の 望み

「アイバーソンの命中率は 30 個の中、12 個しか入らない。76 人チームはほとんど優勝する望みがない。」

4.4.2.2 NP が望ましくない場合

次の二例の NP がそれぞれ「有辍学现象(途中退学する現象)」「有人逃票(乗り逃げする人がある)」である。いずれも望ましくない NP となる。文の意味は「途中退学する現象がほとんどないが、あるかもしれない」、「乗り逃げする人

がほとんどないが、あるかもしれない」という肯定的意味になり、真性否定になる。

(4-26) 即使 在 勞力 緊缺 的 70 年代,

たとえ 前置詞 労働力 足りない の 70 年代

中学 也 几乎 没 有 辍学 现象。

中学校 も ほとんど NEG ある 途中退学 現象

「たとえ労働力が足りない 70 年代だとしても、中学校はほとんど途中退学する現象がなかった。」

(4-28) 希腊 几乎 没 有 人 逃票。

ギリシャ ほとんど NEG ある 人 乗り逃げ

「ギリシャではほとんど乗り逃げする人がいない。」

4.4.2.3 NP の望ましさが指定されない場合

(4-29)、(4-30)の二例の NP がそれぞれ「有人跟我打招呼(私と挨拶する人がある)」、「有公告(広告がある)」となっている。全部望ましさが指定されない NP に属する。文の意味としては、「挨拶する人は数少ないが、あるかもしれない」、「広告の数が少ないが、あるかもしれない」になり、肯定的意味になる。よって、いずれも真性否定になる。

(4-29) 没想过, 到 我 去 领 金像奖 那天,

思わぬ 前置詞 私 行く もらう 賞 あの日

现场 几乎 没 有 人 跟 我 打招呼。

現場 ほとんど NEG ある 人 と 私 挨拶をする

「意外にも、私が賞をもらいに行ったあの日、現場では私に挨拶する人がほとんどいなかった。」

(4-30) 在《新共和》，则自由很多，作者能够追求自己的政治兴趣——只要总编辑也感兴趣，就是那样，因为 杂志 上 几乎 没 有 广告。

雑誌 上 ほとんど NEG ある 広告

『新共和』ではもっと自由であり、作者が自分の政治関心を追究する事ができる。総編集長さえ興味を持ってくれば、そのまま載せることができる。雑誌

にはほとんど広告がないからだ。」

以上をまとめると、次の表のようになる

表 4-5 「几乎没 NP」の語彙的な解釈

NP の望ましさ	結果解釈	判定
望ましい場合	肯定的意味	真性否定
望ましくない場合	肯定的意味	真性否定
望ましさが指定されない場合	肯定的意味	真性否定

4.5 「几乎没有 X」の余剰否定用法があるか

すでに 4.2 節、4.4.1.3 節で述べたように、「几乎没有 VP」が余剰否定用法はあると確認した。これらの例は辞書『现代汉语词典』、『现代汉语八百词』に載せてある用例が多い。CCL データベースで確認した実例は 5 例しかなかった。そして、先行研究ではよく「摔倒」を例としてあげられている。しかし、実際にデータベースで「几乎没有 VP」の VP を「摔倒」で検索すると、画面の用例が 0 件であると表示される。類似意味を持つ「跌倒」、「绊倒」、「滑倒」で検索しても、用例が見つからなかった。

ところが、「几乎 VP」の VP を「摔倒」で検索すると、「几乎摔倒」が 16 例があり、「几乎跌倒」が 25 例があり、「几乎绊倒」が 4 例があり、「几乎滑倒」が 2 例がある。「几乎 VP」の VP を「办成」で検索すると、同じく 0 件であると表示される。なぜこのような現象が生じるか、その理由としては次のような要因が考えられる。

まず、データベースで「几乎」を検索すると、その用例数は 51989 例がある。一方、「几乎没」を検索すると、その用例数は 4249 例がある。さらに、その中に「几乎没有 VP」の用例数は 922 例があり、大多数真性否定となっている。言語の経済性理論によると、「几乎没有 VP」の余剰否定用法がこの理論に違反し、非効率であるため、誤解を招かないように、日常で使われる頻度が減少する傾向がある可能性は高いと考えられる。

そして、現代中国語の副詞の余剰否定用法について、最初に発表された論文は朱德熙(1959)の『说“差一点”』である。これをきっかけに余剰否定用法が注目されるようになった。その結果、「差点」の意味解釈方法、つまり語彙意味論をそのまま「险些」「几乎」へ転用されるようになった。辞書での説明がその証

拠である。しかし、実際に「险些」「几乎」はどのように使われている全体像が見えなくなり、かえって混乱した可能性がある。また、経済性理論により、余剰否定用法の用例が少なく、分析する際、肯定形用例に否定辞を入れて作例したりするようになる。このように生まれた用例が実際には使われていなくても、研究上にデータとして生きている可能性もある。

4.6 本章のまとめ

本章では「几乎没 X」を対象として、その余剰否定用法を考察してみた。

まず、「几乎没 X」では「几乎没 VP」と「几乎没 NP」に分けられる。「几乎没 VP」について、先行研究や辞書に掲載された用例や CCL データベースで確認した実例(5 例だけ)を通して、「几乎没 VP」は余剰否定用法があることが判明した。しかし、CCL データベースに限定し、「几乎没 X」では語彙的望ましきから、望ましくない、望ましい、望ましきが指定されない、という 3 つのグループに分けて考察を行った。その結果、いずれも真性否定であり、余剰否定ではないことが分かった。

そして、CCL データベースで「几乎没有 VP」の余剰否定用法が確認されたが、非常に数が少ない。先行研究では「几乎没有 VP」は余剰否定用法があると認識されるその理由を述べた。その可能性としては以下の 3 つをあげた。

第一は誤解を招かないため、経済性理論に反する余剰否定用法が減少している可能性がある。

第二は、先行研究では、「几乎没有 VP」の余剰否定現象を論じるとき、その代表的「差点」への語彙意味解釈をそのまま応用し、過大評価している可能性が高い。また辞書にも同様に説明されているため、実際の状況は十分に分からなくなっている可能性がある。

第三は、議論の際に、実際に使用されているかどうかを確認せず、そのまま肯定形式の上に否定辞を入れて作例している可能性がある。日常の使用状況を別にし、研究用データとして生かしている可能性がある。

第5章 「难免＋否定辞＋X」について

5.1 はじめに

本章では、第2章で記述した「差点」に似た用法を持つ「难免」を考察していきたい。「难免」について、先行研究ではどのように述べられてきたのか、余剰否定としてどのような特質を持つのか、「差点」の分析方法を用いて説明できるのかが考察のポイントとなる。

5.2 研究対象

「难免」は“难”「…し難い」と“免”「免れる」から構成された合成語で、意味構造上「避けがたい」という二重否定の意味となり、この副詞全体としては肯定的な意味となる。しかし、副詞としての「难免」の後ろに否定辞が来ても、否定の意味が表せない場合があるため、「差点」と同じく「余剰否定」に属すると考えられる。ただし、「差点」はすでに実現した事態についての発言である。一方で、「难免」は未実現の事態の可能性についての発言である。このため、「难免」の余剰否定は「难免不X」と「难免没X」の二種類がある。例えば、

- (5-1) a. 难免 犯 错误。 b. 难免 不 犯 错误。
 避けがたい 犯す 過ち 避けがたい NEG 犯す 過ち
 「過ちを犯すのは避けがたい。」

- (5-2) a. 难免 有 风险。 b. 难免 没 有 风险。
 避けがたい ある リスク 避けがたい NEG ある リスク
 「リスクは避けがたい。」

(5-1a)(5-2a)は「二重否定＋VP」で、肯定的意味になる。一方で、(5-1b)(5-2b)は「二重否定＋否定辞＋VP」で、否定辞があるため、論理的には否定的意味になるはずである。しかし、実際の意味は肯定的である。つまり、(5-2b)での否定辞「不」や(5-2b)での否定辞「没」は否定の機能を果たしていない。二つの文はともに余剰否定である。

ところが、「难免」は副詞以外に、次のような使い方もある。

(5-3) 企业 处于 种种 动机, 吹吹牛 也 难免, 何必 那么

企業 から 様々な 動機 ほらをふく も 避けがたい どうして そんなに

兴师动众, 又 开 新闻发布会, 又 在媒体 曝光 呢?

師を興して衆を動かす また 開く 記者会見 また メディアで 暴露する か

「企業は様々な動機により、ほらを吹くこともある。記者会見を開いたり、メディア暴露したりするまで、何もそんなに師を興して衆を動かす必要はあるか。」

(5-4) 这种 失业 同样 也 是 难免 的, 正常 的。

このような 失業 同じく も コピュラ 避けがたい の 普通 の

「このような失業も避けがたく、普通である。」

(5-5) 当然, 写 北京普通人 也 难免 这 两项 罪过。 (张谊生 2000)

当然 書く 北京一般人 も 避けがたい この 2つ 罪

「当然、北京一般人と書いても、この2つの罪を免れることは難しいのだ。」

例(5-3)、(5-4)の「难免」はいずれ述語として使われ、「避けがたい」と言う意味になる。そして、例(5-5)は「…し難い」と「免れる」とは完全に融合していない。それぞれの意味を保持したままである。[难[免这两项罪过]]という構造になる。以上のような場合、いずれも否定辞と共起できず、本論文ではこれ以上に考察しないこととする。

5.3 先行研究と問題の所在

「难免」に関する先行研究はそれほど数多くない。また、類似表現「不免」「未免」との比較研究が目立つ。議論の中心となっているのは、どの品詞に分類すべきか、余剰否定、類似表現との比較という三つである。

まず、現代中国語研究において、「难免」をどの品詞に分類すれば妥当であるかが長年議論されてきた。代表的な辞典において、『現代汉语八百词』では形容詞に、『动词用法词典』では動詞に、『現代汉语虚词例释』では副詞に、とそれぞれ異なる品詞に分類している。さらに、単に1つの品詞だけではなく、2つの品詞の機能を兼ね備えると主張する辞書もある。その代表としては、『現代汉语虚词用小词典』では副詞と動詞、『現代汉语虚词』では副詞と形容詞に分類されると説明している。

张谊生(2000)では、「难免」の文法化に注目し、分布や機能などに着目し、詳

述している。「难免」は「难免 adj—难免 verb(体宾)—难免 verb(谓宾)—难免 adv—难免 conj」という過程を経て文法化されている。その中、「难免 conj」はではじめているが、まだ完全に形になっていないと主張している。しかし、張谊生(2000)では「……是难免的」の中の「难免」を形容詞としている。ただし、この主張が妥当であるかどうかは疑問である。本論文では「难免」は形容詞としての用法はなく、動詞と副詞の2つの用法だけがあると考える。「……是难免的」での「难免」が動詞であり、「难免 VP/AP」での「难免」が副詞である。

そして、余剰否定の研究では、朱德熙(1959)の語彙意味論を用いて説明されるのはほとんどである。ただし、この点については、第2章で議論してきたように、朱德熙の語彙意味論は一部のデータを説明できるが、まだ問題点がある。この問題点は本章では解決したい。

最後に類似表現「不免」「未免」との比較研究においては、三者の間の交替可能性や、それぞれの主観性の度合いが議論されている。本章では「难免」の余剰否定を議論していくため、類似表現「不免」「未免」には触れないことにする。

5.4 「难免+否定辞+X」について

通時的には、高育花(2008)によると、「难」は先秦時代から「容易でない」という意味の形容詞として用いられているとする。その後、動詞「免」を修飾し、「难免」という動詞を形成した。ある理由で動作また状況の発生が避けがたく、客観的に必ず現れるという意味で使われるようになった。その用例が魏晋南北朝時代に出はじめ、明代や清代で次第に増えた。また、李治平(2010)の調査によると、「难免不」は唐代から出はじめた。

共時的に見れば、「难免」の用法は多様である。品詞を問わず、CCLデータベースを用いて調査した結果、「难免」は5853例がある。このうち、「难免不」は243例、「难免没」は13例だけである。余剰否定用法として使われる「难免」が全体の4%しか占めない。言語の経済性原理から見れば、より複雑、かつ重複される余剰否定用法の数が少ないのも無理はない。しかし、「难免」の余剰否定用法が依然存在するにはそれなりの理由があるはずである。「难免」の全体像を記述するには、「难免」の余剰否定用法をさけては通れない。

5.4.1 「难免不+X」 (X= VP, AP)

CCL データの分析の結果、「难免不+X」は「难免不+VP」と「难免不+AP²¹」の二種類のタイプがあることがわかる。VP については語彙的な望ましきから、「差点没 VP」と同じく、三種類のタイプが存在することが判明した。これから、それぞれ例を見ながら分析していこう。

5.4.1.1 X が望ましい場合

X が VP の場合、例(5-6)、(5-7)がこれに当る。例(5-6)を見れば、VP は「被看好」(期待される)で、文全体の意味は「期待されないことも当然だ」という否定的意味であり、真性否定となる。例(5-7)も同様である。

(5-6) 而长期券，由于经济周期性调整中经济、金融形势的短期波动难以预料，其投资的利润风险增大，随着投资者利率意识的加强，
因此 难免 不 被 看好。

避けがたい NEG 受け身マーカー 期待する

(1994 年报刊精选.07；望ましい VP)

「長期券は、経済周期性調整により金融情勢からの短期影響が予測しにくくなり、投資利潤のリスクが増える。投資者利率意識が強まるにつれ、あまり期待されない債権になる。」

(5-7) 小学生上学都需要家长接送，一般学校下午只有两节课，放学早了家长
就难免 不 能 及时 接。

避けがたい NEG できる すぐに 迎える

(1994 年报刊精选.07；望ましい VP)

²¹ 「难免不+AP」での AP は二音節以外に、一音節のものもある。CCL で「难免不」で検索し、243 例がある。この中に、一音節の例は 8 例が見つかった。中国語では一音節より二音節のほうが安定しているため、これらの例が「不」をとって、「难免足」「难免畅」になりにくい。この場合、同じ意味の二音節に入れ替えるのは一般的である（「难免充足」、「难免顺畅」、「难免会臭」）。AP の望ましきから分析すると、例 (i) (ii) が望ましい AP となり、意味が否定的である。一方、(iii) が望ましくない AP となり、意味が肯定的になる。

(i) 论经验，年轻干部难免不足。

「経験からいうと、若い役人はどうしても不足している。」

(ii) 制片厂难以以质论价公平交易，影片的流通也就难免不畅。

「映画製作所は品質で値段を決める公正な取引がなかなか出来ないから、映画の流通もどうしても順調にならないのだ。」

(iii) 现在要把厕所建在屋内，尽管是水冲式的也难免不臭。

「今、トイレを家の中に設置した。水で流すタイプであるとは言え、どうしてもにおいがするのだ。」

「小学生が登校する際、家族の送り迎えが必要である。普通、学校では午後の授業が二コマしかない。もし決まっている時間より早く下校したら、家族はすぐ迎えに行けない。」

そして、XがAPの場合、例(5-8)、(5-9)、(5-10)がこれに当る。具体的に、例(5-9)においてはAPが「高兴」(機嫌がいい)である。文全体の意味は「機嫌が悪くなるのは当然だ」という否定的意味であり、真性否定となる。

(5-8) 出于公心的言行，源于爱心的义举，却招来误读和非议，遇到这样的情形，谁都 难免 不 舒服。

避けがたい NEG 気分がいい

(人民日報 2012.08.03 第 04 版；望ましい AP)

「(略)このような状況になると、誰でも気分が悪くなるだろう」

(5-9)别人 就 以为 他 在 敷衍， 难免 不 高兴。

他人 副詞 思う 彼 ている ごまかす 避けがたい NEG 機嫌がいい

「他の人は彼がごまかしていると思い込んでいるから、機嫌が悪くなるのは当然だ。」
(陈世旭《将军镇》；望ましい AP)

(5-10)但种种尴尬也伴随而至：

从 井 里 引来 的 “自来水”， 难免 不 卫生。

から 井戸 中 引く の 水道水 避けがたい NEG 衛生的

(人民日报 2005. 12.19 第 13 版；望ましい AP)

「いろんな不都合のことも次から次へと現れる：井戸から引いた水道水は、衛生的とはいえないだろう。」

以上をまとめてみると、Xが語彙的に望ましいの場合、XがVPであってもAPであっても、「难免不 X」は真性否定となる。

5.4.1.2 Xが望ましくない場合

XがVPの場合、例(5-11)を見よう。VPは「遭到社会舆论的广泛责难」(広く社会世論に非難される)で、文全体の意味は「広く社会世論に非難されるのも当然だ」という肯定的意味である。よって余剰否定となる。

(5-11) 会议员和政府官员都有不严格遵守法规、漏交养老保险费的纪录，就
难免 不 遭到 社会舆论 的 广泛 责难。

避けがたい NEG 遭う 社会世論 の 広い 非難

(新华网 2004.05.16 ; 望ましくない VP)

「会議員や政府官員はみな厳しく法律規則を守らない、年金を払わない記録があると、社会世論に非難される。」

そして、例(5-12)、(5-13)は X が AP の場合である。例(5-13)を見ていくと、AP は「尷尬」(気まずい)で、文全体の意味は「図書“割引制限法”の実行が難しいだろう」という肯定的意味である。この場合も余剰否定となる。

(5-12)其实其他老师也是如此，大约我们自己当老师也难免 不 势力，

避けがたい NEG 権利や利益に走る

但是没有一块遮羞布当着总是让人看不惯。

(工人日报 2007.09.14 ; 望ましくない AP)

「実は他の先生もそうだ。おそらく我々も先生になったら、権利や利益に走るだろう。しかし、堂々とやると嫌われる。」

(5-13)图书 “限折令” 难免 不 尷尬。

図書 割引制限法 避けがたい NEG 気まずい

(京华时报 2010.01.17 ; 望ましくない AP)

「図書“割引制限法”の実行が難しいだろう。」

まとめてみると、望ましくない X の場合、X が VP であっても AP であっても、「难免不 X」は余剰否定となる。

5.4.1.3 望ましさが指定されない X の場合

X が VP である例(5-14)を見てみよう。VP は「见面」(会う)で、文全体の意味は「会ってしまう」という肯定的意味となる。よって、余剰否定である。

(5-14) 今后，一个大门 进出， 难免 不 见面，

これから 同じドア 出入りする 避けがたい NEG 会う

他 会 不断 向 她 发起进攻。

彼 助動詞 絶えずに に 彼女 攻める

「これから、同じドアで出入りするの、どうしても会うのだ。彼は彼女に攻めつづけるだろう。」

(望ましさが指定されない VP)

しかし、X が AP の場合、例(5-15)を見よう。AP は「一致」(一致している)で、文全体の意味は「ものの見方が一致しないことはままあること」という否定的意味であり、真性否定となる。

(5-15) 对 中央 增加 的 财力 是 用 于 中央 本身

に対して 中央人民政府 増えた の 経済力 コピュラ 使う に 中央人民政府 自身

开支, 还是 用 于 补助 某些 经济 不 发达 地区,

支出 それとも 使う に 補助する ある 経済 NEG 発達 地区

在认识上 难免 不 一致。

認識上 避けがたい NEG 一致する

(望ましさが指定されない AP)

「中央人民政府が増えた経済力に対して、政府自身の支出に使うのか、それとも経済的に発達していない地区への援助に使うのかは、意見が一致しない。」

まとめてみると、望ましさが指定されない X において、X が VP である場合、「难免不 X」は余剰否定となり、X が AP である場合、「难免不 X」は真性否定となる。

以上を踏まえて、図式化すれば、次のようになる。

望ましい X	→	否定的意味	真性否定
望ましくない X	→	肯定的意味	余剰否定
望ましさが指定されない X	{	VP	肯定的意味 余剰否定
		AP	否定的意味 真性否定

図 5-1 「难免不 X」の語彙的な解釈²²

²² X の望ましさの判定が難しい例もある。

随着资金的不断入场，个股的活跃程度变强，投资机会大增。超跌是金，低价是银，从周四网络科技股涨幅居前到周五金融股的强势活跃，其中一些潜力个股后市中期走强表现机会巨大，难免 不 会 跑出 一些 短，中线 飙升 的 黑马。

避けがたい 否定辞 助動詞 出てくる いくつか 短中期 激しく上昇する の ダークホース

5.4.2 「难免没 X」(X=VP)

「难免没 X」は、語彙的な VP の望ましさの観点から検討すると、望ましい X を持つ例が存在せず、望ましくない X と望ましさが指定されない X の 2 種類の存在が判明した。X が VP であるとしているが、ここでの VP は「有 NP」に限られることを断っておきたい。

それぞれの例を見ていこう。望ましくない VP の場合、例(5-16)、(5-17)がこれに当る。具体的に例(5-17)を見てみよう。VP は「有苦难和不幸」(苦難と不幸がある)で、文全体の意味は「苦難と不幸がつきものだ」という肯定的意味であり、余剰否定となる。

(5-16) 一些地方在机构精简中，虽然公务员编制减少了，但财政供养人员的数量却越改越多，其 背后 难免 没 有 权力 自肥 的 嫌疑。

その 背後 避けがたい NEG ある 権力 着服する の 疑い

(京华时报 2010.08.09 第 002 版；望ましくない VP)

「いくつかの地方では政府機関を簡素化する際、公務員の編制により人数が減ったが、財政で養う人数が簡素化するたび、多くなった。その背後に権力で着服をする疑いがあるのも当然だ。」

(5-17)人生 难免 没 有 苦难 和 不幸，但不要永远生活在过去，

人生 避けがたい NEG ある 困難 と 不幸

生命，生活才能有阳光。

(人民日报 2006.08.09 第 16 版；望ましくない VP)

「人生には困難と不幸がつきものだが、ずっと過去のしがらみに惑わされず、前を進むことが肝要である。」

一方、例(5-18)、(5-19)は望ましさが指定されない X の例である。例(5-18)を見ていくと、VP は「有响皮底的大皮靴毫不惭愧的在你面前踱来踱去」である。この文全体の意味は「遠慮なしに大きな音を立てて歩き回っていることもあるだろう」という肯定的意味であり、余剰否定となる。

「いくつかの短・中期株が急に上昇するダークホースとして出てくることもあるだろう。」
(江南時報 2006.12.24 第 27 版) → 肯定的意味/余剰否定

(5-18) 在旅馆里，好像前后左右都是庙会，不到深夜休想安眠，安眠之后

难免 没 有 响皮底 的 大皮靴 毫不惭愧的

避けがたい NEG ある 音がする靴底 の 大きな皮靴 少しも恥ずかしくない

在你面前 踱来踱去。

あなたの前で 歩き回る

(梁实秋《旁若无人》；望ましさが指定されない VP)

「旅館では、両隣がお祭りのようで、深夜にならないとゆっくり休むことができない。寝た後も、遠慮なしに大きな音を立てて歩き回っていることもあるだろう」

(5-19) 他觉得，这种缺乏信念的情绪，并不是他个人特有的，连徐鹏飞，连老奸巨猾的特别顾问，也难免 没 有 类似 的 情绪。

避けがたい NEG ある 類似 の 気持ち

(罗广斌《紅岩》；望ましさが指定されない VP)

「このような自信が足りない気持ちは、彼に特有するのではなく、老獪な顧問でさえも、同じような気持ちを持っていないとはいいがたいだろうと彼は思った。」

以上をまとめて図式すれば、次のようになる。

望ましくない X	→	肯定的意味	余剰否定
望ましさが指定されない X	→	肯定的意味	余剰否定

図 5-2 「难免没 X」の語彙的な解釈

5.5 本章のまとめ

本章では、副詞「难免 X」の余剰否定表現を対象に考察を行った。

まず、「难免」は「差点」とは違い、未実現の事態の可能性についての発言であるため、余剰否定は「难免不 X」と「难免没 X」の二種類があることが確認された。

そして、「难免不 X」は「难免不+VP」と「难免不+AP」の二種類のタイプがある。VP については語彙的な望ましさにより、「3 種類のタイプが存在することが分かった。

また、「难免没 X」は、語彙的な VP の望ましさの観点から検討すると、望ま

し X を持つ例が存在せず、望ましくない X と望ましさが指定されない X の二種類の存在が判明した。

以上をまとめた図は次のようになる。

「难免不 X」の語彙的解釈		意味内容解釈	判定
望ましい X	→	否定的意味	真性否定
望ましくない X	→	肯定的意味	余剰否定
望ましさが指定されない X	{	VP 肯定的意味	余剰否定
		AP 否定的意味	真性否定
「难免没 X」の語彙的解釈			
望ましくない X	→	肯定的意味	余剰否定
望ましさが指定されない X	→	肯定的意味	余剰否定

図 5-3 「难免 X」の X の語彙的望ましさによる解釈

第6章 「好不 X」について

6.1 はじめに

『現代汉语词典 第5版 pp543』は「好不」について次のように説明している。

好不「副」

用在某些双音形容词前面表示程度深，并带有感叹语气，跟“多么”相同。

注意：这样用的“好不”都可以换用“好”，如“好热闹”和“好不热闹”的意思都是很热闹，是肯定的。但是在“容易”前面，用“好”或“好不”意思都是否定的，如“好容易才找着他”跟“好不容易才找着他”都是“不容易”的意思。

好不（副詞）

若干の複音節形容詞の前に置き、程度が甚だしいことを表す。感嘆語気があり、「多么」「とても（…だ）、なんと（…だろうか）」と同じである。

注意：次のように使われる「好不」が全て「好」に置き換えられる。例えば、「好热闹」と「好不热闹」は同じく「とても賑やかだ」という肯定的意味になる。しかし、「容易」の前に「好」または「好不」のどちらを置いても、意味が否定的である。例えば、「好容易才找着他」と「好不容易才找着他」とでは、同じく「不容易」（容易ではない、やっと）の意味を表す。）

本論文では、主に余剰否定用法としての「好不 X」の分布とその条件を分析する。現代中国語に余剰否定「好不 X」について、後接する形容詞または動詞の語彙的な望ましさの有無により、文の意味解釈に影響を及ぼすかどうかを考察することを目的とする。

6.2 先行研究

「好不 X」の多義性について、一番に注目したのは、呂叔湘(1981)である。呂叔湘(1981)では、

「有一些形容词，如“安分，争气，讲理，公平，人道，知足，值得”等等，本身不能用“好”来加强，可是用“不”否定后，就可以用“好”来加强。」

（いくつかの形容詞、例えば“安分，争气，讲理，公平，人道，知足，值得”など

が、語彙自身は「好」に修飾されることができず、否定辞「不」がつけた後に修飾されることができる。）

「这些词语在语义上有什么共同点，很值得研究。」

（これらの語彙は意味上にどのような共通点があるのかは研究する価値がある。）と述べている。

これを契機に様々な議論が行われてきた。その代表的な研究としては、袁宾（1984）、沈家煊（1994）、方绪军（1996）、周明强（1998）、邹立志（2006）などがあげられる。

袁宾（1984）では、近代中国語に使われる「好不 X」を対象に、「好不 X」の歴史的変遷を確認した。まず、構造上、否定式「好不 X」と肯定式「好不+X」の二種に分類される。そして、「好不 X」は、主に否定式単独使用期（唐、宋、元）、否定式と肯定式併用期（明、清）、肯定式単独使用期（現代）という三つの発展段階を経てきた。その中で、肯定式「好不+X」は否定式「好不 X」から生まれたものであることと、否定式「好不容易」は近代中国語から直接的な残存形式ではなく、「好容易」の影響を受けて生まれたものであることを主張した。さらに、袁宾（1987）では、より詳細なデータを分析した結果、「好不 X」の第一と第二の発展段階、つまり否定式単独使用期と否定肯定式併用期との境界を、15、16 世紀に限定した。

沈家煊（1994）では、「好不 X」が存在するものの、「好 X」というペアが存在しないという非対称現象を、意味論や語用論の観点から論じた。まず、「X」を「道义词」を含む特定社会性を帯びる望ましい語彙や、その他の望ましい語彙や、望ましくない語彙の 3 種類に分けた。特定の社会性を帯びる望ましい語彙は本来「好 X」という言い方ができないが、反語を用いれば説明できると指摘した。さらに、「好不 X」の「X」が望ましくない語彙である場合、「不」が文法上の否定辞として機能する。一方、「X」が「道义词」である場合、「不」は否定接頭語になると述べた。最後に、二音節「好不」は語用論的な用法から文法化した結果であると結論づけた。その文法化のプロセスは次のようになる。

「好（引述）不蛮横（反语）→好不（陈述）蛮横 → 好不（陈述）热闹」

方绪军（1996）では、新たに肯定式「好不 X」での「不」は否定辞ではなく、「衬音词」とであると指摘した。つまり、「不」は語気助詞として文中の音節を補うた

めに使われ、語彙自身が実際の意味を持っていない。さらに、先秦時代の「不」の用法を考察し、その観点を証明した。

周明強(1998)では、結果が肯定、否定になる「好不 X」での「X」の特徴を中心に、「好不 X」をより詳細、より煩雑な分類を行った。

邹立志(2006)では、「好不 X」を肯定式・否定式・肯定否定式の三種類に分けた。否定式と肯定式が基本形で、肯定否定式は肯定式から派生したものである。否定式は否定式婉曲から、肯定式は反語式婉曲から来ていると主張した。

6.3 「好不 X」は余剰否定用法がある

すでに述べたように、否定と肯定とは常に対立関係を持っている。しかし、言語形式と意味表出との間が直接的に対応せず、ずれが生じる場合がある。繰り返しになるが、現代中国語における余剰否定とは、否定辞が生起するにもかかわらず、否定の意味を表さない現象を指すことである。「好不 X」も余剰否定の1つとして考えられる。

- (6-1) 他家 院中， 茉莉 花开满树， 芳香 扑鼻；
彼の家 庭には 金木犀 満開する よい香り 鼻をうつ
亲友、邻居，大人、孩子， 济济一堂， 好 (不) 热闹。
親友 近所 大人 子ども 一堂に集まる とても NEG 賑やかだ

「彼の庭には、金木犀が満開し、いい香りが漂っている；親友、近所、大人、子ども、みんな一堂に集まって、とても賑やかである。」

- (6-2) 教练 匆匆 一瞥，便认为 这孩子 没 多大 前途，
コーチ そそくさと 一瞥する 思う この子 NEG それほど 将来
婉言 拒之门外。同事的孩子 好 (不) 伤心，
やんわりと 断る 同僚の子 とても NEG 悲しい
可 依然 痴迷 着 篮球。
しかし 依然と 夢中になる している バスケットボール

「コーチがそそくさと一目をみて、すぐにこの子には将来がないと判断し、やんわりと断った。同僚の子はとても悲しんでいたが、依然としてバスケットボールに夢中になっている。」

例 (6-1) (6-2)では否定辞「不」が存在しているにも関わらず、いずれも肯定形式と同じ意味となる。ここでの否定辞「不」は否定の機能を果たしていないことが分かる。ここから「好不 X」も余剰否定の用法があることが確認できる。

しかし、「好不 X」の意味解釈はすべて肯定的意味になるのではない。例えば、例 (6-3) では「好不容易」を「好容易」に置き換えられるものの、意味としては肯定的意味ではなく、「たやすくない、やっと」という否定的意味となる。

(6-3) 好 (不) 容易 到 了 伦敦, 又 赶上 物价飞涨,

とても NEG 容易い つく le ロンドン また 遭う 物価上昇

中国球员 饮食 难 保, 状态 不 佳。

中国運動選手たち 飲食 難しい 保つ 状態 NEG 良い

「やっとロンドンにたどり着いたのに、物価上昇に遭い、中国運動選手たちは食事が十分取れず、ベストな状態ではない。」

また、諸条件により、肯定・否定のいずれにもなりうる例も存在する。ここでは例だけをあげておくことにする。詳しい分析は 6.5 節で述べる。

(6-4) 一家 四口 三代人 茶余饭后 围 在 电视机 前,

家族 四人 三世代 食後 囲む で テレビ 前

悦目赏心 , 好 不 自在。

心や目を楽しむ とても NEG 穏やか

「家族四人三世代が食後にテレビの前に囲み休憩しているのをみて、心や目を楽しませて、なんと言う穏やかさであろう。」

(6-5) 这种 恐惧 心理 使得 他 夜不成寐,

このような 恐怖 心理 させる 彼 夜も眠れない

心里 好 不 自在, 早晨 五时 就 醒 了。

心の中 とても NEG 穏やか 朝 5時 もう 目が覚める le

「彼はこのような恐怖心理で夜も眠れなく、心中穏やかでなく、朝 5 時にも目が覚めた。」

6.4 コーパスから見た「好不 X」の使用の実態

「好不 X」では「X」によって、結果意味解釈が肯定になったり、否定になったりしている。肯定になる場合、「好不 X」が余剰否定になる。しかし、どのような場合、「好不 X」が余剰否定になるのか。またいかなる場合、余剰否定にならないのか。ならない場合は、「X」がどのような語彙であるか。なぜ余剰否定にならないのかといったことが問題となる。以上をふまえて、本論文では、主に「余剰否定」用法としての「好不 X」の分布とその条件を分析する。

CCL データベースの検索結果を、「好不 X」に関与する結果意味解釈と余剰否定の分布を整理すると、以下の表のようにまとめられる。

表 6-1 「好不 X」に関与する結果意味解釈と余剰否定の分布

	否定形式		肯定形式	結果意味解釈	余剰否定	用例数
①	a (X=望ましき有)	好不热闹 好不欢乐	好热闹 *好欢乐	肯定 热闹 肯定 欢乐	○	115
	b (X=望ましき無)	好不伤心 好不招摇	好伤心 *好招摇	肯定 伤心 肯定 招摇	○	150
②	好不容易		好容易	否定 不容易	×	1
③	好不讲理		*好讲理	否定 不讲理	×	25
④	好不自在		好自在	肯定 自在	○	5
			*好自在	否定 不自在	×	

「好不 X」を CCL データベースで検索した結果 X として出現する語彙を異なり語数集めると、計 295 例が見つかった。「X」は 2 音節以外に、4 音節の例も数多く存在する。例えば、「风光自在」「开心惬意」「铺张浪费」「扫兴恶心」など望ましい語彙と望ましくない語彙の両方がある。そして、一部 X が 1 音節となる「世道好不公」「好不安」の例も見つかった。また上の表では、「好不 X」は 4 種類に分けられる。

まず、①は用例数が一番多く、合計 265 例で、全体の 90%を占めている。否定形式「好不 X」に対応する肯定形式「好 X」が語彙によって、ある場合もない場合もある。しかし、結果意味解釈からみると、全て肯定の意味となっている。

(6-6) 学生们 挂起 科普展板, 摆上 书摊, 说 相声, 演

学生たち かける 科学展示板 並べる 本の売り場 言う 漫才 演じる

小品, 好 不 热闹 / 好 热闹。

コント とても NEG 賑やかだ とても 賑やかだ

「学生たちは科学展示板をかけたり、露天の本屋をやったり、漫才やコントを演じたり、とても賑やかだ。」

(6-7) 贝洛 也 把 他的 妻子 接 了 来, 大家 和

ベーロ も 処置文マーカー 彼の 妻 迎える le 来る みんな と

伯爵 住 在 一起, 好 不 欢乐 /* 好 欢乐。

伯爵 住む 前置詞 一緒に とても NEG 楽しい とても 楽しい

「ベーロさんも彼の妻を迎え入れて、みんなと一緒に住んでいて、とても楽しい。」

例えば、例(6-6)は「好不热闹」は「好热闹」と同じく、「热闹」(賑やかだ)という意味になる。例(6-7)は「好不欢乐」は肯定形式の「好欢乐」が存在せず、同じく肯定的意味「欢乐」(楽しい)になる。よって、否定辞「不」は機能しておらず、余剰否定であると考えられる。

(6-8) 徐义德 一 进 厂, 看到 车间 和 仓库, 感到

徐義徳 すると 入る 工場 見る 車間 と 倉庫 感じる

物是人非, 好 不 伤心 / 好 伤心。

物はそのままで人はずいぶん とても NEG 悲しむ とても 悲しむ

「徐義徳さんは工場に入ると、車間や倉庫を見て、物が昔と同じでも、人が変わっていることを感じ、とても悲しんだ。」

(6-9) 沿着 海岸 热闹 的 聚集 着 一群人, 旗幡 招展,

に沿って 海岸 賑やか の 集まる ている 人群れ 旗 揺れ動く

好 不 招摇 /* 好 招摇。

とても NEG 目立つ とても 目立つ

「海岸に沿って賑やかに集まっている人群れは、旗を風にはためかせ、とても目立ってる。」

例(6-8)は「好不伤心」は「好伤心」と同じく、「伤心」(悲しい)という意味になる。例(6-9)は「好不招摇」は肯定形式「好招摇」がなく、同じく肯定的意味「招摇」(大げさにする)になる。よって、否定辞「不」は機能しておらず、余剰否定であると考えられる。

また、①ではXが語彙的望ましさの有無により、Xがaとbの二種類に分けられる。しかし、用例数から見ると、aは115例があり、bは150例がある。両者にはそれほど大きな差が見られなかった。また、肯定形式と否定形式との両方が存在する例の数は、aが53例あり、bは72例ある。否定形式しか存在しない例の数は、aが44例あり、bは56例がある。これもそれほど大きな差が見られなかった。いずれにせよ、余剰否定①は語彙的望ましさと関与せず、いずれも肯定的意味となる。

そして、②は「好不容易」のたった一例しか存在しない。例えば、
(6-10) 好不容易 /好容易 到 了 伦敦, 又 赶上 物价飞涨,

やっと つく le ロンドン また 遭う 物価上昇
中国球员 饮食 难 保, 状态 不 佳。
中国運動選手たち 飲食 難しい 保つ 状態 NEG 良い

「やっとロンドンにたどり着いたのに、物価上昇に遭い、中国運動選手たちは食事が十分取れず、ベストな状態ではない。」

(6-11) 就这样, 李嘉诚 好不容易 /好容易 完成 了 他

こうして 李嘉誠 やっと 完成する le 彼

再次 “跳槽” 的 艰难 过程。

再度 転職 の 難しい 過程

「こうして、李嘉誠はやっと再度転職するという難しい過程を完成させた。」

例(6-10)、(6-11)では、「好不容易」は「不」が生起しない肯定形式「好容易」があり、形だけから見ると、余剰否定だと判断しやすいようである。しかし、結果はいずれも「やっと」「ようやく」という意味になり、「不容易」という否定の意味となっているため、よって、否定辞「不」は機能しており、余剰否定と考えられない。

ただし、ここで注意しなければならないのは、「好不容易」と「好容易」はいかなる場合でも置き換えられるとは限らない。例えば、次の例においてはいずれも置き換えられない。

(6-12) 这道题 好 容易 /* 好 不 容易, 谁 都 会做。

この問題 とても 簡単だ とても NEG 簡単だ 誰 でも 出来る

「この問題はとても簡単で、誰でもできる。」

(6-13) 这道题 好 容易 /* 好 不 容易 做,

この問題 とても 簡単だ とても NEG 簡単だ 答える

我 只 用 一分钟 就 做好 了。

私 ただ 使う 一分間 副詞 答えられる le

「この問題はとても答えやすく、私はたったの一分間で答えられた。」

(6-14) 换 个 工作? 说 得 好 容易

換える 量詞 仕事 言う 補語マーカー とても 簡単だ

/*好 不 容易, 你 试试 看! (邹立志 2006)

とても NEG 簡単だ あなた やる みる

「仕事を換える？言うのはとても簡単だけど、やってみて！」

例(6-12)、(6-13)、(6-14)での「好容易」はそれぞれ、述語、連用修飾語、補語になっている。いずれも「好不容易」に置き換えられない。例(6-10)、(6-11)と比較すれば、②での「好不容易」は主に副詞として使われていることが分かった。

また、③は②と違い、肯定形式が存在しない。用例数からみると、25 例が見つかった。結果は否定の意味となっているため、よって、否定辞「不」は機能しており、余剰否定と考えられない。詳しくは 4 節で述べる。

最後に、④は計 5 例があり、諸条件により、肯定・否定のいずれにもなりうる。結果は肯定となる場合は、余剰否定と考えられる。一方、結果が否定となる場合は、余剰否定と考えられない。詳しくは 6.5 節で述べる。

以上を整理してみると、「好不 X」が関与する余剰否定は①と④の一部のみである。②と③は結果が否定の意味となる。これらは、「不」が機能しており、余剰否定と考えられない。

6.5 「好不+X」と「好+不 X」

すでに袁宾（1984）、沈家煊（1994）などの先行研究に指摘されているように、「好不 X」には語構成上、「好不+X」と「好+不 X」の二種類があると考えられている。「好不+X」の結果意味解釈は肯定となり、「好+不 X」の意味解釈は否定となる。

「好不+X」は表 6-1 での①に対応する。

a)

好不热闹	とても賑やかだ	好不风光	とても光栄だ
好不惬意	とても気持ちがいい	好不威武	とても立派だ
好不感人	とても感動する	好不得意	とても満足だ
好不快乐	とても楽しい	好不潇洒	とてもスマートだ
好不兴隆	とても繁栄している	好不快活	とても楽しい
好不热情	とても情熱的だ	好不欢喜	とても喜んでいる

b)

好不失望	とても失望している	好不招摇	とても大げさだ
好不尴尬	とても困っている	好不沮丧	とても落ち込んでいる
好不着急	とても焦っている	好不冤枉	とても悔しい
好不悲伤	とても悲しんでいる	好不扫兴	とてもしらげさせる
好不悲惨	とても悲惨だ	好不庸俗	とても卑俗だ
好不为难	とても困っている	好不惊讶	とても驚いている

「好+不 X」は表 6-1 での③に対応する。

好不顺眼	目障りだ	好不对劲	おかしい
好不明白	分からない	好不值钱	安価だ
好不安全	安全ではない	好不平静	落ち着かない
好不客气	遠慮せず	好不服气	敬服しない
好不晓事	利口じゃない	好不自量	身の程しらない
好不平等	平等ではない	好不稀奇	珍しくない
好不公平	公平ではない	好不满意	満足ではない
好不习惯	慣れてない	好不讲理	道理をわきまえない

好不知趣	空気をよめない	好不懂道理	理にかなわない
好不争气	やる気がない	好不通情理	理にかなわない

沈家煊(1994)では、否定の意味を表す「好+不 X」での X は大部分が特定社会や文化における道德規範または行為基準を表す“道义词”(deontic word)であるとする。例えば、上の例での「讲理」(道理をわきまえる)「知趣」(気が利く)「公平」(公平、公正)「懂道理」「通情理」(道理をわきまえ、理にかなう)などである。そして、一部分は“道义词”ではないが、人々が社会活動での行為結果へのある期待を表す語彙である。例えば「习惯」(習慣となる、慣れる)。①での「热闹」(にぎやかだ)「繁荣」(繁栄だ)などの望ましい語彙と区別し、この二種類から特定の社会性を帯びる望ましい語彙をなしていると指摘されている。

(6-15) 葵姬 安产的 消息 传遍了 四处。

葵姬 安産 の 知らせ 広まる le 至る所

六条妃子 闻知 后, 心里 好不平静。

六条姫 聞く 後、 心の中 落ち着かない

「葵姫が安産した知らせはいたるところに広まった。六条姫はそれを聞いた後、心の落ち着きがなくなった。」

(6-16) 府菜 一共 有 一百三十六样; 菜 好不稀奇,

府料理 合計 ある 百三十六種; 料理 普通だ

奇 的 是 每样菜 都 用 特制 的 盘碗 来 盛。

珍しい の は 料理ごとに 皆 使う 特製 の 皿 接続詞 盛る

「府料理は計百三十六種がある; 料理は普通だったが、珍しいのは料理ごとに専用皿を使っていることだ。」

(6-17) 怪不得, 这些 日子 来, 我 总 觉得 小婶婶 有 心事,

道理で、これら 日々 助詞、私 いつも 思う おばあさん ある 心配事、

总 觉得 她 好不对劲, 原来.....是 这么一回事!

いつも 思う 彼女 おかしい、 なるほど は こういうこと

「道理で、最近、おばさんは心配事があるようで、何かおかしいと感じたのだ。」

なるほど、こういうことだったのだ。」

しかし、例(6-15)、(6-16)、(6-17)での「平静」(静かで落ち着いている)、「稀奇」(奇妙、珍しい)、「対勁」(気が合う)は上記の“道義詞”あるいは「人々が社会活動での行為結果へのある期待を表す語彙」のいずれにも属さない。そして、特定の社会性を帯びる望ましい語彙とその他の望ましい語彙との差はどのように判断されるかが問題となる。

6.6 「好不+X」と「好+不 X」のいずれとも解釈されうるタイプ

上述の通り、「好不 X」には「好不+X」と「好+不 X」と二種類がある。そして、この二種類のいずれとも解釈されうるタイプが存在する。

(6-18) 一家 四口 三代人 茶余饭后 围 在 电视机 前，

家族 四人 三世代 食後 囲む で テレビ 前

悦目赏心 ， 好不自在。

心や目を楽しむ とても穏やか

「家族四人三世代が食後にテレビの前に囲み休憩しているのをみて、心や目を楽しませて、なんと言う穏やかさであろう。」

(6-19) 这种 恐惧 心理 使得 他 夜不成寐，

このような 恐怖 心理 させる 彼 夜も眠れない

心里 好不自在， 早晨 五时 就 醒 了。

心の中 穏やかでない 朝 5時 もう 目が覚める 1e

「彼はこのような恐怖心理で夜も眠れなく、心中穏やかでなく、朝 5 時にもう目が覚めた。」

例(6-18)(6-19)はともに「好不自在」を使っている。例(6-18)は「好自在」と同じ意味の「気まま、穏やか」であるのに対して、例(6-19)は「不自在」と同じ意味の「穏やかでない」である。つまり、同じ「好不自在」を使っている、文脈の違いにより、例(6-18)は「好不+自在」と、例(6-19)は「好+不自在」と解釈されている。つまり、表 6-1 の④となる。

このような二種類のいずれもなりうるタイプは、X が「自在」以外にも存在

する。CCL データベースで検索した結果、計 5 例しか見つからなかった。X がそれぞれ「自在」「痛快」「开心」「舒服」「高兴」である。これらはすべて心理形容詞である。その他の例を次のようにあげられる。

例(6-20)、(6-22)、(6-24)、(6-26)は「好不+X」と解釈し、肯定的意味となり、余剰否定である。一方、例(6-21)、(6-23)、(6-25)、(6-27)は「好+不 X」と解釈し、否定的意味となり、余剰否定ではない。

(6-20) 这个 露天兵器陈列馆 也 成 了 儿童乐园。 他们 爬上
この 露天兵器陳列館 も なる le 子どもたちの樂園 彼ら 登る
坦克, 转动 炮筒, 玩 得 好不痛快。
戦車 回す 砲身 遊ぶ 助詞 とても痛快だ

「この露天兵器陳列館も子どもたちの樂園となった。彼らは戦車に登り、砲身を回し、楽しく遊んでいる。」

(6-21) 河北徐水 一家 纸箱厂, 起初 皱着眉头 拉回 一车,
河北徐水 ある 紙箱工場 最初 眉をしかめる 持って帰る 車一杯
心里 好不痛快。 不曾想 , 9.5元 一瓶 拉回,
心の中 痛快ではない 思いもかけず 9.5元 一本 持って帰る
14元 一瓶 批出, 每 瓶 净赚 4元多, 不到 一个月 销售一空。
14元 一本 卸売り ごと 本 丸儲け 4元多い 足らず 一ヶ月 売り切れる
「当初いやいやと思いながら、河北徐水のある紙箱工場から車いっぱいを持って帰った。思いもかけず、9.5元で持って帰った瓶が14元で卸売りし、一本で4元も儲け、一ヶ月足らずに売り切れた。」

例(6-20)、(6-21)は同じく「好不痛快」を使っている。例(6-20)では「好不+痛快」と解釈され、「とても痛快だ」という肯定的な意味になっている。一方、例(6-21)では「好+不痛快」と解釈され、「とても痛快ではない」という否定的な意味となっている。よって、例(6-20)は余剰否定であり、例(6-21)は余剰否定と考えられない。

(6-22) 茶话会 上, 久别重逢 的 委员们 互 致问候,
茶話会 で 再会する の 委員たち 互いに 挨拶する

畅谈 共同的 理想 和 事业， 好不开心。

語り合う 共通の 理想 や 事業 とても楽しい

「茶話会で、再会した委員たちは互いに挨拶し、理想や事業を語り合い、とても楽しかった。」

(6-23) 有 竞争 才 有 进步， 之前 裁员 裁到 没 演员，

ある 競争 こそ ある 進歩 この前 リストラ まで NEG 役者

听到 好不开心， 现在 市场 又 旺 了，

聞く 落ち込む 今 市場 また 勢いが良い 1e

相信 会 是 一件好事。

信じる 可能 コピュラ いいこと

「競争こそ進歩がある。この前は役者もないぐらいリストラされる噂を聞き、落ち込んでいたが、今市場がまた勢いがよくなり、これからいいことがあると信じている。」

例(6-22)、(6-23)はいずれも「好不开心」を使っているが、例(6-22)は「好+开心」と解釈され、「とても楽しい」という肯定的意味となっている。一方、例(6-23)は「好+不开心」と解釈され、「落ち込んでいる」という否定的意味となっている。よって、例(6-22)は余剰否定であり、例(6-23)は余剰否定と考えられない。

(6-24) 如今 只要 委托 “猎头”，

今 さえすれば 頼む ハンター

精兵强将 任 挑选， 好不舒服。

優れた人材 思うように 選ぶ とても気楽

「今は“ハンター”に頼めば、優れた人材は思うように選べるから、とても気楽だ。」

(6-25) 如果 你 飞 得 够 高， 你 的 鼻子 会 开始

もし あなた 飛ぶ 助詞 十分 高い あなた の 鼻 可能 始める

流血。 而且 又 好冷 又 好不舒服。

血が流れる さらに 副詞 とても寒い 副詞 とてもつらい

「もし高く飛べば、あなたの鼻から血が出始めるだろう。そして、とても寒くてつらいし。」

例(6-24)、(6-25)では同じく「好不舒服」を使っている。しかし、例(6-24)では「好不+舒服」と解釈され、「とても気楽だ」という肯定的な意味になっている。これに対し、例(6-25)では「好+不舒服」と解釈され、「とてもつらい」という否定的な意味になっている。よって、例(6-24)は余剰否定であり、例(6-25)は余剰否定と考えられない。

(6-26) 这时， 蔡二来、小曼、葛三 都 跑进来， 屋里 一下子

この時 蔡二来 小曼 葛三 みな 走って入る 部屋の中 一気に

热闹起来 了，大家 说说笑笑， 好不高兴。

賑やかになり出す 1e みんな しゃべったり笑ったり とても楽しい

「この時、蔡二来、小曼、葛三も走って来て、部屋の中は一気ににぎやかになった。みんながしゃべったり、笑ったりして、とても楽しいである。」

(6-27) 他 一 进来，马丽琳 只顾 和 朱瑞芳 打招呼，

彼 すると 入る 馬麗琳 ばかり と 朱瑞芳 挨拶をする

把 他 撇在一边， 心里 好不高兴。

処置文マーカー 彼 ほうりっぱなし 心の中 機嫌が斜めになる

「彼が入ると、馬麗琳は朱瑞芳ばかり挨拶して、彼をほうりっぱなししているから、ご機嫌斜めになった。」

例(6-26)、(6-27)は同じく「好不高兴」を使っているが、例(6-26)は「好不+高兴」と解釈され、「とても楽しい」という肯定的意味となっている。一方、例(6-27)は「好+不高兴」と解釈され、「機嫌が斜めになった」という否定的意味となっている。よって、例(6-26)は余剰否定であり、例(6-27)は余剰否定と考えられない。

6.7 本章のまとめ

姚(2012)等では余剰否定(「差点没 X」等)の結果解釈において、肯定的意味であるか否かは、述語 X の語彙的望ましさが関与するとした。

しかし、「好不 X」の場合、全体の 90%(265 例)を占める余剰否定の①は語彙

的望ましさに関わらず肯定的意味となる。よって、「好不 X」の結果意味解釈には「X」の語彙の望ましさが原則として関与しないと分析できる。

残りの 10%は特定の語彙に見られ、ほとんどが余剰否定とならない。しかし、一部の心理形容詞が X の位置に現れるとき、文脈により結果解釈が肯定にも否定にもなりうる。

第 7 章 結語

7.1 本論文のまとめ

情報が伝達される際に、多かれ少なかれ雑音に影響されてしまう。情報伝達を意図された通りに遂行されるために、雑音による影響に耐えられる安全策が必要となる。言語にとっては、余剰性こそがその安全策である。

現代中国語では、意味的にも機能的にも通常の否定辞の働きを示さない否定辞が形式的に存在する現象がある、つまり、余剰否定現象である。現代中国語の余剰否定は形式が多様でまだ個別の形式の研究に留まることが多い。本論文では副詞「差点」、「险些」、「几乎」、「难免」、「好不」の余剰否定を研究対象とした。副詞「差点」の分析方法を基盤に、その他の5つの副詞へと応用する研究方法を採用する。本論文の目標は、副詞の余剰否定の研究を通じて、それぞれの形式・意味・機能における特徴を明らかにし、それに基づき、上記副詞の全体的な機能を説明できる方法を探究することである

以下、各章での議論をまとめることにする。

まず、序論では、本論文の基盤となる余剰否定現象の定義、研究現状を紹介し、本論文の目的、研究課題、研究方法及び本論文の構成を述べた。

第2章では、本論文の柱となる副詞「差点」を取り扱った。まず、副詞「差点」に関する先行研究の問題点を指摘した。そして、述語の持つ語彙上の意味以外に、構造と意味とのずれの原因として、場面による文脈の違いや発話者の意図が考えられる。本章ではアンケート調査や用例テストによりその可能性を排除することができた。その結果、朱德熙(1959)のように述語動詞の語彙レベルの意味が大きく結果事態の予測に影響していると主張した。

そして、朱德熙(1959)での分析で説明が不可能な用例が存在することが判明した。発話者にとっての望ましい事態に使われる VP と語彙的望ましい VP が混同していることを指摘し、新たに望ましさを定義した。この定義により、朱德熙(1959)が導き出した規則を書き直した。

さらに語彙的な VP の望ましさにより、VP を3種類に分類し、種類ごとの分析を行った。従来あまり分析されなかった語彙的に望ましさが指定されていない VP については、新たに VP における動詞と名詞との組み合わせ、つまり、デフォルトとノンデフォルトという概念を導入し、説明を試みた。しかし、語彙的デフォルト解釈で説明できない用例もあるため、発話者からの期待の有無に

より結果事態が変わることが判明した。

次に、本論文の後半である第3章から第6章では、副詞「差点」の分析方法を基盤にし、副詞「险些」、「几乎」、「难免」、「好不」への応用可能性を考察する。

第3章では、「险些没 VP」の余剰否定現象を考察した。まず、「险些没有 VP」に関しては通時的研究以外、主な研究対象としての研究がほとんどない。この事実を受けて、本章ではデータベースでの用例を集め、「险些没有 VP」の分布実態を明らかにした。

そして、新たに修正した語彙的望ましさにより、VPを3つに大別にして考察した。その結果、VPが望ましくない場合、「险些没 VP」が余剰否定となる。また、VPが語彙的な望ましさに指定されない場合、語彙的デフォルト解釈を導入し、説明を行った。

第4章では、「几乎没 X」を対象として、その余剰否定用法を考察した。まず、「几乎没 X」では「几乎没 VP」と「几乎没 NP」に分けられる。「几乎没 VP」について、先行研究や辞書に掲載された用例やCCLデータベースで確認した実例(5例だけ)を通して、「几乎没 VP」は余剰否定用法があることが判明した。そして、「几乎没 X」ではVPの語彙的望ましさから、望ましくない、望ましい、望ましさが指定されない、という3つのグループに分けて考察を行った。その結果、いずれも真性否定であり、余剰否定ではないことが分かった。したがって、先行研究では、「几乎没 VP」が余剰否定用法であることを過大に評価されていることがわかった。「几乎没 VP」の文法意味は「ある状態または事態に非常に近いことを示す」に分析し直すことができる。そして、「几乎没 VP」については、NPの語彙的望ましさにより分析した結果、いずれも真性否定であることが判明した。

また、CCLデータベースで「几乎没 X」の余剰否定用法が僅かだけ確認されたが、先行研究では「几乎没 X」は余剰否定用法があると過大に認識されるその理由を述べた。

第5章では、副詞「难免+否定辞+X」の余剰否定表現を対象に考察を行った。まず、「难免」は「差点」とは違い、未実現の事態の可能性についての発言であるため、余剰否定は「难免不 X」と「难免没 X」の二種類があることが確認された。そして、「难免不 X」は「难免不+VP」と「难免不+AP」の二種類のタイプがある。

VP については語彙的な望ましさから、3 種類のタイプが存在する。VP が語彙的に望ましい場合以外に、「难免不+VP」が余剰否定となる。AP が望ましくない場合、「难免不+AP」が余剰否定となることが分かった。

次に、「难免没 X」は、語彙的な VP の望ましさの観点から検討すると、望ましい X を持つ例が存在せず、望ましくない X と望ましさが指定されない X の二種類の存在が判明できた。両者が共に余剰否定となる。

第 6 章では、副詞「好不 X」について考察した。姚(2012)等では余剰否定(「差点没 X」等)の結果解釈において、肯定的意味であるか否かは、述語 X の語彙的望ましさに関与するとした。

しかし、「好不 X」の場合、全体の 90%(265 例)を占める余剰否定の①は語彙的望ましさに関わらず肯定的意味となる。よって、「好不 X」の結果意味解釈には「X」の語彙的望ましさが原則として関与しないと分析できる。残りの 10% は特定の語彙に見られ、ほとんどが余剰否定とならない。

そして、一部の心理形容詞が X の位置に現れるとき、文脈により結果解釈が肯定にも否定にもなりうる。

以上、第 1 章から第 6 章までの議論の流れを要約した。従来、個別の形式の研究に留まることの多い余剰否定研究について、その範囲を副詞に限定すれば、統一的に説明できる可能性を示唆している。そして本研究により、副詞「几乎」「好不」については、述語の望ましさが原則として関与しないことが判明した。一方、述語の望ましさの基準は副詞「险些」「难免」の大部分に応用できたことも考察できた。本論文では、主軸となる副詞「差点」とそのほかの副詞との関係を以下の表 7-1 にまとめられる。

表 7-1 本論文の研究対象とその関係

			すでに起こった			まだ起きていない
否定形式①			差点没 VP	险些没 VP	几乎没 VP	难免不 VP/ AP
望ましい VP/ AP			肯定的 真性否定	肯定的 真性否定	肯定的 真性否定	否定的 真性否定
望ましくない VP/ AP			否定的 余剰否定	否定的 余剰否定	肯定的 真性否定	肯定的 余剰否定
望まし さが指 定され ない VP/ AP	発話者の期待 V 語彙的なデフ ォルト解釈	デフォルト	肯定的 真性否定	肯定的 真性否定	肯定的 真性否定	(VP) 否定的 真性否定
		ノンデフォ ルト	否定的 余剰否定	—		(AP) 肯定的 余剰否定
否定形式②			—	—	几乎没 NP	难免没有 NP
望ましい NP			—	—	肯定的 真性否定	—
望ましくない NP			—	—	肯定的 真性否定	肯定的 余剰否定
望ましさが指定されない NP			—	—	肯定的 真性否定	肯定的 余剰否定

7.2 今後の課題

最後に今後の課題についてまとめておく。

今後の課題としては、現代中国語における余剰否定に関してさらに追究する必要があることがあげられる。本論文では統一的な分析を目指し、研究対象を副詞に限定し議論を行ってきた。しかし、いくつかの副詞以外に、まだ数多くの形式が存在する。本論文で提案した分析方法で解釈できるかどうか、できない場合どのように分析するか、両者の間の関係性も更なる研究が必要となる。

そして、「没差点 VP」と「差点没 VP」の異なる分布の原因や構造の形成などに触れていない。今後、歴史的な変遷などを視野に入れて、解明していく必要があると考えられる。

また、デフォルト解釈と語彙的解釈という概念をさらに明示化することも今

後の課題の1つである。両者はどのような違いがあるのか、そのような関係性があるのかを考察しなければならない。

本研究は主に、現代中国語を中心に分析を行った。今後は、他言語での状況も視野にいれて研究を進める必要がある。それに合わせて、論証の方法や議論の進め方などについても検討を加えなければならない。

最後に、さらにきめ細かな現象記述が今後必要となることを付け加えておく。

参考文献

—日本語文献—

- イエス・ペルセン著 安藤貞雄訳(2006)『文法の原理(上・下)』岩波文庫
- 王学群(2003)『現代日本語に置ける否定文の研究—中国語との対照比較を視野に入れて—』日本僑報社
- 片岡喜代子(2006)『日本語否定文の構造—かき混ぜ文と否定呼応表現』くろしお出版
- 加藤泰彦・吉村あき子・今仁生美[編](2010)『否定と言語理論』開拓社
- 工藤真由美・金水敏・沼田善子共著(2000)『日本語の文法 時・否定と取り立て』岩波書店
- 太田辰夫(2013)『中国語歴史文法』(新装再版)朋友書店
- 趙元任(1980)『中国語文法』香港中文大学出版社
- 姚碧玉(2012)「現代中国語の剰余否定と語彙との関係の再検討」第145回日本言語学会予稿集:506-511
- 姚碧玉(2013)「現代中国語の剰余否定—「差点」と「难免」を中心に」第147回日本言語学会予稿集:278-283

—中国語文献—

- 北京大学中文系1955,1957级语言班编(2010)《现代汉语虚词例释》商务印书馆
- 陈霞(2009)〈“险些”一类句式溯源〉《文学教育》第7期:147-148
- 陈霞(2010)〈“险些”类句式探源〉中南民族大学 硕士论文
- 陈荣华(2004)〈险些有误〉《现代语文:初中读写》第7期:45
- 储泽祥(2000)〈“NP1像NP2似的VP”里动词的选择机制〉《〈马氏文通〉与汉语语法学—〈马氏文通〉出版百年(1898-1998)纪念文集》侯精一,施关鑫主编 商务印书馆:360-378
- 渡边丽玲(1994)〈“差一点”句的逻辑关系和语义结构〉《语言教学与研究》第3期:81-89
- 戴耀晶(2004)〈试说“冗余否定”〉《当代修辞学》第2期:3-6

- 方绪军(1996)〈析“好/好不+形容词”的同义现象〉《上海师范大学学报哲学社会科学版》第3期:65-68
- 高育花(2008)〈“不免”“难免”“未免”的语法化〉《云南师范大学学报:对外汉语教学与研究版》第6期:78-83
- 谷晓恒(2005)〈副词“不免”“难免”“未免”比较分析〉《青海民族大学学报:社会科学版》第4期:107-110
- 韩陈其(2005)〈浅谈“几乎”类语词的形式联系和语义强度〉《汉语学习》第5期:31-33
- 候金国(2008)〈冗余否定的语用条件—以“差一点+(没)V、小心+(别)V”为例〉《语言教学与研究》第5期:70-77
- 侯瑞芬(2005)〈“动(形+死+……)”的结构语义分析〉《北京教育学院学报》第19卷第2期:16-21
- 江蓝生(2008)〈概念叠加与构式整合—肯定否定不对称的解释〉《中国語文》第6期:483-497
- 李兰香(2000)〈话说“难免”〉《语文建设》第7期:40-41
- 李小玲(1986)〈北京话里的“差点儿”句式〉《汉语学习》第1期:6-10
- 卢 钦(1981)〈好不〉《中国语文》第2期:131
- 吕叔湘(1981)《现代汉语八百词》商务印书馆
- 吕叔湘(1990)〈疑问,否定,肯定〉《中国语文》第4期:426-444
- 麻爱民(2010)〈副词“几乎”的历时发展〉《古汉语研究》第3期:63-67
- 马 真(2004)《现代汉语虚词研究方法论》商务印书馆
- 丘中奇(2007)〈“几乎”的句法范畴意义及功能〉《语言研究》第4期:27-32
- 任 鹰(2007)〈动词词义在机构中的游移与实现—兼议动宾结构的语义关系问题〉《中国語文》第5期:419-430
- 邵敬敏(1988)〈非X不Y及其格式〉《中国语文天地》第1期:7-9
- 沈家煊(1999)《不对称和标记论》江西教育出版社
- 沈家煊(1994)〈“好不”不对称用法的语义和语用解释〉《中国语文》第4期:262-265
- 石毓智(1993)〈对“差点儿”类羡余否定句的分化〉《汉语学习》第4期:12-16
- 石毓智(2001)《肯定和否定的对程与不对称(增订本)》北京语言文化大学出版社
- 王灿龙(2004)〈说“VP之前”与“没(有)VP之前”〉《中国语文》第5期:430-439
- 王凤兰(2006)〈谈副词“几乎”〉《佛山科学技术学院学报(社会科学版)》第6期:19-22

- 王 还(1990)〈“差(一)点儿”和“差不多”〉《语言教学与研究》第1期:11-12
- 王 助(2006)〈现代汉语和法语中否定赘词的比较研究〉《外语教学与研究》第6期:418-422
- 王 助(2009)〈汉语否定赘余词的特性〉《现代语文》第3期:40-44
- 姚碧玉(2013)「現代中国語の剰余否定と語彙の關係の再検討」日本中国語学関西例会
- 姚碧玉(2015)「現代中国語における剰余否定「好不」について」日本中国語学会第65回
- 袁 宾(1984)〈近代汉语“好不”考〉《中国语文》第3期:207-215
- 袁 宾(1987)〈“好不”续考〉《中国语文》第2期:134-137
- 杨 子,王雪明(2013)〈“好不 AP”的构式新解——兼谈词汇压制下的构式稳定性〉《外语与外语教学》第4期:39-42
- 张慧颖(2014)〈“几乎”跨层结构的语法化及其变化动因〉《三峡论坛(语言研究)》第2期:110-113
- 周 红(2011)〈“不免”“难免”“未免”的语义语用分析〉《汉语学习》第4期:36-43
- 朱德熙(1959)〈说“差一点”〉《中国语文》第9期:435
- 朱德熙(1980)〈汉语句法中的歧义现象〉《中国语文》第2期:81-92
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室编(2012)《现代汉语词典》(第6版)商务印书馆
- 张谊生(2000)《现代汉语副词研究》学林出版社
- 张谊生(1992)〈“非 X 不 Y”及其相关句式〉《徐州师范大学学报(哲学社会科学版)》第2期:36-40
- 周一民(2003)〈北京话里的“差点儿没VP”句式〉《外语教学与研究》第6期:24-30
- 邹立志(2006)〈“好不 A”诸现象的语义语用考察〉《世界汉语教学》第3期:52-56
- 周明强(1998)〈论“好不 AP”、“好 AP”中的 AP〉《汉语学习》第1期:27-31

—英語文献—

Hockett, Charles F. (1953):

"Review of The Mathematical Theory of Communication by Claude L. Shannon; Warren Weaver." Language 29.1, pp.69-93.

Shannon, Claude E(1948):

A Mathematical Theory of Communication, Part I, Bell Systems Technical

Journal,27,pp.379-423

Shannon, Claude E&Warren Weaver(1949):

A Mathematical Model of Communication.Urbana IL:University of Illinois Press

Wit,Ernst-Jan C.,and Marie Gillette.(1999):

What is linguistic redundancy?Technial Report.The University of Chicago.

用例出典

コーパス・データベース

北京大学中国言語学研究センター (CCL) :

http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp?dir=xiandai

人民日報 :

<http://search.people.com.cn/rmw/GB/bkzzsearch/index.jsp>

『中英日韓対照 分類中国語基本語彙』に基づくデータ集
(上野恵司編 白帝社 1997年初版)

注：

①本データ集は実例の本動詞の望ましさにより、3種類に分けて整理したものである。aは望ましいVP、bは望ましくないVP、cは望ましさが指定されないVPを指す。

②副詞「差点」、「险些」、「几乎」、「难免」構文の後ろに、動目構造、動補構造以外に、よく使役文や受け身文が後接する。そのため、本動詞として使われていない371項「给」、354項「让」、610項「使」なども、検索してヒットした実例を入れることにした。望ましさの判定は同じく本動詞により行われる。

③基本的に語彙集での動詞の意味に基づいて実例を整理している。ただし、460項「栽」のように、語彙集での「植える」という意味以外に、「つまずいて倒れる」という意味の実例が数多くヒットするものがある。このような場合、検索して、ヒットした実例もデータ集に入れることにした。

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
1	看 見る 読む	a	—	—	—	—
		b	看走眼了 「見誤った」	看走眼了 「見誤った」	—	—
		c	—	—	13 例 ①学校图书馆里有关数学方面的书，他几乎看遍了。 「学校図書館に数学に関する本は彼がほとんど全部を読んだ」 ②他几乎看透一切。 「彼はほぼすべてを見限った。」 ③几乎没看他的脸 「ほとんど彼の顔を見なかった」	虽然不愿再看到她，却还是难免看了一眼 「彼女に会いたくないけど、やはり一目を見てしまう」
2	见 会う	a	—	—	—	—
		b	见阎王去 「死ぬ」	—	企业几乎没见起色 「企業はほとんど好転の兆しを見せなかった」	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	①见上面「会う」② 见着你「君に会える」	—	几乎没见着专门派来的车 「用意した車を見えなかった」	①见仁见智，颇有出入。 「人それぞれでやや食 い違いがある」 ②见猎心喜，“冷眼”易 作“热心——由局外之 看而作局中之虑，进而 做局内之人「腕が鳴っ て、冷静さが失い、傍 観者から打ち手になり たがる」 ③见面，他会不断向她 发起进攻「会ってしま い、彼は彼女に攻め続 けるだろう」
3	看见 見える	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	我几乎看见他们翕动的嘴唇，传递着比磨鼻子还要复杂的语言。 「彼らは動いてる唇が鼻	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					をすりすりするより複雑なことばを伝えている」	
4	见到 見る 目撃する		—	—	—	—
5	望 ながめる みやる	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	如今的河水不被污染的少，看见“河水”字样难免望而生畏，让人想起大多数河水已经不能直接饮用了 「今の川水が汚染されていないものが少ない。“川水”の文字を見るだけで恐ろしくなり、どうしても大多数の川水が直接飲めないことを思い出させる。」
		c	—	—	—	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
6	睜 目を見開く		—	—	—	—
7	眨眼 まばたき する		—	—	—	—
8	参观 見学する 参観する		—	—	—	—
9	听 聞く	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	①难免听到人民满腹牢骚，怪话连篇， 「人々が文句や不平、奇怪な話までを聞こえてしまう」 ②难免听错某个词语 「どうしてもある語句を聞き間違ってしまう」
		c	①听清楚旁边两个	—	①几乎没听到他 / 她的话	①经营决策难免听命

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			骑士的对话 「隣のふたりの騎士の会話をはっきりと聞こえる」 ②听得睡着了 「聞いているうちに寝てしまう」		「ほとんど彼/彼女の話を聞こえなかった」 ②你都几乎没听进去 「君もほとんど聞き入れてくれなかった」	“一家之言” 「経営の方策はどうしても“一家言”に従いがちだ」 ②马伯乐也自然难免不听到这大炮的响声 「馬伯樂も自然にその大砲の音を聞いてしまう」
10	听见 聞こえる	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	①几乎没听见她的絮絮低语 「彼女のささやきがほとんど聞こえなかった」 ②哈利几乎没听见玻璃的破碎声 「ハリーがガラスの破裂音にほとんど聞こえなかった」	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					③几乎没听见他在说什么 「彼が何をいっているのかはほとんど聞こえなかった」	
11	听说 …だと聞いている	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	难免听说一些流言蜚语 「どうしてもいくつかのデマを聞いてしまおう」
		c	—	—	作为一个北京人几乎没听说过的一个外地老板 「北京人としてほとんど聞いたことのないよその土地の社長」	—
12	闻 (においを)かく		—	—	—	—
13	呼吸 呼吸する		—	—	—	—
14	吃	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	食べる	b	一	一	一	7 例 ①早晚也难免吃上这些 外来影楼的温柔一刀 「遅かれ早かれこれらの 外来撮影館にやられ るものだ」 ②难免吃亏 「どうしても損してし まう」 ③难免吃亏上当 「どうしても騙され損 してしまう」 ④难免 吃点苦头 「どうしても苦劳をす るものだ」
		c	一	一	一	一
15	喝 飲む		一	一	一	一
16	吞 飲み込む		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	丸呑みに する					
17	咽 のみこむ のみくだ す		一	一	一	一
18	嚼 かむ かみくだ く	a	一	一	一	一
		b	一	一	① 几乎嚼烂了 「ほぼ読み砕かれた。」 ② 她几乎嚼也不嚼就把一口口的饭菜吞下去。 「彼女がほとんどご飯や料理を噛まずに一口一口飲み込んだ」	一
		c	一	一	一	一
19	咬 かみつく かむ	a	一	一	一	一
		b	① 咬了一口 「噛まれる」 ② 咬了舌头。 「舌を噛む」	① 被一条恶狗咬在腿上，险些咬到骨头，血流不止。 「足が凶暴な犬に噛	6 ① 女孩的嘴巴几乎咬到他的鼻子 「女の子の口は彼の鼻に	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			③咬破嘴唇 「唇をかみ破れる」 ④咬到舌头 「舌を噛む」	まれ。危うく骨まで噛 まれ、血だらけになる ところだった」 ②马林生最后这句话 本来是不想说的，脱口 而出险些没咬着自 己舌头，这话太伤人 了 「马林生さんは最後 のこのことばを話 たくなかったのに、思 わず口にしてしまっ た。後悔の気持ちで危 うく自分の舌を噛む ところだった。このこ とばはあまりにも人 を傷つけるものでは ない。」	くつつくところだった」 ②狼狗几乎咬下了他的喉 管 「シャパードは彼の気 管を噛み下すところ だった」 ③几乎咬出血来 「噛んで血が出そうに なった」 ③气得几乎咬碎大牙 「怒りで歯を噛み砕く ところだった」 ④几乎咬断了钢牙 「鋼歯を噛み砕くところ だった」	
		c	一	一	一	一
20	啃	a	一	一	一	一
	かじる	b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	据说他几乎啃烂了几百本外国棋书 「聞いた話、彼は海外の囲碁書籍何百本も読んだ」	一
21	吐 はく はきだす	a	一	一	一	一
		b	8 例 ① 一些同学累得差点吐了血也没考上 「いくつかのクラスメートが血が吐きそうになるほど頑張っても受からなかった。」 ② 只是, 梅医生的回答, 还是让我有点招架不住, 差点吐舌头 「しかし、私が梅先生の答えに受けきれず、舌を出しそうになった」	一张嘴时险些吐了 「口を開ける時、危うく吐きそうになった。」	① 可一尝, 又酸又苦, 几乎吐出来 「味見してみると、酸っぱくて苦い、吐き出すところだった。」 ② 几乎吐血 「血を吐くところだった」 ③ 惊叹到几乎吐出呼吸器 「びっくりで呼吸器官を吐き出すところだった」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			③看到端上来的两大盘黑乎乎的东西，汪淼空空的胃翻腾起来，差点吐出来 「真っ黒い大きな二皿が出されて、汪淼さんの空っぽな胃がわき出し、吐くところだった。」 ④兹特被折腾得差点吐出来 「兹特があれこれにされて吐きそうになった。」 ⑤有的就被这股子酸臭味勾得差点儿吐出来 「一部の人がこの酸っぱくて臭い匂いで吐きそうにな			

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			った」			
		c	一	一	一	一
22	呕吐 はく もどす	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	①被一股臊臭气熏得 差点呕吐 「むっとする臭気が鼻を指され、吐きそうになった。」 ②突然一口气往上堵著,她差点呕吐出来 「急に胸が塞がりになって、彼女が吐きそうになった。」 ③差一点呕吐了 「もう少しで吐くところだった。」	一	①何和理走了进去,立刻,一股难闻的气味呛得他几乎呕吐出来 「何和理が入ってきて、すぐにいやのにおいで吐きそうになった。」 ②陈诗欣曾被对手压迫喉部,几乎呕吐 「陳詩欣はかつて手で喉を圧迫され、吐きそうになったことがある。」 ③石队长一进门坎,眼前一黑,几乎呕吐出来 「石隊長が敷居に入ると、目の前が真っ黒になり、吐きそうになった。」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
23	噴 ふく	a	一	一	一	一
		b	11 例 ①没喷到马丽琳的脸蛋上。 「マリリンの顔につく」 ②一口可乐/血/热茶差点没喷出来 「口の中のコーラー／血／熱いお茶が噴き出しそうになった。」 ⑤喷出饭来 「(ご飯が噴き出すほど) 笑い出す」 ⑥喷他脸上 「彼の顔に噴く」	云中鹤双掌一挡，只感胸中气血翻涌，险些喷出血来 「云中鹤が両手でさえぎると、胸に血がわき出し、危うく血を吐くところだった。」(武侠小说)	①她的眼睛里却几乎喷出火来 「彼女の目から火が噴き出しそうになった」 ②两人都笑起来，几乎喷饭 「2人が笑い出して、ご飯を吹出しそうになった」	一
		c	一	一	一	一
24	吸 吸う	a	一	一	一	一
		b	中国作家协会差点	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			吸收了您呢 「中国作家協会が もう少しであなた を受け入れるところ だった」			
		c	—	—	6 例 ①几乎吸引了所有的目光 「ほぼすべての視線を寄せた」 ②几乎吸引了世界上所有的 汽车制造商 「世界中全ての自動車の 製造メーカーをほぼすべて 引き寄せた」 ③几乎吸收了巴西的全部 出口产品 「ブラジルの全ての輸出 製品をほぼ全て取り入れた」	—
25	抽	a	—	—	—	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	(タバコを)吸う	b	一	一	一	一
		c	一	(比赛中)我在接近终点时腿险些抽筋 「(試合中)私はゴールに近づく時、足がけいれんしそうになった。」	①(皮鞭)几乎抽在黄梅霜的肩膀上 「(鞭)は黄梅霜さんの肩にたたくところだった」 ②芦苇哭得几乎抽噎过去 「芦苇さんは泣きじゃくるところだった」 ③詹尼森已站了起来,右手几乎抽出来了 「ジェニセンはすでに立ち上がって、右手はほぼ外に出している」 ④他深吸了一口气,几乎抽光了周遭的所有空气 「彼は深く一息を吸い、周りの空気がほぼ全て吸いこんだ」	①他们在史书上的形象却难免抽象,单薄,甚至有点面目全非了。 「彼らは歴史書でのイメージがどうしても抽象的、不十分で、さらにめっちゃくちゃになってしまう」 ②说话爱激动,一激动五官表情难免抽象 「話す時興奮しやすく、興奮すると顔立ちの表情がどうしても抽象になってしまう」
26	吹 吹きつけ	a	一	一	一	一
		b	孟小樵去年冬天差	一	①这首曲子,他几乎吹奏了	文学乃人类精神升华之

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	る		点吹了灯。 「孟小樵さんは去年の冬に死にそうになった」		一生 「この曲は、彼がほぼ生涯演奏した」 ②想到与她这么接近，几乎吹气可闻，心中感到说不尽的甜蜜 「彼女と呼吸まで分かるぐらい近づくことができると思い、心に言え切れないほどの喜びを感じている。」	表征，政治之辐射，时局的动荡，难免吹皱一池春水 「文学は人類の精神昇華の現れであり、政治の影響や社会の変動にどうしても影響を受けてしまう」
		c	一	一	一	一
27	舔 なめる	a	一	一	一	一
		b	一	一	当火苗几乎舔到了天花板的时候 「炎が天井につくところ」	一
		c	一	一	一	一
28	尝 味わう 味見する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
29	含 口に含む	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	因为各种化妆品中难免含有铅、汞、银等重金属和光敏物质，它们会刺激皮肤色素增多 「各種の化粧品の中にどうしても鉛、水銀、銀など重金属や感光性物質が含まれてしまうから、これらは皮膚に刺激し色素を増やすのだ」
30	亲 口づけする 頬ずりする	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	因为老要开车去各个地方，难免亲眼目睹的车祸比较多。 「よく車で各地へ出かけるため、どうしても自分の眼で見る事故が

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						多くなってしまうのだ」
		c	一	一	情不自禁地几乎亲吻他那双仿佛在水中浸泡过久的、泛白发皱的柔软的手。 「思わず彼の水に長く浸かって、白くしわ寄る柔らかい手をキスするところだった」	一
31	接吻 口づけする		一	一	一	一
32	仰 仰ぐ 上を向く	a	一	一	一	一
		b	老孔头一听, 差点仰脚翻过去 「孔さんがそれを聞いて、脚を仰向けて転けそうになった」	①险些仰身跌到涧下去 「危うく仰向けに谷に落ちるところだった。」 ②自己也被撞得险些仰天摔倒	一	时间一长难免仰人鼻息过日子 「時間が長くなると、どうしても人の顔色を伺って生活をしてしまうのだ」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
				「自分もぶつかられ、 危うく仰向けに転ぶ ところだった。」		
		c	一	一	一	一
33	点头 うなずく	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	哈宾对着信差点点 头 「哈宾さんがもう 少力で手紙にうな ずくところだっ た。」	一	一	一
34	回头 ふりむく	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	有一瞬间, 帕林差点 回头 「ある一瞬、帕林さ さんが振り向きそう になった。」	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
35	磕头 ぬかずく		一	一	一	一
36	拿 取る 手に入れ る	a	①拿下三双 「トリプル・ダブル を取る」 ②拿到探視病人的 牌子 「見舞いの札を取 る」 ③拿到学位 「学位を取る」	拿下 / 到三双 「トリプル・ダブルを 取る」	一	一
		b	一	一	17 例 ①拿出了家里所有积蓄 「家のすべての貯金を全 部取り出す」 ②拿出全部工资, 资助贫困 儿童上学 「全部の給料を取り出し、 貧困児童のを援助し学校 に行かせる」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					③拿走了 60 的商业卫星发射合同 「60 の商業衛星発射協約を取った」 ④拿过全国军警犬大赛的全部奖项 「全国警察犬大会の全部の賞を取ったことがある」 ⑤连续一年几乎没拿奖金 「一年間ほとんど奨学金をもらわなかった」	
		c	一	一	一	一
37	取 取る 手に入れる	a	一	一	①取得领先 「リードを得る」 ②取得胜利 「勝利を得る」 ③取得了共识 「共通認識を得る」	①取得巨大的成就 「大きな成果を得る」 ②取得最佳经济效益 「最高の経済効果を得る」
		b	①取消一切计划 「すべての計画を	一	27 例 ①取消	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			取り消す」 ②取消会议 「会議をキャンセルする」		「取り消す」 ②取消了老百姓个人应该 缴纳的一切税款 「庶民個人が納税すべき すべての税金を取り消す」 ③取代了神父 「神父に代わる」 ④几乎没取得过好成绩 「ほとんどいい成績を取 ったことがない」	
		c	取代罗马, 成为意大利首都 「ローマの変わりにイタリアの首都になる」	—	取得一致的时候 「一致を得る時」	—
38	抓 つかむ にぎる ひっかく	a	—	—	—	—
		b	①抓到本拉登 「ビン・ラーディン を捕まる」 ②主导萨达姆	—	①抓住了它温柔的手 「彼の優しい手を捕まる」 ②抓到了门 「ドアを捕まる」	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「サダムを主導にする」 ③抓住我 「私を捕まる」		③抓住了你 「君を捕まる」	
		c	—	—	—	—
39	捏 つかむ	a	—	—	—	—
		b	—	—	巴加尔的手几乎捏碎了 「バカアの手がほぼバラバラになりそうに握られる」	—
		c	捏出了汗 「握って汗が出る」	—	—	—
40	握 にぎる		—	—	—	—
41	摸 さわる てさぐり する	a	—	—	摸到联赛冠军奖杯 「リーグ戦優勝者の盃にふれる」	—
		b	—	—	—	—
		c	为了看一眼装着魔	—	①摸到了理想的鼻尖	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			法装置的袋子 还在不在, 差点摸到 墙壁。 「一目で魔法装置 がある袋はまだあ る k どうかをしり たいため、壁を探る ところだった」		「理想の鼻先に触れた」 ②摸索一般地蹒跚着走向 斯内普 「探るようによろよると スネープに向かう」 ③几乎没摸过笔 「ほとんど筆を触ったこ とがない」	
42	捞 すくう		—	—	—	—
43	找 さがす 求める	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	①找到林正雄 「林正雄を見つけ る」 ②找到了我 「私を見つける」	—	—	—
44	摘 つむ もぐ		—	—	—	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
45	抹 こする ふく ぬる	a	一	一	一	一
		b	一	一	①抹去了整整一面 「一面ごとになくす」 ②找到了被人类文明几乎抹去的源和本 「人類文明になくしそうになった源が見つかる」 ③抹去了一切文明痕迹 「すべての文明の痕跡をなくす」 ④抹去了一切痕迹 「すべての痕跡をなくす」	一
		c	一	一	一	一
46	揉 もむ		一	一	一	一
47	搓 もむ こする		一	一	一	一
48	拍 (手のひ)	a	一	一	一	一
		b	拍案而起。	一	①拍卖了所有具有珍藏价	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	らで) たたく		「机をたたいて立ち上がる」		值的東西 「秘蔵する価値のあるものを全部オークションに出す」 ②拍賣 「オークションに出す」	
		c	①拍他原著的电视剧 「彼の原作ドラマを撮影する」 ②拍拍额头 「額をたたく」	一	①拍摄了火星的整个表面 「火星の表面のすべてを撮影した」 ②拍到安德鲁和影星库・史塔克的照片 「アンデルと映画スターク・スダークの写真を撮る」	拍马屁又难免拍到马蹄子上 「ごまをするのも場違いになる」
49	掰 (手で)わる おる		一	一	一	一
50	刻 ほる		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	きざむ					
51	巻 まく	a	一	一	卷走了全部小级别的金牌 「各レベルの金メダルを 全部取った」	一
		b	一	一	①卷入了功能基因的争夺 「機能遺伝子の紛争に巻 き込まれる」 ②卷席回家 「片付けて帰る」 ③卷入了所有的模拟进攻 「すべてのテスト攻撃に 巻き込まれる」	卷入国际冲突 「国際衝突に巻き込 む」
		c	一	一	卷起了一场“中国热” 「“中国ブーム”を巻き起 こる」	卷土重来 「巻き返してくる」
52	掲 はがす めくる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	揭示了无限多样的新的可能 性与新的问题 「無限多様な新たな可能	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					性や問題を示した」	
53	解 とく	a	一	一	解决了所有遗留的问题 「すべての残留問題を解決する」	一
		b	一	一	解散 「解散する」	一
		c	一	一	一	一
54	安 とりつけ る すえる	a	一	一	安然无恙 「被害も受けず無事である」	一
		b	一	一	一	安于现状 「現状に満足する」
		c	一	一	安定下来了 「ホットする」	一
55	放 置く 入れる	a	一	一	一	一
		b	①放弃	一	35 例	①放任自流

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「諦める」 ②放弃足球/超模大赛 「サッカー/スーパーモデル試合を諦める」		①放弃了自己的一切个人爱好和娱乐活动 「自分のすべての個人趣味や娯楽活動を諦める」 ②放弃了所有的节假日 「すべての祝日を諦める」 ③放手不管 「手放す」 ④几乎放任自流 「成り行きに任せる」 ⑤放弃了绘画 / 治疗 / 旁的工作 / 事业 / 斗争 / 一切希望 / 进攻 「絵を描くこと/治療/他の仕事/事業/闘い/すべての希望/攻撃を諦める」	「成り行きに任せる」 ②放肆轻狂起来 「勝手になる」
		c	①放声大哭起来 「大きな声で泣き出す」 ②放声大笑	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「大きな声で笑う」			
56	搁置く	a	一	一	一	一
		b	搁浅 「頓挫する」	搁置 「放置する」	搁浅 「頓挫する」	一
		c	一	一	一	一
57	提 手にさげ る ひきあげ る	a	一	一	运行速度几乎提升了一倍 「運転速度もほぼ倍にあがる」	一
		b	一	提前出局 「早めにアウトになる」	一	(外交大臣) 提出辞职 「(外交大臣) 辞任を提出する」
		c	一	一	12 例 ①提前回家 「早めに帰る」 ②几乎提供无限的网络空间	提及继母玉空尚待 「継母玉空尚待のことに触れる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「ほぼ無限なネット空間を提供する」	
58	举 あげる 持ちあげる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	举步维艰 「前進するのは困難である」
		c	一	一	①我几乎举重似的举起那可怕的大水桶,勉强唱了几口 「ほぼ重量挙げのようにその恐ろしい大きなバケツを持ち上げて、辛うじて二口を飲んだ」 ②双手赞成 「両手を挙げるほど大いに賛成する」 ③她在这个沙龙里几乎举	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					目无亲 「彼女はこのサーロンでは知り合いがほとんどいない」	
59	推 おす	a	一	一	一	一
		b	①推倒在地 「押し倒す」 ②推翻谈判桌 「協議用テーブルをひっくり返す」	一	9 例 ①推到了瘫痪 / 全面衰退 / 死亡的边缘 「正常に機能しなくなる / 全面的衰退する / 死亡の寸前まで追い込まれる」 ②推进了死胡同 「行き止まりに押し込まれる」 ③推倒重来的修改 「やり直したものを覆す」 ④推上了绝路 「袋小路に追い込まれる」 ⑤推倒 「押し倒す」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	推进了我的内心 「私の心の中に押し込まれる」	推动物价上涨 「物価の上昇を押し進める」
60	拉 ひく	a	一	一	一	一
		b	①拉闸 「停電する」 ②拉出去枪毙 「引っ張られ銃殺される」 ③拉断那提琴 「バイオリンの糸をちぎれる」 ④拉死 「下痢で死ぬ」 ⑤拉断了 「ちぎれる」	一	(皮条) 拉断 「(ベルト) ちぎれる」	拉开架势 「格好する」
		c	一	一	①拉平 「同じぐらいにする」 ②(两腿/手臂) 拉直 「(両足/腕) まっすぐに伸	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					ばす」	
61	扯 ひく ひきさく	a	一	一	一	一
		b	一	一	扯得快要断了 「引っ張られちぎれそうになる」	一
		c	一	一	扯着嗓门说话 「大きな声でしゃべる」	一
62	拖 ひっぱる ひきずる	a	一	一	一	一
		b	拖垮了一向以体能 好著称的“德国战 车” 「いつも体力がよ いと称される”ドイ ツ戦車”を疲れさせ る」	拖了后腿 「他人の足を引っ張 る」	15 例 ①（辫子）拖到地面 / 上 「（編んでまとめた髪の毛）地面にたらす」 ②拖入绝境 「窮地に追い込む」 ③拖垮 「だめにする」 ④拖着那条大土狗到兽医那里 「獣医まであの大きな犬を引っ張る」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					(⑤衣裙) 拖地 / 到膝盖 「(スカート) 地面/膝まで垂らす」 ⑥拖延一个世纪 「一世紀を引き延ばす」	
		c	一	一	一	一
63	牽 ひく ひっぱる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	①牵连这个人的升沉得失 「この人の利害に及ぼす」 ②牵扯猫腻儿之类的事 「怪しいことに関わる」
		c	一	一	①牵动了报社各方面的力量 「新聞社各方面の力を動かす」 ②牵涉到整个社会和个人	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「社会や人々に関わる」	
64	运 動かす 運ぶ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎没运动 「ほとんど運動しない」	一
65	托 (手で)受 ける ささえる	a	托稳 「しっかりと持つ」	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
66	抬 運ぶ 持ち上げ る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	她只顾看着手里得菜单, 几乎没抬起眼好好看他 「彼女は手のメニューばかり見ていて、ほとんど頭を上げて彼をみない」	一
67	搬	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	運ぶ 移す	b	一	一	搬出家底 「財産を全部運び出す」	一
		c	一	一	一	一
68	移 移す	a	一	一	一	一
		b	一	一	几乎移到她赤裸的玉颈 「ほぼ彼女の綺麗な首までくる」	一
		c	一	一	一	一
69	抜 ぬく ひきぬく	a	一	一	一	一
		b	拔腿就逃 「駆け出す」	①拔出枪来要枪毙那个白人上尉 「銃を出してその白人将軍を撃ち殺す」 ②拔腿就跑 「いきなり駆け出す」	一	一
		c	一	一	一	一
70	搭 組み立て	a	一	一	一	一
		b	搭上性命/搭上了自	搭上性命/自己得生命	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	る 建てる		己の小命/搭上我这条小命 「命をかける」	「命をかける」		
		c	—	—	①(头发)搭到她的膀子上。 「(髪の毛) 彼女の腕に乗せる」 ②(下巴)搭在自己肩上 「(顎) 自分の肩の上におく」	—
71	捧 (両手で) ささげ持つ	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	①困得几乎捧着战士们的脚睡了 「兵士たちの足を持って寝るほど眠たかった」 ②几乎捧上了天 「ほぼ空までおだてた」	—
72	担 (棒で)かつぐ	a	—	—	—	—
		b	—	—	①担了一夜的心 「一晩心配する」	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	になう				②担心 「心配する」	
		c	一	一	①担任过所有古典芭蕾的主角 「すべての古典バレエの主人公を担当したことがある」 ②担任起总统的“特别安全助理”的角色 「大統領の“特別安全助手”を担当する」 ③担当了深圳队一般的后场进攻组织的重任 「深センチーム後半戦の攻撃人員分配の大きな責任を取る」	一
73	扛 かつぐ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	左脸高仰, 右耳几乎扛在肩头, 以表示着师位的尊严	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「顔が左に上げ、右の耳は ほぼ肩にのせて、師匠の尊 厳を示す。」	
74	鋪 敷く 広げる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	(照片) 铺满半个摄影棚 「(写真) 摄影馆の半分も 敷きつめた」	一
75	摆 並べる 配置する	a	一	一	一	一
		b	一	一	①摆脱了希望 「希望から脱する」 ②摆脱地方条件所规定的 一切界限 「地方条件で決めたすべ ての限界を超える」	一
		c	一	一	①客厅里几乎没摆家具 「リビングはほとんど家 具をおいてない」 ②摆满了书/箱子/敌人的 尸体	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「本/箱/敵の死体がいっぱい並んである」	
76	扶 ささえる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	扶着那张锈迹斑斑的铁犁睡去 「錆だらけの鉄のスキを支えながら寝てしまう」	一	吓得几乎大叫了起来 「驚かされて大声で叫びそうになる」	一
77	夹 はさむ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	①(门) 夹住了我的脚后跟 「(ドア) 私のかかとを挟む」 ②夹到胯底下去了 「股の下に挟む」 ③夹到它的脑袋 「その頭を挟む」	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
78	抱 抱く 抱きあげる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①他几乎抱头开始抽泣 「彼は頭を抱えるぐらい泣き出す」 ②抱着随时要和美国人拼命的心态去做学问 「いつでもアメリカ人と必死で闘う決心で学問をする」	一
79	搂 抱く 抱きかかえる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	当晚, 他母亲几乎搂了我一夜 「その晩、彼の母はほぼ一晩中私を抱っこしてくれた」	一
80	拥抱 抱く 抱擁する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
81	打 打つ たたく なぐる	a	①打进了一个球 「ボール1つ入った」 ②打破了欧洲记录/ 世界记录 「ヨーロッパ記録/ 世界記録を更新した」 ③打进球门 「ゴールインした」 ④打败瑞典队 「スイスチームを 打ち負かす」	11 例 ①打败意大利队 「イタリアチームを 打ち負かす」 ②打破当天的记录 「当日記録を更新する」 ③打破上海女排的不 败金身 「上海女子バレーボ ールチームに勝つ」 ④打入第5球 「第5球が入る」	打破了所有女子个人项目的世界记录 「すべての女子個人項目の世界記録を更新する」	一
		b	34 例 ①打了起来 「けんかし始める」 ②打了孩子 「子どもを打つ」 ③打死我 「私を殺す」	①打一顿棍子 「棒でたたかれる」 ②(茶杯) 打碎 「(茶碗) 割る」 ③打聋了 「耳が聞こえないぐ らいたたかれた」	50 例 ①打破了所有成文或不成文的有关规定。 「決まりのあるやない関連規定を全部破る」 ②打满全场 「全試合に出場する」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			④打起盹来 「居眠りしはじめる」 ⑤打翻了船 「船をひっくり返す」	④打架 「けんかする」 ⑤打到纳兰的头 「ナランさんの頭を打つ」	③打起来 「けんかする」 ④打光了 「なくなる」 ⑤打输了 「負ける」	
		c	打成了平局 「同点になる」	—	—	—
82	敲 たたく ノックする	a	①敲开日本队的球门 「最初の一点を取る」 ②敲开德国队大门 「ドイツチームから一点を取る」	①敲开法兰克福队的大门 「フランクフルトチームから一点を取る」 ②敲开日本队的球门 「日本チームから一点を奪う」 ③敲开国米大门 「インテルから一点を取る」	—	—
		b	①敲坏了 「たたいて壊す」	—	—	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			②敲上他的头 「彼の頭を打つ」			
		c	一	一	一	一
83	撞 ぶつかる	a	一	撞开美国国家队门将 默里尼克丝把守的大 门 「アメリカ国家チー ムのゲートキーパー を担当するモリニク スが防衛するゲート を破れる」	一	一
		b	63 例 ①撞上人家自行车 / 撞上车 「自転車/車にぶつ かる」 ②撞人 「人にぶつかる」 ③撞到梅身上 「梅さんにぶつか	11 例 ①撞上木星 「木星にぶつかる」 ②撞到树上 「樹にぶつかる」 ③撞倒了煎饼摊 「餅焼き屋台をぶつ け倒す」 ④撞上飞驰过的摩托	31 例 ①撞瘪 「べっちゃんこに押しつ ぶされる」 ②撞倒在一起 「ぶつかる」 ③撞上船板 「船の甲板にぶつかる」 ④撞着史今	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			る」 ④撞着孩子的手臂 「子どもの腕にぶ つかる」	车 「走り去るバイクに ぶつかる」 ⑤撞到张无忌身上 「張無忌さんにぶつ かる」	「史今にぶつかる」	
		c	一	一	一	一
84	砍 (おの、な たなど で)切る	a	一	一	一	一
		b	砍头 「首が切られる」	一	一	一
		c	一	一	一	一
85	揺 ふる		一	一	一	一
86	动手 始める 手をふれ る	a	一	一	一	一
		b	动手/动手打起架来 「手を出す」	一	动手打了起来 「手を出す」	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
87	射击 射る 射撃する		一	一	一	一
88	中 当てる 命中する	a	中了秀才 「秀才になる」	一	一	一
		b	中了小日本的奸计 「日本の罠にはまる」	①中途搁浅 「途中で頓挫する」 ②中了二爷的蛊惑 「二爺さんに誘惑される」 ③中枪 「銃に打たれる」 ④中途退出 「途中退出する」 ⑤中毒身亡 「毒で死ぬ」 ⑥中计 「罠にはまる」	①中断 「中断する」 ②中暑 「熱中症になる」	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
89	挿 さしこむ はさむ	a	一	一	一	一
		b	一	一	指尖几乎插进火里 「指先が火の中に入りそうになる」	一
		c	一	一	西边的山脚几乎插到驿谷川里 「西の麓はほとんど驿谷川の中まで伸びている」	一
90	砸 たたく 強く打つ	a	一	一	一	一
		b	12 例 ①砸着孩子 「子どもを打つ」 ②砸成肉饼 「肉餅になる」 ③砸了 「打った」 ④砸死我 「ひどく打った」 ⑤砸锅卖铁的程度 「ありったけを投	7 例 ①砸在他们的车上 「彼らの車に落ちた」 ②（石头）砸在他们身上 「（石）彼らの体に落ちる」 ③（空调器底部掉下来）砸在我的头上 「（クーラーのそこの部分が落ちて）私の頭	①（水晶吊灯）砸到观众头顶上 「（水晶のペンダントライト）観衆の頭のとてっぺんに打つ」 ②砸到了一个记者的头 「ある記者の頭を打つ」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			げ出す程度」 ⑥砸碎了灯火的招牌 「明かりが打ち碎かれた看板」 ⑦砸了他的脚 「彼の足を打った」	を打つ」 ④砸在一个球童的脑袋上 「ボールを拾う子ども の頭を打つ」 ⑤砸了热力公司的牌子 「熱力会社の信用を 壊す」		
		c	一	一	一	一
91	折断 折る 折り取る	a	一	一	一	一
		b	折断腿 「足が折れる」	一	①折断了布莱德的剑 「ブライドの剣を折る」 ②折断 「折れる」	一
		c	一	一	一	一
92	扔 ほうる 捨てる		一	一	一	一
93	摔	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	投げる 投げつける	b	73 例 ①摔死 「転んで死ぬ」 ②摔一跤 「転ぶ」 ③摔下水去 「水に転び落ちる」 ④摔下楼梯 「階段から転び落ちる」 ⑤摔下马来 「馬から落ちる」	37 例 ①摔倒 「転ぶ」 ②摔下山崖 「崖に転び落ちる」 ③摔倒在地 「地面に転ぶ」 ④摔跌下去 「転び落ちる」	21 例 ①摔倒 「転ぶ」 ②摔倒在臭水沟中 「臭い溝に転び落ちる」 ③摔个大跟头 「転ぶ」 ④摔下来了 「転び落ちる」	①人只要运动就难免摔跟头 「人は運動する限り、どうしても転けてしまう」 ②等年龄大了再练难免摔伤自己 「年を取ってから練習すると、転けてけがするの仕方がない」
		c	一	一	一	一
94	投 投げる	a	一	一	一	一
		b	一	投入监狱 「監獄に入る」	一	①投机牟利 「機を見て利益を得ようとする」 ②投降 「降参する」
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
95	丢 ほうる なくす	a	一	一	一	一
		b	一	19 例 ①丢了这条老命/丢了性命 「命を落とす」 ②丢了 「なくす」	一	丢失一些鞋子及原材料 「いくつかの靴や原材料をなくす」
		c	一	一	一	一
96	丢掉 落とす なくす	a	一	一	一	一
		b	一	①丢掉了性命 「命を落とす」 ②丢掉了到手的世界冠军 「手に入れた世界チャンピオンを落とす」	一	一
		c	一	一	一	一
97	掉 落とす 落ちる	a	一	一	一	一
		b	一	15 例 ①掉到沟里 / 地上	一	①掉队 「落伍する」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	なくす			「溝の中/地面に落ちる」 ②掉进海里 「海に落ちる」 ③掉了脑袋 「命を落とす」		②掉进这个漩涡 「この流行にはまる」
		c	一	一	一	一
98	撒 まく まき散らす	a	一	一	一	一
		b	撒掉 「まき散らす」	一	①撒手不干 「手放す」 ②撒手人寰 「死ぬ」	一
		c	一	一	一	一
99	撒开 解く 放す		一	一	一	一
100	浇 (水を)まく そそぐ		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
101	甩 振り回す 投げる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①甩到了湖中央 「湖の真ん中に投げ入れる」 ②甩掉手中的劍 「手にある劍を投げ落ちる」	一
102	捉 つかまえる 捕える	a	一	一	一	一
		b	捉住他 「彼を捕まえる」	一	一	5 例 捉襟见肘 「対応に窮する」
		c	一	一	一	一
103	采 摘む 摘み取る	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		b	一	一	一	一
		c	一	一	7 例 ①采取了一切手段 「すべての手段をとる」 ②采访过我的记者 「私を取材した記者」	一
104	捆 縛る くくる		一	一	一	一
105	绑 縛る 捕縛する		一	一	一	一
106	編 編む	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	编织了一辈子毛衣, 有着丰富的经验和技巧 「一生セーターを編んできたので、豊富な経験と技術がある」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
107	开 開く あける	a	一	一	一	一
		b	①开上便道 「臨時通路に乗り 上がる」 ②没开枪毙人 「銃で人を殺す」	开了小差 「気が散る」	①开口说谎了 「嘘をつく」 ②开始恨起她来 「彼女を恨み始める」	一
		c	①开口说出话来 「しゃべる」 ②开玩笑 「冗談をいう」	开始 「始まる」	20 例 ①开发完备 「開発し終わる」 ②（山头）开完 「（山）全部開拓する」 ③开始晃动 「揺れ始める」 ④开口 / 开口说话 「しゃべる」	一
108	打开 開く あける 打開する		一	一	一	一
109	张	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	あく あける 広げる	b	一	一	一	①张冠李戴了 「対象や事実を取り違える」 ②张扬 「表ざたになる」
		c	一	一	①张口就能说个一二三四 「口をあけるとあれこれしゃべり出す」 ②张布在整个欧洲大陆上 「ヨーロッパ全土に分布されている」	一
110	张开 あく あける		一	一	一	一
111	关 しめる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①关门 「閉店する」 ②关闭了所有景区 「すべての観光地区を封	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					鎖する」	
112	閉 閉じる 閉める	a	一	一	一	一
		b	①闭过气去 「気絶する」 ②闭经 「閉経」	一	一	一
		c	一	一	①闭眼 「目を閉じる」 ②闭关了一个月 「一ヶ月外界との交流を 絶つ」 ③闭严了 「しっかりと閉じる」	一
113	分 分ける 分配する	a	一	一	分完了所有金牌 「すべての金メダルを分 けた」	一
		b	一	一	分手 「分かれる」	分心/分神 「気を散らす」
		c	一	一	一	分流 「散る」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
114	分开 分ける		一	一	一	一
115	放松 ゆるめる		一	一	一	一
116	合 合わせる 閉じる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①（眼）合上 「（目）閉じる」 ②（陡壁）合拢在一起 「（険しい壁）1つにする」 ③合成为一个圆 「丸になる」 ④合二为一 「2つを1つにする」	不合平仄要求 「音律の要求に合わない」
117	包 包む	a	包揽前三 「第一位から三位 まで全部取る」	一	一	一
		b	一	一	一	①包含炫耀的成分 「ひけらかす部分を含む」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						②包含着一些不健康的成分 「不健康な部分がある」 ③包含着扭曲的成分 「歪んだ部分がある」
		c	一	一	一	一
118	量 はかる		一	一	一	一
119	称 (重さを) はかる		一	一	一	一
120	盛 いれる 盛る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	盛气凌人 「傲慢な態度で人を押 さえつける」
		c	一	一	一	一
121	装 入れる		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	つめる					
122	掏 さぐる 取り出す	a	一	一	一	一
		b	一	一	①（职工家里的钱）掏尽了 「（職員の家のお金）使い切る」 ②掏空了积蓄/国库/地方财力 「貯金/国庫/地方財産を空っぽに取り出す」	一
		c	一	一	一	一
123	挖 掘る		一	一	一	一
124	埋 埋める	a	一	一	一	一
		b	一	如此天仙般的美人儿， 险些埋没于偏荒野地 「仙女みたいな美人がこんな偏るところで埋もれさせるところだった」	一	①埋怨自己不争气 「自分は意気地がないと責める」 ②埋怨时间 「時間を責める」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
125	埋葬 埋蔵する		一	一	一	一
126	堵 ふさぐ		一	一	一	一
127	填 うめる ふさぐ		一	一	一	一
128	按 押す 押さえる		一	一	一	一
129	貼 はる はりつけ る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	贴着她的胸脯儿 「彼女の胸にくっつく」	一	37 例 ①头几乎贴到地上 「頭が地面までくっつき そうになる」 ②脸几乎贴到信纸上, 一字 一句地认真看着	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「顔が手紙に貼り付きそうに、一文字一文字を真剣に読んでいる」	
130	圧 押さえる 押さえつける	a	一	一	一	一
		b	一	一	17 例 ①枝叶) 压到了行人的头顶 「(枝葉) 通行人の頭まで押さえられる」 ②压倒) 普遍市场价 「一般の市場値段より下回る」 ③压住了车顶 「車のおてっぺんを押さえる」	一
		c	压跪下 「重さで膝付く」	一	一	一
131	挂 かける つりさげる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	挂一漏万 「言い落としがある」
		c	一	一	①挂在每个领导的嘴边	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「リーダーたちがみんな口にする」 ②墙面）挂满了古典照片 「(壁に) 古典写真をかけ詰めた」	
132	挑 えらぶ えらびだす		一	一	一	一
133	拨 突く つつく かきわけ る		一	一	一	一
134	拾 拾う		一	一	一	一
135	指 指さす 指し示す	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	指着我叫起来 「私を指して叫び出した」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
136	招 招く	a	一	一	一	①招来两边敬重的目光 「両側から尊敬する目 で見られる」 ②招人注目 「注目される」
		b	招灾惹祸 「災いを招く」	①招致亡国 「国を滅ぼす」 ②招供 「自供する」	一	11 例 ①招致某些人的嫉恨 「いくつかの人の恨み を招く」 ②招来这样那样的疑问 「このような疑問を招 く」 ③招来闲言碎语 「陰口を招く」 ④招致西部成员国的抱 怨 「西部加盟国から文句 を招く」 ⑤招致诽谤

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						「誹謗を招く」
		c	一	一	一	一
137	传 伝える	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	①传染 「伝染する」 ②不传入左邻右舍，一时成为噪音问题 「隣に住む家に入り、一時騒音問題になる」 ③不传到宋其文的耳朵里去 「宋其文さんの耳に入る」
		c	一	一	9 例 ①传遍了全世界 「全世界に知れ渡る」 ②传遍了各种广播媒介 「各種メディアに知れ渡る」	一
138	交	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	渡す 手渡す	b	一	一	交白卷 「白紙を出す」	交臂失之了 「チャンスをなくす」
		c	交了容纳费 「納入費を払う」	一	①交了几个朋友 「何人かの友だちができる」 ②（山脚）交错在一起 「(麓) 互いに混じり合う」	交了点“学费” 「“学費”を払う」
139	接 受ける 受け取る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	有时难免接济不上 「時々どうしても援助できない」
		c	一	一	接触过 「触れたことがない」	画风难免接近海外 「画風がどうしても海外に似ている」
140	接到 受け取る		一	一	一	一
141	握手 握手する		一	一	一	一
142	放手	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	手を放す	b	一	一	放手不管 「手放す」	一
		c	一	一	一	一
143	鼓掌 拍手する		一	一	一	一
144	走 歩く	a	一	一	一	一
		b	走断两只脚 「両足が折れそう になるまで歩いた」	①走私出国 「密輸出国」 ②走向破产 「破産になる」	①走投无路的情况 「窮地に陥る状況」 ②走到了破产的边缘 「破産するまで行った」 ③走光/空了 「全部いなくなる」	①走上衰败之路 「衰える道を歩み始め る」 ②走入岔道 「分かれ道に入る」 ③年龄大了，每当背不 出来时，讲出来难免走 样 「年齢が高くなったか ら、思い出せない時、 話しの中身がどうして も変ってしまう」 ④走极端 「極端の方法を取る」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						⑤走弯路 「回り道をする」 ⑥走向困境 「苦しい立場になる」 ⑦走向表面化和形式化 「表面化や形式化に走る」 ⑧走到神秘主义的反理性一面 「神秘主義の反理性の一面に走る」 ⑨走偏方向 「違う方向に向かう」 ⑩（先行理念）难免走入 「(先行理念) どうしても入ってくるのだ」
		c	走了同一条路 「同じ道を歩む」	一	①走访了所有农户 「すべての農家を訪問した」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					②走完了—个时代 「1つの時代を歩き終わった」 ③走遍全国 「全国をあまねく歩く」	
145	逛 ぶらつく 歩き回す	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	逛遍了本市的书店和书摊 「本市の本屋や本売り場を歩き回った」	—
146	散歩 散歩する		—	—	—	—
147	跑 走る	a	—	—	—	—
		b	①跑断了腿 「足が折れそうに走った」 ②跑出接力区 「バトンタッチゾーンを走り出た」 ③跑糊涂了	—	①跑断了腿 「走って足が折れそうになった」 ②跑光了 「全部逃げた」 ③跑烂了一辆桑坦纳 「(車) サンターナをほろ	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「走ってわけがわからなくなった」		ほろになるまで走った」	
		c	跑去问这家人家买下来 「この家の人に聞きに行って買い取る」	一	①跑遍了半个中国 「中国の半分を歩いた」 ②跑到走廊尽头的时候 「走って廊下の突き当たりに着く時」 ③跑了一天 「一日を走った」	一
148	跳 はねる	a	一	一	一	一
		b	①跳沟死了 「溝に飛び込んで死ぬ」 ②跳楼 「建物から飛び降りる」	一	一	一
		c	37 例 ①高兴/狂喜/吓得/气得/吃惊得差点跳（了）起来	一	47 例 ①气得/兴奋得/高兴得/惊喜得/乐得差点跳了起来 「怒りで/興奮で/嬉しく	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「喜んで/嬉しくて /驚かされて/怒り で/びっくりでもう 少しで跳び上がる ところだった」 ②跳水里 「水に飛び込む」 ③（心臓）差点跳出 来了/跳出喉咙 「（心）もう少しで 飛び出る/喉から跳 び出るところだっ た」		て/驚き喜んで/楽しくて もう少しで跳び上がると ころだった」 ②（心臓）差点跳了出来/ 跳出腔子/跳到嗓子眼儿/ 喉头 「（心臓）もう少しで跳び 出る/胸を飛び出る/喉か た飛び出るところだった」 ③跳到浩珉身上 「浩珉さんに跳び付く」 ④跳水 「水に飛び込んで死ぬ」	
149	奔 (…を)目 ざして行 く	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	（眼泪）奔涌而出 「（涙）湧き出る」	一	一	一
150	睬	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	踏む 踏みつける る	b	8 例 ①踩着手雷 「手榴弾を踏む」 ②踩到摆在门口得 苹果派 「入り口にあるア ップルパイを踏む」 ③踩到站在身后的 噗噗 「後ろに立ってい る噗噗さ④んを踏 む」 踩在另一具大地精 的尸体身上 「もう 1 つの大地 精霊の死体を踏む」 ⑤踩到她的手 「彼女の手を踏む」	一	①踩到他鞋跟 「彼の靴のかかとを踏む」 ②踩进水里 「水に踏み入れる」	一
		c	一	一	一	一
		a	一	一	一	一
151	踏	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	踏む	b	一	一	一	一
		c	一	一	①踏遍了大半个欧洲 「ヨーロッパの大半を歩いた」 ②踏平/破了所有门槛 「すべての敷居に踏み入れる」	一
152	踢ける	a	一	一	踢入德乙 「德乙チームに入る」	一
		b	踢到姚明的脸上 「姚明さんの顔を蹴る」	踢中了她的小腿 「彼女のすねを蹴り当てる」	①踢着他的额头 「彼の額を蹴る」 ②踢了出来 「蹴り出される」	一
		c	一	一	一	一
153	跺脚 足を踏み 鳴らす		一	一	一	一
154	站 立つ	a	站稳 「安定して立つ」	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		b	一	一	一	一
		c	站了起来 「立ち上がる」	一	①（在火车上）站完了全程 「（電車に）全行程立ち終わる」 ②站在同一起跑线上 「同じスタートラインに立つ」 ③站着睡着了 「立ったまま寝てしまう」	一
155	停 止まる やめる	a	一	一	一	一
		b	①停产 「生産停止」 ②（心脏）停了 「（心臓）止まる」 ③（摔得）停止了呼吸 「（転けて）呼吸が止まる」 （④心脏）停止跳动 「（心臓）動きが止	①停办 「処理停止」 ②停产 「生産停止」 ③停住脚 「足を止める」	①停止呼吸/争辩/创作 「呼吸/論争/創作を止める」 ②停顿 「中断する」 ③停滞（不前） 「停滞する」 ④（心脏）停止了跳动 「（心臓）動きが止まる」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			まる」			
		c	一	一	一	一
156	离开 離れる	a	一	一	一	一
		b	一	(母亲) 离开了我们 「(母) わたしたちか ら離れる」	一	一
		c	一	一	(她的双脚) 离开了地面 「(彼女の両足) 地面を離 れる」	一
157	来 来る	a	一	一	一	一
		b	来迟了 「来遅れた」	一	一	一
		c	一	一	①(厨房等) 来个彻头彻尾 的重新“包装” 「(キッチンなど) 完全に 大変身する」 (②这些客户) 来自全世界 「(これらの顧客) 全世界 から来る」	找他说情, 求方便 「彼に取りなして、方 便を求める」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					③来个 180 度的转变 「180 度に変わる」	
158	来到 来る 着く		一	一	一	一
159	到 着く 到着する	a	一	一	到手的胜利 「手に入れた勝利」	一
		b	一	一	①到了最低程度 「最低程度になる」 ②到了崩溃/破产的边缘 「崩壊/破産の寸前になる」 ③到了痴迷/病态/白热化的地步 「夢中/病態/白熱化になる」 ④到了濒临灭绝的境地 「絶滅に面する境地になる」	到处抓瞎 「準備がなく慌てる」
		c	①到了郊区的海军	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			码头 「郊外の海軍埠頭に着いた」 ②到东锡埃尔去找他 「彼を捜しに东锡埃尔(地名)に行く」			
160	到达 到着する 達する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	6 例 ①到达了北极 「北極に着く」 ②到达地面 「地面に着く」 ③到达了看不见的境界 「見えない境界に到達する」	一
161	迟到 遅刻する	a	一	一	一	一
		b	迟到 「遅刻する」	(每天上班总是) 迟到 「(毎日の出勤はいつ	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
				も) 遅刻」		
		c	一	一	一	一
162	过 通る 横切る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	①（知识面）过窄 「(知識面) 狭すぎる」 ②（矫枉）过正 「正しくしようと思っ てかえってやりすぎて しまう」 ③过于功利 「功利になりすぎる」 ④过于亲热 「仲が良すぎる」 ⑤过失 「過失を起こす」
163	跟 後につい ていく	a	一	一	一	一
		b	①跟你说一句话 「君に一言を言う」 ②跟自己的铁哥们	①跟她“拜拜”了 「彼女とさよならし た」	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			动了手 「親しい友だちに 手を出す」 ③跟另一半航机相 撞 「他の航空機と衝 突する」 ④跟理查发生暧昧 关系 「チャリと曖昧な 関係を持つ」 ⑤跟我们一起来了 「わたしたちと一 緒に来る」	②跟他们发生误会 「彼らに誤解される」		
		c	—	—	跟过去一样的热情 「過去と同じような情熱」	跟了来 「付いてくる」
164	跟随 後につい ていく 従う		—	—	—	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
165	追 追う 追いかける	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	追上 「追いつく」	追上了他 「彼に追いつく」	一
166	赶 追う 追いつく	a	一	一	赶上了 「間に合った」	一
		b	一	赶上胡适的“冥诞” 「ちょうど胡适の“死んだ日”に出くわす」	一	赶上个小灾小难的 「小さい災いに遭遇する」
		c	一	一	一	一
167	逃 逃げる	a	一	一	一	一
		b	一	①逃脱 「逃れる」 ②逃窜 「逃げ回る」	①逃跑 「逃げる」 ②逃过了他的注意 「彼の注意から逃れる」 ③逃至此地 「この地に逃げてきた」	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
168	避 避ける	a	一	一	避免了可能因停电造成的 数据丢失 「停電でのデータ紛失を 避ける」	避免事故的发生 「事故の発生を防ぐ」
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
169	回 帰る 戻る	a	一	一	回避了愚昧和麻木 「無知と無関心を避ける」	一
		b	一	一	一	回忆起那辛酸的过去 「そのつらい過去を思 い出す」
		c	①回头 「振り返る」 ②回了他四川老家 鬼城丰都 「彼の四川実家鬼 城豊都に帰る」	一	一	回眸一笑 「振り返って笑う」
170	回到 帰る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	帰りつく	c	一	一	①回到原始人民的观点 「原始人の観点に戻る」 ②回到起点 「スタートに戻る」	回到韦伯的出发点 「韦伯さんの出発点に戻った」
171	回家 家へ帰る 帰宅する		一	一	一	一
172	登 登る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①登遍了所有山头 「すべての頂上に登った」 ②登上了榜首 「首位にあがった」 ③登峰造极 「最高の境地に到達する」 ④登遍了最高峰 「最高峰を全部登った」	一
173	攀 よじのぼ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	る	c	一	一	一	攀得上三五门子亲戚 「3つ、5つの家と親戚になる」
174	上 あがる のぼる 乗る	a	一	一	一	一
		b	①上大当 「騙される」 ②上了马路牙子 「道路縁石に登りあげる」 ③上了敌人的圈套 「敵の罠にはまった」 ④上了吊 「首を吊った」 ⑤上出个精神崩溃的农村孩子 「精神崩壊状態の農村子どもが出てくる」	上了你的鬼当 「君に騙される」	①上涨了1倍 「倍にあがった」 ②上了所有世界媒介的头条 「すべての世界媒介のトップニュースになった」 ③上演帽子戏法 「ハットトリックを上映する」	①上当受骗 「騙される」 ②上伪劣商品的当 「粗悪品に騙される」
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
175	下 下る 下りる	a	一	一	一	一
		b	①下水喂王八 「水に落ちて亀の 餌になる」 ②下课 「首になる」	①下台 「辞任する」 ②下了水塘 「池に入る」 ③下课 「首になる」	①下降了一半 「半分下がった」 ②下跌了 50% 「50%落下する」 ③下放了全部劳动用人权 「全部の労働用人権利を 委譲する」 ④下泪 「涙を流す」 ⑤下台 「辞任する」 ⑥下垂到了脚跟 「かかとまで垂れ下がる」	一
		c	①下了决心 「決心した」 ②（眼鏡）下来 （眼鏡）ずれる	一	一	下笔千言 「筆が立つ」
176	转弯 角を曲が		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	る					
177	出 出る	a	一	一	一	一
		b	①出了人命 「死ぬ」 ②出洋相 「恥をかく」 ③出丑 「恥をさらす」 ④出严重事故 「ひどい事故を起こす」 ⑤出大事了 「事故を起こす」 ⑥出大乱子 「間違いが起きる」 ⑦出局 「アウトになる」 ⑧出意外 「不測な事態が起きる」	①出了件爆炸事故 「爆発事件を起こす」 ②出了人命 「死ぬ」 ③出轨 「脱線する」 ④出车祸 「交通事故を起こす」 ⑤出事 「トラブルが発生する」	①（库存）出空了 「(在庫)なくなる」 ②出于所有人的预料出于本能 「すべての人の予想外」 ③出于本能 「本能から」 ④出售一空 「売り切れ」 ⑤出了声音 「声が出る」 ⑥出神 「うっとりする」 ⑦出现脱销 「在庫なしになる」 ⑧出现空白 「空白が出る」	①出问题 「問題がでる」 ②出现争夺和冲突 「奪い合いや衝突が起こる」 ③出现分散/矛盾/谬误或不足之处 「分散/矛盾/間違いや不足点が出てくる」 ④出现失误/出现闪失或差错/出错。 「ミスが出る」 ⑤出洋相 「恥をかく」 ⑥出格 「出過ぎる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			⑨出矛盾 「対立がでる」			
		c	一	一	出現在所有品牌身上 「すべてのブランドに起こる」	一
178	进入	a	①进了一个专业团体 「専門チームに入る」 ②进了工程兵文工团 「工兵文工团に入る」 ③进了决赛 「決勝にはいる」 ④进了专业队搞长跑 「専属チームに入り長距離競走をする」	①进入“供二限一” 「“2つ提供し1つ制限する”状態になる」 ②进球 「ゴールインする」	①进了决赛 「決勝に入る」 ②进了天堂 「天国に入る」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		b	①进了监狱 「監獄に入る」 ②进了一个乌龙球 「オウンゴールする」	进入鬼门关 「死ぬ」	①进退无门的绝境 「にっちもさっちもいかない窮地」 ②进入休克状态/休克 「ショック状態になる」 ③进入死胡同 「行き止まりになる」 ④进入最佳状态 「最高状態になる」	—
		c	—	—	—	—
179	退 退く 退ける	a	—	—	—	—
		b	①退休 「退職する」 ②退学 「退学する」	—	①退出了台湾市场 「台湾市場から退出する」 ②退化成树的样子 「樹の様に退化する」	—
		c	—	—	—	—
180	闯 ぶつかる とびこむ	a	—	—	—	—
		b	①闯（下）了大祸 「大きな災いを招く」	—	闯入逆行线 「逆行線に突入する」	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			②闯了红灯 「信号を無視する」			
		c	一	一	一	一
181	冲 むかう 突進する	a	一	冲进甲 A 「C リーグに入る」	一	一
		b	①冲口而出 「口から出る」 ②冲突起来 「衝突が起きる」 ③冲进嘉陵江泗水 而去了 「嘉陵江に泳ぐに 行く」 ④冲出（了）赛道 「レースから出る」	①冲出蹦床 「トランポリンから でる」 ②冲上去劝阻日本兵 「突進して日本兵を 制止する」 ③冲到他身上 「彼に突進する」	①冲击了整个科学界 「すべての科学界に衝撃 を与える」 ②冲掉了他的大学梦 「彼の大学にいく夢がな くなる」 ③冲进场内 「場内に突入する」 ④冲到阿飞身上 「飛君に突進する」 ⑤冲口而出 「口から出る」 ⑥冲进门 「トアに突入する」 ⑦冲破了黑暗	①冲突和摩擦 「衝突と摩擦」 ②冲淡了道德意义 「道德の意味を薄れ る」 ③冲决理性的堤岸 「理性の堤防を決壊さ せる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「暗黒を突き破る」 ⑧冲过来 「突進する」	
		c	冲去看你 「君に会いに行く」	—	—	—
182	前进 進む 前進する		—	—	—	—
183	倒退 退く 後退する		—	—	—	—
184	起 起きる 起き上がる	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	①起疑 「疑われる」 ②起起伏伏 「アップダウンする」
		c	—	—	①起爱怜的心 「愛しい気持ちになる」 ②起球就重扣 「ボールを投げあるとス	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					マッシュする	
185	起身 起きる 身を起こす	a	一	一	一	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	起身要走了 「立って離れる」	一
186	坐 すわる 腰かける	a	一	一	①坐了美国当代文学界第一把交椅 「アメリカ当代文学界のトップになる」 ②坐满了同学 「クラスメートで満席になる」 ③座无虚席 「満席」	一
		b	一	一	一	坐牢 「監獄に入る」
		c	坐到地上（去） 「地べたに座る」	坐在地上 「地べたに座る」	①坐着就不肯站起来 「座り込んだら起き上が	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					りたくない ②坐了起来 「起き上がる」	
187	躺 横になる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①躺着不能动 「横になって動かない」 ②躺在他怀里 「彼の懷に横たわる」	一
188	倒 倒れる	a	一	一	一	一
		b	①倒闭 「倒産する」 ②倒在悬崖下去 「崖に落ちる」	①倒闭 「倒産する」 ②倒了下来 「倒れる」	①倒闭 「倒産する」 ②倒塌 「崩れ落ちる」	一
		c	①倒下/去 「倒れる」 ②倒在车轮底下 「車輪の下に倒れる」 ③倒在地上/昏暗的	一	①倒在丁鹏身上 「丁鹏さんの体に倒れる」 ②倒了下去 「倒れる」 ③倒出来 「溢し出す」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			巷道里 「地べた/薄暗い通路に倒れる」 ④倒翻 「ひっくり返す」		④（酒）倒了一半在嘴里 「(酒) 半分を口に入れる」	
189	伸 伸ばす	a	一	一	一	一
		b	伸手打他 「手を出して彼をたたく」	一	一	一
		c	伸出手想牵朋友的手 「手を伸ばして友だちの手を握りたい」	一	①伸手可以摸到 「手を伸ばすと触れる」 ②伸展到了每个角落 「至るところにある」 ③伸延至全国各地 「全国各地に伸ばせる」 ④伸向了各个行业 「各職業に手を伸ばす」 ⑤伸手不见五指 「手を伸ばしても指が見えない」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					⑥伸到她鼻尖上 「鼻先に伸ばす」	
190	縮 縮める	a	一	一	一	一
		b	一	一	缩短了他的寿命 「彼の寿命を短くする」	一
		c	一	一	①缩小到零 「ゼロに縮小する」 ②缩进了衣领里 「襟の中に縮む」 ③缩没了 「縮んでなくなる」 ④缩成了一团 「塊に縮んだ」	一
191	蹲 うずくま る しゃがむ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①（笑得）蹲在了地上 「（笑いで）地面にしゃがむ」 ②（累得）蹲着用手按着地 支撑着向前寻找	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「(疲れで)しゃがんで手を地面に支えなが探す」	
192	跪 ひざまずく	a	一	一	一	一
		b	①跪下 「跪く」 ②跪下地来 「地べたに跪く」 ③跪了下来 「跪いていく」 ④跪倒在家姑眼前 「姑の目の前に跪く」 ⑤跪倒在地上 「地べたに跪く」	一	①跪倒在地毯上 「絨毯に跪く」 ②跪倒在台阶上 「階段に跪く」 ③跪倒下来 「跪いていく」	一
		c	一	一	一	一
193	趴 伏せる 腹ばいになる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	趴下 「うつ伏せる」	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
194	动 動く	a	一	一	一	一
		b	①动手 「手を出す」 ②动用公司能量寻找他 「会社のエネルギーを使って彼をさがす」 ③动手打他 「彼に手を出す」 ④动起手来 「手を出す」	①动武 「暴力を振るう」 ②动摇 「動揺する」 ③动粗 「暴力を振るう」	①动武 「暴力を振るう」 ②动了干戈 「戦争を起こす」 ③动员了全国的力量 「全国の力を動員する」 ④动摇了决心 「決心を動揺する」 ⑤动怒了 「怒る」 ⑥动了真情 「真心を動かす」 ⑦动也动不了 「動きたくても動けない」	①动作变形 「動作が変化する」 ②动心 「心を動かす」 ③动了好奇 「好奇心をかき立てる」
		c	一	一	一	一
195	动弹 動く 身動きす		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	る					
196	翻 ひっくり 返す	a	一	一	一	一
		b	18 例 ①翻船 「船を転覆する」 ②翻覆 「転覆する」 ③翻跟头 「もんどりを打つ」 ④翻了车 「車がひっくり返す」 ⑤翻脸 「仲たがいする」	11 例 ①翻了 「ひっくり返す」 ②翻覆 「転覆する」 ③翻车 「車がひっくり返す」 ④翻船 「船が転覆する」 ⑤翻下桥去 「橋の下に転落する」	120 例 ①翻了一番 「倍になる」 ②翻遍了每一页 「ページを全部めぐる」 ③（吵得）翻船掉到水中 「（うるさくて）船を転覆して水に落ちる」	①翻译腔 「翻訳調がある」 ②翻脸 「仲たがいする」
		c	一	一	一	一
197	翻身 身をひっ くりかえ す		一	一	一	一
198	跌	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	ころぶ つまずく	b	45 例 ① 跌下山去 「山の下に転け落ちる」 ② 跌下（床）来 「(ベッド)落ちる」 ③ 跌一跤 「転ける」 ④ 跌到湖里 「湖に転け落ちる」	28 例 ① 跌倒 「転ける」 ② 跌进河里 「河の中に落ちる」 ③ 跌破 115 元 「115 元まで下落する」 ④ 跌伤 「転けてゲガをする」 ⑤ 跌入眼前的空洞里 「目の前の空洞に落ちる」	50 例 ① 跌去一半 「半分が下落する」 ② 跌倒 「転ける」 ③ 跌到降级区/谷底 「降職区/谷底に落ちる」 ④ 跌至最低水平 「最低水準になる」 ⑤ (骨头) 跌散 「(骨)」転けてバラバラになる」 ⑥ 跌下马背 「落馬する」 ⑦ 跌了一跤 「転ける」 ⑧ 跌下去 「転け落ちる」	跌跤/跌跟头 「転ける」
		c	一	一	一	一
199	爬	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	はう よじのぼ る	b	一	一	一	一
		c	一	一	①爬了两个多小时 「二時間をはった」 ②爬到了中天 「中天までよじ登る」 ③爬出门去 「ドアの外に這い出た」	一
200	钻 もぐりこ む	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	钻进了您的家庭 「あなたの家庭に入る」	一
201	靠 もたれる たよる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①靠到桌面上 「テーブルにもたれる」 ②靠晚会支撑 「パーティーに支えられる」 ③靠在他身上了	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「彼の体にもたれる」 ④靠着马白夫公公的石凳 「馬白夫おじいさんの石 榻に寄りかかる」	
202	依靠 たよる たのみに する	a	—	依靠组织后卫查尔斯 的 出色发挥而挑落对手 「ガードチャルズさ んの見事な發揮で相 手に勝つ」	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	依靠自己的时候 「自分に頼る時」	—
203	挤 押す 押しあう	a	—	—	—	—
		b	①（选拔赛）挤掉阿 兰 「（選抜試合）ラン さんを排除する」 ②挤碎了门玻璃 「ドアガラスを押	（魚）挤破了渔网 「（魚）網を押しつぶ す」	①挤得广场水泄不通 「広場が人で一杯になる」 ②挤破新兴公司的门 「新興会社のドアを押し つぶす」 ③挤做一团	挤掉观众“参加表演” 的机会 「“演技を披露する”チ ャンスをなくす」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			しつぶす」		「ぎっしり詰まる」 ④挤占 「占拠する」 ⑤挤满 「いっぱいになる」	
		c	一	一	一	一
204	藏 隠す しまう		一	一	一	一
205	躲藏 身を隠す		一	一	一	一
206	躲 避ける 隠れる	a	一	一	一	一
		b	一	一	①躲在了耿莉丽的身后 「耿莉丽さんの背後に隠れる」 ②躲了起来 「隠れる」 ③躲到桌子底下去 「テーブルの下に隠れる」	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
207	背 背負う	a	一	一	一	一
		b	(吓得/痛得/疼得) 背过气(去) 「(びっくりで/痛くて)気絶する」	一	①背着近3万美国的国债 「3万ドルぐらいの国債を負う」 ②背了大半 「半分以上を背負る」 ③背过气去 「気絶する」 ④背向球门的一记头球 「ゲートを背中にしたヘッドキック」 ⑤背着他的辩护律师 「弁護士さんに隠れてやる」	①背上包袱 「小包みを背負う」 ②背上受伤 「負傷する」
		c	一	一	一	一
208	帯 持つ 携行する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	①带领全体英格兰 球员大罢工 「イングランド選	一	①带着哭腔告诉我们 「泣きそうにわたしたちに告げる」	36例 ①帶有菲律賓語腔 「フィリピン語なまり

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			手全員を率いてストライキする」 ②带倒了一只站灯 「スタンドランプを倒す」 ③带出毛驴两字来 「ロバという二文字がついて出てくる」		②带着小布跑 「布くんを連れて走る」 ③带有恳求的声音 「懇願を帯びる声」	がある」 ②带上一些片面性 「一面的すぎる」 ③带动价格水平 「価額水準を動かす」 ④带来新的暴力和流血 「新たな暴力と流血をもたらす」 ⑤带有个人感情色彩 「個人感情が入る」 ⑥带上一些问题 「いくつかの問題がある」
209	扑 とびかかる たたく	a	一	一	一	一
		b	①扑倒在车门外面 「車のドアにぶつかり倒れる」 ②扑了个空 「無駄足を踏む」	一	①扑了上去 「突進する」 ②扑倒在地 「ぶつかり地面に倒れる」 ③扑倒了 「ぶつかって倒れる」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
210	憋 息をこら す がまんす る	a	一	一	一	一
		b	①憋紫了脸 「息がつまって顔 が赤くなる」 ②憋死 「気が塞いで死ぬ」	一	(一口气)憋死在嗓子眼里 「(空气) 喉に詰まる」	一
		c	一	一	一	一
211	发抖 ふるえる	a	一	一	一	一
		b	一	一	①发抖地说 「震えながら言う」 ②(沉醉, 吓得, 兴奋地) 发抖 「(酔って/驚かされて/興 奮で) 震える」	一
		c	一	一	一	一
212	休息 休む 休憩する	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
213	歇 休む		一	一	一	一
214	瞌睡 居眠りする		一	一	一	一
215	睡 寝る	a	一	一	一	一
		b	睡过时辰 「時間を寝すぎる」	一	一	一
		c	睡着（了） 「寝てしまう」	一	睡着（了） 「寝てしまう」	一
216	打呵欠 あくびをする		一	一	一	一
217	穿 目がさめる	a	一	一	一	一
		b	①（子弹）穿过他坐 车的玻璃 「（銃弾）彼が座る 車のガラスを貫 く）」	一	①穿破肺部 「肺を突き破る」 ②穿越加蓬全境的铁路 「カボン全域を通り抜ける 鉄道」	穿旧鞋走新路的尴尬 「古い靴を履いて新し い道を歩く困惑状態に 陥る」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			②穿帮了 「ばれる」		③穿孔了 「穴があく」 ④穿透地层 「地層に浸透する」 ⑤穿过了墙壁 「壁を貫く」 ⑥几乎没穿衣服 「ほとんど服を着ていなかった」 ⑦身上几乎没穿什么 「体にほぼなにも着ていなかった」	
		c	一	一	一	一
218	脱 脱ぐ	a	一	一	一	一
		b	8 例 ①脱了水 「脱水する」 ②脱口喊出（声） 「思わず声を出して叫ぶ」	5 例 ①脱了一层皮 「ひと皮むける」 ②脱手飞出（笔） 「手を滑らせて（ペン）投げ出す」	19 例 ①脱手 「手を滑らす」 ②脱水 「脱水になる」 ③脱口而出	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			③脱口而出 「思わず口に出る」 ④脱口说 「思わず言う」 ⑤脱口这样直接问 他 「思わずこのよう に直接彼に聞く」	③脱手 「手を滑らす」	「思わず口にする」 ④脱尽 「全部脱ぐ」 ⑤脱落殆尽 「全部抜け落ちる」 ⑥脱销 「売り切れる」	
		c	—	—	—	—
219	戴 着用する	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	戴上比尔博的戒指 「ビアボさんのリ ングをはめる」	—	—	—
220	披 はおる	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	(头发) 披落到肩背上 「(髪の毛) 肩に垂らし落 ちる」	披上了一层苏联来的茧 子 「ソ連の装いをまと

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						う」
221	织 織る		一	一	一	一
222	纺织 糸をつむ ぎ機を織 る		一	一	一	一
223	染 染める	a	一	一	一	一
		b	一	一	染指于日本社会的各个方面 「日本社会の各方面に手を出す」	①染上商业色彩 「商業色を帯びる」 ②染上对社会主义市场经济的“不适应症” 「社会主義市場經濟への“不慣れ症”にかかる」 ③染上一点脂粉气儿 「なよなよになる」 ④染上一点粗旷气 「男気質になる」
		c	一	一	染成了红色	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「赤色に染める」	
224	縫 ぬう		一	一	一	一
225	补 繕う		一	一	一	一
226	剪 はさみで 切る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	剪断了9英尺 「9フィードを切る」	一
227	裁 (布を) たつ		一	一	一	一
228	洗 洗う		一	一	一	一
229	刷 ブラシを かける	a	刷新世界最好成绩 「世界最高成績を 更新する」	刷新欧洲记录 「ヨーロッパ記録を 更新する」	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
230	烫 アイロン をかける	a	一	一	一	一
		b	烫了手脚 「手足をやけどする」	一	烫了手指 「指にやけどする」	一
		c	一	一	一	一
231	叠 たたむ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	叠成了一圈人墙 「人で壁を作る」	一
232	洗澡 入浴する	a	一	一	一	一
233	洗脸 顔を洗う		一	一	一	一
234	刷牙 歯をみがく		一	一	一	一
235	漱口 口をすす		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	ぐ うが いす る					
236	理发 理髪する 散髪する		一	一	一	一
237	梳 (髪を) とかす	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	梳理了所有的知识点 「すべての知識を整理する」	一
238	剃 (毛を)そ る		一	一	一	一
239	刮 (ひげを) そる	a	一	一	一	一
		b	一	刮碰 「傷つけたり当たったりする」	一	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
240	擦 こする ふく ぬる	a	一	一	一	一
		b	①擦肩而过 「肩が擦れ違う」 ②擦枪走火 「不意に発砲される」 ③擦伤了赫斯渥的脑袋 「ヘスウオさんの頭にかすり傷する」	一	①擦着美丰洋行的屋顶 「美豊洋業の屋根に」 ②擦着行人或者其他车辆呼啸而过 「通行人またはそのほかの車すれすれに通り抜く」 ③擦着了守门员的指头/耳朵/地面/屋顶和树梢 「ゴールキーパーの指/耳/地面/屋根や木のこずえに擦る」 ④擦肩而过 「肩と擦れ違う」 ⑤擦上了白杨树梢 「白樺のこずえすれすれに通り抜く」 ⑥（身子）擦到了地面 「(体)地面にこする」	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
241	化妆 化粧する		一	一	一	一
242	打扮 装う 着飾る		一	一	一	一
243	装作 装う 見せかける		一	一	一	一
244	烧 煮る 焼く わかす	a	一	一	一	一
		b	5 例 ①烧了邵兵的臉 「邵兵さんの顔を焼く」 ②烧着女儿的脚 「女性の足を焼く」	①烧毁这个好不容易 团聚一起的家庭 「やっと団結結集した家庭を焼き払う」 ②烧到她的身上 「彼女の体を燃やす」 ③烧死 「焼死する」	17 例 ①烧光/烧尽 「焼き尽くす」 ②烧毁了整个县城/寺院 「県全体/寺院を焼き払う」 ③烧毁殆尽 「ほとんど焼き払った」 ④烧掉了所有经文/眉毛 「すべてのお経/眉毛をも	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					たす」 ⑤烧得一滴不剩 「一滴も残らず全部燃や す」 ⑥烧到了她的手指/脸上/ 屋子 「彼女の指/顔/家を燃や す」	
		c	一	一	一	一
245	炒 いためる いる	a	一	一	一	一
		b	被炒（了）鱿鱼/被 炒掉 「首になる」	一	（绯闻）炒上了大多数的 “娱乐版” 「(浮き名)大多数の“娛樂 版”に記載する」	一
		c	一	一	一	一
246	烤 焼く あぶる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①烤干了海水 「海水を乾かす」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					②被烤干 「乾かされる」	
247	蒸 蒸す ふかす	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	(沸腾得) 蒸发掉 「(沸騰して) 蒸発 される」	一	一	一
248	煮 煮る ゆでる		一	一	一	一
249	熬 とろ火で 煮る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①熬了个通宵的机场负责人 「徹夜した空港責任者」 ②熬了一夜 「一晚徹夜する」	(噩梦) 熬它不过 「(悪夢) 持ちこたえられない」
250	泡 (液体に)	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	つける	c	一	一	①泡在了部队里 「軍隊にずっといる」 (②在一户人家)泡了一天 「(ある家)一日じゅうい つづける」	一
251	炸 (油で) あげる	a	一	一	一	一
		b	炸死了 「爆死する」	炸毁地面上的桥梁 「地面の橋を爆破する」	①炸毁了飞机 「飛行機を爆破する」 ②炸了窝 「大騒ぎになる」 ③(心)炸了 「(心) 揺れ動く」	一
		c	一	一	一	一
252	腌 (塩・み そ等に) つける		一	一	一	一
253	杀 殺す	a	一	一	一	一
		b	杀了她/我 「彼女/私を殺す」	一	①杀尽四川人 「四川人をみな殺す」	①杀人 「人を殺す」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					②杀害了我 「私を殺害する」 ③杀了艾希礼 「アイシリさんを殺す」	②杀身之祸 「殺される」
		c	一	一	一	一
254	割 切る 刈る		一	一	一	一
255	切 切る きざむ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	切断颈动脉 「頸動脈を断ち切る」	一	①切齿之声如闻的批判 「歯ぎしりして聞く批判」 ②切身体会 「身にしみる体験が生まれる」 ③切断了她的退路 「逃げ道を断つ」 ④切开空洞石壁 「空洞石壁を断割する」	切实履行自治职能 「切実に自治機能を履行する」
256	剔	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	そぐ ほじる	b	一	一	一	一
		c	一	一	被剔净了肉的鸡架子 「綺麗に肉をそぎ落された鶏の骨組み」	一
257	喂 餌を与える 食べさせる	a	一	一	一	一
		b	喂了关东狗 「関東犬の餌にする」	一	一	一
		c	一	一	一	一
258	住 住む 泊まる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①住满了清一色的棉花客商 「木綿商人一色で満員になる」 ②住了近一个月的医院 「ひと月近く入院する」 ③住在工地上	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「現場に住む」	
259	留 どどまる 残す	a	一	一	留名后世的组织 「後世の組織に名を残す」	一
		b	一	一	留下终生之憾 「一生の遺憾を残す」	①留下一些问题/痕迹 「いくつかの問題/痕跡を残す」 ②留下遗憾/缺憾 「遺憾を残す」 ③留有不宜未成年人接受的情节 「未成年者によくないストーリーがある」
		c	留下陪吴大姐 「残って姉吴さんに付き添う」	一	一	一
260	盖 ふたをす る おおう	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	①（叫好声）盖过云霄 「（喝采）天空を圧	一	16 例 ①盖过了飞机发动机的轰鸣声	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			倒する」 ②盖过泰斯的声音 「タイスさんの声 を圧倒する」		「飛行機エンジンの轟音 を圧倒する」 ②盖满了绿茵场地/他的脸 「芝生/彼の顔を覆い隠 す」 ③盖住整个脸 「顔全体を覆いかぶせる」 ④盖在头顶 「頭上にかぶせる」 ⑤盖住了窗子 「窓をかぶせる」	
261	收拾 整理する かたづけ る		一	一	一	一
262	漏 漏る 漏れる	a	一	一	一	一
		b	一	漏网 「網に漏れる」	(最后一句话) 漏掉没说 「(最後のことば) 忘れて 言わなかった」	漏个一句半句的 「一文か半文を忘れ る」
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
263	搬家 引っ越す 転居する		一	一	一	一
264	锁 鍵をかける	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	锁定在了关岛队半场 「関島チームのハーフタイムに」	一
265	洒水 水をまく		一	一	一	一
266	扫 はく	a	一	一	一	一
		b	一	扫中 「当たる」	①扫到靴子的尖端 「靴の先に当たる」 ②扫到我的脸 「私の顔を当たる」 ③扫擦到他的身上 「彼の体に当たる」	一
		c	一	一	一	一
267	扫地		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	床・地面 をはく					
268	咳嗽 せきをする		一	一	一	一
269	生病 病む 病気になる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	生病 「病気になる」
		c	一	一	一	一
270	传染 伝染する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	传染 「うつる」
		c	一	一	一	一
271	治 治す 治療する	a	一	一	治愈了 「治る」	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
272	治疗 治療する		一	一	一	一
273	看病 診察する 診察を受ける		一	一	一	一
274	打针 注射する		一	一	一	一
275	伤 けがをす る 傷つく	a	一	一	一	一
		b	①伤心地付之一炬 「悲しくて火の中に 投げて焼く」 ②伤了自己/好同事/ 他俩的耳朵 「自分/良い同僚/ 彼らの耳を傷つけ る」	伤着正在那里祈祷的 犹太人 「そこで祈祷してい るユダヤ人を傷つけ る」	①伤心得落泪 「悲しくて涙を流す」 ②伤残 「傷つける」 ③伤亡殆尽 「全部死傷する」	8 例 ①伤病 「怪我したり、病気に なったりする」 ②伤及无辜 「罪のない人を傷つけ る」 ③伤了群众的心 「民衆の心を傷つけ る」 ④伤心

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						「悲しむ」 ⑤伤了和气 「仲たがいする」
		c	一	一	一	一
276	休养 休養する		一	一	一	一
277	生 生まれる 生む	a	一	一	一	一
		b	一	一	①生气地问 「怒って聞く」 ②生气地抓住她的肩膀 「怒って彼女の肩を掴む」 ③生起气来 「怒り出した」	①生产出质量不高的影片 「質の高くない映画を作る」 ②生出担心 「心配するようになる」 ③生变/疑云 「変わる/疑う」 ④生出一股难言的辛酸 「言いがたい辛さを生み出す」 ⑤生厌

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						「嫌になる」 ⑥生出许多意想不到得故事来 「たくさんの意外な物語を生み出す」 ⑦生气的 「怒る」 ⑧生了蛔虫 「回虫がわく」 ⑨生出许多怯意 「たくさんの気後れを生む」 ⑩生涯凄苦 「生涯が苦しむ」
		c	一	一	一	一
278	长 育つ		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
279	生长 育つ 成長する		一	一	一	一
280	活 生きる	a	一	一	①活跃在世界经济的各个领域 「世界経済の各分野に活躍②する」 活脱脱像一位天使 「まるで天使のようだ」	一
		b	活活饿死 「衰れにも飢え死にする」	一	一	一
		c	一	一	一	一
281	生活 暮らす 生活する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	生活在一个与世隔绝的孤岛上 「外界と断絶する孤島に生活する」	生活上也有一些风流韵事 「生活上にもいくつかのロマンスがある」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
282	度过 過ごす 日を送る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	度过了一个“无尘”的春天 「“埃のない”春を過ごす」	一
283	死 死ぬ	a	一	一	一	一
		b	①死去/了/去 「死ぬ」 ②死在监狱里 「監獄に死ぬ」 ③死于非命 「不慮の死を遂げる」	①死亡/死去 「死亡」 ②死在他门槛边 「敷居のところで死んだ」	①死去 「死亡」 ②死于劫难 「災難で死んだ」 ③死光/死绝 「全部死んだ」 ④死在中国 「中国に死んだ」	①死亡 「死亡」 ②死伤了一些人 「何人か死んだり怪我したり」 ③死气沉沉 「元気がない」 ④死于刀下 「刀の下で死ぬ」 ⑤死在自己所品评的兵器之下 「自分が好評下兵器の下で死ぬ」
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
284	去世 死ぬ 世を去る		一	一	一	一
285	说 話す 言う	a	一	一	一	一
		b	21 例 ①说出你是疯子 「君は気違いだと言 う」 ②说出这句话来 「このことばを言 う」 ③说出在重庆林园 受的一肚子窝囊气 「重慶林園で悔し いめに遭わされた ことを言い出す」 ④说漏嘴 「口を滑らす」	一	说出声来 「声を出して話す」	①说谎 「嘘をつく」 ②说错话 「いい間違いをする」 ③说服力不强 「説得力が強くない」 ④说外行话 「素人くさい話を言 う」 ⑤说起话来颠三倒四 「つじつまが合わない 話をする」 ⑥说吃不到嘴的葡萄是 酸的 「負け犬の遠吠えをい う」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	①说说悄悄话 「私語を話す」 ②说笑两句 「二三言を笑い興じる」
286	说话 話す 話をする		一	一	一	一
287	据说 …ということである		一	一	一	一
288	谈 話す 語る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎谈了6小时 「ほぼ6時間を話した」 ②几乎谈到12点 「12時まで話した」	一
289	谈话 話をする		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	語り合う					
290	讲 話をする 説明する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	讲个不停 「話してやまない」	一
291	讲话 話をする 講演する		一	一	一	一
292	议论 議論する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	议论纷纷 「議論百出」
		c	一	一	一	一
293	念 (声を出 して)読 む	a	(大学)没念完 「(大学)卒業する」	一	一	一
		b	一	一	一	念错经 「お経を読み間違う」
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
294	告诉 告げる 知らせる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	告诉了所有的朋友 「すべての友だちに告げる」	一
295	打听 たずねる 打診する		一	一	一	一
296	交代 説明する 引き継ぐ 言い渡す		一	一	一	一
297	唱 歌う	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	唱“空城计” 「はったりをかける」
		c	一	一	一	一
298	唱歌 歌を歌う		一	一	一	一
299	录音		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	録音する					
300	叫 呼ぶ 叫ぶ	a	一	一	几乎叫他们开成了学术讨论会 「彼らが学術討論会を開くことが出来るところだった」	一
		b	79 例 ①叫他们抓了去 「彼らにとらわれる」 ②叫出声来 「声を出す」 ③叫我背过气来 「気絶される」 ④叫洪水卷走了 「洪水に持って行かれる」 ⑤叫他丢脸 「彼に恥をかかせる」	①叫大名鼎鼎的乔红失手 「有名な喬紅を失敗させる」 ②叫他看见 「彼に見られる」	49 例 ①叫了起来 「叫び出す」 ②叫出声来 「声を出す」 ③叫他发疯 「彼を狂わせる」 ④叫人忘记了它 「忘れさせる」 ⑤叫我嫉妒 「嫉妬させる」	①叫我们疑窦丛生 「我々に疑わしい点が百出する」 ②叫苦连天 「しきりに悲鳴を上げる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	①叫人觉得奢华 「豪華に思わせる」 ②叫人笑掉门牙 「物笑いになる」
301	叫做 …と呼ぶ …と称する	a	一	一	一	一
		b	一	一	叫做菊纳尔 「菊纳尔と呼ぶ」	一
		c	一	一	一	一
302	喊 大声で叫ぶ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	13 例 ①喊出声来 「声を出して叫ぶ」 ②喊出来让他反省 「叫んで彼を反省させる」 ③喊起来 「叫び出す」	一	24 例 ①喊起来 「叫び出す」 ②喊出声来/喊了出来 「声を出して叫ぶ」 ③喊破了嗓子 「喉が破れるほど叫ぶ」 ④喊出他的名字	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			④喊出“毛主席万岁” 「“毛沢東万歳”と叫び出す」 ⑤喊破嗓子 「喉が破れるほど叫ぶ」		「彼の名前を叫び出す」 ⑤喊了一声 「一声を叫んだ」	
303	吵 大声を出す	a	一	一	一	一
		b	①吵起来 「口論しはじめる」 ②吵架 「喧嘩する」	一	①吵开战了/吵翻了天 「騒いでてんやわんやになる」 ②吵了起来/吵起来 「口論しはじめた」	一
		c	一	一	一	一
304	哭 泣く	a	一	一	一	一
		b	38 例 ①哭起来/哭出来 「泣き出す」 ②哭了 「泣く」	哭起来 「泣き出す」	34 例 ①哭出声来/哭了出来 「声を出して泣く」 ②哭了起来/哭泣起来 「泣き出す」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			③哭出声来 「声を出して泣く」 ④哭瞎了眼睛 「目が見えなくな るぐらい泣いた」 ⑤哭断了气 「息が絶えるぐら い泣いた」		③哭着说 「泣きながら言う」	
		c	一	一	一	一
305	笑 笑う	a	49 例 ①笑出声来 「声を出して笑う」 ②笑岔气 「笑って急にわき 腹が痛む」 ③笑翻 「笑いこける」 ④笑死了 「死ぬほど笑った」 ⑤笑起来	5 例 ①笑出声来 「声を出して笑う」 ②笑了起来 「笑い出す」	22 例 ①笑了起来 「笑い出す」 ②笑岔了气 「笑って急にわき腹が痛 む」 ③笑得合不拢嘴 「口が閉じれないほど笑 った」 ④笑出声来 「声を出して笑う」	①笑谈风声 「談笑する」 ②笑骂 「あざけりののしる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「笑い出す」		⑤笑出了眼泪（来） 「大笑いして涙まで出た」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
306	微笑 ほほえむ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	微笑起来 「微笑む」	一
307	闹 騒ぐ 騒ぎをおこす	a	一	一	一	一
		b	8 例 ①闹得不可开交 「騒いでてんやわんやになる」 ②闹到要截肢地步 「切断するまでいった」 ③闹得大家不痛快 「みんなが不愉快になるまでいった」	5 例 ①闹得区国门负气出走 「区国门が腹を立てて出ってしまった」 ②闹出（大）笑话 「冗談を言う」 ③闹出事来 「事故を起こす」 ④闹成了四肢残废	11 例 ①闹翻 「反目する」 ②闹到了派出所 「警察署までいった」 ③闹醒了一整条弄堂 「路地ごとを目を覚まさせる」 ④闹翻了脸 「仲たがいする」	①闹出笑话/闹出点笑话（来） 「滑稽なことをやらかす」 ②闹出令人啼笑皆非的事 「泣くに泣けず笑うに笑えないことをやらかす」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			④闹出乱子 「災いを起こす」	「五体が不具になっ た」	⑤闹出事来 「事故を起こす」	
		c	一	一	一	一
308	罵 ののしる しかる	a	一	一	一	一
		b	一	一	①互联网上几乎骂翻了天 「ネット上ののしること ばがほとんどで大騒ぎに なった」 ②他们表现激烈, 几乎骂倒 中国一切传统, 对旧文化矫 枉过正。 「彼らは非常に憤慨にな って、中国の伝統をほぼす べての悪口をいい、古い文 化のゆがみを是正しよう として行きすぎた」	一
		c	一	一	一	一
309	劝 勧める いさめる		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
310	劝解 仲裁する なだめる		一	一	一	一
311	来往 往来する 付き合う		一	一	一	一
312	招呼 呼ぶ あいさつ する		一	一	一	一
313	理 かまう とりあう		一	一	一	一
314	埋 うめる	a	一	一	一	一
		b	一	埋没于偏荒野地 「荒れ地に埋没する」	10 例 ①埋没了农牧民房屋 「農民、牧民の家を埋没する」 ②埋住了半截帐篷 「テントの半分を埋める」	①埋怨自己不争气 「意気地のない自分をとがめる」 ②埋怨时间 「時間をとがめる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					③埋怨自己 「自分をとがめる」 ④埋葬了那头怪兽 「あのけものを埋葬する」	
		c	一	一	一	一
315	问 たずねる きく	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	①问 「聞く」 ②问出声 「声を出して聞く」	一	①几乎问遍每一家销售电 灯的商店 「ほぼすべての電灯を販 売する店を聞いた」 ②几乎问了所有的事情 「ほぼすべてのことを聞 いた」 ③几乎问遍了所碰到的每 一个人 「ほぼ出会ったすべての 人に聞いた」 ④几乎问出来: “孟石呢?” “孟石は?”と聞くとこ	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					ろだった	
316	答应 答える 承諾する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎答应亲自给她回信 「自分で彼女に返信する のを約束するところだた」	一
317	回答 答える	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎回答了“为什么” 「ほぼ“なぜ”を答えた」	一
318	答复 (書面で) 答える		一	一	一	一
319	访问 訪ねる 訪問する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎访问了所有欧盟成员国 「ほぼすべての EU 加盟国 を訪問した」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
320	约定 約束する		一	一	一	一
321	预定 あらかじめ決める		一	一	一	一
322	邀请 招待する 招聘する		一	一	一	一
323	碰 ぶつかる 遭遇する	a	一	一	一	一
		b	15 例 ①碰了一鼻子灰 「肘鉄砲をくらった」 ②碰着我 「私にぶつかる」 ③碰到两边 「両側にぶつかる」 ④碰到脑门 「頭をぶつかる」 ⑤碰在墙上	一	45 例 ①碰着我的前额 「ほぼ私のでこにぶつかる」 ②碰死在一段残墙上 「残壁にぶつけて死ぬところだった」 ③7 年时间几乎没碰球杆 「7 年間ほとんどラケットに触らなかった」 ④一只手几乎没碰着帽檐	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「壁にぶつける」		「片手は帽子のふちに当たるところだった」	
		c	一	一	一	一
324	碰見 ばったり 会う	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	碰到暗礁 「暗礁にぶつかる」
		c	一	一	一	①碰到这类“砂子” 「このような“砂”に遭遇する」 ②碰到人 「人に会う」
325	遭 出会う 遭遇する	a	一	一	一	一
		b	7 例 ①遭到/遭受灭顶之灾 「致命的な災いに遭う」 ②遭到爱尔兰共和军的暗算 「アイルランド共	19 例 ①遭到暗杀 「暗殺される」 ②遭擒 「捕まれる」 ③遭不测 「不慮の事故に遭う」 ④遭到同样的厄运	25 例 ①遭灭绝 「絶滅される」 ②遭到杀身之祸 「身を滅ぼすような災いに遭う」 ③遭殃 「災いが降り掛かる」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			和軍の計略に引っ かかる」 ③遭到解雇 「首になる」 ④遭到暗算 「計略に引っかか る」 ⑤遭到不幸 「不幸に遭う」	「同じ不運に遭う」 ⑤遭（到）淘汰 「振り落とされる」	④遭不測之祸 「不慮な災いに遭う」 ⑤遭了毒手 「ひどいめに遭う」	
		c	一	一	一	一
326	遇 会う	a	一	一	一	一
		b	一	11 例 ①遇害 「殺害される」 ②遇刺 「刺殺に遭う」 ③遇难 「遭難死する」	①遇难 「遭難死する」 ②几乎没遇到抵抗 「ほとんど抵抗されず」 ③几乎没遇到什么困难 「ほとんど困難に遭わな かった」	①遇上些吃力不讨好的 尴尬事情 「骨折り損のくたびれ もうけのことにあう」 ②遇上危险 「危険に遭う」 ③遇上一个反对意见 「反对意見にあう」
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
327	遇到 会う 出会う	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	27 例 ①遇到一些非议 「非難を受ける」 ②遇到风风雨雨 「艱難辛苦に遭う」 ③遇到问题 「問題が出る」 ④遇到困难 「困難に遭う」 ⑤遇到矛盾 「矛盾に遭う」 ⑥遇到各种各样的麻烦 「様々な面倒なことに ぶつかる」
		c	一	一	一	一
328	遇见 出会う		一	一	一	一
329	见面 人に会う	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	几乎见面必谈那几个北京的孩子怎样了 「ほぼ会うたびにあの何人かの北京の子はどうだったと話す」	一
330	接头 連絡をとる		一	一	一	一
331	接洽 折衝する 交渉する		一	一	一	一
332	交际 交際する		一	一	一	一
333	交渉 交渉する		一	一	一	一
334	办事 仕事をする 事務をとる		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
335	帮助 (人を)助 ける 手伝う		一	一	一	一
336	帮忙 (仕事を) 助ける 手伝う		一	一	一	一
337	安慰 慰める		一	一	一	一
338	会客 客に会う		一	一	一	一
339	等 待つ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎等到了半夜 「ほぼ夜中まで待った」 ②我程先生几乎等了有半 辈子了 「うちの程さんはほぼ人 生の半分ぐらい待った」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					③几乎等了一生 「ほぼ一生を待った」 ④他们几乎等了一年才等到这样的机会 「彼らはほぼ一年を待ってやっとこのようなチャンスに会った」 ⑤几乎没等郑永和/他/仲昭说完 「ほとんど郑永和/彼/仲昭がまだ話が終わらないうちに」	
340	等待 待つ 待機する		一	一	一	一
341	等候 待つ 待ち受ける		一	一	一	一
342	待	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	とどまる	b	一	一	一	一
		c	一	一	①他在这种危殆的处境中几乎待了半个小时 「彼はこのような危険の状態の下でほぼ 30 分いた」 ②在那寒伦的地下室几乎待了两个月以后 「その寒い地下室にほぼ 2 時間いた後」 ③他们在外面几乎待了个通宵 「彼らは外でほぼ一晩中いた」	一
343	逗留 とどまる 滞在する		一	一	一	一
344	轮 番が回っ てくる		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
345	迎接 迎える 出迎える		一	一	一	一
346	欢迎 歡迎する		一	一	一	一
347	介绍 紹介する		一	一	一	一
348	招待 もてなす		一	一	一	一
349	接近 接近する 近づく	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	49 例 ①几乎接近成人 「ほぼ大人に近い」 ②几乎踢成平局 「ほぼ同点になった」 ③几乎接近发达国家的水平 「ほぼ先進国家の水準に近づいた」	刊物的初创阶段，画风 难免接近海外，以抓住 读者 「刊行物を作りはじめ る段階で、読者の関心 を寄せるため、画風は どうしても海外に似て しまう」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					④几乎接近完美 「ほぼ完璧に近い」	
350	请 請う 求める 招く	a	一	一	几乎请出了绝大多数参加 世界杯赛的老将和多次代 表国家征战的老队员 「ほぼ大多数の W 杯のベ テランと何度も国家代表 として試合をした元選手 を誘い出した」	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
351	请客 客をもて なす	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	为了答谢难免请客送礼 「感謝をするため招待 や贈答が避けがたい」
352	陪 つきそう 相手をす	a	一	一	一	一
		b	一	一	①让陈天生几乎陪断了骨 头	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	る				「陳天生さんを骨折れるように付き合わせた」 ②那夜几乎陪了通宵 「その晩ほぼ一晩中付き添った」	
		c	一	一	一	陪客人去观瞻大同的名胜云冈石窟 「客さんに付き添って大同の名所雲岡石窟を見に行く」
353	让 招く 請じる	a	一	一	几乎没让尼克斯二次进攻得分 「尼克斯に二度点数を取らせるところだった」	一
		b	98 例 ①让老太太摔跟头 「お婆さんをつまずいてどっと転ぶ」 ②让人打了 「人に殴られる」	21 例 ①让实验泡汤 「実験をだめになる」 ②让同盟空军的努力落空 「加盟空軍の努力を	177 例 ①几乎让他失去了理智 「彼を理智を失わせるところだった」 ②几乎让他心碎 「彼の胸を張り裂けそう	47 例 ①不让人感到一些遗憾 「少し残念な思いをさせられる」 ②不让人家发生联想 「私に連想させる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			③让车撞了 「車にぶつけられる」 ④让我丢掉了小命 「私の命を失う」 ⑤没让他疼晕过去 「あまりの痛さで彼を気絶させる」 ⑥没让我失声叫出来 「思わず声を出して叫ぶ」 ⑦没让我从车里掉下来 「車から落ちる」	だめにする」 ③让我一头栽在地上 「私を地面に転ぶ」 ④让 NBA 赛夭折 「NBA 試合を打ち切られる」	になる」 ③美得几乎让人窒息 「人を窒息させそうな綺麗さ」 ④几乎没让李斯特费心 「ほとんどリストにお手数をかけなかった」	③不让人感慨中国这个传统的社会 「中国という伝統社会を身にしみて感じさせる」 ④不让世界警察不感到尴尬 「世界警察を困らせる」
		c	一	一	一	一
354	谢 お礼をいう	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎谢绝了一切商业性的演出	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「商業性演出はほぼ一切断った」	
355	感谢 感謝する		一	一	一	一
356	祝 心から祈 る		一	一	一	一
357	庆祝 祝う 祝賀する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	社区里总是在过节, 这里几乎庆祝全世界的节日 「コミュニティではいつもお祭り。ここはほぼ全世界の祝日を祝うのだ」	一
358	祝贺 祝う お祝いする		一	一	一	一
359	送礼		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	贈り物をする					
360	鞠躬 おじぎをする		一	一	一	一
361	抱歉 すまなく 思う		一	一	一	一
362	道歉 わびをいう あやまる		一	一	一	一
363	多亏 …のおかげである		一	一	一	一
364	原谅 許す とがめない		一	一	一	一
365	敬礼		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	敬礼する					
366	要求 要求する		一	一	一	一
367	求 求める		一	一	一	一
368	要 望む 求める	a	一	一	一	一
		b	75 例 ①要了他的命 「彼の命を取る」 ②要挨打 「殴られる」	11 例 ①要了傅某的命 「傅さんの命を取る」 ②要跌倒 「転ぶ」 ③要流下泪来 「涙が出る」 ④要发生撞车事件 「車にぶつかる事故 が起きる」	941 例 ①几乎要动武了 「喧嘩を始めるところだ った」 ②心几乎要碎了 「心臓が粉々になりそう だ」	一
		c	一	一	①高兴得几乎要跳起来了 「嬉しくて跳び上がりそ うになった」 ②每次分配救济物资和斗	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					争果实，他几乎没要过。 「毎回配られた救済物質 や闘争成果は彼がほぼも らったことがない」	
369	需要 必要とす る		一	一	一	一
370	給 与える	a	一	一	幸运之神几乎给了他一切 机会 「幸運の女神は彼にほぼ すべてのチャンスを与え た」	一
		b	71 例 ①给他跑掉 「彼に逃げられる」 ②给忘记了 「忘れられる」 ③给折断 「折れられる」 ④给打死	12 例 ①给烧死 「焼死される」 ②给他打着 「たたかれる」 ③给刺中脸颊 「顔を刺される」 ④给工程造成隐患	38 例 ①灯火几乎给冲灭了，不住 地晃荡着 「明かりが消されそうに なって、ゆらゆらしてい る」 ②几乎给对方进球的机会 「ほとんど相手にゴール	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「殴られて死ぬ」 ⑤給淹死 「溺死される」	「工事に問題をもた らす」	するチャンスを与えな かった」	
		c	—	—	①他们几乎给出了一致的 答案 「彼らはほぼ一致した答 えを出した」 ②几乎给人留下什么印象 「ほとんど人に印象を与 えなかった」	—
371	供 供給する	a	—	—	—	—
		b	供不应求 「供給が需要に追 いつかない」	—	—	—
		c	—	—	—	—
372	得到 得る	a	得到三双 「トリプル・ダブル を獲得する」	—	35 例 ①几乎得到世界所有国家 的支持 「ほぼ世界のすべての国 家に支持された」	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					②有两次他们几乎得手 「二回だけ彼らはうまく 行きそうになったことが ある」 ③几乎得到了到大家一致 的崇敬 「ほとんどみんなの一致 した尊敬を受けた」 ④几乎没得休息 「ほとんど休めなかった」 ⑤几乎没得到任何响应 「いかなる支持もほとん ど得なかった」 ⑥几乎没得到开发 「ほとんど開発されなか った」 7 几乎没得分 「ほとんど点を取れなか った」	
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
373	受到 受け取る 受領する		一	一	一	一
374	領 (報酬な どを)受 け取る		一	一	一	一
375	取得 得る 手に入れ る	a	一	一	8 例 ①几乎取得了共识 「ほぼ合意された」 ②几乎取得胜利 「ほぼ勝利を得た」 ③几乎取得了完全一致的 意見 「ほぼ完全一致な意見を 得た」 ④几乎取得过巴西各种钢 琴比赛的胜利 「ブラジル各種のピアノ	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					試合の勝利をほぼすべて を取った」 ⑤几乎取得领先 「ほぼリードを取っている」 ⑥几乎取得绝对的中场控制权 「ほぼ絶対なミッドフィールド ールダー制御権を取った」 ⑦几乎没取得过好成绩 「いい成績をほぼ取った ことがない」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
376	获得 獲得する 得る	a	①获得欧洲赛场入场券 「ヨーロッパ試合 の入場券を獲得する」 ②获得一枚铜牌	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「銅メダルを獲得する」 ③获得反击机会 「反撃のチャンスを得る」			
		b	—	—	—	—
		c	—	—	—	—
377	失去 失う	a	—	—	—	—
		b	16 例 ①失去方向 「方向を失う」 ②失去了考大学的权利 「大学試験を受ける権利を失う」 ③失去性命 「命を失う」 ④失去你 「あなたを失う」 ⑤失去平衡	7 例 ①失去榜首位置 「トップの位置を失う」 ②失去重心 「重心を失う」 ③失去入选资格 「入選資格を失う」 ④失去平衡 「バランスを失う」	155 例 ①几乎失传 「ほとんど後世に伝わらなかった」 ②几乎失去了本身的意义 「ほとんど自身の意味を失った」 ③几乎失明 「失明しそうになった」 ④几乎失去联系 「ほとんど連絡が取れなかった」	①失去信心了 「自信を失う」 ②失去正确的方向 「正しい方向を失う」 ③失去平衡 「バランスを失う」 ④失去一些什么 「何かを失う」 ⑤不失去生态的平衡 「生態バランスを失う」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「バランスを失う」			
		c	一	一	一	一
378	使得 …させる 結果を招く	a	一	一	一	一
		b	使得菲涅尔的论文 中途夭折 「フレネルの論文 を途中で打ち切られる」	一	①几乎使得去墨尔本办事 或旅游的人没有不去一看的 「ほメルボルンに仕事また 旅行に行く人が必ず見 に行くようにさせた」 ②几乎使得中国的通讯系 统陷入应接不暇的境地 「中国の通信システムを ほぼ休まる暇がない状態 にした」 ③几乎使得他无法呼吸 「彼がほぼ呼吸できない ようにした」	使得事务所对企业的虚 假会计信息不敢审，不 愿审 「事務所が企業の偽会 計情報を審査出来な い、したくない」
		c	一	一	一	一
379	免得 免れる		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
380	免不了 免れない		一	一	一	一
381	用 使う 用いる	a	一	一	一	一
		b	①用刀片划开手上的血管 「破片で手の血管を切る」 ②用自己的手结束了自己的生命 「自分の手で自分の命の終止符を打つ」 ③用完 「使い切る」	没用战斧将自己切成两半 「斧で自分を半分に切る」	96 例 ①几乎用掉了所有业余时间 「ほぼすべての余暇を使った」 ②几乎用尽 / 用光了 「ほぼ全部使い切った」 ③几乎用去所有积蓄 「ほぼ全部の財産を使った」 ③几乎没用多少市场推销攻势 「ほとんど市場販売攻めしなかった」	一
		c	一	一	一	一
382	运用 運用する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	応用する					
383	用不着 必要とし ない	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	13 例 ①几乎用不着我们教它 「ほとんど我らが教える 必要がない」 ②几乎用不着说 「ほとんど言う必要がない」 ③几乎用不着这个推进器 了 「この推進器がほとんど 必要ない」	一
384	不便 不便であ る …しにく い		一	一	一	一
385	替	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	代わる	b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎替所有的女生背过包 「ほぼすべての女性に鞆を持ってあげたことがある」 ②几乎替我承担了内政和党务的全部重担 「私の代わりにほぼ内政や党務のすべての重荷を担った」	一
386	代替 交替する 入れ代わる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	5 例 ①几乎代替了铁制的所有炊具 「鉄製調理用器具をほぼすべて代わった」 ②几乎代替了共产主义 「ほぼ共産主義の代わり	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					をした」 ③几乎代替了自己的名字 「自分の名前の代わりをする」 ④几乎代替了她留在我的灵魂中的印象 「彼女が私の魂の中にあるイメージをほぼ代わった」	
387	尽 尽くす 全力でやる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	25 例 ①几乎尽人皆知 「ほとんど誰もが知っている」 ②几乎尽现其中 「ほとんどすべてを中に現れた」 ③升势几乎尽失 「上昇する勢いがほとん	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					どなくなった」 ④几乎没尽过为夫为父的 责任 「夫として父としての責 任をほとんど取ったこと がない」	
388	借 借りる 貸す		一	一	一	一
389	送 送る 贈る 見送る	a	一	一	一	一
		b	32 例 送了性命 / 送命 「命を失う」	一	一	一
		c	一	一	一	一
390	还 返す 戻す		一	一	一	一
391	归 返す		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	戻す					
392	归于 …に帰する		一	一	一	一
393	嘱咐 言いつける		一	一	一	一
394	委托 任せる 頼む		一	一	一	一
395	顾 考慮する 関心を向ける		一	一	一	一
396	惯 なれる		一	一	一	一
397	惯于 …に慣れている		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
398	順 …に従う		一	一	一	一
399	随 …に従う …の後に つく		一	一	一	一
400	惹 招く 引き起こ す	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	不惹皇上见责 「皇帝に譴責される」
		c	一	一	一	一
401	催 せかす 催促する		一	一	一	一
402	轰 追い出す 追い払う		一	一	一	一
403	接受 受け入れ		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	る					
404	允許 許す 許可する		一	一	一	一
405	依 従う 聴き入れ る		一	一	一	一
406	拒绝 断る 拒絕する		一	一	一	一
407	推辞 断る 辞退する		一	一	一	一
408	错过 機会を逸 する		一	一	一	一
409	取消 取り消す		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
410	誤 誤る 遅れる		一	一	一	一
411	耽误 てまどる 遅らせる		一	一	一	一
412	称赞 称える 賞賛する		一	一	一	一
413	兴 おこす 盛んにする		一	一	一	一
414	夸 誇る ほめる		一	一	一	一
415	夸奖 ほめる 称える		一	一	一	一
416	奖励		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	奨励する					
417	鼓励 激励する		一	一	一	一
418	赞美 称える 賛美する		一	一	一	一
419	爱 愛する		一	一	一	一
420	恋愛 恋愛する		一	一	一	一
421	结婚 結婚する		一	一	一	一
422	离婚 離婚する		一	一	一	一
423	养 養う 生む 育てる		一	一	一	一
424	养活		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	養う 育てる					
425	工作 働く 仕事をする	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	工作有失误 「仕事にミスがでる」
426	生産 生産する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	生产出质量不高的影片 「質の高くない映画を作る」
		c	一	一	一	一
427	増産 増産する		一	一	一	一
428	做工 働く		一	一	一	一
429	办公 事務をと		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	る 執務する					
430	上班 出勤する		一	一	一	一
431	下班 退勤する		一	一	一	一
432	做 つくる する	a	一	一	一	一
		b	①做个错事 「過ちを犯す」 ②做错了事 「間違ったことを する」 ③做了与你相反的事 「君と逆のことを やる」	做了错事 「過ちを犯す」	34 例 ①几乎做到家喻户晓 「ほぼ全部知られるほど 広まった」 ②几乎做出了这个姿势 「この姿勢をするところ だった」 ③几乎做了一年 「ほぼ一年かかった」 ④几乎做起梦来 「夢をみるところだった」 ⑤几乎做了乞丐 「乞食になるところだっ	①做坏事 「悪いことをする」 ②做赔钱买卖 「損をする 商売をする」 ③做道义上的懦夫 「道徳上の弱虫になる」 ④做错事的 「過ちを犯すのだ」 ⑤做梦 「夢を見る」 ⑥做出一些越限逾分的

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					た」 ⑥几乎做了我姐夫的人 「姉の夫になりそうな人」	事来 「権限や身分を超えたことをやる」 ⑦做出违礼之事 「礼儀に違反することをやる」 ⑧不做一件错事 「間違ったことをする」
		c	一	一	一	一
433	为 する なす	a	一	一	一	一
		b	21 例 ①为你搭上性命 「君のために命を落とす」 ②为这个送了命 「これで死ぬ」 ③为此在单位闹了笑话 「これで会社で失	9 例 ①为此事受冤 「この事で陥れたれる」 ②为自己的固执付出代价 「自分の頑固のために代価を払う」 ③为队友大打出手	12 例 ①为人遗忘 「人に忘れられる」 ②为此闹翻 「これで喧嘩する」 ③为狼所害 「狼に殺される」	16 例 ①为大势所左右 「大勢に左右される」 ②为人所诬陷 「人に陥れられる」 ③为此遗憾 「それに残念な思いがする」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			態を演じる」	「友だちのために手を出す」		
		c	—	—	①为零 「ゼロである」 ②几乎为我所专用 「私の専用ものになる」 ③为中国所有的整车企业提供服務 「中国全ての自動車企業にサービスを提供する」	—
434	弄 つくる いじる	a	—	—	—	—
		b	7 例 ①弄出人命 「人命がでる」 ②弄坏了钢笔 「万年筆を壊す」 ③弄死了卡拉蒙 「カラモンを殺す」 ④弄掉杯子 「コップを落とす」	弄得倾家荡产 「身代をつぶす」	14 例 ①弄得家庭妻离子散 「家庭をバラバラになる」 ②弄翻了那条小船 「小舟を転覆する」 ③弄到家破人亡 「家も家族も失う」 ④弄得要红脸了 「喧嘩する」	弄得灰头垢面 「髪の毛、顔が汚くなる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			⑤没弄断了 「折れる」			
		c	弄出了声响 「音を出す」	一	弄清了人类生活如何进一步向前进化 「人類の生活はどうやって前に進化するのかをはっきりした」	弄出该国历史学家也不懂的东西来 「この国の歴史学専門家も分からないことをつくる」
435	干 (積極的に)やる 働く	a	一	一	一	一
		b	干了自己警告斯道 米不要干的事 「スドミさんに警告したやってはいけないことをやる」	一	干枯 / 干涸 「干上がる」	①不干扰刘，陈的睡眠 「劉、陳の睡眠の邪魔になる」 ②干部有委屈，群众有怨气 「幹部はつらい思いをし、民衆は不満がある」 ③不干不净 「全く汚い」 ④荒唐事 「馬鹿げたことをする」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	—	干了出来 「やってしまう」	①干到底 「最後までやり通す」 ②干了个遍 「全部を試す」 ③干了一个通宵 「徹夜する」 ④干掉了一个团 「チーム1つを始末する」	①干巴巴 「ひどく無味乾燥である」 ②干燥 「乾燥する」
436	搞 する 行う	a	—	—	—	—
		b	①搞得倾家荡产 「全財産を使い果たすことになる」 ②搞伤 「怪我をする」	—	—	—
		c	—	—	—	—
437	进行 進める 行う	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	这次生动的辩论演讲几乎 进行到次日早上三点钟 「今回生き生きとした弁	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					論演説がほぼ翌日の朝三時まで続いた」	
438	管理 管理する 運営する		一	一	一	一
439	管 とりしき る かまう	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	管一切事情 「すべての事を管理する」	一
440	办 する 処理する	a	一	一	一	一
		b	办了件错事 「間違ったことを する」	一	一	办“关系案”“金钱案” 「“関係案件”“お金案件” を処理する」
		c	一	一	(入学手续) 办完了 「(入学手続き) 完了する」	一
441	了 終える	a		一	①了如指掌 「知り尽くす」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	完了する		一		②了解了一切情况 「すべての状況を聞き取る」	
		b	一	一	一	不了了之 「いい加減に済ます」
		c	一	一	一	一
442	制造 製造する 造る	a	一	制造半场领先优势 「ハーフタイムでリードの優勢を作る」	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
443	修 修理する 建造する	a	一	一	一	一
		b	一	一	修每一条铁路都遭受这当地民众的阻挠 「鉄道を敷くたびに当地民衆に邪魔される」	一
		c	一	一	一	一
444	修理 修理する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	修繕する					
445	建築 建てる 建築する		一	一	一	一
446	釘 くぎを打 つ		一	一	一	一
447	鋸 のこぎり で切る		一	一	一	一
448	凿 のみでほ る 穴をあけ る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	凿柄了 「そりが合わない」
		c	一	一	一	一
449	磨 2 こする とぐ	a	一	一	一	一
		b	一	一	①（飞机）肚子几乎磨擦倒 屋顶子	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	磨く				「(飛行機)お腹が屋根につくところだ」 ②磨牙 「歯ぎしりをする」	
		c	一	一	一	一
450	磨 4 (うすな どで)ひ く		一	一	一	一
451	碾 (ローラ ーなど で)ひく		一	一	一	一
452	轧 ローラー をかける		一	一	一	一
453	劈	a	一	一	一	一
	(おのな どで)切 る、割る	b	一	一	(小象)劈头盖脸地敲了我一通 「(象さん) 真正面から叩	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					かれる」	
		c	一	一	一	一
454	破 こわす 破る 割る	a	①破了由澳大利亚人保持的 23 秒 44 的欧洲记录 「オーストラリア人が保つ 23 秒 44 のヨーロッパ記録を更新する」 ②破门 「シュートする」一	破门 「シュートする」	①破门的抽射 「シュートするキック」 ②破译和释读 「解説する」	一
		b	破产 「破産する」	①破裂 「破裂する」 ②破网 「網を破る」 ③破口大骂 「口汚くののしる」 ④破产 「破産する」	①破产 「破産する」 ②破坏 「破壊する」 ③破碎了 「粉々にする」 ④破裂 「破裂する」 ⑤没破口大骂	①破损发生 「破損を生じる」 ②破败消亡的命运 「荒れ果てて消滅する運命」 ③破损 「破損する」 ④破坏风水 「風水を壊す」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「口汚くののしる」	
		c	一	一	一	一
455	弾 はじく (綿を)打 つ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	弾起 「弾む」	一	一	一
456	炼 精錬する		一	一	一	一
457	耕 耕す		一	一	一	一
458	种 植える 栽培する		一	一	一	一
459	栽 植える 栽培する	a	一	一	一	一
		b	①栽下马来 「落馬する」 ②栽倒	①栽在四川队手里 「四川チームに敗北 する」	栽倒 「倒れる」	栽下祸种，要吃亏，上当了 「災いの種をまき、騙

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「倒れる」 ③栽在克罗地亚人手中 「クロアチア人に負ける」 ④栽在英超对手阿斯顿维拉队脚下 「レミアリーグの相手アストウェラチームに負ける」 ⑤栽到火坑里 「生き地獄に跳び込む」 ⑥栽了（大）跟头 「転ぶ」 ⑦栽了后仰 「転けて仰向けになる」	②栽倒在“德国战车”轮下 「“ドイツ戦車”に敗北する」 ③栽在地上 「地面に倒れる」 ④栽下马来 「落馬する」 ⑤栽倒 「倒れる」		されて損をする」
		c	一	一	树苗几乎栽遍了西沙群岛 「苗をほぼパラセル群島	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					全島に植える」	
460	种地 耕作する		一	一	一	一
461	插秧 田植えを する		一	一	一	一
462	播种 種をまく		一	一	一	一
463	鋤 くわで耕 す		一	一	一	一
464	耨 pang3 (すきで) 土をほぐ す		一	一	一	一
465	施肥 肥料を施 す		一	一	一	一
466	灌溉		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	灌漑する					
467	收割 収穫する 取り入れる		一	一	一	一
468	丰收 豊かに収穫する		一	一	一	一
469	下地 田畑に出る		一	一	一	一
470	買う	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	买椟还珠之讥 「眼識がなく取捨選択を誤る皮肉」
		c	一	一	买光了邻近区域所有的食物，调味品和奢侈品 「隣地区のすべての食べ物、調味料や贅沢なものを買いきる」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
471	卖 売る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①卖光了的盛况 「売り切れる盛況」 ②卖掉了能值钱的东西 「値打ちのあるものを売り払う」 ③没卖出去 「売れる」	一
472	欠 借りる		一	一	一	一
473	付 払う 支払う	a	一	一	一	一
		b	一	付出了生命 「命を落とすところだった」	①几乎付出了生命 「命を落とすところだった」 ②几乎付出了自己的全部代价 「自分の全ての代価を払うところだった」	付之东流的危険 「水泡になる危険」
		c	一	一	①几乎付出了全部热情	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「ほぼ全ての情熱をだした」 ②几乎付出他全部的精力 「彼の精力をほぼ全部だした」	
474	赚 もうける 得る	a	一	一	几乎赚回了所有投资 「ほぼすべての投資を元取れる」	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
475	赔 損する 弁償する	a	一	一	一	一
		b	①赔上一条命 「命で償う」 ②赔本 「損をする」 ③赔上自己的命 「自分の命で償う」	赔本 「損をする」	①赔光 「全部すってしまおう」 ②赔上了生命 「命で償う」 ③赔光家当 「財産を全部すってしまおう」	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
476	賠償 賠償する 弁償する		一	一	一	一
477	亏 損をする 欠ける	a	一	一	一	一
		b	①亏了血本了 「元手をすった」 ②亏了本 「損をする」	一	①亏蚀殆尽 「ほとんど欠損を出す」 ②亏损 「損失をだす」 ③亏本 「損をする」	亏损 「損する」
		c	一	一	一	一
478	存 預ける たくわえる	a	一	一	一	一
		b	一	一	存心把一切搞得不可收拾 「わざとすべてを終始つかないようにする」	39 例 ①存在缺点和疏漏 「欠点と手落ちがある」 ②存在不足之处 「欠点がある」 ③存在不妥之处 「妥当を欠くところが

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						ある」 ④存在很多担心 「様々な心配事がある」 ⑤存在一些问题 「いくつかの問題がある」
		c	一	一	①存在于所有工业部门 「工業部門全体に存在する」 ②存在于他的每一部小说和每一个主要人物的活动中 「彼のすべての小説の中や重要人物の活動の中にある」	一
479	数 数える		一	一	一	一
480	算 計算する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	①算是抓到了 「捕まったと見なす」 ②算是他最后的遗言 「彼の最後の遺言だと認める」 ③算是个祝福 「祝福だと見なす」 ④算是一个器官 「器官だと認める」	一
481	計算 計算する		一	一	一	一
482	统计 合計する		一	一	一	一
483	核对 照合する		一	一	一	一
484	清理 整理する 清算する		一	一	一	一
485	清 清算する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	清苦

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						「生活が苦しい」
		c	一	一	①清空了库存 「在庫を空にする」 ②清晰可辨 「明瞭で判別がつく」 ③清一色的 「画一的だ」 ④清清楚楚地显现在我的眼前 「はっきりと私の目の前に現れる」	一
486	采购 購入する 買いつける		一	一	一	一
487	批发 卸売りする		一	一	一	一
488	零售 小売りす		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	る					
489	出租 貸し出す 賃貸する		一	一	一	一
490	換 交換する 両替する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	换上另一件难看的背心 「別の醜いチョッキに着替える」	一	①换成另一个人 「別人に換える」 ②换下了所有的主力队员 「全部の主力隊員を換える」 ③换上了全部替补队员 「全部の補充隊員に換える」 ④换掉了所有主力球员 「すべての主力隊員を換える」	一
491	兌換 (外貨を)		一	一	一	一
		a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	両替する 花 金を使う 時間を費 やす	b	一	一	8 例 ①没花钱就有了飞机 「お金かけずに飛行機を に乗る」 ②花光了我所有的积蓄 「私の貯金を全部使い切 る」 ③花尽了他所有的积蓄 「彼のすべての貯金を使 い果てる」 ④花费了两年时间，全年 的国家收入 「二年の時間と全年度の 国家収入を費やす」	花一些冤枉钱 「いくつかの無駄金を 使う」
492	費 費やす 浪費する	c	一	一	一	一
		a	一	一	一	一
		b	一	一	①费尽了他最后的力气 「彼の最後の力を使い切 る」 ②费了四个钟头	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「四時間をかかった」	
493	納税 納税する 服务 奉仕する サービス する	c	一	一	一	一
			一	一	一	一
			一	一	一	一
494	互助 助け合う		一	一	一	一
495	合作 協力する		一	一	一	一
496	分配 分配する 割り当てる		一	一	一	一
497	调剂 調整する 調節する		一	一	一	一
498	剥削		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	搾取する					
499	拥护 擁護する 支持する		一	一	一	一
500	支持 支持する 支える		一	一	一	一
501	保卫 守る 防御する		一	一	一	一
502	保持 保持する 保つ	a	一	一	一	一
503		b	一	一	一	一
504	卖 売る	c	一	一	14 例 ①几乎保持不变 「ほとんど変わらず保っている」 ②几乎保持了原班人马 「ほぼ元のメンバーを保	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					持した」 ③几乎保持了逢中国队必 胜的势头 「ほぼ中国チームを相手 にすると勝つの勢いを保 った」 ④几乎保持了原样 「ほぼ元の様子を保った」	
		a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
505	坚持 堅持する 断固貫く		一	一	一	一
506	保护 保護する		一	一	一	一
507	爱国 国を愛す る		一	一	一	一
508	指示 指示する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
509	号召 呼びかける		一	一	一	一
510	响应 呼応する 答える		一	一	一	一
511	动员 動員する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎动员了全国的力量 「全国の力をほとんど動員した」 ②几乎动员了自然科学, 历史学, 美学, 伦理学, 哲学等一切力量 「自然科学、歴史学、美学、倫理学、哲学などの全ての力をほとんど動員した」 ③几乎动员了剧院所有的当家名角 「ほぼ劇場の全ての有名	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					な役者を動員した」	
512	推动 推し進め る 促進する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	推动物价上涨 「物価の上昇を促進する」
		c	一	一	一	一
513	推广 広める 普及させる		一	一	一	一
514	开动 始動させる 働かせる		一	一	一	一
515	开展 展開する 実行する		一	一	一	一
516	发扬 発揚する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	發展させる					
517	扩充 扩充する		一	一	一	一
518	宣传 宣伝する 広める		一	一	一	一
519	鼓动 煽動する 奮起する	a	一	一	几乎鼓动了人类最高的心 性与才智 「ほぼ人類最高の心性や 才知を奮起した」	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
520	声明 明言する 公表する		一	一	一	一
521	说明 説明する		一	一	一	一
522	解释		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	解釈する 釈明する					
523	補充 補充する 補う		一	一	一	一
524	汇报 (上級・大衆に)報告する		一	一	一	一
525	報告 報告する 講演する		一	一	一	一
526	反映 反映する 伝える	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎反映了全人类的行程 「ほぼ全人類の道のりを反映した」	一
527	发表 発表する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	几乎发表在每期“纽约人”中 「ほぼ全部の“ニューヨーカー”雑誌に刊行された」	一
528	开会 会を開く 出席する		一	一	一	一
529	开幕 開幕する 始まる		一	一	一	一
530	闭幕 閉幕する 終える		一	一	一	一
531	筹备 準備する		一	一	一	一
532	举行 举行する 行う		一	一	一	一
533	参加	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	参加する 出席する	b	参加谋反 「謀反に参加する」	一	一	一
		c	一	一	19 例 ①几乎参加了全过程 「ほぼ全過程に参加した」 ②几乎参加了所有能参加得招聘会 「ほぼすべての参加可能な公募会に参加した」 ③几乎参加了德军所有的军事行动 「ほぼすべてのドイツ軍の軍事行動に参加した」	参加参加 「参加してみる」
534	成立 成立する		一	一	一	一
535	讨论 討論する 討議する		一	一	一	一
536	辩论 議論する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
537	争论 論争する 言い争う	a	一	一	一	一
538	提议 提起する 提案する	b	一	一	①争论了起来 「論争しはじめる」 ②争论得相持不下 「互いに譲らないほど言 い争っている」	一
		c	一	一	一	一
			一	一	一	一
539	表决 票決する 採決する		一	一	一	一
540	決定 決定する		一	一	一	一
541	通过 通過する	a	①通过 「通る」 ②通过反击攻破德 国队的球门 「反撃でドイツチ	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			ームにゴールインした」			
		b	一	一	一	通过食用受放射性物质污染的食物，而受到内部照射。 「放射線物質に汚染された食べ物を食べて、内部放射に晒される」
		c	一	一	一	一
542	賛成 賛成する		一	一	一	一
543	总结 締めくく る まとめる		一	一	一	一
544	选 選ぶ 選挙する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	①选错用错人 「人を選び間違い、使い間違いする」 ②选那些老的，拿来就

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						能用的 「すぐ使える、経験のある選手を選ぶ」
		c	一	一	选择了同一条路 「同じ道を選ぶ」	选那些老的，拿来就能用的 「すぐ使える、経験のある選手を選ぶ」
545	选举 選挙する		一	一	一	一
546	投票 投票する		一	一	一	一
547	组织 組織する 編成する		一	一	一	一
548	酝酿 根回しする 下準備する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎酝酿于同时 「ほぼ同時に下準備した」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
549	商量 相談する 話し合う		一	一	一	一
550	协商 協議する		一	一	一	一
551	团结 団結する		一	一	一	一
552	联合 連結する		一	一	一	一
553	结合 結ぶ 結合する		一	一	一	一
554	领导 指導する		一	一	一	一
555	吸收 吸収する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎吸收了巴西的全部出口产品	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「ブラジルの輸出製品を ほぼ全部取り入れた」	
556	批准 承認する 認可する		一	一	一	一
557	组成 構成する 組み立て る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	组成了一个光怪陆离, 噪杂 喧嚣的现代中国形象画廊 「奇怪的、うるさい現代中 国イメージ画廊を公正し た」	一
558	登記 登録する 登記する		一	一	一	一
559	签订 調印する		一	一	一	一
560	建立 樹立する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	打ち立て る					
561	建設 建設する		一	一	一	一
562	争 争う 争奪する	a	一	一	一	一
		b	一	一	①争论了起来 「論争しはじめる」 ②争吵起来 「争い始める」 ③争论得相持不下 「争って互いに譲らない」	争议/争辩 「論争する」
		c	一	一	一	一
563	争取 努力して 得る かちとる		一	一	一	一
564	集中 集中する		一	一	一	一
565	集合	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	集合する 集める	b	一	一	一	一
		c	一	一	34 例 几乎集中了原子得全部质量 「原子力の質量をほぼ全部集めた」	集中出現 「集中的に現れる」
566	散布 広める まき散らす		一	一	一	一
567	脱离 離れる 離脱する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	不脱离实际 「現実からかけ離れる」
		c	一	一	一	一
568	启发 啓発する		一	一	一	一
569	影响 影響する	a	一	一	一	一
		b	一	一	20 例	14 例

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					①几乎影响到人的所有生活 「ほぼ人の全ての生活に影響する」 ②几乎影响到了中国全部的少数民族地区 「ほぼ中国の全ての少数民族地区に影響を与えた」 ③几乎影响了所有的社会科学领域 「ほぼ全ての社会科学領域に影響した」 ④几乎影响了他们的整个人生 「彼らの人生すべてに影響する」	①影响体力 「体力に影響する」 ②影响荣宝斋的生意 「荣宝斋の商売に影響する」 ③影响到上班的情绪和状态 「出勤の気持ちと状態に影響する」 ④不影响她 「彼女に影響する」 ⑤不影响刚刚复苏的经济 「回復したばかりの経済に影響する」
		c	一	一	一	一
570	表扬 ほめる 推挙する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
571	说服 説得する 納得させる		一	一	一	一
572	批評 批評する 批判する		一	一	一	一
573	批判 批判する		一	一	一	一
574	検討 自己批判 する		一	一	一	一
575	評 評定する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	评其得失 「よしあしを評価する」
		c	一	一	几乎评论过丁来先的每一本书 「丁来先の本をほぼ全て評論した」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
576	反省 反省する		一	一	一	一
577	隐瞒 隠す 隠しだて する		一	一	一	一
578	承认 承認する 認める		一	一	一	一
579	暴露 あばく 暴露する	a	一	一	一	一
		b	一	一	①几乎暴露在地表 「ほぼ地表に現れる」 ②他近期的几篇小说几乎暴露了莫言们反文化的共同症结 「彼の最近のいくつかの小説は莫言らの反文化的共同問題をほぼ暴露した」 ③她几乎暴露真情了 「彼女は本心を暴露する」	暴露出弊端 「弊害を暴露する」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					ところだった」	
		c	一	一	一	一
580	坦白 告白する		一	一	一	一
581	讲理 是非を問 う 道理を説 く		一	一	一	一
582	提出 提出する 持ち出す	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	提出辞职 「辞任を提出する」
		c	一	一	一	一
583	指出 指摘する 示す		一	一	一	一
584	受 受ける	a	一	一	一	一
		b	①受了洗	①受伤	①受了人的诱惑	43 例

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「洗礼を受ける」 ②受伤 「怪我をする」	「怪我をする」 ②受了这小鬼之骗 「このガキに騙された」	「人に誘惑される」 ②受益均等 「平均的に利益を受ける」	①受自己价值观的影响 「自分の価値観の影響を受ける」 ②受其影响 「影響を受ける」 ③受骗 「騙される」 ④受损 「損害を受ける」
		c	一	一	一	一
585	受到 受ける 被る	a	一	一	一	一
		b	受到军法审判 「軍法の審判を受ける」	一	①受到了亲朋好友的一致反对 「お友達やお仲間に反対される」 ②受到一切服装工厂的青睐 「すべての服装工場に好評を受ける」 ③受到了父长般的教训	50 例 ①受到外界污染 「外界汚染を被る」 ②受到时代的局限 「時代の制限を受ける」 ③受到客观经济规律的惩罚 「客観經濟規律の罰を

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「父のような教訓を受ける」 ④受到影响 「影響を受ける」 ⑤受到了普遍的中伤 「普通の中傷を受ける」 ⑥几乎没受到外面经济衰退的影响 「ほぼ外部経済の衰退に影響されなかった」	受ける」 ④受到挑战 「挑戦を受ける」 ⑤不受到人们的误解和非议 「人々の誤解や議論を被る」 ⑥不受到致命的打击 「致命的打撃を受ける」
		c	一	一	一	一
586	着 受ける 感じる	a	一	一	一	一
		b	一	着了他的道儿 「彼の罠にかかる」	①着了火 「火がつく」 ②着地 「着地する」 ③着了迷 「夢中になる」	着急 「焦る」
		c	一	一	一	一
587	挨 1	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	よりそう 順を追う	b	①挨上宁金山的脸 「寧金山さんの顔 にくっつく」 ②没挨着他的衣裳 「彼の服に接触す る」	一	15 例 ①挨着天花板 「天井にくっつく」 ②挨着脸 「顔にくっつく」 ③挨到水面上 「水面にくっつく」	一
		c	一	一	一	一
588	挨 2 苦しむ 被る	a	一	一	一	一
		b	①挨揍 「殴られる」 ②挨批/挨了批 「批判される」 ③挨它的打 「たたかれる」 ④挨日本兵的子弹 「日本兵の銃弾に 打たれる」	挨了一顿打 「殴られる」	①挨了顿打 「殴られる」 ②挨上一拳 「一発殴られる」	7 例 ①挨批 / 挨批挨斗 「批判される」 ②挨打 「殴られる」 ③挨责打 「折檻される」 ④挨骂 「怒られる」 ⑤不挨了锦衣卫和兵马 司的皮鞭，棍棒

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						「錦衣衛や兵馬司の鞭や棒にたたかれる」
		c	一	一	一	一
589	罰 罰する		一	一	一	一
590	打击 攻撃する 打撃を与える	a	一	一	一	一
		b	一	一	打击了每个阶层 「各階層に衝撃を与える」	一
		c	一	一	一	一
591	报复 報復する 仕返しをする		一	一	一	一
592	限制 制限する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	限制他的影响范围 「彼の影響範圍を制限する」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
593	禁止 禁止する	a	一	一	一	一
		b	一	一	禁止会客 「応接を禁止する」	一
		c	一	一	一	一
594	改 改める 変える	a	一	改写了“逢韩不胜”的历史 「“韓国を相手にすると負ける”歴史を書き改めた」	一	一
		b	一	一	一	一
		c	改了行 「職業を変える」	一	①改观 「概念を改める」 ②改喝白水了 「水を飲むことにする」	一
595	改造 改造する 作り直す		一	一	一	一
596	改革		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	改革する					
597	改变 変える 変わる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	改变了这些鸽子的命运 「これらのハトの運命を変えた」	①几乎改变和决定了他以后所有的艺术追求 「彼今後の芸術追究をほぼ全部変更、決定した」 ②几乎改变了费尼雅的一生 「ほぼフェニヤの一生を変えた」	一
598	创造 創造する 生み出す	a	5 例 ①创造了奇迹 「奇跡を作りだす」 ②创造了出现的奇迹 「出現した奇跡を作り出す」 ③创造了足总杯赛历史上最快的进球	①创造三双 「トリプルダブルを達成する」 ②创造更大奇迹 「さらに大きな奇跡を作り出す」	①创造奇迹 「奇跡を作り出す」 ②创造“中国的凯萨斯劳滕”奇迹的球队 「“中国のカイザーслаウテルン”の奇跡を作り出すチーム」 ③创造了一个奇迹 「ひとつの奇跡を机い出	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			记录 「サッカーFA Cup 史上最速のキック イン記録を更新す る」 ④创造奇迹闯入决 赛 「奇跡を作り出し 決勝戦に入る」		す」 ④创造了一个重庆体育历 史上空前的经典 「重慶体育史上空前のバ イブルを作りだす」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
599	改进 改良する 改新する		一	一	一	一
600	改善 改善する		一	一	一	一
601	改良 改良する		一	一	一	一
602	修改 改める		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	直す					
603	发挥 發揮する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	今天的演出非常顺利， 几乎发挥到了极致 「京の演出が非常にスムーズで、ほぼ最高水準を發揮した」	一
604	改正 改める 正す		一	一	一	一
605	表示 表す 示す		一	一	一	一
606	表現 表現する 示す	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	①表現不佳 「うまく出来なかった」 ②表現出对死亡得畏惧

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						「死亡に対する恐怖を表に出る」
		c	一	一	①几乎表现在他们对国内外一切食物的评价方面 「ほぼ彼らは国内外の全ての食品に対する評価に現れている」 ②几乎表现在一切方面 「ほぼ全ての方面に現れる」 ③几乎表现得比任何别人更要强烈 「ほぼ誰よりも強く表現している」	一
607	请示 教えを請う 指示を仰ぐ		一	一	一	一
608	利用	a	利用头部破门得分	①利用防守反击再次	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	利用する		「頭を使ってゴールインする」	破門得分 「防衛を利用してもう一度ゴールインし点をとる」 ②利用突尼斯守門員得失誤將比分扳平 「チュニジアのゴールキーパーのミスを利用して同点にした」 ③利用任意球得分 「フリーキックを利用して点をとる」		
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
609	使用 使用する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	使用起来不合适 「使用するにはふさわしくない」
		c	一	一	①几乎使用了 300 年之久 「ほぼ 300 年ほど使用し	①使用油漆，颜料，经化学处理的木材，塑料

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					た」 ②几乎使用了与前两次会议声明完全一致的措辞 「前回の二回の会議声明よほぼ同じことばを使用した」 ③几乎使用了一切手段 「ほぼ全ての手段を使った」	貼面等 「ペンキ、顔料、化学処理済みの木材、プラスチック樹脂などを使用する」 ②使用不同得译法 「異なる訳し方を使用する」
610	使 使う 用いる	a	①使我哈哈大笑起来 「ハハッと笑い出させる」 ②使北美重回英国怀抱 「北アメリカがイギリスに戻させる」	—	—	—
		b	①使我送命 「命を落とさせる」 ②使他崩溃	①使她窒息 「彼女を窒息する」 ②使他丧命	275 例 ①使他落选 「彼を落選にする」	65 例 ①使人感到民法之苛刻与残酷

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「彼を崩壊させる」 ③使我动摇 「動揺させる」 ④使公司倒闭 「会社を破産させる」 ⑤使我仓皇而逃 「慌てて逃げ出させる」 ⑥没使帕加曼昏厥过去 「パカマンを気絶させる」 ⑦没使我从床上掉下来 「ベッドから落ちる」	「命をなくす」 ③使他栽了跟头 「失敗する」 ④使游击队遭受重大损失 「ゲリラを重大な損失を負わせる」 ⑤使他跌倒 「転ばせる」 ⑥使婚礼中途而废 「結婚式を中途半端にする」	②使所有人都有兴趣 「すべての人を興ざめる」	「人に民法の厳しさと残酷さを感じらせる」 ②使一些人产生疑问 「何人か疑問を思わせる」 ③不使外人对它产生恐怖之感 「外の人がそれに恐怖を感じさせる」 ④不使将士寒心 「兵士たちをがっかりさせられる」
		c	一	一	一	一
611	应用 応用する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
612	预备 準備する 支度する		一	一	一	一
613	准备 準備する	a	一	一	一	一
		b	一	准备取消的事 「取り消けそうとすること」	①几乎准备放弃物理学 「ほぼ物理学を諦めるつもりだった」 ②几乎准备了一年 「ほぼ一年間を準備した」 ③几乎准备了大半年的娱乐节目 「ほぼ半年分の娯楽番組を用意した」 ④几乎准备放弃 「ほぼ諦めた」	一
		c	一	一	一	一
614	布置 配置する		一	一	一	一
615	防止 防ぐ		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	防止する					
616	搜集 収集する 集める	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎搜集了周先生自 30 年代开始的 60 多年中全部的著作资料 「30 年代から始める 60 年間の周先生の著書をほぼ全部集める」	一
617	整理 整理する		一	一	一	一
618	整顿 整える 立て直す		一	一	一	一
619	处理 処理する 扱う		一	一	一	一
620	实行 実行する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	实行全面控制 「全面コントロールを実施する」	一
621	実践 実践する		一	一	一	一
622	行動 行動する		一	一	一	一
623	停顿 中止する 中断する	a	一	一	一	一
		b	一	一	13 例 ①几乎停顿/停顿（下来） 「休止するところだった」 ②几乎停顿了一百年 「ほぼ百年間休止した」	一
		c	一	一	一	一
624	保証 保証する 請け合う		一	一	一	一
625	完成 完成する	a	一	完成三双 「トリプル・ダブルを	①几乎完成了不可能实现的使命	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	仕上げる			達成する」	「完成不可能の使命をほぼ完成した」 ②几乎完成了一半 「ほぼ半分を完成した」 ③几乎完成论文之时 「論文がほぼ完成する時」 ④几乎完成学业时 「学業をほぼ終了する時」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
626	实现 実現する	a	一	一	①几乎实现 24 小时值班 「24 時間当直をほぼ実現した」 ②几乎实现了少年梦想 「少年の夢をほぼ実現した」	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
627	失败	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	失敗する	b	一	失敗 「失敗する」	失敗 「失敗する」	失敗 「失敗する」
		c	一	一	一	一
628	代理	a	一	一	一	一
	代理する	b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
629	代表 代表する	a	一	一	8 例 ①几乎代表了所有中国汽车厂家的观点 「ほぼ中国自動車メーカーのすべての意見を代表する」 ②几乎代表了台湾资讯业界的最高荣誉 「ほぼ台湾通信業界の最高名誉を代表する」 ③几乎代表了中国陶瓷生产的最高水平 「ほぼ中国陶磁器生産の	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					最高水準を代表する」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
630	尊敬 尊敬する		一	一	一	一
631	敬爱 敬愛する		一	一	一	一
632	尊重 尊重する 重んじる		一	一	一	一
633	服从 従う 服従する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎服从裁判员所有判罚 「裁判員の判決をほぼすべて受け入れた」	一
634	负担 負う		一	一	一	一
635	担任	a	一	一	①几乎担任过所有古典芭	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	担任する 引受ける				蕾的主角 「古典バレートの主役をほぼすべて演じたことがある」 ②几乎担任起总统的特别安全助理的角色 「大統領の特別安全助手を担当するところだった」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
636	貢献 貢献する		一	一	一	一
637	照顾 世話をする	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎照顾过每一届国家队 「ほぼ毎年の国家チームを世話したことがある」	一
638	优待 優遇する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	優待する					
639	請求 頼む 請う		一	一	一	一
640	申請 申請する		一	一	一	一
641	調査 調査する		一	一	一	一
642	活動 運動する 動き回る		一	一	一	一
643	负责 責任を負 う	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c			几乎负责处理所有大大小小的事物 「ほぼすべてのことを責任をもって対応する」	一
644	確定 決定する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	明確にする	c	一	一	①几乎确定去火箭队 「ヒューストン・ロケット チームに行くところだっ た」 ②几乎确定用史蒂夫, 费朗 西斯交换麦克格泪迪 「スティーブ・フランシス でトレイシー・マグレディ をを替えることがほぼ決 まった」 ③几乎确定眼前的人活不 久了 「目の前の人が長く生き られないことがほぼ確認 できた」 ④几乎确定这一定会失败 「これはきっと失敗する ことがほぼ確認できた」	一
645	検査 検査する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	点検する	c	一	一	几乎检查了他所有的仪器 「ほぼ彼のすべての機器 をチェックした」	一
646	督促 督促する 促す		一	一	一	一
647	監督 監督する		一	一	一	一
648	安排 割り振る 計画する		一	一	一	一
649	操纵 操縦する あやつる		一	一	一	一
650	控制 制御する 支配する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	36 例 ①几乎控制整个欧洲大陆 「ほぼヨーロッパ大陸全	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					土をコントロールした」 ②几乎控制了整个华北平原大部分地区 「華北平原の大部分をほぼ制圧した」	
651	掌握 掌握する マスターする	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎掌握了全世界过去半个世纪中发明和运用的全部先进工业技术 「全世界の過去半世紀に発明または使用された先進工業技術をほぼ全部コントロールした」 ②几乎掌握了国家的武器库 「国家武器庫をコントロールする」 ③几乎掌握了全部的所需技术	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「必要となる技術をほぼ全部把握した」 ④几乎掌握了英国经济的全部命脉 「イギリス経済にとってのすべての命の網をほぼ全部握り締めた」	
652	把握 把握する		一	一	一	一
653	应付 扱う 対処する		一	一	一	一
654	冲突 衝突する 争う	a	一	一	一	一
		b	冲突起来 「争いはじめる」	一	一	①冲突 「衝突する」 ②冲突和摩擦 「衝突と摩擦がある」
		c	一	一	一	一
655	破坏	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	破壊する	b	破坏了张学良和杨虎城发动西安事变的计划 「張学良と楊虎城 楊虎城が西安事变 を起こす計画を破 った」	一	①破坏无遗/破坏殆尽 「すべてを破壊尽くす」 ②破坏消灭了一切男女之间的社会分工 「すべての男女間の社会 分配を打ち破る」 ③破坏节目的欢乐气氛 「番組の楽しい雰囲気 を台無しにする」 ④破坏了他在鄖阳山中所 深思熟虑过的作战方略 「鄖阳山でよく考えた作 戦方略を破壊する」 ⑤破坏了我的婚姻 「私の結婚を壊す」 ⑥破坏 「破壊する」	破坏风水 「風水を破壊する」
		c	一	一	一	一
656	斗 戦う		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	勝負する					
657	斗争 戦う 闘争する		一	一	一	一
658	打倒 打倒する		一	一	一	一
659	打破 打ち破る まける	a	①打破了欧洲记录 「ヨーロッパ記録 を更新する」 ②打破僵局 「行き詰まりを打 開する」	①打破当天记录 「当日の記録を更新 する」 ②打破上海女排的不 败金身 「上海女子バレーボ ールチームに勝つ」 ③打破 5 米 63 的全 国记录 「5メートル 63 の 全国記録を更新する」 ④打破 1954 年の老鷹 対創下の 22.9%の NBA 最差命中率记录	①打破了所有成文或不 成文的有关规定 「法律にあるやなし 関連規定を違反する」 ②打破了所有女子个 人项目的世界记录 「すべての女子個人 項目の世界記録を更 新する」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
				「1954 年イーグルスが 22.9%の NBA 最低命中率を更新する」		
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①打破了日本人的社会习惯 「日本人の社会習慣を破る」 ②打破了雷斯林的注意力 「レースリンさんの注意力を散らす」 ③打破了所有人的眼镜 「人をびっくりさせる」	一
660	推翻 ひっくり返す	a	一	一	一	一
		b	推翻谈判桌 「協議テーブルをひっくり返す」	一	一	一
		c	一	一	一	一
661	打仗 戦争する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
662	战斗 戦闘する		一	一	一	一
663	进攻 進攻する		一	一	一	一
664	侵略 侵略する		一	一	一	一
665	压迫 圧迫する		一	一	一	一
666	统治 治める 支配する	a	一	一	①几乎统治了各个产业领域 「ほぼ各産業領域を支配した」 ②几乎统治了整个下半时较量 「後半戦の闘いをほぼ全部支配した」 ③几乎统治了国际田坛的短跑项目 「ほぼ国際陸上競技の短距離競走を支配した」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
667	逼 強いる 強要する	b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
		a	一	逼和对手 「相手と同じ点になる」	一	一
		b	逼着大姨讲出“没鱼（余）”的不吉利话来 「おばあさんが“魚（余り）がない”の不吉なことばを話させる」	一	逼得西令不能在当导演 「西令さんが監督になれない」	一
		c	一	一	①几乎逼近“新闻联播” 「“新聞聯播”という番組に迫るところだった」 ②几乎逼到沙光裕的鼻尖上 「沙光裕の鼻先に近づくところだった」 ③几乎各种各样的新式拉	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					链几乎逼得纽扣无处存在 「様々な新しいチャックでボタンの居場所をなくなるところだった」 ④几乎逼问到万里的鼻子上 「万里に問い詰めるところだった」	
668	反抗 反抗する たてつく		一	一	一	一
669	抵抗 抵抗する 起ち上がる		一	一	一	一
670	反对 反对する		一	一	一	一
671	指挥 指揮する 率いる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎指挥过所有俄罗斯主	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					要乐团 「ほとんどすべてのロシア主要楽団を指揮したことがある」	
672	调动 (部隊を) 移動させる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎调动了全市一切可以调动的力量来攻关 「攻略するためほぼ全市すべての集められる力を集結したて」 ②几乎调动了全部情感 「ほぼ全感情を動かした」 ③几乎调动了一切艺术手段设定重重障碍 「ほぼすべての芸術手段を使い難関を設けた」 ④几乎调动了所有的道德情感反对经商，赚钱。 「ほぼすべての道德感情	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					を使い、ビジネスや金儲けを反対した」	
673	攻击 攻撃する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	攻击蹬踹 「攻撃を受ける」
		c	一	一	一	一
674	防守 防ぐ 守る		一	一	一	一
675	防备 防備する 用心する		一	一	一	一
676	围 囲む 包囲する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①一个影院周围常常有几个镭射厅，几乎围成一圈 「映画館の廻りはよく何個かのレーザー室があり、ほぼ輪を作っている」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					②几乎围着巨大的体育场绕了一圈 「巨大な運動場をほぼ一周回った」	
677	包围 包圍する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎包围了美国的所有的州和所有发达的地方 「ほぼアメリカのすべての州やすべての先進地区を包圍した」 ②几乎包围了影院 「ほぼ映画館を囲んだ」	一
678	派 (人を)やる 派遣する	a	一	一	一	一
		b	一	一	几乎派出了所有可以从战场上撤出的兵力 「戦場から撤退できる兵力をほぼ全部出した」	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
679	出发 出発する		一	一	一	一
680	挑战 挑戦する		一	一	一	一
681	突击 突撃する		一	一	一	一
682	粉碎 粉碎する	a	一	一	一	一
		b	一	一	①命运的捉弄不仅使他与北大擦一肩而过,也几乎粉碎了他的整个人生 「運命の翻弄は彼を北京大学と擦れ違っただけではなく、ほぼ彼の全人生もずたずたにした。」 ②母亲的病和即将到来的死亡给我的震撼不是颠覆,而是几乎粉碎了我的世界。 「母の病気や来るべき死亡が私を感じさせた震撼は転覆どころか、私の世界	

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					を粉々にするところだった」	
		c	一	一	一	一
683	克服 克服する 打ち勝つ	a	一	一	几乎克服了固定工制的一切弊病 「ほぼ定着した仕事制度の欠陥をほぼすべて克服した」	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
684	奋斗 奮闘する 苦心する		一	一	一	一
685	拼命 命がけでやる		一	一	一	一
686	牺牲 犠牲になる	a	一	一	一	一
		b	牺牲 「犠牲にする」	一	7 例 ①几乎牺牲了所有的星期	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	犠牲にする				天和假期 「ほぼすべての日曜日や祝日を犠牲にした」 ②几乎牺牲掉性命 「犠牲になるところだった」 ③几乎牺牲了全部业余时间 「ほぼすべての余暇を犠牲にした」 ④几乎牺牲了自己的英语学习 「自分の英語学習を犠牲にするところだった」 ⑤几乎牺牲了鲍德温先生的政治生命 「鮑德温さんの政治生命を犠牲にするところだった」 ⑥几乎牺牲了生命	

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「死ぬところだった」	
		c	一	一	一	一
687	俘虏 捕虜にする	a	一	一	一	一
		b	一	一	俘虏了左良玉 「左良玉を捉えた」	一
		c	一	一	一	一
688	投降 投降する	a	一	一	一	一
		b	投降 「降伏する」	一	一	投降 「降伏する」
		c	一	一	一	一
689	复员 復員する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	复原了电视里清宫戏的场景 「ドラマの清代時代劇の 場面を再現した」	一
690	镇压 鎮圧する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
691	逮捕 逮捕する	a	一	一	一	一
		b	一	一	逮捕了那两个孩子 「あのふたりの子どもを逮捕した」	一
		c	一	一	一	一
692	处罚 処罰する		一	一	一	一
693	强迫 強迫する 強いる	a	一	一	一	一
		b	一	一	几乎强迫所有的臣民毫无保留地奉献一切 「ほぼ強制的に全部の人々が一切残さず全てを奉仕させる」	一
		c	一	一	一	一
694	犯 侵す	a	一	一	一	一
		b	犯错误 「過失を犯す」	犯了人命 「命をとる」	①几乎犯过同样的错误 「ほぼ同じミスをしたことがある」 ②犯了最大的错误	①犯错（誤） 「過ちを犯す」 ②犯眼高手低的毛病 「望みは高いが力が伴

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「最大な過ちを犯した」 ②犯罪 「罪を犯す」 ④犯了最严重的错误 「最も重大な過失を犯した」	わない悪癖をする」 ③犯罪 「罪を犯す」 ④犯这样那样的错误 「こんなそんな過ちを犯す」
		c	一	一	一	一
695	査 調べる 点検する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎查遍了所有的招待所和饭店 「招待所やレストランをほぼ全部調べた」 ②几乎查阅了国内所有关于记载北宋东京繁华盛况的资料 「国内にある北宋時代に東京が活気あふれる盛況に関する資料をほぼ全部読んだ」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					③几乎查遍了每一个官员的祖宗三代和血缘之亲 「幹部の歴代先祖や親戚関係をほぼ全部調べた」 ④几乎查遍了香港各大酒店 「香港ホテルをほぼすべて調べた」 ⑤几乎查明一处就开发一处 「ほぼ一カ所の原因を明らかにすれば一カ所を開発する」	
696	救 救う		一	一	一	一
697	害 危害を加える	a	一	一	一	一
		b	①害苦他 「彼を困らせた」 ②害死了自己唯一的朋友	害了各位兄弟姐妹的性命 「みんなの命をなくす」	①害怕她会生气或者发笑 「彼女が怒るか笑うかを心配する」 ②害了自己的骨肉	害怕 「怖がる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「自分の唯一の友 だちが殺害された」 ③害我在外面闷出 病来 「外で病気を患っ た」 ④害死人 「人を殺めた」 ⑤害死自己的女儿 「自分の娘を殺め た」 ⑥害了我 「私を殺めた」		「自分の子どもを殺める」 ③害死我 「私を殺めた」 ④害我空高兴一场 「無駄に喜んだ」	
		c	一	一	一	一
698	欺负 いじめる		一	一	一	一
699	侮辱 侮辱する	a	一	一	一	一
		b	一	一	侮辱人 「人を侮辱する」	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
700	撒谎 うそをつく		一	一	一	一
701	欺骗 だます 欺く	a	一	一	一	一
		b	一	一	①欺骗了所有的人 「すべての人を騙した」 ②欺骗了我整个童年 「私の児童期全体を騙した」	一
		c	一	一	一	一
702	哄 甘言を用いる だます		一	一	一	一
703	争吵 口論する	a	一	一	一	一
		b	一	一	争吵起来 「喧嘩する」	一
		c	一	一	一	一
704	打架	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	けんかする	b	一	打架 「喧嘩する」	一	打架 「喧嘩する」
		c	一	一	一	一
705	搗乱 かき乱す		一	一	一	一
706	混 混ぜる 一緒くたにする	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	①混入害群之马 「仲間の者に損害を与える人がいる」 ②混淆不清 「入り乱れて区別がつかない」 ③混战一团 「混戦する」 ④混杂其中 「その中に混ざり合う」 ⑤混杂有消极、颓废的说教

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						「ネガティブ、退廃的な説教が混ざりあう」 ⑥混迹其中 「そのなkに紛れ込む」 ⑦混杂进大量色情，暴力等精神垃圾 「大量な色気、暴力などの精神的ゴミが混合している」 ⑧混淆与交错 「混合、交错する」 ⑨混杂 「混ざり合う」
		c	一	一	①混成一体 「一体に混合する」 ②混生在一起 「同じところにある」	一
707	糟蹋 だいなし にする		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
708	偷 盗む	a	一	偷袭得手 「不意打ちが成功する」	一	一
		b	一	一	一	偷工减料 「手抜きをする」
		c	一	一	一	一
709	抢 奪い取る ひったく する	a	抢下杜威的脚下球 「杜威さんの足にあるボールをとる」	抢走金牌榜榜首位置 「メダルランキングのトップの座を奪い取った」	一	一
		b	一	一	抢走了总统府内所有搬得动的东西 「大統領府に運べるものをすべて奪い取った」	一
		c	一	一	一	一
710	夺 奪う 略奪する	a	①夺取女单冠军 「女子シングルチャンピオンを勝ち取る」 ②夺得联赛冠军	夺得全国冠军 「全国チャンピオンになる」	①夺冠 「優勝する」 ②夺取半壁江山 「国土の半分を奪い取る」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「リーグ戦のチャンピオンをとる」 ③夺回首都开封 「首都開封を奪い戻す」			
		b	①夺走你性命 「あなたの命を奪う」 ②夺取他们的生命 「彼らの命を奪う」	一	①夺走了她的生命 「彼女の命を奪った」 ②夺走了他所有的童年快乐 「彼の子どもの楽しみを全部奪った」	一
		c	夺眶而出 「溢れ出る」	夺眶而出 「溢れ出る」	①夺取了一切 「すべてを奪い取った」 ②夺眶而出 「溢れ出る」 ③夺嫡 「嫡子を奪う」 ④夺取目光 「視線をとる」 ⑤夺了他们的视觉	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「彼らの視線をとる」	
711	旅行 旅行する		一	一	一	一
712	运输 輸送する		一	一	一	一
713	联络 連絡する		一	一	一	一
714	出差 出張する		一	一	一	一
715	动身 出発する		一	一	一	一
716	开车 車を運転 する 発車する		一	一	一	一
717	乘 (車など に)乗る		一	一	一	一
718	骑		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	(またが って)乗 る					
719	驾驶 運転する 操縦する		一	一	一	一
720	渡 渡る		一	一	一	一
721	划 (船を)こ ぐ		一	一	一	一
722	通知 通知する 知らせる		一	一	一	一
723	报道 報道する		一	一	一	一
724	通信 通信する		一	一	一	一
725	收	a	一	一	收复全部失地	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	受け取る				「失われた国土を全部取り戻す」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
726	発 発する 出す	a	发展为 一门 可用于 交际流利 表达思想的 外语 「交流する時に流暢に 意志表示のできる外国語 として発展する」	一	一	一
		b	①发生冲突 「衝突が発生する」 ②发疯/发了疯 「狂う」	①发生危机 「危機が発生する」 ②发生的一场惨祸 「惨禍が起こる」 ③发生事故 「事故が起こる」 ④发生擦蹭 「ぶつける」 ⑤发了疯	①发生械斗 「械闘が発生する」 ②发疯 「狂う」 ③发展到了他们所能达到的极限 「彼らが耐えられる限界まで発展する」 ④发生了冲突	73 例 ①发生了 「発生する」 ②发生偏差 「誤差を生じる」 ③发生冲突 「衝突が発生する」 ④发生问题 「問題を生じる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
				「狂う」 ⑥发生的交通事故 「交通事故が発生する」 ⑦发生战争 「戦争が起こる」 ⑧发生群殴 「殴り合いが発生する」 ⑨发生恶性冲突事件 「恶性衝突事件が起こる」	「衝突が発生する」 ⑤发呆了 「ボーとする」 ⑥发生相撞事故 「ぶつかる事故が起こる」	⑤发生误会 「誤解を生じる」
		c	一	一	一	一
727	发出 発する 出す	a	一	一	一	一
		b	①发出轻蔑的笑声 「見下げたような微笑たたえている」 ②发出呕吐的声音 「吐くような音をする」	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	①发出同样的呼声 「同じ叫び声をする」 ②发出了同一个声音 「同じ音を出す」	发出这样的感叹 「このように嘆く」
728	寄 郵送する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	寄以同样的关切 「同じ関心を寄せる」	①寄托 「託す」 ②寄托自己的一些想法 「自分のいくつかの考 え方を託す」
729	广播 放送する		一	一	一	一
730	教育 教育する		一	一	一	一
731	训练 訓練する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	训练成本能动作 「本能動作に訓練する」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
732	指导 指導する 導く		一	一	一	一
733	指教 教える 導く		一	一	一	一
734	教学 教授する		一	一	一	一
735	培养 育成する 養成する		一	一	一	一
736	教 教える	a	一	一	一	一
		b	①教这家伙给问倒 「こいつに言い負 かされる」 ②教他们抓了走 「彼らに捉えられ る」	一	一	①教人生疑 「人に疑わせる」 ②不教人有点疑神疑鬼 「人を半信半疑にさせ る」
		c	一	一	①教遍了中学里开设的所有课程	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「中学校に開設されたすべての課程を教えきる」 ②教人有目难辨 「判別しがたい」 ③教人僵硬 「身動きできなくなる」	
737	请教 教えを請う		一	一	一	一
738	辅导 学習の手助けをする		一	一	一	一
739	学 学ぶ	a	一	一	一	学会了作戏的诀窍 「作戦のこつをつかむ」
		b	学派出所長宋朋文 用酷刑 「警察署所長をまねて残酷な仕置き	一	一	学养不齐 「学習と教養が同じではない」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			をする」			
		c	一	一	几乎没学过的人 「ほぼ学んだことのない人」	一
740	学习 学習する 勉強する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	学习各种专业 「各専攻を学ぶ」	一
741	学会 習得する	a	学会了冲浪 「サーフィンをマスターする」	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	学会了沉默 「沈黙を習得できた」	一
742	识字 字を覚える	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎识字的人都看过的一曲电视剧	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「ほぼ字が読める人がみ ま見たことのあるドラマ」	
743	読 (本を)読 む	a	读成高中 「高校を通う」	一	一	一
		b	一	一	一	读没了兴致 「興味をなくす」
		c	一	一	①读遍了 「全部読んだ」 ②读光了中医的各种论著 典籍 「中国医学の各論著や書 物を全部読んだ」 ③读懂了她的心思 「彼女の考えを読める」 ④几乎没读过一篇批评报 道 「ほぼ批判的報道を1つ も読んだことがない」 ⑤几乎没读过他的作品 「彼の作品がほとんど読	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					んだことがない」	
744	读书 読書する 勉強する		一	一	一	一
745	上学 登校する 入学する		一	一	一	一
746	放学 学校がひける		一	一	一	一
747	上课 授業に出る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎上课都没有心思了 「ほとんど授業に出ても上の空である」 ②虽说进了京大, 却几乎没上课 「京大に入ったとは言え、ほとんど授業に出ていない」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
748	下课 授業が終わる	a	一	一	一	一
		b	一	下课 「首になる」	一	一
		c	一	一	一	一
749	用功 (熱心に) 勉強する		一	一	一	一
750	练习 練習する		一	一	一	一
751	自习 自習する		一	一	一	一
752	考试 試験する		一	一	一	一
753	毕业 卒業する		一	一	一	一
754	放假 休みになる		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
755	请假 休みを取る		一	一	一	一
756	研究 研究する		一	一	一	一
757	观察 観察する		一	一	一	一
758	分析 分析する		一	一	一	一
759	比较 比較する		一	一	一	一
760	测量 測量する		一	一	一	一
761	挑选 選ぶ		一	一	一	一
762	发现 発見する 気づく	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	发现那个向他直扑而来的大地精守卫	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「真正面からかかってきたあの大地精霊兵を発見する」			
763	发明 発明する		一	一	一	一
764	試 試す 試みる	a	一	一	一	一
		b	试得我们一无所有 「試しで何もなくなってしまう」	一	一	一
		c	一	一	试尽了所有的药方 「すべての処方を試しきる」	一
765	试验 試験する		一	一	一	一
766	实验 実験する		一	一	一	一
767	证明 証明する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	证明了这一点	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「この点を証明する」	
768	参考 参考にする		一	一	一	一
769	翻译 翻訳する 通訳する		一	一	一	一
770	写 (字を)書く	a		一	一	一
		b	一	一	一	①写错字形 「字形を書き間違ふ」 ②写别字了 「当て字を書く」
		c	写成美国的副总统 奎尔 「アメリカの副大統領ケールに書き間違ふ」	一	11 例 ①写了个通夜 「一晩中かいた」 ②写成一本哲学著作 「哲学著書を書き上げる」 ③几乎写了一整天 「一日中ずっと書いた」 ④写错这几个字	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「この何個かの字を書き間違う」	
771	写字 字を書く		一	一	一	一
772	写作 ものを書く 創作する		一	一	一	一
773	创作 創作する		一	一	一	一
774	记录 記録する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	记录了从旧石器时代至新石器时代发展演变得全部过程 「旧石器時代かた新石器時代へと発展を遂げる全行程を記録した」	一
775	抄	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	写す	b	一	一	一	抄家之厄运 「家財を没収される災 い」
		c	一	一	一	一
776	塗 塗る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	塗满了一层层从调色板上 刮下来的颜料 「パレットからこそぎ落 した顔料を何層も塗りつ ぶす」	一
777	画 描く	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①画遍了巴黎的老城区 「パリの古い町を全部描 いた」 ②画遍了领袖的各种姿势 「リーダーのいろんな姿 勢を全部描いた」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					③画遍了都市生活中所谓戏剧化的景象的每一面 「都市生活にドラマみたいな光景を各角度から全部描いた」	
778	照相 写真をとる		一	一	一	一
779	录像 録画する		一	一	一	一
780	著 著す 著作する		一	一	一	一
781	校对 校正する		一	一	一	一
782	印 印刷する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	印下了所有要点 「すべての要点が印刷さ	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					れる」	
783	印刷 印刷する		一	一	一	一
784	出版 出版する		一	一	一	一
785	发行 発行する		一	一	一	一
786	锻炼 体をきたえる 運動する		一	一	一	一
787	玩儿 遊ぶ		一	一	一	一
788	游戏 ゲームを する 遊ぶ		一	一	一	一
789	跳舞 踊る		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
790	上操 教練に出 る		一	一	一	一
791	游泳 泳ぐ		一	一	一	一
792	赛跑 競走する		一	一	一	一
793	赛球 球技の試 合をする		一	一	一	一
794	滑冰 スケート する		一	一	一	一
795	滑雪 スキーす る		一	一	一	一
796	比赛 試合をす る	a	一	一	一	一
		b	一	一	几乎比赛一开始就放弃了 比赛	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「ほぼ試合が始まるなり 試合を諦めた」	
		c	一	一	一	一
797	赢 勝つ	a	①赢了中国队 「中国チームに勝つ」 ②赢得比赛 「試合を勝つ」 ③赢了郭嘉女篮的 农运会四连冠球队 「郭嘉女子バスケットボールの農村 運動大会の4年連続チャンピオンチ ームに勝つ」 ④赢球 「勝利する」	一	①赢得了众口一词的喝彩 「みんな口そろえていう 喝采を得る」 ②赢得了所有的荣誉 「すべての光栄を得る」 ③赢得了罗马尼亚田径史 上所有最为重要的荣誉 「ローマニア競走史上一 番重要な光栄を勝ち取る」 ④赢了 「勝つ」 ⑤赢得了小苹 「苹さんを勝ち取る」	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
798	输	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	負ける	b	①輸掉了一个好妻子 「よい奥さんを負けた」 ②輸掉比赛 「試合に負ける」 ③输给 19 岁的克罗地亚新手 「19 歳のクロアチア新人に負ける」 ④輸(了)球 「敗北する」 ⑤输给希腊队 「ギリシャチームに負ける」	①輸給他 「彼に負ける」 ②輸在她的手里 「彼女に負ける」 ③輸掉的第一次大西洋战役 「第一次大西洋戦争を負ける」	輸掉的棋 「ほぼ負けた囲碁」	①輸多贏少 「負ける時が多く、勝つ時が少ない」 ②不輸钱 「(金銭的に) 負ける」
		c	—	—	—	—
799	演戏剧を演じる 演技する	a	—	—	—	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
800	表演 演じる	a	一	一	一	一
		b	一	一	表演了个大劈叉 「股割りを披露する」	一
		c	一	一	一	一
801	奏乐 奏でる 演奏する		一	一	一	一
802	刺激 刺激する		一	一	一	一
803	感到 感じる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	①感到不愉快 「不愉快だと思ふ」 ②感到担忧 「心配する」 ③感到孤独 「孤独を感じる」 ④感到寂寞 「寂しく思ふ」 ⑤感到空虚 「むなしく思ふ」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						⑥感到厌烦 「いやだと思う」 ⑦感到绝望 「絶望する」 ⑧感到一丝孤寂 「孤独を少し感じる」
		c	一	一	一	18 例 ①感到奇怪 「変だと思う」 ②感到有些不以为然 「少し納得できないと 思う」 ③感到可笑 「おかしいだと思う」 ④感到有点吃力 「骨が折れると思う」 ⑤感到惊讶 「びっくりする」
804	觉得 感じる	a	一	一	一	一
		b	一	一	30 例	9 例

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	思う				①觉得自己是听岔了 「自分が聞きまちがったと思う」 ②觉得无地自容 「いたたまれなくなると思う」 ③觉得是种命运了 「運命だとおもう」 ④觉得自己又活了过来 「自分が生き返ったと思う」	①觉得肚子饿 「お腹がすいたと思う」 ②觉得过誉 「ほめ過ぎだと思う」 ③觉得很吃惊 「驚かされる」 ④觉得自己有点小家子气 「自分が少しケチケチしていると思う」 ⑤觉得有愧于她。 「彼女に後ろめたく思う」
		c	一	一	一	一
805	感动 感動する	a	感动得落了泪 「感動で涙を流す」	一	7 例 ①几乎感动了整个中国 「ほぼ中国全国を感動させた」 ②几乎感动得热泪盈眶	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「熱い涙が溢れ出るほど感動された」 ③几乎感动了自己 「ほぼ自分を感動した」 ④几乎感动得要哭出来了 「泣き出すほど感動された」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
806	喜欢 好む 喜ぶ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①喜欢所有的花 「すべての花が好きだ」 ②喜欢上了他 「彼の事を好きになる」	一
807	佩服 関心する		一	一	一	一
808	爱护 大切にす		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	る					
809	同情 同情する 共感する		一	一	一	一
810	嫌 嫌う いやがる		一	一	一	一
811	讨厌 嫌う		一	一	一	一
812	懒得 …する気がしない		一	一	一	一
813	怨 かこつ とがめる 恨む	a	一	一	一	一
		b	一	一	怨恨自己 「自分を恨む」	一
		c	一	一	一	一
814	抱怨	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	不平を言う 不満に思う	b	一	一	抱怨起前两年中过的苦日子来了 「この二年間過ごした苦しい日々を恨みがましくいう」	抱怨说女人真麻烦 「女が面倒くさいと文句を言う」
		c	一	一	一	一
815	埋怨 とがめる 不平を言う	a	一	一	一	一
		b	一	一	埋怨自己没有把它提出来 「それを言い出せなかった自分を恨む」	①埋怨自己不争气 「自分に意気地がないのが悔しい」 ②埋怨时间 「時間をとがめる」
		c	一	一	一	一
816	误会 誤解する	a	一	一	一	一
		b	误会我是其中一个不回家的少女 「私は家出をした少女の1人だと誤解する」	一	一	误会 「誤解」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
817	恨 憎む	a	一	一	一	一
		b	一	一	①恨得咬牙切齿了 「歯ぎしりするほど憎む」 ②恨死了法国人 「フランス人を死ぬほど憎む」	一
		c	一	一	一	一
818	怪 とがめる 責める	a	一	一	一	一
		b	怪到他的头上 「彼のせいにする」	一	一	一
		c		一	没怪叫起来 「調子外れの声を発した」	一
819	气 怒らせる 怒る	a	一	一	一	一
		b	27 例 ①气疯了 / 气疯。 「狂うほど腹を立てた」 ②气死。	一	17 例 ①气昏过去/气晕过去 「気を失うほど怒った」 ②气炸了肚子/气炸了胸膛 「お腹/胸が爆発するほど	①气短 「へこたれる」 ②气恼 「怒る」 ③气哼哼地用力把她往

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「死ぬほど腹を立てた」 ③气昏过去/气晕过去 「氣を失うほど怒った」 ④气炸了肺 「肺が爆発するほど腹を立てた」 ⑤气哭了 「怒って泣いた」		腹を立てる」 ③气得要死 「死ぬほど怒った」 ④气疯了 「狂うほど怒った」 ⑤气成病了/气病了 「怒って病気になる」	前一推 「ぶんぶん怒って力一杯に彼女を前に推した」 ④气馁 「落ち込む」
		c	一	一	一	一
820	生气 腹を立てる	a	一	一	一	一
		b	一	一	①生气地喊道 「怒って叫ぶ」 ②生气的神情来望着 「怒った様子で見ている」 ③生气地问 「怒って聞く」 ④生气的抓住她的肩膀, 奋	生气的 「怒るのだ」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					力的将她推开 「怒って彼女の肩を掴み、 力一杯で彼女を押し出した」	
		c	一	一	一	一
821	害怕 恐れる こわがる	a	一	一	一	一
		b	一	一	几乎害怕她会生气或者发笑 「彼女は怒るか笑うかを 心配するところだった」	害怕 「恐れる」
		c	一	一	一	一
822	吓 驚かす	a	一	一	一	一
		b	16 例 ①吓瘫在地 「びっくりして地面に座り込む」 ②吓死我了 「死ぬほどびっくりした」 ③吓晕了	一	19 例 ①吓瘫了 「びっくりして腰が抜けた」 ②吓呆了 「びっくりして身動き取れない」 ③吓得晕了过去	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「びっくりして目眩しそうになる」 ④吓得叫出来 「びっくりで叫び出す」 ⑤吓昏了过去 「气絶するほど驚かされた」 ⑥吓哭了 「驚かれて泣く」		「気を失うほどびっくりする」 ④吓得发抖 「恐ろしくなって震えた」 ⑤吓破了胆 「びっくりし肝をつぶした」	
		c	一	一	一	一
823	心疼 かわいが る 惜しがる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	不心疼地看到孩子们挨饿 「残念そうに子どもたち飢えているのを見る」
824	舍不得 惜しがる	a	一	一	一	一
		b	一	一	舍不得砍掉一棵来当柴烧	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「木を切り落としてまきにするのは惜しくてならない」	
		c	一	一	一	一
825	舍得 惜しまない 思いきれ る		一	一	一	一
826	害羞 はずかし がる		一	一	一	一
827	满意 満足する		一	一	一	一
828	愁 心配する		一	一	一	一
829	着急 焦る 気をもむ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	着急 「焦る」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
830	惊 驚く	a	一	一	一	一
		b	8 例 ①惊落手中的笔 「びっくりで手にあるペンを落とす」 ②惊喜得跳起来 「驚喜して跳び上がる」 ③惊奇地叫出声来 「不思議そうに叫び出す」 ④惊叫起来 「大声を上げる」 ⑤惊叫出声 「驚きで声を上げる」 ⑥惊呼 「驚きの声を上げ	①惊飞一马路悠哉的人 「道路でゆっくりと歩いている人が驚きで逃げる」 ②惊叫起来 「大声を上げる」 ③惊呼出声 「驚きの声を上げる」	22 例 ①惊叫起来 「大声を上げる」 ②惊呆了 「びっくりでボーとする」 ③惊住 「身動きができなくなる」 ④惊跳了起来 「びっくりして跳び上がる」 ⑤惊慌失措了 「驚き慌てる」	①惊慌失措 「驚き慌ててなすところを知らない」 ②惊慌 「うろたえる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			る」			
		c	一	一	一	一
831	吃惊 驚く びっくり する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎吃惊地猛然跳了起来 「びっくりして急に跳び 上がるところだった」	吃惊 「びっくりする」
832	伤心 悲しむ	a	一	一	一	一
		b	作者差点伤心地付 之一炬 「作者があまりの 悲しみに火に投じ て燃やすところだ った」	一	一	①伤心 「悲しむ」 ②伤心断肠了 「断腸の悲しみをさせ る」
		c	一	一	一	一
833	忍耐 忍耐する 耐える		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
834	忍受 耐える 我慢する		一	一	一	一
835	知道 知る わかる 知っている る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎知道鲁缅采夫图书馆所有藏书的内容 「ボグダーノフ図書館に所蔵された本の内容をほとんど知っている」 ②几乎知道是谁了, 只是要找证据而已 「誰かはほぼ分かっている、あとは証拠を探すだけだ」 ③几乎知道各种有价值的古籍都在哪里 「各種価値のある書籍がどこにあるのかはほとんど知っている」	更没有人难免知道那一个一个精彩的节目后面的故事 「ましてその素晴らしい番組の背後にあるストーリーは多分だれも知らないだろう」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					④几乎知道 ETS 下一句话要说什么，会怎么说 「ETS が次何を話すべきか、どういうのかはほとんど知っている」	
836	懂 理解する		—	—	—	—
837	了解 理解する よくわかる	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	几乎了解了一切情况 「ほぼすべての状況を了解した」	—
838	明白 わかる		—	—	—	—
839	认识 見知っている わかる	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	6 例 ①为此而几乎认识普天下的人。	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「これでほぼすべての人と知り合った」 ②他几乎认识全厂的工人群众。 「彼はほぼ全工場の人を知っている」 ③几乎认识码头上的每一个人 「埠頭での人をほぼ全部知っている」	
840	认得 知っている 覚えている		一	一	一	一
841	认为 …だと判断する 認める	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	11 例 ①他几乎认为李贵这么做是必然的。	没有看原书的人当然难免认为是两个版本 「原作を見ていない人

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「彼は李貴がこうしても必然だと思うところだった」 ②他几乎认为他可以和她结婚。 「彼は彼女と結婚できると思うところだった」 ③几乎认为这场战争已经获胜了。 「この戦争はすでに勝利したと思うところだった」 ④几乎认为自己的人生可以就此落幕。 「自分の人生はこれで終わったと思うところだった」	は当然二つの版本だと思ってしまう」
842	体会 理解する 体得する		一	一	一	一
843	以为	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	思う	b	一	一	一	一
		c	10 例 ①以为弄错 「間違えたと思う」 ②以为自己走错了门 「ドアを間違えたと思う」 ③以为贼人光顾 「泥棒が来たと思う」 ④以为自己一个人也能在这世界上过活了 「自分1人でもこの世で生きられると思った」	一	27 例 ①以为是在做梦 「夢をしていると思う」 ②以为这两个女的发了疯 「そのふたりの女は狂ったではないかと思う」 ③以为自己全身都碎掉了 「全身の骨がバラバラになったのではないかと思った」 ④痛得几乎以为肩膀要断了 「痛くて肩が折れたではないかと思うところだった」	一
844	不料 予期しない		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	思いかけず					
845	相信 信じる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	相信你 「君に信じる」	一	12 例 ①我几乎相信了 「私は信じるところだった」 ②几乎相信是我自己画了那些画 「私自身がそれらの絵を描いたのを信じるところだった」 ③几乎相信他爱上她呢 「彼は彼女を愛していると信じるところだった」	一
846	留心 気をつける 注意する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
847	注意 注意する		一	一	一	一
848	关心 気をつける 関心をもつ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	5 例 ①那些老顾客几乎没注意到任何变化 「それらの常連たちはほとんど何の変化も感じなかった」 ②他几乎没注意到时间在消逝。 「彼は時間の流れをほとんど気づかなかった」 ③几乎没注意到嘉莉看上去又累又乏 「カリーが疲れて眠たいのをほとんど気づかなかった。」	一
849	担心	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	心配する	b	一	一	我几乎担心你现在会失去对我的这种信任 「あなたは私に対する自信を失うのではないと心配するところだった」	①担心 「心配する」 ②担心出现一荣俱荣，一损俱损的现象 「共に栄えるか、共に衰える現象に危惧する」 ③担心自己会像那个贪婪的美国寻宝人一样，被各式各样人类尚无以名之的毒虫猛兽轻率地毁灭掉。 「自分が欲深いアメリカ宝探しみたいに、様々なまだ名前もない毒虫や獣に簡単にやられるのではないかを心配する」
		c	一	一	一	一
		a	一	一	一	一
850	小心	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	用心する 気をつける	b	一	一	一	一
		c	一	一	一	不小心磕碰了，或者感觉不舒服 「不注意でぶつかる、 または気持ちよくない」
851	安心 安心する 気が落ち着く		一	一	一	一
852	放心 安心する		一	一	一	一
853	在乎 気にかける		一	一	一	一
854	在于 …にある …に存在する		一	一	一	一
855	想	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	思う	b	17 例 ①想打官司 「公訴を起こそうとする」 ②想笑 「笑いたい」 ③想哭 「泣きたい」 ④想自杀了 「自殺したい」 ⑤想就此放弃, 辞职算了 「このまま諦めて、辞任したい」 ⑥想抱怨了 「文句を言いたい」 ⑦想反悔 「後悔したい」	一	一	一
		c	一	一	一	8 例 ①想到自己身边的祖国

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						文物 「自分の周りの祖国文物を思い出す」 ②想尝尝野味 「鳥獣の肉を食べたくなる」 ③想到我们所立足的土地。 「我々今立っている土地のことを考える」 ④想比较一下 「比較したくなる」 ⑤想到自己 「自分のことを考える」 ⑥想着某些色情的画面 「一部の色気の画面を思い出す」
856	想出 考え出す		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	思いつく					
857	考慮 考慮する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①因为写的是年轻人的生活，很纯粹，几乎没考虑中老年观众 「若者生活の話ですので、とても単純で、ほとんど中高年観客を考慮していない」 ②他们几乎没考虑过自己精心制作的蓝图如何才能付诸实践 「彼らは自分が入念に作った長期計画はどのようにしたら実現できるかについてはほとんど考えなかった」	一
858	当做 …とする		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	…とみなす					
859	作为 …とする …となす	a	一	一	作为民主党的候选人被任命为副总统 「民主党の立候補者として副大統領に任命される」	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
860	分別 区別する 識別する		一	一	一	一
861	觉悟 悟る 自覚する		一	一	一	一
862	解決 解決する	a	一	一	解决了所有遗留问题 「すべての残留問題を解決する」	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
863	同意 同意する		一	一	一	一
864	记 覚える	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	5 例 ①记录了从旧石器时代至新石器时代发展演变的全部过程 「旧石器時代から新石器へと発展を遂げる全過程を記録した」 ②记住了他们每一个人的音容笑貌。 「彼らの音容や笑顔を覚える」 ③记起了这个产院的全部历史 「この助産院の歴史を全部思い出した」	一
865	记得		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	覚えている					
866	惦记 気にかける 案じる		一	一	一	一
867	纪念 記念する		一	一	一	一
868	忘 忘れる	a	一	一	一	一
		b	84 例 ①忘了 「忘れた」 ②忘给你了 「君にあげるのを忘れた」 ③忘了告诉你了 「君に教えるのを忘れた」 ④忘记了 「忘れた」	①忘了台词 「セリフを忘れた」 ②忘了满脸的刀疤伤痕 「顔まみれの刀傷や傷跡を忘れた」 ③忘记把伞拿走 「傘を忘れる」 ④忘了要去搓麻将 「麻雀をやるのを忘れた」	192 例 ①忘光了 「すっかり忘れる」 ②忘了 「忘れる」 ③忘却了这个词 「そのことばを忘れる」 ④忘记了人和事 「人や事を忘れる」 ⑤忘了她来我这儿的重大目的	①有的人得意之后难免忘形 「どうしても調子に乗ってしまう人がある」 ②现实也就难免忘诸脑后了 「現実もどうしてもすっかり忘れてしまうのだ」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			⑤忘了还礼 「礼を返すのを忘れた」 ⑥忘记这事儿了 「この件を忘れた」	⑤忘了 「忘れた」	「彼女が私のところに来る重大目的」	
		c	—	—	—	—
869	迷 迷う 夢中になる	a	—	—	—	—
		b	迷路/迷了路 「道に迷う」	—	—	—
		c	—	—	—	—
870	信 信じる	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	信口雌黄 「好き勝手に話す」
		c	—	—	—	—
871	迷信 (盲目的に)信じ込む		—	—	—	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
872	怀疑 疑う	a	一	一	一	一
		b	一	一	10 例 ①怀疑自己听错了 「自分が聞きそこなった ではないかと疑う」 ②怀疑自己看错了 「自分が見まちがったの でh ないかと疑う」 ③怀疑他想白蹭的菜 「彼は料理をただで食べ たいのはないか」 ④怀疑是在梦中 「まだ夢にいるのではな いかと疑う」 ⑤怀疑这一点 「その点に疑う」 ⑥怀疑自己真的有那个胆 量把话说出来 「自分は本当に話し出す 勇氣があるのかと疑う」	①怀疑 「疑問を抱く」 ②怀疑此项目的前景 「このプロジェクトの 未来図を疑う」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
873	猜 あてる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	猜测 「推測する」
874	打算 …する) つもりで ある	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①打算对美实施“反打击”了 「アメリカに“反撃”を行おうとする」 ②打算辞职 「辞任しようとする」 ③几乎打算亮明自己身份，动手搜缴他留在这里的行李物品。 「身分を明かて、ここに残ったにもちを探そうとするところだった」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
875	希望 望む 希望する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①希望自己不会获胜 「自分が勝てないことを望む」 ②希望重新回到那个时代去 「その時代に戻ったらい いと思う」 ③希望现在还有龙人可以 砍杀 「今も竜人を殺せること を望む」	一
876	盼望 待ち望む 切望する		一	一	一	一
877	巴不得 まちこが れる 熱望する	a	一	一	一	一
		b	一	一	他几乎盼望流血了 「血を流すことを望む」	一
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
878	失望 失望する がっかり する	a	一	一	一	一
		b	一	一	失望透了 「とことん失望する」	①失望和不满 「失望と不満を覚える」 ②失望 「失望する」
		c	一	一	一	一
879	回忆 思い出す 回想する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	回忆起那辛酸的过去 「そのつらい過去を思い出す」
880	后悔 後悔する	a	一	一	一	一
		b	一	一	①后悔许了这诺言 「この約束したのを後悔する」 ②后悔刚才一时冲动, 答应	后悔 「後悔する」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					了他 「出来心で約束したのを後悔する」 ③后悔与埃尔斯蒂尔一起出来了 「アルステイアさんと一緒に出てきたのを後悔する」 ④后悔嫁了祥子 「祥子に嫁いたことを後悔する」 ⑤后悔自己回来的太早 「早く帰った事を後悔する」 ⑥后悔了曾经那样热心帮他们的忙 「あんなに熱心に彼らの手伝いをしたのを後悔する」	
		c	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
881	晴 晴れる		一	一	一	一
882	阴 曇る	a	一	一	一	一
		b	阴沟里翻船 「暗渠の中で船が ひっくり返った」	阴沟里翻船 「暗渠の中で船がひ っくり返った」	阴险到了有点残忍的地步 「残忍なほど陰険だ」	一
		c	一	一	一	一
883	下雨 雨が降る		一	一	一	一
884	下雪 雪が降る		一	一	一	一
885	刮风 風が吹く		一	一	一	一
886	打閃 いなずま が光る		一	一	一	一
887	打雷 雷が鳴る		一	一	一	一
888	冻	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	凍る	b	冻僵了 「かじかむ」	冻死 「凍えて死ぬ」	①冻僵了 「かじかむ」 ②冻死 「凍えて死ぬ」 ③冻死饿毙 「凍えて飢えて死ぬ」 ④冻结了与利比亚的关系 「リビヤとの関係を凍結する」 ⑤冻死在冰天雪地中 「酷寒の土地で凍えて死ぬ」	一
		c	一	一	冻凝了/冻结了 「凍り付く」	一
889	结冰 氷がはる		一	一	一	一
890	化 とける	a	一	一	一	一
		b	一	化为泡影 「無駄になる」	①化为灰烬 「灰燼に帰す」 ②化为乌有	化作黄土 「死ぬ」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「何もかもなくなった」 ③化为粉末 「粉々になる」 ④化为一片废墟 「废墟になる」 ⑤化为泡影 「無駄になる」	
		c	一	一	①化成深黑色 「暗黒色になる」 ②化为了气体状态 「気体状態になる」 ③化装 「変装する」	一
891	落 落ちる	a	一	一	一	一
		b	①落地 「落下する」 ②落马坠崖 「馬から落ちて崖に落ちる」 ③落入了失望的深	①落入陷阱 「罠にかかる」 ②落进了滚滚的钢水中 「沸騰している鋼水に落ちる」	①落选 「落選する」 ②落网 「犯人が捕まる」 ③落马 「馬から落馬する」	18 例 ①落后 「遅れる」 ②落得一个瓜田李下的名声 「人を疑う名声を得

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			淵 「失望の淵に落ちる」 ④落水 「水に落ちる」 ⑤落个昏君 「暗君と評価される」 ⑥落下（眼）泪来 「涙を流す」	③落马 「落馬する」 ④落杠 「棒から落ちる」 ⑤落入露西尔的情网 「ルシアと恋に落ちる」	④落到鼻尖上 「鼻先に落ちる」 ⑤落入海中 「海の中に落ちる」	る」 ③落空 「だめになる」 ④落伍 「落伍する」 ⑤落到这一步 「こんなことになった」 ⑥落入种种陷阱 「様々な罠にかかる」
		c	—	—	①落脚于各地 「各地に滞在する」 ②落一场透雨 「びちょびちょになる」	—
892	飄 漂う 風になびく	a	—	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	①飘满整个欧洲的上空 「ヨーロッパ全土の上空に舞う」 ②飘动起来	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「揺れ動き始めた」	
893	流 流れる	a	一	一	一	流露出一些怡然自得 「楽しく満足している のを現される」
		b	①流产 「流産する」 ②流出了血 「血を流す」 ③流下了眼泪/流出 泪来 「涙を流す」 ④流了出来 「流し出す」	流（了）产 「流産する」	①流出了眼泪 「涙を流す」 ②流下了动情的泪 「感動の涙を流す」 ③流于形式 「形式に流される」 ④流产 「流産する」 ⑤流浪的生活 「放浪する生活」 ⑥流落街头 「街頭に流浪する」 ⑦黑土层几乎流失了一半 「黒土層ほぼ半分流失す る」	11 例 ①流于形式 「形式に流される」 ②流于肤浅，空乏 「浅薄、上っ面に流さ れる」 ③流于泛泛/流于一般 「普通に流れる」 ④流失 「流失する」 ⑤流于某种盲目性 「ある盲目性に流れ る」 ⑥流点血什么的 「血とかを流す」 ⑦流露出来的忧郁

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						「憂うつな表情を表れる」
		c	—	—	几乎流过每一个居民小区 「ほぼ全部の居住地を流れる」	—
894	流动 流動する 常に移動する		—	—	—	—
895	沉 沈む	a	—	—	—	—
		b	①沉没 「沈没する」 ②沉入河底 「川底に沈む」 ③沉下水去 「水に沈んで行く」	沉没 「沈没する」	沉没 「沈没する」	—
		c	—	—	—	—
896	漲水 水かさが増す		—	—	—	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
897	淋 ぬれる 水をあび る	a	一	一	一	一
		b	淋她一身 「彼女の全身にか ける」	一	一	一
		c	一	一	一	一
898	晒 日にあた る		一	一	一	一
899	着火 火がつく		一	一	一	一
900	灭 火が消え る	a	一	一	一	一
		b	灭了烛火 「火を消す」	一	①灭绝 「絶滅する」 ②灭种了 「種族を絶滅させる」 ③灭国 「国を滅ぼす」	①灭顶之灾 「致命的災害や悲運に 遭う」 ②灭亡 「滅ぼす」
		c	一	一	一	一
901	爆发	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	爆発する	b	爆发第四次战争 「第四次戦争が勃発する」	一	①爆发战争 「戦争が勃発する」 ②爆发争执 「争いがおこる」	一
		c	一	爆发的贸易战 「勃発する貿易戦」	爆发贸易战 「貿易戦が勃発する」	爆发一场价格大战 「価格戦争を爆発する」
902	炸	a	一	一	一	一
	破裂する 爆発する	b	炸死了 「爆殺する」	炸毁地面上一座作为 效应物的桥梁 「地上にエフェクターとしての橋を爆発する」	①几乎炸毁了伊拉克的全部军事设施 「イラクの軍事施設をほぼ全部爆発した」 ②几乎炸毁了地面上所有的飞机 「地上の飛行機をほぼすべてを爆発した」 ③炸了窝 「大騒ぎになる」 ④炸了 「爆発する」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
903	閃 光る ひらめく	a	一	一	一	一
		b	①閃倒 「よけて倒れる」 ②閃了腰 「腰をくじる」	閃到水里 「よけて水に落ちる」	一	閃失 「間違いがある」
		c	一	一	霓虹灯几乎闪烁在大上海 密如蛛网的所有街道上 「ネオンがほぼすべての 上海のクモの糸のような 町に光っている」	一
904	飛 飛ぶ	a	一	一	飞黄腾达的时候 「出世する時」	
		b	①粉盒)飞中他的耳朵 「(チョーク箱) 彼の の耳に当たる」 ②飞上泥土小路 「泥道に飛び込み」	谢惠敏的两撇眉毛险些 飞出脑门 「謝惠敏さんの2つの 眉毛は頭の後ろに 伸び飛ばす」	①震得所有屋顶都几乎飞 了起来 「振動でほぼすべての屋 根がぶっ飛んだ」 ②烟尘几乎飞起有一哩高 「埃がほぼ1マイルの高 さまで飛んだ」	(蚊子, 苍蝇) 飞了进 来 / 飞进蚊子, 苍蝇 「(蚊、ハエ) 飛んで入 る」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	几乎飞越南半球所有的海洋 「南半球のすべての海を飛び越えた」	一
905	滾ころがる	a	一	一	一	一
		b	①眼泪差点滚出来 / 滚落下来 / 滚出来 「もう少しで涙を流すところだった」 ②吓得差一点滚下床来 「びっくりしてもう少しでベッドから落ちるところだった」	①滚进溪水中 「川水に入る」 ②(球)滚入自己大门 「(ボール) ゲートに転がり込む」	①滚出眼泪 「涙が出る」 ②滚出来的满眶眼泪 「涙が溢れでる」 ③滚落倒院子里去 「庭に転がり落ちる」	一
		c	一	一	一	一
906	转3 方向を変える	a	一	一	几乎转怒为喜 「ほぼ怒りを喜びになった」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	回転する	b	(他腿肚子) 转了筋 「彼のふくらはぎが筋違った」	一	一	①(哀怨) 转为仇恨 「(悔しさ) 恨みに変わる」 ②转移情感 「感情を転移する」
		c	①转了向了 「方向を変えた」 ②转身就出来了 「きびすを返して出てきた」	一	①几乎转战大半个中国 「ほぼ中国の大部分を転戦した」 ②几乎转飞世界各地 「ほぼ世界各地へと飛ぶ」	一
907	转 4 回転する ぐるぐる 回る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①绕着北京城几乎转了一大圈 「ほぼ北京城をめぐってぐるっと回った」 ②几乎转了韩国的一半 「ほぼ韓国の半部を回った」 ③几乎转了一个遍	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「ほぼ全部行った」	
908	绕 卷く 巻きつく めぐる		一	一	一	一
909	断 断つ 切れる	a	一	一	一	一
		b	9 例 ①断送了一切 「すべてを失う」 ②（脖子）断了 「(首)折れる」 ③断气 「息を引き取る」 ④断送泳坛生涯 「水泳生涯を葬り さる」 ⑤断送了中华大地 上的那点点民主之 星火 「中華大地にある	8 例 ①断送了它的前程 「彼の将来を失う」 ②断送了自己的排球 事业 「自分のバレーボー ル事業を台無しにす る」 ③断送了运动员的运 动生命 「選手の運動生命を 葬りさる」 ④断送了政治性命 「政治生命を失う」	63 例 ①几乎断粮 「食べ物がなくなると ころだった」 ②几乎断水绝粮 「水や食べ物がなくな るところだった」 ③几乎断送了教育事业 「教育事業を葬ると ころだった」 ④几乎断送她的运动生命 「彼女の運動生涯を台 無しにするところだ った」 ⑤打得他几乎断了气	断章取义 「詩や文章の一部分を 取り出して自分の都合 のよい解釈をする」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			民主主義の微かな 光を失う」 ⑥没断送了性命 「命を失う」	⑤断送职业生涯 「職業生涯を台無し にする」 ⑥断送了胜利果实 「勝利を失う」	「息を引き取るほど彼を 殴った」 ⑥几乎没断过档 「ほとんど売り切れたこ とがない」	
		c	一	一	一	一
910	塞 つめる ふさぐ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①几乎塞满了这条三级公路 「ほぼこの三級道路を塞 がった」 ②几乎塞满空间 「ほぼ空間を塞がった」 ③地道几乎塞满了人 「地下道が人でほぼ一杯 になった」 ④几乎塞满了化石 「化石でほぼ一杯になっ た」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					⑤几乎塞满整个圆锥形的 房间 「この円錐形の部屋をほ ぼ一杯にした」	
911	透 透き通る 突き抜け る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	总难免透出一种文学的 小家子气 「どうしても文学のみ みっちいさが出てく る」
		c	一	一	一	一
912	塌 落ち込む つぶれる	a	一	一	一	一
		b	①从这一刻, 汉城的 天差点没塌下来 「その時から、漢城 の空が崩れ落ちそ うになった」 ②差点没塌了天 「すべて崩壊する ところだった」	一	塌陷了 「陥没した」	塌台 「崩れ落ちる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
913	冒 発する 放出する	a	一	一	一	一
		b	冒犯了长辈的尊严 「長老の尊嚴を犯す」	一	①额上几乎冒出了冷汗 「(額から) 冷え汗がでそうになる」 ②眼里几乎冒出了火花 「(目) 火花が出そうになる」 ③头上/他的眼睛几乎冒出火来 「(頭/彼の眼から) 火が出そうになる」 ④眼泪几乎冒出来 「(涙が出そうになる」	一
		c	一	一	一	人总难免照照镜子。 「人は鏡をみるものだ」
914	照 照らす	a	一	一	一	一
915		b	一	一	几乎照搬了该决议关于伊	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	散开 散る 分散する 四散する				“将面临严重后果”的条款 「この決議にイギリスが これから“重大な結果”に 面する条約をほぼそのま ま取り入れた」	
		c	一	一	几乎照亮了整个天空 「空をほぼ全部明るく照 らした」	一
			一	一	一	一
916	散 散る 散らす ばらまく	a	一	一	一	一
		b	一	散伙 「解散する」	①家具财产几乎散尽 「家具、財産ほぼ全部なく なった」 ②整个工厂几乎散了架 「工場ごとがほぼバラバ ラになった」 ③几乎散伙的徒众又凝聚 在一个信仰之下 「バラバラになりそうな 人々を同じ信仰の下で集	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					まった」	
		c	一	一	①我痴呆地望着他,几乎散瞳了 「私はぼんやりと彼を見つめて、瞳孔が開いてしまいそうだった」 ②那东西在他手中几乎散成薄片 「あのものは彼の手にほぼ破片になった」	一
917	显 様相を呈 する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一头杂乱无章的白发,几乎显出透明一般的白色 「ごじゃごじゃの白髪みはほぼ透明のような白色をしている」	一
918	显得 …に見える	a	一	一	她耳语着,几乎显得有些虔诚 「ほぼ敬虔のように、彼女	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	ようである				はささやいた。」	
		b	一	一	①“思想解放”的话题几乎显得冷冷清清 「“思想解放”の話題はほとんど議論されなかった」 ②那双叫人感到发冷的眼睛几乎显得凶恶了 「あの寒気がする目は凶暴のように見える」 ③他的脸阴沉沉的,几乎显得有些蠢 「彼の顔は曇っていて、ほぼ愚かに見える」	①显得手足无措 「慌てふためきなすすべを知らないように見える」 ②显得单薄,脆弱和小气 「ひ弱、もろくケチのように見える」 ③显得“人穷志短” 「“貧すれば鈍す”のように見える」 ④显得粗糙幼稚 「雑で未熟のように見える」 ⑤不显得此人妄大自尊期期艾艾 「この人が大したもの、どもりながら話をするように見える」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	显得很奇特有力的斯文口吻 「独特で力のある口調のように聞こえる」
919	发生 発生する 起こる	a	一	一	几乎发生一起，侦破一起 「ほぼ一件起きれば一件捜査して解決される」	一
		b	①发生癌变 「癌化する」 ②发生冲突 「衝突が起きる」 ③发生可怕的暴力 「怖い暴力が起きる」 ④没发生误会 「誤解が発生する」	9 例 ①发生危机 「危機が発生する」 ②发生的一场惨祸 「ひどい事故が起きる」 ③发生的交通事故 「交通事故が起きる」 ④发生的枪击案 「銃撃案が発生する」 ⑤发生战争 「戦争が発生する」	9 例 ①发生械斗 「械闘が発生する」 ②发生了冲突 「衝突が起きる」 ③发生相撞事故 「衝突事故が発生する」 ④发生质变 「質的变化が起こる」 ⑤发生流血冲突 「流血衝突が発生する」	62 例 ①发生冲突 / 争执 / 问题 「衝突/争い/問題が発生する」 ②发生种种弊病 「様々な弊害を生じる」 ③不发生意外 「意外が起きる」 ④不发生经济利益冲突 「経済利益の衝突を生じる」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						⑤不发生事故 「事故が起きる」 ⑥不发生差错 「ミスが出る」
		c	一	一	一	一
920	开始 始まる 始める	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	我差一点开始要为一九九〇年标示上（素食元年） 「私はもう少しで一九九〇年をベジタリアン元年と名付けるところだった」	让他看见曾在瓜田险些开始的，已来不及开始 「瓜畑に始めようとしたものと、すでに始められないものを彼に見せる」	9 例 ①他几乎开始呓语了 「彼は寝言をいうところだった」 ②他开始喜欢上降临的夜色 「彼はほぼ降りてくる夜の景色が好きになる」 ③震得整个观众席几乎开始晃动 「振動で観客席を揺れはじめるところだった」 ④他几乎开始恨起她来	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「彼はほぼ彼女を恨みはじめた」	
921	露 現れる 現す	a	一	一	①几乎露出了笑容 「笑顔が現れる」 ②脸上几乎露出赞叹的笑容来 「顔に賞賛に近い笑顔を現す」	一
		b	(超短裙短得)露出了屁股 「(ミニスカートが短すぎて)お尻がでる」	一	①穿旗袍的女士们被他们这么一剪,就几乎露出了光屁股 「チャイナドレスを着ている女性たちは彼らにこんな風に切られると、ほぼ裸なお尻を出すところだった」 ②克莱德两眼几乎露出惊恐的神色直望着她 「クライデはほぼ恐ろしい目をして彼女を見つめ	①露出了醋话 「嫉妬話が出る」 ②露出不够可靠的急躁 「頼りのないせっかちが出る」 ③露出愚蠢的尾巴 「愚かなしっぽが出る」 ④露出马脚 「馬脚を現す」 ⑤不露形迹, 很容易落人毒手

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					ている」	「痕跡を残さないため、ひどい目に遭いやすい」
		c	一	一	①这里的厂房无门无窗几乎露天 「あそこの工場はドアも窓もなく、ほぼ露天である」 ②哈尔滨港航运码头处的水面则几乎露出了江底 「ハルビン港埠頭の水面はほぼ川底が出ている」 ③几乎露出死色的面孔 「死にそうな顔をしている」 ④河线）几乎露出了底 「（河）底が出ている」 ⑤裙子短到几乎露出了整个大腿 「スカートが短くて、腿が	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					ほとんど外に出ている」	
922	升 あがる のぼる	a	升入英格兰足球超级联赛 「イングランドのサッカーリーグ戦にあがる」	—	—	—
		b	—	—	—	心里难免升起一阵凄凉 「心の中にどうしても寂しさがするようになる」
		c	—	—	一小瓶的哥罗芳也几乎升华完了 「一本のメタンもほぼ昇華された」	—
923	出現 現れる	a	—	—	—	—
		b	出現問題 「問題が出る」	—	—	133 例 ①出現各种问题 「様々な問題がでる」 ②出現争夺和冲突 「争いや衝突が起き

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						る」 ③出现产品质量问题 「製品品質問題がでる」 ④出现谬误或不足之处 「間違いや足りないところがある」 ⑤出现差错 「ミスが出る」 ⑥不出现这样或那样的问题 「このようなあのような問題がでる」 ⑦不出现“打架”问题 「“喧嘩”問題がでる」
		c	一	一	一	一
924	产生 生まれる 生ずる	a	一	一	产生了像对神一样的崇拜 「神に対するような崇拜が生まれる」	一
925		b	产生矛盾	一	①产生了动摇	57 例

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	变化 变化する		「矛盾を生じる」		「動揺する」 ②产生了一种类似刽子手那样的负罪感 「人殺しのような罪悪感を生じる」 ③产生了一种怨恨 「恨みを生じる」 ④产生一种宗教性质的恐惧 「宗教性質なの恐怖を感じる」 ⑤产生厌恶 「嫌悪になる」	①产生畏难情绪 「おじけた様子をする」 ②产生一点困惑 「困惑する」 ③产生埋怨之情 「恨みがでる」 ④产生失落感 「喪失感をする」 ⑤产生冲击 「衝撃を与える」 ⑥不产生语言的“四不象” 「言語の“シフゾウ”が出る」
		c	一	一	一	一
			一	一	一	一
926	变成 (…に) 変わる	a	一	一	一	一
		b	一	昔日“飞人”今天险些变成“废人”	一	12 例 ①（脾气）变坏

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
				「昔の“飛び人”は今日、“廃人”になるところだった」		「(性格)悪くなる」 ②(新聞)変味 「(ニュース)味が変わる」 ③变形走样 「形が変わる」 ④变成错了 「間違いになる」 ⑤变成儿戏 「子どもの戯れになる」
		c	①(使他的笑)没变成哭 「(彼の笑いを)泣きにする」 ②变成石头 「石に変わる」 ③使“民国”差一点变成了“帝国” 「“民国”を“帝国”	①变成美人鱼 「マーメイドになる」 ②变成“暴发户”的老伴 「“成金”の嫁になる」	85 例 ①几乎变成了私人误会 「ほぼ個人の誤解になる」 ②几乎变成了一种信仰了 「ある信仰になる」 ③几乎变成了一个男人 「男性になったようだ」 ④慈善晚会几乎变成了一个新闻发布会	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			になる」		「慈善パーティーはほぼ 記者会見になった」	
927	发展 発展する	a	发展为一门可用于 交际流利表达思想 的外语 「順調にコミュニ ケーションし、考え 方を伝える外国語 になる」	一	一	一
928	发达 発達する	b	一	一	一	一
		c	一	一	①农业潜力几乎发展到了 它们多能达到的极限 「農業の潜在力はほぼ発 展の極限に達した」 ②几乎发展到非牛羊肉不 吃的地步 「ほぼ牛肉、羊肉じゃない と食べないほどになった」 ③几乎发展到水火不容的 地步	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「ほぼ油と水の仲になった」	
			一	一	一	一
929	存在 存在する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	35 例 ①存在缺点和疏漏 「欠点と手落ちが存在する」 ②存在不足之处 「不足しているところがある」 ③存在不妥之处 「妥当ではないところがある」 ④存在这样那样的误区 「このようなあのような落とし穴がある」 ⑤存在很多担心 「たくさんの心配事があり」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						⑥存在偏见 「偏見がある」
		c	一	一	①几乎存在于所有工业部门 「ほぼすべての工業部門に存在する」 ②几乎存在于他的每一部小说和每一个主要人物的活动中 「ほぼ彼のすべて小説やすべての主人公の活動の中に存在する」	一
930	充满 満ちる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	6 例 ①燃料电池几乎充满一个旅行车的车厢 「燃料電池がほぼ旅行用自動車を充滿した」	①充满感情成分是可以体谅的 「感情成分が一杯あっても許せるのだ」 ②充满防备

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					②一只虎头几乎充满了整个画幅 「虎の頭でほぼ画面一杯になった」 ③整部小说几乎充满了不幸的爱情和婚姻 「小説にはほぼ不幸な愛情や婚姻が満ちている」 ④几乎充满了整个水盆 「ほぼ水鉢を一杯にした」	「警戒が満ちている」
931	流行 流行する 盛んに行われる		一	一	一	一
932	继续 継続する		一	一	一	一
933	延长		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	延長する 延ばす					
934	継承 継承する 受け継ぐ	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①它几乎继承了传统主流心理学的一切实证的研究方法 「伝統主流心理学の実証する研究方法をほぼ継承した」 ②他的大儿子几乎继承了一切 「彼の長男がほぼすべてを受け継いだ」	一
935	经过 経過する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	過ぎる	c	一	一	①几乎经过了一个世纪的 历史沉淀 「ほぼ一世紀の歴史沈殿 を経過した」 ②中间几乎经过两千多年 「その中ほぼ二千年が経 った」 ③几乎经过一个月的缄默 之后 「ほぼ一ヶ月の沈黙をし た後」 ④几乎经过十年之久 「ほぼ十年ほど経過した」	①经过的曲折和坎坷 「複雑な経過や不遇の 道のりがある」 ②经过这种过程 「このようなことを経 験する」
936	达到 達する	a	一	一	150 例 ①利润几乎达到 150 亿美 元 「利益はほぼ 150 億ドル に達する」 ②几乎达到无醋不欢的地	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					歩 「ほぼ酔がないと嬉しくないほどだった」 ③几乎达到未卜先知的境地 「ほぼ予知が出来るほどだった」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
937	属于 (…に) 属する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①在英国,这种药片几乎属于禁用类药物 「イギリスでは、この薬はほぼ禁止用薬に属されている」 ②几乎被大都市有钱人嘲笑 「ほぼ大都会のお金持ちに笑われる」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					③旧宇宙的移民几乎属于同一种族了 「旧宇宙の移民はほぼ同じ種族になる」 ④几乎属于超声波 「ほぼ超音波になる」 ⑤几乎属于另一市区了 「ほぼ別の市区になる」	
938	成为 (…に) なる	a	①成为美国夏季奥运会代表团成员 「アメリカ夏期オリンピック代表団のメンバーに鳴る」 ②成为世界杯历史上第二位连续两次夺冠的保龄球手 「W杯歴史上2人目の二年連続優勝をしたボーリング選手となる」	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			③成为不凡的人 「非凡な人になる」			
		b	8 例 ①成为他的牺牲品 「あれの犠牲品になる」 ②成为那些馋嘴“美食家”们的盘中餐，碗中肉 「食いしん坊の“グルメ”たちの食べ物になる」 ③成为众矢之的 「みんなの非難の的になる」 ④成为竞争对手囊中物 「競争相手のものになる」	①成为暴力事件的牺牲品 「暴力事件の犠牲者になる」 ②成为球队的罪人 「チームの罪人になる」 ③成为太阳的罪人 「太陽チームの罪人になる」	一	13 例 ①不成为矛盾的焦点 「矛盾の焦点になる」 ②成为一本浓缩的读物 「凝縮した読み物になる」 ③成为盲目的科学 「盲目的な科学になる」 ④成为这一危险事态的牺牲品 「今回の危険事態の犠牲者になる」 ⑤成为陪衬 「引き立て役になる」
		c	①成为儿媳	成为会员	262 例	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「嫁になる」 ②成为“民族产业保卫者” 「“民族産業防衛者”になる」 ③成为本组打头 「本組一番出場するチームになる」 ④成为孤儿 「孤児になる」 ⑤成为我的抚养者 「私の扶養者になる」 ⑥成为我嫂子 「兄の嫁になる」 ⑦成为我的丈夫 「私の夫になる」	「会員になる」	①几乎成为他的养母 「彼の継母になるところだった」 ②几乎成为无可避免的 「避けられないものになる」 ③几乎成为各大颁奖礼的常客 「各授賞式の常連になる」	
939	成 (…に) なる	a	①成功 「成功する」 ②成了好事	①成就他在本届世界杯上的第 6 粒进球 「今回 W 杯での第 6	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「いいことを遂げる」	回のゴールインを達成した」 ②成功 「成功する」		
		b	22 例 ①成了刀下冤魂 「刀の下で死んだ亡霊になる」 ②成了替罪羊 「スケープゴートになる」 ③成了餐桌上的佳肴 「食卓の美味しい料理になる」 ④成了普佐的最后 一部作品 「プサさんの最後の作品になる」	①成了“掉书袋”的老 学究 「見せびらかす学者 になる」 ②成真 「本当になる」 ③成了尼罗河大河马 的一顿美餐 「ナイル川にいるカ バのご飯になる」	657 例 ①成了奴隶社会 「奴隸社会になった」 ②成了废人 「廃人になる」	不成熟 「成熟していない」
		c	一	一	几乎成了一年四季都能使	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					用的生活必需品 「ほぼ一年中使える生活必需品になった」	
940	下降 下降する	a	一	一	一	一
		b	一	一	17 例 ①几乎下降了一半 「ほぼ半分を下落した」 ②几乎下降了 10% 「ほぼ 10%減った」	一
		c	一	一	一	一
941	衰敗 衰える		一	一	一	一
942	結束 終わる 終わらせる	a	一	一	一	一
		b	一	一	她们几乎结束了女人最好的岁月 「彼女たちはほぼ女性として一番良い歳月を終わった」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	一	一
943	停止 停止する	a	一	一	一	一
		b	①（摔得）停止了呼吸 「（転んで）呼吸が止まる」 ②（我的心脏）停止跳动 「（私の心臓）止まる」	一	46 例 ①几乎停止创作 「創作を止める」 ②几乎停止跳动 「心臓が止まる」 ③几乎没停止过建设 「ほとんど建設をやめたことがない」	一
		c	一	一	一	一
944	消灭 消滅する 除去する		一	一	一	一
945	加 加える 増やす	a	一	一	一	一
		b	加上这一句 「この一言を加える」	一	一	一
		c	一	一	他几乎没加思索,就走了过	加班, 出差

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					来 「彼はほぼ考えず歩いて来た」	「残業、出張する」
946	添 増す 加える	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	从一开始到现在, 营复几乎没添一兵一卒 「最初から今まで、营复は兵士1人も増やさなかった」	一
947	凑 寄せ集める 近づく	a	一	一	一	一
		b	一	一	浮肿的嘴脸几乎凑到了地面 「腫れた顔は地面に近寄るところだった」	一
		c	一	一	凑齐了彩虹上的色彩 「虹の色を集め揃う」 白眉毛几乎凑在一起 「白い眉毛はほぼ連なっている」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
948	加入 加える 加入する		一	一	一	一
949	増加 増加する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	①増加精神压力 「精神ストレスを増やす」 ②增加了拖欠 「滞納を増やす」 ③増加疑虑 「疑惑を増やす」
		c	一	一	41 例 ①数目几乎增加了一倍 「数量がほぼ倍に増加した」 ②几乎增加两倍 「ほぼ二倍に増加した」	一
950	扩大 広げる	a	①扩大领先优势 「優位優勢を拡大する」	①扩大比分 「得点差を引き離す」 ②扩大了领先优势	①几乎扩大了一倍 「ほぼ倍に拡大した」 ②几乎扩大到半岛南端	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			②扩大优势 「優勢を拡大する」	「優位優勢を拡大する」	「ほぼ半島の南端まで広げた」 ③規模几乎没扩大 「規模がほとんど拡大しなかった」	
		b	—	—	—	—
		c	—	—	—	—
951	提高 高める 向上させる		—	—	—	—
952	超过 超える 上回る しのぐ	a	超过她 「彼女を超える」	—	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	17 例 ①几乎超过本身重量的一倍 「ほぼ本体重量の一倍を超える」 ②关注程度几乎超过火灾	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					事故本身 「注目の程度はほぼ火災 事故自体を超える」	
953	不止 …にとど まらない		一	一	一	一
954	少 欠ける 足りない	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	少了些余韵 「余韻がたりない」
		c	一	一	一	一
955	缺少 欠ける 不足する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	缺少“现代性认同” “现代性賛同”が欠乏 する」
		c	一	一	几乎缺少植物生长所必需 的一切 「ほぼ植物が成長するた めに必要とするすべてを 欠乏する」	

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
956	缺乏 欠ける 欠缺する	a	一	一	一	一
		b	一	一	①几乎缺乏发展的一切条件 「ほぼすべての発展する条件を欠缺する」 ②几乎缺乏政治气味 「政治の匂いが不足する」	缺乏经验 「経験がたりない」
		c	一	一	一	一
957	減 減らす ひく		一	一	一	一
958	減少 減少する 減る	a	一	一	一	一
		b	一	一	16 例 ①几乎減少到一半 「ほぼ半分に減少した」 ②几乎减少了三十万吨 「ほぼ三十万トンが減った」 ③它们的航班几乎没有減少	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「そこらの定期飛行便がほとんど減っていない」	
		c	一	一	一	一
959	剩 残る 余る	a	一	一	一	一
		b	一	一	几乎剩口气 「ほぼ息だけ残る」	一
		c	一	一	①大火在我那儿从这头烧到了那头,几乎没有剩下一只活着的羊和绿色的树了 「私のところに火があっちからこっちまで燃え尽くした。ほぼ生きている羊一匹と緑の木だけ残った」 ②几乎没剩下什么人 「ほとんど人が残らなかった」	一
960	包括 含む 包括する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	106 例	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					①几乎包括了当时的全部学问 「当時の学問をほぼすべて含んでいた」 ②几乎包括了文学艺术的各个方面 「文学芸術の各方面をほとんど含んでいた」 ③几乎包括企业的一切经济行为 「企業のすべての経済行為をほとんど含んでいる」	
961	能 (能力があつて)できる	a	没能保住到手的胜利 「手に入れた勝利を守る」	没能爬回舱内 「這って船室に戻れない」	—	—
		b	—	—	—	—
		c	—	—	155 例 ①没能见到那条真正的大江	—

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「あの正真正銘の大きな河を見ることが出来なかった」 ②几乎没能留下什么痕迹 「ほとんど何かの痕跡を残せなかった」 ③几乎没能实行他们的诺言 「彼らの約束を守られないところだった」 ④几乎没能站起来 「立てないところだった」 ⑤几乎没能看清楚他们 「はっきりと彼らを見ることができないところだった」	
962	能够 …することが できる		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
963	会 (練習に よって) できる	a	一	一	37 例 ①几乎会被淘汰 「振り落とされそうになる」 ②几乎会轻而易举地突破 这些障碍 「これらの障害を簡単に 突破すしそうになる」	658 例 ①会失望 「失望する」 ②会产生偏见 「偏見を持つ」 ③会惦记着她 「彼女のことを心配する」 ④不会发生一场家庭的 纠葛 「家庭のもつれを引き 起こす」 ⑤不会故伎重演 「同じ計略を繰り返す」 ⑥不会引起读者的误解 「読者の誤解を招く」 ⑦不会发生意外的祸事 「予想外の災難を招く」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
964	可以 かまわな い		一	一	一	一
965	应该 …すべき だ		一	一	一	一
966	该 …すべき だ		一	一	一	一
967	要 …したい すべきだ	a	①要顶礼膜拜 「ひれ伏して敬意 を表わす」 ②要谦逊几句 「謙虚に何かを言 う」	一	一	一
		b	34 例 ①要了我这条老命 / 自己命 / 他的命	①要了傅某的命 「傅さんの命をとる」 ②要了他的性命	941 例 ①几乎要伴随一生 「ほぼ一生を伴う」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「私の/自分の/彼の命をとる」 ②要办其他的罪 「彼の罪を処分する」 ③要扔掉的杰作 「捨てようとする傑作」 ④要流出泪来 「涙が出る」 ⑤要晕倒在地 「意識を失って地面に倒れる」 ⑥要叫救命 「助けてと叫ぶ」 ⑦要挨打 「たたかれる」	「彼の命をとる」 ③要了命/要命 「命をとる」 ④要跌倒 「転ぶ」 ⑤要撞上 「ぶつかる」 ⑥要发生撞车事件 「車にぶつかる事件」	②几乎要陷入生活绝境 「生活窮地に落ち入るところだった」	
		c	①要告诉他海喜喜 就在山根下他姑妈家里	要宣布了 「発表する」	一	288 例 ①要打竞争对手的现实客户的主意

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「彼に海喜喜さんが麓のお婆さんの家にいることを教えようとする」 ②要审查壮丁训练所 「兵役訓練所を審査しようとする」 ③要我们去照料她 「わたしたちが彼女の世話をしようとする」 ④要缩回来 「引っ込めようとする」			「競争相手の現在の顧客を利用しようと悪巧みをする」 ②要纠正他老师的英语 「先生の英語を正す」 ③要犯错误 「間違いをする」 ④要摔跟头 「失敗する」 ⑤要露马脚 「ばれる」 ⑥误事，要吃亏 「へまをやる、損をする」
968	愿意 …したい	a	一	一	①愿意为他做一切事情 「彼のために何でもやってあげたい」 ②愿意牺牲自己的贞操 「自分の純潔を犠牲にし	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					たい」 ③愿意为她做任何事 「彼女のために何でもや ってあげたい」 ④愿意把身份降得极低 「身分を最も低くにした い」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
969	肯 進んで… する		一	一	一	一
970	配 …にふさ わしい		一	一	一	一
971	敢 思いきっ て…する	a	一	一	①几乎敢当着维克多雨果 的面, 直截了当地把普希金 称为时代的最伟大的诗人。 「ヴィクトル・ユーゴーと 面を向かって、単刀直入に	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					プーシキンを時代の最高の詩人と称する」 ②他几乎敢肯定, 只要朝下一看, 他非要晕眩不可。 「彼はほぼ断定できる。下を向くと、きっと目眩するに決まっている」 ③她几乎没敢想要得到什么, 只是一味地付出、付出。 「彼女はほとんど何かをえようと考えることも出来なかった。ただただ差し上げるだけ」 ④几乎没敢再看钱先生就往外走。 「ほとんど銭さんを見る勇氣もなく外に出た」	
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
972	敢于		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	…する勇 気がある					
973	情愿 喜んで… する 願う	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	几乎情愿接受新的痛苦 「新たな苦痛を受けるこ とを心から願う」	一
974	宁可 むしろ… したほう がよい		一	一	一	一
975	值得 …するに 値する	a	一	一	几乎值得我冒这么多的危 险 「こんなに多くの危険を 犯す価値がある」	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	一	一
976	来	a	一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	入ってくる	b	一	一	几乎来一次就被击溃一次 「ほぼ攻撃するたび壊滅させる」	一
		c	来晚了 「遅刻する」	一	①几乎来个彻头彻尾的重 新包装 「ほぼ頭から足までイメ ージチェンジした」 ②几乎来自于全世界 「ほぼ全世界から来ている」 ③几乎来了个 180 度的转 变 「ほぼ 180 度が変わった」 ④几乎来说无书不读 「ほぼ本があれば読む」	来找他说情 「彼に許しを請う」
977	去 上がって 行く	a	一	一	几乎去一次兴奋一次 「ほぼ行くたびに興奮する」	一
		b	一	一	几乎去刑警队举报了他 「警察署にいて彼を通報	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					するところだった」	
		c	①去领取婚姻牌照 「結婚証明書を取りに行く」 ②去搬那个什么那个那个 「あれあれを運びに行く」 ③去了两次 「二回も行った」 ④去当职业运动员 「プロの運動選手になる」 ⑤去了 NBA 的训练营 「NBA の訓練營に行く」	一	①几乎没去考虑自己的尴尬处境 「ほぼ自分の厄介な立場を考えたことがない」 ②几乎没去想她 「ほとんど彼女のことを考えなかった」 ③几乎没去过俱乐部 「クラブをほとんど行ったことがない」	一
978	上 はい上がる	a	一	一	①上涨了 2 倍 「ほぼ 2 倍に増えた」 ②上升到绅士的地位	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					「ほぼ紳士の地位に上がった」 ③上升到今天的 100% 「今日の 100%にあがった」 ④上升到一部明式家具百科全书的高度 「明の時代の家具百科全書のレベルまであがった」	
		b	①上大当 「騙される」 ②上了他的当 「彼に騙される」 ③上车溜走 「車に乗って逃げる」 ④上了敌人的圈套 「敵の罠にかかる」 ⑤上了吊 「首つり自殺する」	上了你的鬼当 「君に騙される」	几乎上当 「騙されるところだった」	①上当（受骗） 「騙される」 ②上伪劣商品的当 「偽物に騙される」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			⑥上出个精神崩溃的农村孩子 「精神崩壊の農村子どもが出る」 ⑦上演“小师弟打翻大师兄”的一幕 「“後輩が先輩を殴る” 一幕を演じる」			
		c	①上那辆车 「あの車に乗る」 ②上了大马路牙子 「縁石を乗り越がる」	一	21 例 ①几乎上演“帽子戏法” 「ハットトリックを上演するところだった」 ②几乎上了所有世界媒介的头条 「ほぼすべての世界メディアのトップニュースになった」 ③几乎没上课 「ほとんど授業を受けなかった」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					④几乎没上过任何的特长班，补习班 「塾などほぼ行ったことがない」	
979	下 すわる	a	一	一	一	一
		b	①下课 「首になる」 ②下台 「辞任する」 ③下水喂了王八了 「水に投げられ亀の餌になる」 ④下秦淮河喂王八了 「秦淮河に投げられ亀の餌になる」	①下台 「辞任する」 ②下课 「首になる」	①几乎下降为零 「ほぼゼロに下がった」 ②几乎下跌了 100000 点 「ほぼ 100000 点を下落した」 ③几乎下降了一半 「ほぼ半分を下がった」	一
		c	①（眼泪，眼镜）下来 「(涙)流れる/（メガネ）ずれる」	下了水塘 「池に入る」	34 例 ①几乎下放了全部劳动用人权 「ほぼ全部の労働者使用	下笔千言 「筆が立つ」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			②下决心最后一搏 而隐退 「最後にひと頑張りして引退すると決心する」 ③下了决心 「決心する」		権を委譲した」 ②几乎下过辖区内的所有 矿井 「ほぼすべての坑道に下ったことがある」 ③几乎下定了决心要去问他 「彼に聞きに行く決心をするところだった」 ④几乎下泪 「涙がでるところだった」 ⑤几乎下垂到脚跟 「ほぼかかとまで垂れ下がっている」 ⑥几乎没下一点雨雪 「雨や雪がほとんど降らなかった」	
980	进 駆け込む	a	①进入决赛 「決勝戦に入る」 ②进球	进球 「ゴールインする」	①几乎进入了最佳状态 「ほぼ最適状態になった」 ②几乎进入八强	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「ゴールインする」 ③进了一个乌龙球 「オウンゴールする」		「トップ8に入るところだった」 ③几乎进了决赛 「決勝戦に入るところだった」 ④几乎（一球）进入空门 「(ボールが) だれもいないゲートに入るところだった」	
		b	①进秦淮河喂鱼了 「秦淮河に入れられ魚の餌になる」 ②进了监狱 「監獄に入れられる」	进了鬼门关 「あの世に行く」	①几乎进退无门的绝境 「ほぼ途方に暮れる窮地」 ②几乎进入休克状态 「ほぼショック状態になる」 ③几乎进入死胡同 「ほぼ袋小路に入る」 ④几乎进入互相见面不打招呼的状态 「ほぼ会っても挨拶しない状態になる」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	①进了工程兵工团 「工程兵工団に入団する」 ②进了一个专业团体 「プロのチームに入る」 ③进警察局报案了 「警察局に届け出る」 ④进了专业队搞长跑 「プロのチームに入り長距離走をやる」	进入“供二限一” 「“2つ提供1つ制限”状態に入る」	①几乎进入俄罗斯领空的 美军侦察机 「ほぼロシア領空に入る 米国偵察機」 ②几乎进入了所有美国家庭 「ほぼすべてのアメリカ家庭に入る」 ③几乎进入了人物的内心 「ほぼ人物の内心に入る」 ④几乎进了天堂 「天国に行くところだった」 ⑤热闹的气氛霍然降温，几乎进入零点 「賑やかな雰囲気が突然やみ、ほぼシーンとなる」	一
981	出 取り出す	a	①出版 「出版する」 ②出名了	一	①出售一空 「売り切れる」 ②（库存）出空了	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「有名になる」		「(在庫)空になる」	
		b	30 例 ①出了严重事故 「重大事故が起きる」 ②出洋相 「恥をかく」 ③出局 「アウトになる」 ④出纰漏 「ミスがでる」 ⑤出了人命 「人死にが出た」 ⑥出问题 「問題が出る」	15 例 ①出事故/出事 「事故が起きる」 ②出车祸 「車の事故を起こす」 ③出轨 「浮気する」 ④出错 「ミスが出る」 ⑤出了人命 「人死にがでる」 ⑥出了人命案 「殺人事件が起きる」	41 例 ①出了人命 「人死にがでる」 ②出了洋相 「恥をかく」 ③出现混乱 「混乱が起きる」 ④出于停滞状态 「停滞状態にある」 ⑤出了一身冷汗 「冷え汗がでる」 ⑥出现了断层 「食い違いがある」 ⑦几乎没出一点差错 「ほとんどミスが出なかった」	30 例 ①出问题 「問題がでる」 ②不出差错 「ミスがでる」 ③出弊病 「ミスが生じる」 ④出格 「度を超す」
		c	①（眼泪）出来 「(涙)出る」 ②出声大笑起来	一	①出于本能的恐惧 「本能的な恐怖心から」 ②出于所有人的预料	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			「声出して笑い出す」		「すべての人の予想外になる」 ③（報界）出动了所有记者 「（新聞界）すべての記者を出動する」 ④出神 「うっとりする」	
982	过 見たことがある	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	①过窄 「狭すぎる」 ②（矫枉）过正 「ゆがみを是正しようとして行きすぎる」 ③过于功利 「功利的になりすぎる」 ④过于“亲热” 「仲が良すぎる」 ⑤过失 「ミスする」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	34 例 ①几乎过起了隐居的日子 「ほぼ隠居の生活を送るようになる」 ②几乎过着较为正常的生活 「ほぼ比較的に普通な生活を送っている」 ③几乎过于空泛 「あまりにも漠然しすぎる」 ④几乎过目不忘 「ほぼ 1 度目を通すと忘れない」 ⑤几乎过于沉得住气了 「あまりにも落ち着いてる」 ⑥几乎过于喜爱林惇先生了 「あまりにも林惇さんを	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					好きすぎる」	
983	回 戻す 返却する	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	回忆起那辛酸的过去 「そのつらい過去を思 い出す」
		c	一	一	一	①回到韦伯的出发点 「韦伯さんの出発点に 戻る」 ②回眸一笑 「振り返って笑う」
984	开 離れる	a	一	一	①几乎开了所有文学刊物 处理篇目编排顺序的先例 「ほぼ全部の文学出版物 目次順序処置の先例を設 けた」 ②几乎开一家，红一家 「ほぼ店一軒オープンす れば、一軒ヒットする」	一
		b	①开上便道 「歩道に乗り上げ	开了小差 「気が散る」	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
			る」 ②开枪毙人 「銃で人を殺す」			
		c	①开心得笑出声来 「嬉しくて笑い出す」 ②开了锅 「大騒ぎになる」 ③开口说出话来 「話しだす」 ④开玩笑 「冗談をいう」	开始的 「始まる」	8 例 ①几乎开心得要叫了起来 「嬉しくて叫び出すところだった」 ②几乎开怀大笑起来 「屈託なく笑いだすところだった」 ③几乎开口说谎 「嘘をつくところだった」 ④几乎没开口/开口说话 「ほとんど話しをしなかった」	一
985	起 拾い上げる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	①起疑 「疑いをもつ」 ②起起伏伏 「安定しない」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
		c	一	一	①起身要走了 「起き上がって離れる」 ②起了稳定天下的作用 「天下を安定させる効果がある」 ③起爱怜的心 「愛しく思う」	一
986	上来 上がって くる		一	一	一	一
987	上去 押し上げ る		一	一	一	一
988	下来 下がって くる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	(眼镜) 下来 「(メガネ)ずれる」	一	一	一
989	下去 退いてい		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
	く					
990	进来 入ってくる		一	一	一	一
991	进去 運び込む		一	一	一	一
992	出来 出てくる	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	(眼泪) 没出来 「(涙) 出る」	一	一	出来 「出てくる」
993	出去 出ていく		一	一	一	一
994	过来 駈けてくる		一	一	一	一
995	过去 駈けていく	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	一
		c	一	一	①两天都几乎过去了 「ほぼ二日もすぎた」	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
					②那两位仁兄几乎没过去 请教芳名 「そのふたりの兄さんは 向こうに行って名前を聞 くところだった」	
996	回来 駈け戻っ てくる		一	一	一	一
997	回去 送り返す		一	一	一	一
998	起来 立ち上が る		一	一	一	一
999	是 …である	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	22 例 ①是痛苦的 「苦痛のである」 ②是要失败的 「失敗するのである」 ③是会走上邪途的

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						「正しくない道に行くのである」 ④不是老百姓受害 「庶民が損害を受ける」 ⑤不是令人乏味的大路货 「味気ないどこでもあるものである」 ⑥不是焦头烂额的 「追いつめられている」
		c	一	一	一	①是这样 「こうである」 ②是与爱情相关的 「愛情に関係するのである」 ③是梦想 「夢である」 ④不是主观主义的

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						「主観主義である」 ⑤不是些已经擦干眼泪 的人们的衷情 「涙を拭きとった人々 の奥の気持ちである」
1000	就是 すなわち …である	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	就是歪斜的，关不严， 或者关严就开不开 「斜めになっていて、 しっかり閉められな い、または閉めたらあ けられない」
		c	一	一	一	一
1001	不是 …でない		一	一	一	一
1002	像 …のよう である	a	一	一	一	像单巴这样亲近一番 「单巴のように親しく する」
		b	一	一	一	①像对弱智儿童 「知力が低い子どもに

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						対応するようである」 ②像迷阵一样 「迷路みたいである」
		c	一	一	一	像雨后春笋般盛开 「雨後の竹の子のよう に次々と現れる」
1003	等于 …に等し い		一	一	一	一
1004	有 もってい る	a	一	一	一	一
		b	一	一	一	656 例 ①有不周之处 「至らぬところがあ る」 ②有疏漏 「手落ちがある」 ③有争议 「争議がある」 ④有生存危机 「生存危機がある」

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
						⑤没有遗漏之处 「抜け落ちたところがない」 ⑥没有愚蠢的行为发生 「愚かな行動が起こらない」
		c	一	一	一	①没有类似的情绪 「同じような気持ちをもっていない」 ②没有一点情感流露 「少しの感情も表に出さない」 ③没有响皮底的大皮靴 毫不惭愧的在你面前踱来踱去。 「遠慮なしに大きな音を立てて歩き回っていない」
1005	有着 存在する		一	一	一	一

番号	動詞	判定	差点	险些	几乎	难免
1006	没有 もって ない		一	一	一	一
1007	在 ある 存在する		一	一	一	一